

第1章 総則

第1条 神奈川大学（以下「本大学」という。）は、教育基本法（昭和22年法律第25号）及び学校教育法（昭和22年法律第26号）にのっとり、一般教養並びに専門学術の理論及び応用を教授研究し、識見高邁にして実践力に富む人材を育成し、文化の創造発展及び人類の福祉に貢献することを目的とする。

第1条の2 本大学は、教育研究水準の向上を図り、前条の目的を達成するため、関係法令の定めるところにより、教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行い、これを公表するものとする。

2 本大学は、前項の点検及び評価の結果について、6年ごとに文部科学大臣の認証を受けた者による評価を受けるとともに、本大学以外の機関が行うその他の評価等を通じ、その検証並びに教育研究活動等の改善及び充実に努めるものとする。

3 前2項の点検及び評価を行うにあたっての項目の設定、実施体制等については、別に定める。

第1条の3 本大学は、次に掲げる教育研究活動等の状況についての情報を、刊行物への掲載、インターネットの利用その他広く周知を図ることができる方法によって公表するものとする。

- (1) 本大学の教育研究上の目的に関すること。
- (2) 教育研究上の基本組織に関すること。
- (3) 教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること。
- (4) 入学者に関する受入方針及び入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること。
- (5) 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること。
- (6) 学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっての基準に関すること。
- (7) 校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること。
- (8) 授業料、入学金その他の本大学が徴収する費用に関すること。
- (9) 本大学が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること。

第2条 本大学に法学部、経済学部、経営学部、外国語学部、国際日本学部、人間科学部、理学部、工学部、建築学部、化学生命学部及び情報学部の11学部を置く。

2 各学部の修業年限は、4年とする。

3 学生は、8年を超えて在学することはできない。

第3条 法学部には法律学科及び自治行政学科を、経済学部には経済学科及び現代ビジネス学科を、経営学部には国際経営学科を、外国語学部には英語英文学科、スペイン語学科及び中国語学科を、国際日本学部には国際文化交流学科、日本文化学科及び歴史民俗学科を、人間科学部には人間科学科を、理学部には理学科を、工学部には機械工学科、電気電子情報工学科、経営工学科及び応用物理学科を、建築学部には建築学科を、化学生命学部には応用化学科及び生命機能学科を、情報学部には計算機科学科及びシステム数理学科を置く。

第3条の2 前2条に規定する各学部又は各学科の教育研究上の目的については、学部ごとに規程をもって定めるものとする。

第4条 本大学には附属図書館及び附属研究所をおく。

2 附属図書館及び附属研究所に関する規程は、別に定める。

第5条 本大学に次の職員を置く。

学長、学部長、教授、准教授、助教、助手、事務職員、技術職員

2 前項のほか、副学長及び学長補佐を置くことができる。

第5条の2 学長は、本大学を代表し、校務をつかさどり、所属職員を統督する。

2 学部長は、学部を代表し、学部に関する校務をつかさどる。

3 副学長は、学長を補佐し、学長から権限の委任を受けた校務をつかさどる。

4 学長は、前項の規定により副学長に校務の一部の権限を委任したときは、速やかに当該権限の内容及び受任者その他当該権限の行使に必要な事項について評議会に報告するとともに、これを告示しなければならない。

5 学長補佐は、学長から委任された業務について、学長を補佐する。

第6条 本大学の重要事項を審議するために評議会を置く。

2 評議会は、次に掲げる評議員をもって組織する。

(1) 学長

(2) 学部長

(3) 各学部から教授、准教授及び助教のうち2名

3 学長は、次に掲げる事項を決定するに当たっては、評議会に諮問しなければならない。

ただし、緊急を要する場合その他やむを得ない事情があるときは、この限りでない。

(1) 学部間の連絡調整に関する事項

(2) 学則その他重要な規則等の制定又は改廃に関する事項

- (3) 予算案編成及び決算処理の方針に関する事項
- (4) 学部、学科その他重要な施設及び組織の設置又は改廃に関する事項
- (5) 教員人事の基準に関する事項（教員定員に関する事項を含む。）
- (6) 学生の定員に関する事項
- (7) 学生の生活指導、福利厚生及びその身分に関する事項
- (8) その他学長が諮問すべきであると判断する事項

4 学長は、評議会が答申した内容と異なる決定をした場合、又は前項ただし書の規定により評議会に諮問せずに決定した場合には、直近の評議会において、その理由及び当該決定の内容について説明するものとする。

5 評議会に関しては、前各項に規定するもののほか、別に定めるところによる。

第6条の2 本大学の各学部、学校教育法（以下「法」という。）第93条第1項に規定する教授会を置く。

2 教授会は、学部ごとに、その所属する教授、准教授及び助教をもって組織する。

3 教授会は、次に掲げる事項について審議し、学長が決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

- (1) 学生の入学、卒業及び課程の修了
- (2) 学位の授与
- (3) 前2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの

4 学長は、前項第3号の規定に基づき当該事項を定める場合には、あらかじめ教授会の意見を聴き、その意見を十分に参酌した上で定めるものとし、これを定めたときは、速やかに告示しなければならない。

5 教授会は、第3項に規定するもののほか、学長及び学部長（以下「学長等」という。）がつかさどる次に掲げる事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。

- (1) 教員人事に関する事項
- (2) 研究に関する事項
- (3) 教育に関する事項
- (4) 学生の転部、転科、休学、退学その他身上に関する事項
- (5) 学部予算の作成及び執行に関する事項
- (6) 学長から諮問された事項

(7) 学部長から付議された事項

(8) その他教授会が必要と認めた事項

6 学長等は、第3項及び前項の規定により教授会が述べた意見の内容と異なる決定をした場合には、直近の評議会又は当該学部の教授会において、その理由及び当該決定の内容について説明しなければならない。ただし、学長が教授会に説明する場合は、書面によることができる。

7 教授会の審議手続に関する規程は、評議会の審議を経て理事会がこれを定める。

第2章 教育課程及び履修方法

第7条 各学部は、教育上の目的を達成するために必要な授業科目を開設し、体系的に教育課程を編成する。

2 教育課程は、各授業科目を必修科目、選択必修科目、選択科目及び自由科目に分け、これを各年次に配当して編成する。

3 各学部における授業科目の名称、単位数、年次配当及び履修方法は、別表第1のとおりとする。ただし、必要と認めるときは、教授会の審議を経て、その一部を変更することができる。

4 前3項のほか、外国人留学生等のために必要な授業科目を置くことができる。

5 前各項のほか、教科及び教職に関する科目、社会教育主事・学芸員の資格取得及び日本語教員養成のために必要な授業科目を置く。

第8条 学生は、前条により自己の所属する学部、学科の所定の授業科目を履修しなければならない。

2 学生は、各学部、学科の定めるところにしがい他の学部、学科の授業科目を履修することができる。

3 教育職員の免許状を取得しようとする者のために教職課程をおく。

各学部、学科の教育課程に応じた中学校及び高等学校の教育職員免許状授与の所要資格を得させるための授業科目については、別表第2のとおりとし、免許状の種類は、別表第3のとおりとする。

4 社会教育主事の資格を得させるために必要な授業科目及び単位数は、別表第4のとおりとする。

5 学芸員の資格を得させるために必要な授業科目及び単位数は、別表第5のとおりとする。

6 日本語教員養成のために必要な授業科目及び単位数は、別表第6のとおりとする。

7 学生は、その年度に履修しようとする授業科目を選択し、指定期間内に履修科目届を提

出しなければならない。

8 前各項のほか、各学部、学科の履修については、別に定める。

第8条の2 学生が、職業を有している等の事情により、修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し卒業することを希望する旨を申し出たときは、当該学部において支障のない場合に限り、その計画的な履修（以下「長期履修」という。）を認めることができる。

2 長期履修の取扱いに関する規程は、別に定める。

第9条 削除

第3章 修了認定及び卒業

第10条 各履修科目の修了は、試験その他の方法によって当該科目担任者がこれを認定する。

2 成績は秀、優、良、可、不可の5段階に分けて評価し、秀、優、良、可を合格とし、不可を不合格とする。

3 合格者は、第7条の別表第1に規定する単位数を取得したものとする。

第10条の2 前条に規定する単位の認定は、授業科目の履修が修了する学年末又は学期末において行う。

第11条 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算する。

(1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの授業をもって1単位とする。

(2) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの授業をもって1単位とする。

(3) 1の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち2以上の方法の併用により行う場合については、5時間の講義及び20時間の実験の授業をもって1単位とすることを基準とする。

2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修を考慮して、単位数を定めることができる。

第12条 前条第1項に規定する講義、演習、実験、実習又は実技による授業は、文部科学大臣が別に定めるところにより、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

2 前項に規定する授業の方法により修得できる単位数は、60単位を限度とする。

第12条の2 大学又は短期大学（外国の大学又は短期大学を含む。）を卒業又は中途退学し、新たに本大学の第1年次に入学した学生の既修得単位（科目等履修生として修得した単位を含む。）については、教育上有益と認められる場合に限り、教授会の審議を経て、本大学において修得したものとして認定することができる。

2 前項の規定による単位認定は、60単位を超えない範囲内で行う。

3 前2項の規定による単位認定と関連して修業年限の短縮は行わない。

4 単位認定の手続等に関する規程は、別に定める。

第13条 本大学学生であって、他大学における授業科目履修を希望する者があるとき、審査のうえ教育上有益と認められる場合に限り、学部長は、教授会の審議を経て、これを許可することができる。

2 学部長は、教授会の審議を経て、学生が前項の規定により授業科目について修得した単位を本大学において修得したものとして認定することができる。ただし、認定し得る単位数は、前条により認定する単位数と合わせて60単位を限度とする。

3 前2項に関する規程は、別に定める。

第13条の2 本大学学生であって、入学前又は入学後に行った短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修は、教育上有益と認められる場合に限り、本大学における授業科目の履修とみなし、単位を認定することができる。

2 前項により認定し得る単位数は、第12条の2及び前条により認定する単位数と合わせて60単位を限度とする。

3 前2項に関する規程は、別に定める。

第14条 本大学に通算して4年以上在学し、第8条から前条までに規定する方法で所定の授業科目及び単位数を履修取得した者に対しては卒業を認める。ただし、留学中の者についてはその留学期の終了後とする。

第15条 本大学を卒業した者には、学士の学位を授与する。

2 前項の学位の授与は、神奈川大学学位規程の定めるところによる。

第4章 学年、学期及び休業日

第16条 学年は、4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

第17条 学年を分けて次の2期とする。ただし、前学期の終了日、後学期の開始日は、学年暦編成上の必要により変更することがある。

前学期 4月1日に始まり9月30日に終わる。

後学期 10月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

第18条 休業日は、次のとおりとする。

- (1) 日曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日
- (3) 本大学創立記念日 5月15日
- (4) 春季休業 3月21日から3月31日まで
- (5) 夏季休業 7月11日から9月10日まで
- (6) 冬季休業 12月25日から翌年1月7日まで
- (7) 前各号に掲げるもののほか、学長が指定する日

2 前項の規定にかかわらず、教育上必要があると認めるときは、同項の休業日を授業日に変更することができる。

第5章 入学

第19条 本大学学生の収容定員は、次のとおりである。

		入学定員	収容定員
法学部	法律学科	400名	1,600名
	自治行政学科	200名	800名
	計	600名	2,400名
経済学部	経済学科	650名	2,600名
	現代ビジネス学科	300名	1,200名
	計	950名	3,800名
経営学部	国際経営学科	530名	2,120名
	計	530名	2,120名
外国語学部	英語英文学科	200名	800名
	スペイン語学科	90名	360名
	中国語学科	60名	240名
	計	350名	1,400名
国際日本学部	国際文化交流学科	170名	680名
	日本文化学科	60名	240名
	歴史民俗学科	70名	280名
	計	300名	1,200名
人間科学部	人間科学科	300名	1,200名

	計	300名	1,200名
理学部	理学科	275名	1,100名
	計	275名	1,100名
工学部	機械工学科	145名	580名
	電気電子情報工学科	145名	580名
	経営工学科	90名	360名
	応用物理学科	60名	240名
	計	440名	1,760名
建築学部	建築学科	200名	800名
	計	200名	800名
化学生命学部	応用化学科	110名	440名
	生命機能学科	80名	320名
	計	190名	760名
情報学部	計算機科学科	100名	400名
	システム数理学科	100名	400名
	計	200名	800名
	合計	4,335名	17,340名

第20条 入学時期は、学年の初めとする。ただし、学長は、教授会の審議を経て、後学期の初めとすることができる。

第21条 本大学に入学する者は、次の各号のいずれかに該当する者であることを要する。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者
- (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者

- (7) 大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）により文部科学大臣の行う大学入学資格検定に合格した者又は高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者
- (8) 本大学の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したもの

第22条 本大学に入学を許可される者は、所定の入学試験に合格した者に限る。

第23条 本大学在学者で他の学部、学科に転部・転科を希望する者は、選考のうえこれを許可することがある。

- 2 前項の転部・転科者の在学年数については、元の学部、学科の在学年数の全部又は一部を算入することができる。

第24条 本大学への編入学、転入学又は再入学を希望する者については、次の各号のいずれかに該当する者について選考のうえ、相当年次に入学を許可することができる。

- (1) 大学を卒業した者又は退学した者
- (2) 短期大学、高等専門学校、国立工業教員養成所又は国立養護教諭養成所を卒業した者
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号。以下「省令」という。）附則第7条に定める従前の規定による高等学校、専門学校又は教員養成諸学校等の課程を修了又は卒業した者
- (4) 法第132条に定める専修学校の専門課程を修了した者
- (5) 法第88条に定める大学の学生以外の者として大学において一定の単位を修得した者
- (6) その他前各号に定める者と同等の資格があると認められるもの

- 2 前項の規定により入学を許可された者の既に修得した授業科目及び単位数の取扱いについては、その者の申請に基づき教授会の審議を経て、学長が決定する。

- 3 第1項の規定により入学を許可された者の在学すべき年数については、教授会の審議を経て、学長が決定する。

第25条 削除

第26条 外国人で入学を希望する者については選考のうえ特別学生として入学を許可することがある。

第27条 入学の許可を受けた者は、所定の書式による誓約書、保証人の保証書及び本大学所定の書類を提出し、入学金、授業料その他所定の納入金を納入しなければならない。

第28条 前条の保証人は、父母又はこれらに準ずるもので独立の生計を営む成年者である

ことを要する。なお、保証人として不適当と認めたときはその変更を命ずることがある。

第29条 保証人は、学生在学中に関する一切の事項につきその責に任ずるものとする。

第30条 保証人が死亡その他の事由で、その責務を尽くし得ない場合には、新たに保証人を選定して届け出なければならない。

第6章 科目等履修生、委託生及び研究生

第31条 削除

第32条 削除

第33条 削除

第34条 削除

第35条 本大学の学生以外の者が、学部の開設する授業科目中の1科目又は数科目の履修を希望するときは、各学部において学生の学修に妨げのない限り選考のうえ科目等履修生として入学を許可することがある。

2 科目等履修生の取扱いは、別に定める。

第36条 削除

第37条 削除

第38条 削除

第39条 官公庁、法人又は外国政府より委託せられた学生を委託生とする。

2 委託生の取扱いは、科目等履修生に準ずる。

第39条の2 本大学において、特定の事項について研究しようとする者があるときは選考のうえ、研究生として許可することができる。

2 研究生として許可する者は、大学を卒業した者又はこれと同等以上の学力があると認められた者とする。

3 研究生の取扱いについては、別に定める。

第40条 科目等履修生、委託生及び研究生に関して本章各条に規定しない事項については、神奈川大学学則を準用する。ただし、第3章中第14条及び第15条は適用しない。

第7章 休学、留学、退学、転学及び除籍

第41条 病気その他の事由により長期にわたって修学することができない者は、所定の手続を経て休学を願い出るものとする。

2 休学は、1学期又は1学年を区分とし、当該年度限りとする。ただし、特別の事情がある場合は、引き続き休学を許可することができる。

3 休学期間は、通算して3年を超えることができない。

第42条 病気の事情によっては休学を命ずることができる。

第43条 休学の事由がやんだときは、復学を願い出るものとする。

2 復学は学期又は学年の始めとする。

第44条 休学期間は、在学年数に算入しない。

第45条 外国の大学に留学して授業科目を履修しようとする者が、保証人連署のうえ、その旨を願い出たときは、留学を許可することができる。

2 留学期間は、第14条に定める修学年限に算入することができる。

3 留学期間中外国の大学において修得した単位数については、第13条の規定を準用する。

4 留学期間中、学生は、授業料その他の学生納入金を別に定めるところにより納入しなければならない。

5 留学に関する学内手続その他については、別に定める。

第46条 退学しようとする者は、保証人連署の退学願を出さなければならない。

第47条 他の大学へ転学しようとする者は、その事由を具し、保証人連署のうえ願い出て許可を受けなければならない。

第48条 次の各号のいずれかに該当する者は、本大学より除籍する。

(1) 在学8年を超えてなお卒業し得ない者

(2) 進級制を実施している学部・学科の学生で、在学4年を超えてなお3年次への進級要件を満たし得ない者

(3) 所定の授業料、履修費、研修料その他の納入金を期日までに納入しない者

第8章 授業料、履修費、研修料その他の納入金

第49条 授業料、履修費、研修料その他の納入金の額は、別表第7に定める。

第50条 授業料その他の納入金は、毎学年の初めにその全額を納入するものとする。ただし、別に定めるところにより分納を認める。

第51条 休学期間中の授業料その他の納入金は、別に定めるところにより減額する。ただし、1分納期を全休した者に限る。

第52条 学年の中途において退学した者又は除籍された者もその学年の授業料その他の納入金は、納入しなければならない。

第53条 既納の授業料その他の納入金は、いかなる理由があっても一切返還しない。

第9章 奨学制度

第54条 本大学に給費、貸費及び学費減免の奨学制度をおく。

2 奨学制度に関する規程は、別に定める。

第10章 賞罰

第55条 一般の模範とするに足る行為のあった学生を褒賞することがある。

第56条 法令若しくは本大学の諸規則示達に違反した者又は学生としての本分に反した者については、学長はこれを懲戒する。

2 懲戒の手續については、省令第26条第5項の規定に基づき学長が別に定める。

第57条 削除

第11章 寄宿寮

第58条 本大学に附属寄宿寮をおくことができる。

2 寄宿寮に関する規程は、別に定める。

附 則

1 本学則は昭和24年4月1日から施行する。

附 則（昭和25年4月1日改正）

1 本学則は昭和25年4月1日から施行する。

附 則（昭和26年4月1日改正）

1 本学則は昭和26年4月1日から施行する。

附 則（昭和27年4月1日改正）

1 本学則は昭和27年4月1日から施行する。

附 則（昭和30年4月1日改正）

1 本学則は昭和30年4月1日から施行する。

附 則（昭和32年4月1日改正）

1 本学則は昭和32年4月1日から施行する。

附 則（昭和34年4月1日改正）

1 本学則は昭和34年4月1日から施行する。

附 則（昭和37年4月1日改正）

1 本学則は昭和37年4月1日から施行する。

附 則（昭和40年4月1日改正）

1 本学則は昭和40年4月1日から施行する。

附 則（昭和41年4月1日改正）

1 本学則は昭和41年4月1日から施行する。

附 則（昭和43年4月1日改正）

1 本学則は昭和43年4月1日から施行する。

附 則（昭和44年4月1日改正）

- 1 本学則は昭和44年4月1日から施行する。

附 則（昭和45年4月1日改正）

- 1 本学則は昭和45年4月1日から施行する。

附 則（昭和46年4月1日改正）

- 1 本学則は昭和46年4月1日から施行する。

附 則（昭和50年4月1日改正）

- 1 本学則は昭和50年4月1日から施行する。

附 則（昭和52年4月1日改正）

- 1 本学則は昭和52年4月1日から施行する。
- 2 昭和51年度以前の入学者については、改正前の学則の定めるところによる。

附 則（昭和53年4月1日改正）

- 1 本学則は昭和53年4月1日から施行する。

附 則（昭和54年4月1日改正）

- 1 本学則は昭和54年4月1日から施行する。

附 則（昭和55年4月1日改正）

- 1 本学則は昭和55年4月1日から施行する。

附 則（昭和56年4月1日改正）

- 1 本学則は昭和56年4月1日から施行する。

附 則（昭和57年4月1日改正）

- 1 本学則は昭和57年4月1日から施行する。

附 則（昭和58年4月1日改正）

- 1 本学則は昭和58年4月1日から施行する。

附 則（昭和59年4月1日改正）

- 1 本学則は昭和59年4月1日から施行する。

附 則（昭和60年4月1日改正）

- 1 本学則は昭和60年4月1日から施行する。

附 則（昭和61年4月1日改正）

- 1 本学則は昭和61年4月1日から施行する。

附 則（昭和62年4月1日改正）

- 1 本学則は昭和62年4月1日から施行する。

附 則（昭和63年4月1日改正）

- 1 本学則は昭和63年4月1日から施行する。

附 則（平成元年4月1日改正）

- 1 本学則は平成元年4月1日から施行する。

附 則（平成2年4月1日改正）

- 1 本学則は平成2年4月1日から施行する。
- 2 本学則第19条の規定にかかわらず、平成2年度から平成10年度までの間、経済学部貿易学科の入学定員は次のとおりとする。

経済学部貿易学科 150名

附 則（平成3年4月1日改正）

- 1 本学則は平成3年4月1日から施行する。
- 2 本学則第19条の規定にかかわらず、平成3年度から平成11年度までの間、入学定員は次のとおりとする。

学部	学科	入学定員	
		平成3年度～10年度	平成11年度
法学部	法律学科	500名	500名
経済学部	経済学科	690名	690名
経済学部	貿易学科	200名	150名
経営学部	国際経営学科	400名	400名
理学部	情報科学科	100名	100名
理学部	化学科	100名	100名
理学部	応用生物科学科	100名	100名

附 則（平成4年3月1日改正）

- 1 本学則は平成4年3月1日から施行する。

附 則（平成4年4月1日改正）

- 1 本学則は平成4年4月1日から施行する。
- 2 平成4年度に限り、改正前の学則第35条、第36条、第37条及び第38条は、その効力を有するものとする。

附 則（平成5年4月1日改正）

- 1 本学則は平成5年4月1日から施行する。

附 則（平成6年4月1日改正）

- 1 本学則は平成6年4月1日から施行する。

附 則（平成7年4月1日改正）

- 1 本学則は平成7年4月1日から施行する。
- 2 本学則第19条の規定及び附則（平成3年4月1日改正）第2項にかかわらず、平成7年度から法学部の入学定員を「法律学科350名」「自治行政学科150名」とすることに伴い、平成7年度から平成11年度までの間、入学定員は次のとおりとする。

学部	学科	入学定員	
		平成7年度～10年度	平成11年度
法学部	法律学科	350名	350名
法学部	自治行政学科	150名	150名
経済学部	経済学科	690名	690名
経済学部	貿易学科	200名	150名
経営学部	国際経営学科	400名	400名
理学部	情報科学学科	100名	100名
理学部	化学科	100名	100名
理学部	応用生物科学学科	100名	100名

附 則（平成8年4月1日改正）

- 1 本学則は平成8年4月1日から施行する。

附 則（平成9年4月1日改正）

- 1 本学則は平成9年4月1日から施行する。

附 則（平成10年4月1日改正）

- 1 本学則は平成10年4月1日から施行する。

附 則（平成11年4月1日改正）

- 1 本学則は平成11年4月1日から施行する。
- 2 本学則第19条の規定及び附則（平成7年4月1日改正）第2項にかかわらず、平成11年度の入学定員は次のとおりとする。

学部	学科	平成11年度の 入学定員	期限付き入学定員（入学定員の内数）と その期間	
法学部	法律学科	350名	平成3年度～6年度	150名
			平成7年度～11年度	100名
法学部	自治行政学科	150名	平成7年度～11年度	50名

経済学部	経済学科	690名	平成3年度～11年度	200名
経済学部	貿易学科	200名	平成2年度～10年度	50名
			平成3年度～11年度	50名
			平成11年度	50名
経営学部	国際経営学科	400名	平成3年度～11年度	200名
理学部	情報科学学科	100名	平成3年度～11年度	50名
理学部	化学科	100名	平成3年度～11年度	50名
理学部	応用生物科学学科	100名	平成3年度～11年度	50名

附 則（平成12年4月1日改正）

- 1 本学則は平成12年4月1日から施行する。
- 2 本学則第19条の規定にかかわらず、平成12年度から平成15年度までの各年度の入学定員は次のとおりとする。

学部	学科	入学定員			
		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
法学部	法律学科	340名	330名	320名	310名
法学部	自治行政学科	145名	140名	135名	130名
経済学部	経済学科	670名	650名	630名	610名
経済学部	貿易学科	190名	180名	170名	160名
経営学部	国際経営学科	495名	475名	455名	435名
理学部	情報科学学科	120名	115名	110名	105名
理学部	化学科	120名	115名	110名	105名
理学部	応用生物科学学科	120名	115名	110名	105名

附 則（平成13年4月1日改正）

- 1 本学則は平成13年4月1日から施行する。
- 2 本学則第19条の規定にかかわらず、平成13年度から平成15年度までの各年度の入学定員は次のとおりとする。

学部	学科	入学定員		
		平成13年度	平成14年度	平成15年度
法学部	法律学科	330名	320名	310名
法学部	自治行政学科	140名	135名	130名

経済学部	経済学科	650名	630名	610名
経済学部	貿易学科	180名	170名	160名
経営学部	国際経営学科	475名	455名	435名
理学部	情報科学科	115名	110名	105名
理学部	化学科	115名	110名	105名
理学部	生物科学科	115名	110名	105名

- 3 理学部応用生物科学科、工学部電気工学科、第二工学部電気工学科は改正後の本学則第19条の規定にかかわらず、平成13年3月31日に当該学科に在学する者が存在しなくなるまでの間、存続するものとする。

附 則（平成14年4月1日改正）

- 1 本学則は、平成14年4月1日から施行する。

附 則（平成15年4月1日改正）

- 1 本学則は、平成15年4月1日から施行する。

附 則（平成16年4月1日改正）

- 1 本学則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則（平成17年4月1日改正）

- 1 本学則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則（平成18年4月1日改正）

- 1 本学則は、平成18年4月1日から施行する。

- 2 第二法学部法律学科、第二経済学部経済学科及び貿易学科、第二工学部機械工学科及び電気電子情報工学科の学生募集を平成18年4月から停止する。

- 3 本学則第19条の規定にかかわらず、学生募集を停止する前項の各学部・学科の平成18年度から平成21年度までの各年度の収容定員は、次のとおりとする。

学部	学科	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
第二法	法律	300名	200名	100名	0名
第二経済	経済	540名	360名	180名	0名
	貿易	300名	200名	100名	0名
第二工	機械工	240名	160名	80名	0名
	電気電子情報工	240名	160名	80名	0名

- 4 本学則は、施行日以後に第1年次に入学する者から適用し、施行日の前日において在学する者に係る学部、学科の組織、教育課程、卒業要件等については、なお従前の例による。

附 則（平成18年4月1日改正）

- 1 本学則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則（平成19年4月1日改正）

- 1 本学則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成20年4月1日改正）

- 1 本学則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則（平成21年4月1日改正）

- 1 本学則は、平成21年4月1日から施行する。

附 則（平成22年4月1日改正）

- 1 本学則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則（平成23年4月1日改正）

- 1 本学則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則（平成24年4月1日改正）

- 1 本学則は、平成24年4月1日から施行する。

- 2 本学則は、施行日以後に第1年次に入学する者から適用し、施行日の前日において在学する者に係る学部、学科の組織、教育課程、卒業要件等については、なお従前の例による。

附 則（平成25年4月1日改正）

- 1 本学則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則（平成26年2月20日改正）

- 1 本学則は、平成26年2月20日から施行する。ただし、次項の規定は平成18年4月1日から、附則第3項の規定は平成23年4月1日から、附則第4項の規定は平成24年4月1日から適用する。

- 2 平成18年度学則別表第1（第7条関係）教育課程及び履修方法の一部を次のように改正する。

(8) 経営学部国際経営学科専攻科目中に次の授業科目を追加する。

配当群	授業科目の名称	授業を行う年次	単位数又は時間数
選択科目	循環型社会論	3年次	2単位（選択）

- 3 平成23年度学則別表第1（第7条関係）教育課程及び履修方法の一部を次のように改正する。

(2) 経営学部基本科目中の授業科目の名称を次のように改める。

配当群	平成22年度までの授	平成23年度からの授	授業を行う年	単位数又は時間数
-----	------------	------------	--------	----------

	業科目の名称	業科目の名称	次	
外国語科目	朝鮮語Ⅰ	韓国語Ⅰ	1年次	2単位（選択）
外国語科目	朝鮮語Ⅱ	韓国語Ⅱ	1年次	2単位（選択）
外国語科目	朝鮮語Ⅲ	韓国語Ⅲ	1年次	2単位（選択）
外国語科目	朝鮮語Ⅳ	韓国語Ⅳ	1年次	2単位（選択）
外国語科目	上級朝鮮語Ⅰ	上級韓国語Ⅰ	2年次	1単位（選択）
外国語科目	上級朝鮮語Ⅱ	上級韓国語Ⅱ	2年次	1単位（選択）
外国語科目	上級朝鮮語Ⅲ	上級韓国語Ⅲ	2年次	1単位（選択）
外国語科目	上級朝鮮語Ⅳ	上級韓国語Ⅳ	2年次	1単位（選択）

(8) 経営学部国際経営学科専攻科目中の次の授業科目を廃止する。

配当群	授業科目の名称	授業を行う年次	単位数又は時間数
選択科目	一般化学Ⅰ	1年次	2単位（選択）
選択科目	一般化学Ⅱ	1年次	2単位（選択）

4 平成24年度学則別表第1（第7条関係）教育課程及び履修方法の一部を次のように改正する。

(3) 理学部基礎科目中の次の授業科目を廃止する。

配当群	授業科目の名称	授業を行う年次	単位数又は時間数
教養系科目	生物科学の世界	1年次	2単位（選択）

(8) 経営学部国際経営学科専攻科目中の次の授業科目を廃止する。

配当群	授業科目の名称	授業を行う年次	単位数又は時間数
選択科目	経営学特殊講義	3年次	2単位（選択）
選択科目	生物科学の世界	1年次	2単位（選択）

(8) 経営学部国際経営学科専攻科目中に次の授業科目を追加する。

配当群	授業科目の名称	授業を行う年次	単位数又は時間数
選択科目	経営学特殊講義Ⅰ	1年次	2単位（選択）
選択科目	経営学特殊講義Ⅱ	2年次	2単位（選択）
選択科目	経営学特殊講義Ⅲ	2年次	2単位（選択）
選択科目	経営学特殊講義Ⅳ	3年次	2単位（選択）

附 則（平成26年4月1日改正）

1 本学則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則（平成27年4月1日改正）

1 本学則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則（平成28年4月1日改正）

1 本学則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則（平成28年4月28日改正）

1 本学則は、平成28年4月28日から施行する。

附 則（平成29年4月1日改正）

1 本学則は、平成29年4月1日から施行する。

附 則（平成29年12月21日改正）

1 本学則は、平成29年12月21日から施行し、平成28年4月1日から適用する。

附 則（平成30年4月1日改正）

1 本学則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則（平成31年4月1日改正）

1 本学則は、平成31年4月1日から施行する。

附 則（令和2年4月1日改正）

1 本学則は、令和2年4月1日から施行する。

2 本学則は、施行日以後に第1年次に入学する者から適用し、施行日の前日において在学する者に係る学部、学科の組織、教育課程、卒業要件等については、なお従前の例による。

附 則（令和2年7月9日改正）

1 本学則は、令和2年7月9日から施行し、令和2年4月1日から適用する。

附 則（令和3年2月25日改正）

1 本学則は、令和3年2月25日から施行し、令和2年4月1日から適用する。

附 則（令和3年4月1日改正）

1 本学則は、令和3年4月1日から施行する。

附 則（令和4年4月1日改正）

1 本学則は、令和4年4月1日から施行する。

2 本学則は、施行日以後に第1年次に入学する者から適用し、施行日の前日において在学する者に係る学部、学科の組織、教育課程、卒業要件等については、なお従前の例による。

附 則（令和5年4月1日改正）

1 本学則は、令和5年4月1日から施行する。

2 本学則は、施行日以後に第1年次に入学する者から適用し、施行日の前日において在学する者に係る学部、学科の組織、教育課程、卒業要件等については、なお従前の例による。

別表第1（第7条関係）教育課程及び履修方法

(1) 法学部・経済学部・経営学部・外国語学部・国際日本学部・人間科学部・理学部・工学部・建築学部・化学生命学部・情報学部 共通教養科目

① 外国語科目を除く共通教養科目

授 業 科 目 の 名 称				授業を行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数
					必修	選択	自由	
共通教養科目	共通基盤科目	初年次ゼミナール	F Y S	1	2			2単位
		教養基礎演習	文章表現基礎演習 教養データサイエンス	1・2・3・4 1・2・3・4		2 2		各学科の規定による
		人文の分野	哲学	1・2・3・4		2		各学科の規定による
			倫理学	1・2・3・4		2		
			宗教学	1・2・3・4		2		
			心理学	1・2・3・4		2		
			文学	1・2・3・4		2		
			日本語学	1・2・3・4		2		
			言語学	1・2・3・4		2		
			世界史	1・2・3・4		2		
			日本史	1・2・3・4		2		
			民俗学	1・2・3・4		2		
			考古学	1・2・3・4		2		
			文化人類学	1・2・3・4		2		
		社会の分野	社会学	1・2・3・4		2		各学科の規定による
			人文地理学	1・2・3・4		2		
			国際関係概論	1・2・3・4		2		
			法学	1・2・3・4		2		
			日本国憲法	1・2・3・4		2		
			政治学	1・2・3・4		2		
			社会心理学	1・2・3・4		2		
			経済学	1・2・3・4		2		
			ジェンダー論	1・2・3・4		2		
			ボランティア論	1・2・3・4		2		
			経営学	1・2・3・4		2		
			生涯学習論	1・2・3・4		2		
		◇日本事情	1・2・3・4		2			
		自然の分野	基礎数学	1・2・3・4		2		各学科の規定による
			数学	1・2・3・4		2		
			統計学	1・2・3・4		2		
			基礎物理学	1・2・3・4		2		
			物理学	1・2・3・4		2		
			基礎化学	1・2・3・4		2		
			化学	1・2・3・4		2		
			基礎生物学	1・2・3・4		2		
			生物学	1・2・3・4		2		
			コンピュータ概論	1・2・3・4		2		
			物理科学	1・2・3・4		2		
			生命科学	1・2・3・4		2		
		科学技術史	1・2・3・4		2			
		人間形成の分野	キャリアデザイン	1・2・3・4		2		各学科の規定による
			国内インターンシップ	1・2・3・4		2		
	海外インターンシップ		1・2・3・4		2			
	体験型研修		1・2・3・4		2			
	手話入門		1・2・3・4		2			
	神奈川大学の歴史		1・2・3・4		2			
	健康科学とスポーツⅠ		1・2・3・4		1			
	健康科学とスポーツⅡ		1・2・3・4		1			
	教養スポーツ		1・2・3・4		1			
	公衆衛生		1・2・3・4		2			
	芸術		1・2・3・4		2			
	共通テーマ科目		現代社会と市民	社会と人間 科学技術と社会 世界の中の日本 公共の新しいかたちをもとめて 社会生活とスポーツ 環境と社会 科学の世界	1・2・3・4 1・2・3・4 1・2・3・4 1・2・3・4 1・2・3・4 1・2・3・4 1・2・3・4		2 2 2 2 2 2 2	

◇印は外国人留学生（外国高等学校在学経験者[帰国生徒等]を含む。）を対象とした科目を示す

② 外国語科目

授 業 科 目 の 名 称				授業を行う 年次	単位数又は時間			卒業要件 単位数
					必修	選択	自由	
共通教養科目	共通基盤科目	外国語科目	英語	□1 英語Ⅰ（基礎）	1	2		各 学 科 の 規 定 に よ る
				□1 英語Ⅰ（初級）	1	2		
				□1 英語Ⅰ（中級）	1	2		
				□1 英語Ⅰ（上級）	1	2		
				□1 英語Ⅱ（基礎）	1	2		
				□1 英語Ⅱ（初級）	1	2		
				□1 英語Ⅱ（中級）	1	2		
				□1 英語Ⅱ（上級）	1	2		
				□1 英語Ⅲ（基礎）	1・2	2		
				□1 英語Ⅲ（初級）	1・2	2		
				□1 英語Ⅲ（中級）	1・2	2		
				□1 英語Ⅲ（上級）	1・2	2		
				□1 英語Ⅳ（基礎）	1・2	2		
				□1 英語Ⅳ（初級）	1・2	2		
				□1 英語Ⅳ（中級）	1・2	2		
				□1 英語Ⅳ（上級）	1・2	2		
				□2 英語Ⅰ（Listening）	1	1		
				□2 英語Ⅱ（Listening）	1	1		
				□2 英語Ⅰ（Speaking）	1	1		
				□2 英語Ⅱ（Speaking）	1	1		
				□3 英語Ⅰ（Reading）	2	1		
				□3 英語Ⅱ（Reading）	2	1		
				□3 英語Ⅰ（Writing）	1・2	1		
				□3 英語Ⅱ（Writing）	1・2	1		
				□4 英語Ⅰ（総合）	1	2		
				□4 英語Ⅱ（総合）	1	2		
				□4 英語Ⅲ（総合）	2	2		
				□4 英語Ⅳ（総合）	2	2		
				□5-1 英語Ⅰ（再入門）	2・3・4	1		
				□5-2 英語Ⅱ（再入門）	2・3・4	1		
				□5-3 英語Ⅲ（再入門）	2・3・4	1		
				□5-4 英語Ⅳ（再入門）	2・3・4	1		
				□6 実用英語Ⅰ	2	1		
				□6 実用英語Ⅱ	2	1		
				□6 実用英語Ⅲ	3	1		
				□6 実用英語Ⅳ	3	1		
				□7 科学技術英語Ⅰ	2	2		
				□7 科学技術英語Ⅱ	2	2		
				□8 英語会話（初級Ⅰ）	1・2・3・4	1		
				□8 英語会話（初級Ⅱ）	1・2・3・4	1		
				□8 英語会話（中級Ⅰ）	1・2・3・4	1		
				□8 英語会話（中級Ⅱ）	1・2・3・4	1		
				□8 英語会話（上級Ⅰ）	1・2・3・4	1		
				□8 英語会話（上級Ⅱ）	1・2・3・4	1		
				□8 TOEIC演習（初級Ⅰ）	1・2・3・4	1		
				□8 TOEIC演習（初級Ⅱ）	1・2・3・4	1		
				□8 TOEIC演習（中級Ⅰ）	1・2・3・4	1		
				□8 TOEIC演習（中級Ⅱ）	1・2・3・4	1		
				□8 TOEIC演習（上級Ⅰ）	1・2・3・4	1		
				□8 TOEIC演習（上級Ⅱ）	1・2・3・4	1		
				□8 TOEFL演習（初級Ⅰ）	1・2・3・4	1		
				□8 TOEFL演習（初級Ⅱ）	1・2・3・4	1		
				□8 特修英語（中級Ⅰ）	2・3・4	1		
				□8 特修英語（中級Ⅱ）	2・3・4	1		
				□8 特修英語（中級Ⅲ）	2・3・4	1		
				□8 特修英語（中級Ⅳ）	2・3・4	1		
				□8 特修英語（上級Ⅰ）	2・3・4	1		
				□8 特修英語（上級Ⅱ）	2・3・4	1		
				□8 特修英語（上級Ⅲ）	2・3・4	1		
				□8 特修英語（上級Ⅳ）	2・3・4	1		

授 業 科 目 の 名 称				授業を行う年次	単位数又は時間			卒業要件 単位数
					必修	選択	自由	
共通教養科目	共通基盤科目	外国語科目	英語	□9 留学英語準備講座Ⅰ	1・2・3・4		2	各 学 科 の 規 定 に よ る
			英語	□9 留学英語準備講座Ⅱ	1・2・3・4		2	
			英語	□9 留学英語準備講座Ⅲ	1・2・3・4		2	
			英語	□9 留学英語準備講座Ⅳ	1・2・3・4		2	
			韓国語	□10 初級韓国語Ⅰa	1・2・3・4		1	
				□10 初級韓国語Ⅰb	1・2・3・4		1	
				□10 初級韓国語Ⅱa	1・2・3・4		1	
				□10 初級韓国語Ⅱb	1・2・3・4		1	
				□10 初級韓国語Ⅲa	1・2・3・4		1	
				□10 初級韓国語Ⅲb	1・2・3・4		1	
				□10 初級韓国語Ⅳa	1・2・3・4		1	
				□10 初級韓国語Ⅳb	1・2・3・4		1	
				□10 中級韓国語Ⅰa	1・2・3・4		1	
				□10 中級韓国語Ⅰb	1・2・3・4		1	
				□10 中級韓国語Ⅱa	1・2・3・4		1	
				□10 中級韓国語Ⅱb	1・2・3・4		1	
				□10 中級韓国語Ⅲa	1・2・3・4		1	
				□10 中級韓国語Ⅲb	1・2・3・4		1	
				□10 中級韓国語Ⅳa	1・2・3・4		1	
				□10 中級韓国語Ⅳb	1・2・3・4		1	
				□10 上級韓国語Ⅰ	2・3・4		1	
				□10 上級韓国語Ⅱ	2・3・4		1	
				□10 上級韓国語Ⅲ	2・3・4		1	
				□10 上級韓国語Ⅳ	2・3・4		1	
				□10 特修韓国語Ⅰ	1・2・3・4		1	
				□10 特修韓国語Ⅱ	2・3・4		1	
			スペイン語	□10 初級スペイン語Ⅰa	1・2・3・4		1	
				□10 初級スペイン語Ⅰb	1・2・3・4		1	
				□10 初級スペイン語Ⅱa	1・2・3・4		1	
				□10 初級スペイン語Ⅱb	1・2・3・4		1	
				□10 初級スペイン語Ⅲa	1・2・3・4		1	
				□10 初級スペイン語Ⅲb	1・2・3・4		1	
				□10 初級スペイン語Ⅳa	1・2・3・4		1	
				□10 初級スペイン語Ⅳb	1・2・3・4		1	
				□10 中級スペイン語Ⅰa	1・2・3・4		1	
				□10 中級スペイン語Ⅰb	1・2・3・4		1	
				□10 中級スペイン語Ⅱa	1・2・3・4		1	
				□10 中級スペイン語Ⅱb	1・2・3・4		1	
				□10 中級スペイン語Ⅲa	1・2・3・4		1	
				□10 中級スペイン語Ⅲb	1・2・3・4		1	
				□10 中級スペイン語Ⅳa	1・2・3・4		1	
				□10 中級スペイン語Ⅳb	1・2・3・4		1	
				□10 上級スペイン語Ⅰ	2・3・4		1	
				□10 上級スペイン語Ⅱ	2・3・4		1	
				□10 上級スペイン語Ⅲ	2・3・4		1	
				□10 上級スペイン語Ⅳ	2・3・4		1	
				□10 特修スペイン語Ⅰ	1・2・3・4		1	
				□10 特修スペイン語Ⅱ	2・3・4		1	
			中国語	□10 初級中国語Ⅰa	1・2・3・4		1	
				□10 初級中国語Ⅰb	1・2・3・4		1	
				□10 初級中国語Ⅱa	1・2・3・4		1	
				□10 初級中国語Ⅱb	1・2・3・4		1	
				□10 初級中国語Ⅲa	1・2・3・4		1	
				□10 初級中国語Ⅲb	1・2・3・4		1	
				□10 初級中国語Ⅳa	1・2・3・4		1	
				□10 初級中国語Ⅳb	1・2・3・4		1	
				□10 中級中国語Ⅰa	1・2・3・4		1	
				□10 中級中国語Ⅰb	1・2・3・4		1	
				□10 中級中国語Ⅱa	1・2・3・4		1	
				□10 中級中国語Ⅱb	1・2・3・4		1	
				□10 中級中国語Ⅲa	1・2・3・4		1	
				□10 中級中国語Ⅲb	1・2・3・4		1	
				□10 中級中国語Ⅳa	1・2・3・4		1	
				□10 中級中国語Ⅳb	1・2・3・4		1	
				□10 上級中国語Ⅰ	2・3・4		1	
				□10 上級中国語Ⅱ	2・3・4		1	
				□10 上級中国語Ⅲ	2・3・4		1	
				□10 上級中国語Ⅳ	2・3・4		1	
				□10 特修中国語Ⅰ	1・2・3・4		1	
				□10 特修中国語Ⅱ	2・3・4		1	

授 業 科 目 の 名 称				授業を行う年次	単位数又は時間			卒業要件 単位数
					必修	選択	自由	
共通教養科目	共通基盤科目	外国語科目	ドイツ語	☐ 10 初級ドイツ語Ⅰa	1・2・3・4	1		各学科の規定による
				☐ 10 初級ドイツ語Ⅰb	1・2・3・4	1		
				☐ 10 初級ドイツ語Ⅱa	1・2・3・4	1		
				☐ 10 初級ドイツ語Ⅱb	1・2・3・4	1		
				☐ 10 初級ドイツ語Ⅲa	1・2・3・4	1		
				☐ 10 初級ドイツ語Ⅲb	1・2・3・4	1		
				☐ 10 初級ドイツ語Ⅳa	1・2・3・4	1		
				☐ 10 初級ドイツ語Ⅳb	1・2・3・4	1		
				☐ 10 中級ドイツ語Ⅰa	1・2・3・4	1		
				☐ 10 中級ドイツ語Ⅰb	1・2・3・4	1		
				☐ 10 中級ドイツ語Ⅱa	1・2・3・4	1		
				☐ 10 中級ドイツ語Ⅱb	1・2・3・4	1		
				☐ 10 中級ドイツ語Ⅲa	1・2・3・4	1		
				☐ 10 中級ドイツ語Ⅲb	1・2・3・4	1		
				☐ 10 中級ドイツ語Ⅳa	1・2・3・4	1		
				☐ 10 中級ドイツ語Ⅳb	1・2・3・4	1		
				☐ 10 上級ドイツ語Ⅰ	2・3・4	1		
				☐ 10 上級ドイツ語Ⅱ	2・3・4	1		
				☐ 10 上級ドイツ語Ⅲ	2・3・4	1		
				☐ 10 上級ドイツ語Ⅳ	2・3・4	1		
				☐ 10 特修ドイツ語Ⅰ	1・2・3・4	1		
				☐ 10 特修ドイツ語Ⅱ	2・3・4	1		
			フランス語	☐ 10 初級フランス語Ⅰa	1・2・3・4	1		
				☐ 10 初級フランス語Ⅰb	1・2・3・4	1		
				☐ 10 初級フランス語Ⅱa	1・2・3・4	1		
				☐ 10 初級フランス語Ⅱb	1・2・3・4	1		
				☐ 10 初級フランス語Ⅲa	1・2・3・4	1		
				☐ 10 初級フランス語Ⅲb	1・2・3・4	1		
				☐ 10 初級フランス語Ⅳa	1・2・3・4	1		
				☐ 10 初級フランス語Ⅳb	1・2・3・4	1		
				☐ 10 中級フランス語Ⅰa	1・2・3・4	1		
				☐ 10 中級フランス語Ⅰb	1・2・3・4	1		
				☐ 10 中級フランス語Ⅱa	1・2・3・4	1		
				☐ 10 中級フランス語Ⅱb	1・2・3・4	1		
				☐ 10 中級フランス語Ⅲa	1・2・3・4	1		
				☐ 10 中級フランス語Ⅲb	1・2・3・4	1		
				☐ 10 中級フランス語Ⅳa	1・2・3・4	1		
				☐ 10 中級フランス語Ⅳb	1・2・3・4	1		
				☐ 10 上級フランス語Ⅰ	2・3・4	1		
				☐ 10 上級フランス語Ⅱ	2・3・4	1		
				☐ 10 上級フランス語Ⅲ	2・3・4	1		
				☐ 10 上級フランス語Ⅳ	2・3・4	1		
				☐ 10 特修フランス語Ⅰ	1・2・3・4	1		
				☐ 10 特修フランス語Ⅱ	2・3・4	1		
			ロシア語	☐ 10 初級ロシア語Ⅰa	1・2・3・4	1		
				☐ 10 初級ロシア語Ⅰb	1・2・3・4	1		
				☐ 10 初級ロシア語Ⅱa	1・2・3・4	1		
				☐ 10 初級ロシア語Ⅱb	1・2・3・4	1		
				☐ 10 初級ロシア語Ⅲa	1・2・3・4	1		
				☐ 10 初級ロシア語Ⅲb	1・2・3・4	1		
				☐ 10 初級ロシア語Ⅳa	1・2・3・4	1		
				☐ 10 初級ロシア語Ⅳb	1・2・3・4	1		
				☐ 10 中級ロシア語Ⅰa	1・2・3・4	1		
				☐ 10 中級ロシア語Ⅰb	1・2・3・4	1		
				☐ 10 中級ロシア語Ⅱa	1・2・3・4	1		
				☐ 10 中級ロシア語Ⅱb	1・2・3・4	1		
				☐ 10 中級ロシア語Ⅲa	1・2・3・4	1		
				☐ 10 中級ロシア語Ⅲb	1・2・3・4	1		
				☐ 10 中級ロシア語Ⅳa	1・2・3・4	1		
				☐ 10 中級ロシア語Ⅳb	1・2・3・4	1		
				☐ 10 上級ロシア語Ⅰ	2・3・4	1		
				☐ 10 上級ロシア語Ⅱ	2・3・4	1		
				☐ 10 上級ロシア語Ⅲ	2・3・4	1		
				☐ 10 上級ロシア語Ⅳ	2・3・4	1		
				☐ 10 特修ロシア語Ⅰ	1・2・3・4	1		
				☐ 10 特修ロシア語Ⅱ	2・3・4	1		

授 業 科 目 の 名 称					授業を行う年次	単位数又は時間			卒業要件 単位数
						必修	選択	自由	
共通 教養 科目	共通 基盤 科目	外国 語科 目	日 本 語	* 日本語Ⅰa	1・2・3・4		1		各 学 科 の 規 定 に よ る
				* 日本語Ⅰb	1・2・3・4		1		
				* 日本語Ⅱa	1・2・3・4		1		
				* 日本語Ⅱb	1・2・3・4		1		
				* 日本語Ⅲa	1・2・3・4		1		
				* 日本語Ⅲb	1・2・3・4		1		
				* 日本語Ⅳa	1・2・3・4		1		
				* 日本語Ⅳb	1・2・3・4		1		
				* 日本語演習Ⅰ	2・3・4		1		
				* 日本語演習Ⅱ	2・3・4		1		
				* 日本語演習Ⅲ	2・3・4		1		
				☆ 日本語特別演習（基礎）AⅠ	1・2・3・4		1		
				☆ 日本語特別演習（基礎）AⅡ	1・2・3・4		1		
				☆ 日本語特別演習（作文）AⅠ	1・2・3・4		1		
				☆ 日本語特別演習（作文）AⅡ	1・2・3・4		1		
				☆ 日本語特別演習（応用）AⅠ	1・2・3・4		1		
				☆ 日本語特別演習（応用）AⅡ	1・2・3・4		1		
				☆ 日本語特別演習（知識）AⅠ	1・2・3・4		1		
				☆ 日本語特別演習（知識）AⅡ	1・2・3・4		1		
				☆ 日本語特別演習（理解）AⅠ	1・2・3・4		1		
				☆ 日本語特別演習（理解）AⅡ	1・2・3・4		1		

- 1 ☐ 1印は、経営学部、理学部を対象とした習熟度別クラス英語
- 2 ☐ 2印は、法学部、経済学部、外国語学部（英語英文学科を除く）、国際
日本学部、人間科学部、工学部（応用物理学科を除く）、建築学部、
化学生命学部、情報学部を対象とした習熟度別クラス英語
- 3 ☐ 3印は、法学部、経済学部、外国語学部（英語英文学科を除く）、国際
日本学部、人間科学部、電気電子情報工学科、建築学部、計算機科学科、
先端情報領域プログラムを対象とした習熟度別クラス英語
- 4 ☐ 4印は、応用物理学科を対象とした習熟度別クラス英語
- 5 ☐ 5-1印は、「英語Ⅰ（Listening）」、「英語Ⅱ（Listening）」の再履修科目
☐ 5-2印は、「英語Ⅰ（Speaking）」、「英語Ⅱ（Speaking）」の再履修科目
☐ 5-3印は、「英語Ⅰ（Reading）」、「英語Ⅱ（Reading）」の再履修科目
☐ 5-4印は、「英語Ⅰ（Writing）」、「英語Ⅱ（Writing）」の再履修科目
- 6 ☐ 6印は、機械工学科、経営工学科、システム数理学科を対象とした
クラス英語
- 7 ☐ 7印は、化学生命学部を対象としたクラス英語
- 8 ☐ 8印は、選択英語であり、全学部（英語英文学科を除く）を対象とした科目
- 9 ☐ 9印は、選択英語であり、全学部を対象とした科目
ただし、プレイスメントテスト上位者等から選抜され受講を希望する者が
対象
- 10 ☐ 10印は、全学部を対象とした科目
ただし、「スペイン語」はスペイン語学科を、「中国語」は中国語学科を除く
「初級韓国語Ⅲa・Ⅲb・Ⅳa・Ⅳb」、「初級スペイン語Ⅲa・Ⅲb・Ⅳa・Ⅳb」、
「初級中国語Ⅲa・Ⅲb・Ⅳa・Ⅳb」、「初級ドイツ語Ⅲa・Ⅲb・Ⅳa・Ⅳb」、
「初級フランス語Ⅲa・Ⅲb・Ⅳa・Ⅳb」、「初級ロシア語Ⅲa・Ⅲb・Ⅳa・Ⅳb」
は理学部、工学部、建築学部、化学生命学部、情報学部を除く
- 11 *印は、外国人留学生〔外国高等学校在学経験者（帰国生徒等）を含む〕
（国際文化交流学科を除く）を対象とした科目
- 12 ☆印は、受入交換留学生を対象とした科目
- 13 視覚・聴覚障がい等のために必修の英語科目の受講が困難な者には、他の
英語科目で代替することができる

(2) 法学部 法律学科 専攻科目

① 法律職コース

授 業 科 目 の 名 称						授業を 行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数	
							必修	選択	自由		
専攻科目	A群科目	憲		法		I	1		2	28単位以上	専攻科目から86単位以上
		民	事	法	入	II	1		2		
		刑	事	法	入	門	1		2		
		民	事	法	基	門	1		2		
		民	法	基	礎	A	1		4		
		民	法	基	礎	B	2		4		
		憲	法	基	礎	C	2		4		
		憲		法		III	2		2		
		刑		法		IV	2		2		
		刑		法		I	2		2		
		刑		法		II	2		2		
		刑		法		III	3		2		
		刑		法		IV	3		2		
		行	政		法	I	3		2		
		行	政		法	II	3		2		
		民	法	応	用	A	3		2		
		民	法	応	用	B	3		2		
		民	法	応	用	C	3		2		
		家	族	法		I	3		2		
		家	族	法		II	3		2		
		民	事	訴訟	法	点	3		2		
		民	事	訴訟	法	研究	3		4		
		民	事	訴訟	法	I	2		2		
		民	事	訴訟	法	II	2		2		
	B群科目	法	学	部	入	門	演	習	1	2	
		政	治	業	入	特	門	講	1	2	
		企	業	部	基	礎	演	習	1	2	
		法	学	部	基	礎	演	習	1	2	
		法	学	部	基	礎	演	習	2	2	
自		治	体	法		I	2	2			
自		治	体	法		II	2	2			
環		境		法		I	2	2			
環		境		法		II	2	2			
基		本	行	政		学	2	2			
応		本	行	政		学	2	2			
日		本	政		治	I	2	2			
会		社	法		II	2	2	2			
会		社	法		I	2	2	2			
国		際	法		II	2	2	2			
国		際	政	治	学	I	2	2			
国		際	政	治	学	II	2	2			
憲		法	論	点	研	究	I	3	2		
搜				査		法	3	2			
少				年		法	3	2			
刑		事		政	策	I	3	2			
刑		事		政	策	II	3	2			
税				法		I	3	2			
税				法		II	3	2			
社		会	保	障	法	I	3	2			
社		会	保	障	法	II	3	2			
防		災	行	政	と	ま	ち	づ	く		
防		災	法	・	危	機	管	理	法		
商				法		I	3	2			
商				法		II	3	2			
労		働		法		I	3	2			
労		働		法		II	3	2			
民		事	執	行	・	保	全	法	3		
倒		産	処	理		法	3	2			
国		際	協	力	論	I	3	2			
国	際	協	力	論	II	3	2				

[illegible]

授 業 科 目 の 名 称		授業を 行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数	
			必修	選択	自由		
専攻科目	C群科目	法律学特講 C	3	2			
		法律学特講 D	3	2			
		政治学特講 IV	3	2			
		政治学特講 V	3	2			
		行政学特講 I	3	2			
		行政学特講 II	3	2			
		手形・小切手法	4	2			
		法学政治学英語特講 I	1・2	2			
		法学政治学英語特講 II	1・2	2			
		法学政治学英語特講 III	1・2	2			
		法学政治学英語特講 IV	1・2	2			
		法学政治学英語特講 V	1・2	2			
		法学政治学英語特講 VI	1・2	2			
		法律学特修 I	2	2			
		法律学特修 II	2	2			
		Global Perspective Program 特修	2	2			
		警察官実務特修 I	2	2			
		自治体実務特修 I	2	2			
		自治体実務特修 II	2	2			
		法律学特修 III	3・4	2			
		法律学特修 IV	3・4	2			
		法律学特修 V	3・4	2			
		法律学特修 VI	3・4	2			
		警察官実務特修 II	3・4	2			
		警察官実務特修 III	3・4	2			
		警察官実務特修 IV	3・4	2			
		自治体実務特修 III	3・4	2			
		自治体実務特修 IV	3・4	2			
		企業法務実務特修 I	3・4	2			
		企業法務実務特修 II	3・4	2			
	関連科目	情報処理解 I	1・2・3・4	2		C群科目及び関連科目から30単位以上	専攻科目から86単位以上
		情報処理解 II	1・2・3・4	2			
		日本史概論 I	1・2・3・4	2			
		日本史概論 II	1・2・3・4	2			
		外国史概論 I	1・2・3・4	2			
		外国史概論 II	1・2・3・4	2			
		人文地理学概論 I	1・2・3・4	2			
		人文地理学概論 II	1・2・3・4	2			
		経済地理学概論 I	1・2・3・4	2			
		経済地理学概論 II	1・2・3・4	2			
		自然地理学概論 I	1・2・3・4	2			
		自然地理学概論 II	1・2・3・4	2			
		自地地理学(学含地誌)	1・2・3・4	2			
		社会学概論 I	1・2・3・4	2			
		社会学概論 II	1・2・3・4	2			
		社会学概論 I	1・2・3・4	2			
		社会学概論 II	1・2・3・4	2			
		ミクロ経済学 I	1・2・3・4	4			
		ミクロ経済学 II	1・2・3・4	2			
		日本文経論 I	1・2・3・4	2			
		日本文経論 II	1・2・3・4	2			
		世界経済学 I	1・2・3・4	4			
		マクロ経済学 I	1・2・3・4	2			
		マクロ経済学 II	1・2・3・4	2			
		社会経済学 I	1・2・3・4	4			
		社会経済学 II	1・2・3・4	4			
		経西洋経済史 I	1・2・3・4	2			
		経西洋経済史 II	1・2・3・4	2			
		西財政学 I	1・2・3・4	2			
		西財政学 II	1・2・3・4	2			
		金融融論 I	1・2・3・4	4			
		金融融論 II	1・2・3・4	2			
		経営学総論 I	1・2・3・4	2			
		経営学総論 II	1・2・3・4	2			
		経営学総論 I	1・2・3・4	2			
		経営学総論 II	1・2・3・4	2			
		社会税務會計論 I	1・2・3・4	2			
		社会税務會計論 II	1・2・3・4	2			
		社会税務會計論 I	1・2・3・4	2			
		社会税務會計論 II	1・2・3・4	2			

〔履修要件〕

- 1 1・2年次は、上位年次の授業科目(関連科目を除く)を履修することはできない。
- 2 同一授業科目は、重複して履修することはできない。
- 3 科目によっては履修資格や人数が制限される場合があるので注意すること。
- 4 共通教養科目の「日本国憲法」は、教職課程登録者のみ履修することができる。
- 5 各セメスターにおいて履修登録できる単位数は、22単位以内とする。
- 6 長期履修学生制度適用者が各セメスターにおいて履修登録できる単位数は、16単位以内とする。
- 7 通年科目を履修する場合は、その科目の単位数を二分割し、前学期・後学期それぞれの学期の単位数として換算する。
- 8 各種課程に関する科目及び教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等（各科目の指導法を含む）」の単位数は、上記5・6の制限の枠外とする。
- 9 「Global Perspective Program」受講者は○印の科目を2年次に履修することを認める。
- 10 「法学部基礎演習Ⅰ」は1年次、「法学部基礎演習Ⅱ」は2年次で履修するものとする。ただし、特別に担当教員及び法学部長の許可を得た者は、この限りではない。

〔コース制〕

- 1 2年次当初に「法律職コース」、「ビジネス法コース」、「現代社会コース」のうち、いずれかのコースを選択しなければならない。
- 2 コースの変更を希望する者は、3年次当初または4年次当初に「コース変更届」を提出すること。年度途中での変更は認めない。

〔学外単位認定制度〕

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、卒業要件単位に算入することができる。なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各セメスターの履修制限単位数に含める。

- 1 本学が主催または推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
- 2 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続きにより認定された単位。
- 3 横浜市内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。

〔法律学科卒業要件〕

共通教養科目								共通教養科目合計	専攻科目				自由選択科目	合計	
共通基盤科目							共通テーマ科目		A群	B群	C群	関連科目			専攻科目合計
初年次ゼミナール	外国語科目（英語）	教養基礎演習	人文の分野	社会の分野	自然の分野	人間形成の分野	現代社会と市民								
2	8		4	4	4	2	2	32	28	28	30	86	6	124	
		6													

- 1 4年以上（長期履修学生制度適用者については6年以上）在学し、学則所定の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。
- 2 共通教養科目については、次の単位を含めて32単位以上修得すること。
 - (1) 初年次ゼミナール2単位（必修）。
 - (2) 「外国語科目」から「英語」を8単位以上。ただし、外国人留学生及び外国高等学校在学経験者（帰国生徒等）は申請により、「英語」に換えて4～6単位を「日本語」とすることができる。なお、8単位に不足する単位は「英語」で補うものとする。
 - (3) 人文・社会・自然の各分野からそれぞれ4単位以上。
 - (4) 人間形成の分野から2単位以上。
 - (5) 「共通テーマ科目」から2単位以上。
 - (6) 教養基礎演習、人文・社会・自然・人間形成の各分野及び共通テーマ科目から規定の単位数を超えて6単位以上。
 - (7) 人間形成の分野のうち「キャリアデザイン」、「国内インターンシップ」及び「海外インターンシップ」の単位は、卒業要件単位としては計2単位までしか算入できない。
- 3 専攻科目から次の内訳で計86単位以上修得すること。
 - (1) A群から28単位以上修得すること。
 - (2) B群から28単位以上修得すること。

(3) C群及び関連科目から 30 単位以上修得すること。

なお、A群の「卒業要件単位数」を超える単位はB群に換算できる。また、換算した単位を含めてB群の「卒業要件単位数」を超える単位はC群に換算できる。

4 自由選択科目の単位として、6 単位以上修得すること。自由選択科目の単位として算入できるものは、次のとおりとする。

(1) 共通教養科目・専攻科目の各「卒業要件単位数」を超える単位。

(2) 自治行政学科・他学部開講の専攻科目の単位。ただし、他学部他学科が受講を認めない科目は履修することができない。

(3) 教職課程登録者が修得した教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等（各科目の指導法を含む）」の単位。ただし、6 単位を上限とする。

② ビジネス法コース

授 業 科 目 の 名 称			授業を 行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数		
				必修	選択	自由			
専攻科目	A群科目	憲法	I	1		2	28単位以上	専攻科目から86単位以上	
		民法	II	1		2			
		民法	I	1		2			
		民法	I	1		2			
		民法	A	1		4			
		民法	B	2		4			
		民法	C	2		4			
		民法	III	2		2			
		民法	IV	2		2			
		民法	I	2		2			
		民法	II	2		2			
		民法	I	2		2			
		民法	II	2		2			
		民法	I	3		2			
		民法	II	3		2			
	B群科目	民法	I	3		2			
		民法	II	3		2			
		民法	I	3		2			
		民法	II	3		2			
		民法	I	3		2			
		民法	II	3		2			
		民法	I	3		2			
		民法	II	3		2			
		民法	I	3		2			
		民法	II	3		2			
		民法	I	3		2			
		民法	II	3		2			
		民法	I	3		2			
		民法	II	3		2			
		民法	I	3		2			
		民法	II	3		2			
		民法	I	3		2			
		民法	II	3		2			
		民法	I	3		2			
		民法	II	3		2			
		民法	I	3		2			
		民法	II	3		2			
		C群科目	民法	II	4		2		C群科目及び関連科目から30単位以上
			民法	I	2		2		
民法	II		3		4				
民法	III		4		4				
民法	A		1		2				
民法	I		1		2				
民法	II		2		2				
民法	I		2		2				
民法	II		2		2				
民法	I		2		2				
民法	II		2		2				
民法	I		2		2				
民法	II		2		2				
民法	I		2		2				
民法	II		2		2				
民法	I		2		2				
民法	II		2		2				
民法	I		2		2				
民法	II		2		2				
民法	I		2		2				
民法	II		2		2				
民法	I		2		2				
民法	II		2		2				

[illegible]

授 業 科 目 の 名 称			授業を 行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数	
				必修	選択	自由		
専 攻 科 目	関連科目	情報	I	1・2・3・4	2		C群科目及び関連科目から30単位以上	専攻科目から86単位以上
		情報	II	1・2・3・4	2			
		本	I	1・2・3・4	2			
		本	II	1・2・3・4	2			
		国	I	1・2・3・4	2			
		国	II	1・2・3・4	2			
		経	I	1・2・3・4	2			
		経	II	1・2・3・4	2			
		人	I	1・2・3・4	2			
		人	II	1・2・3・4	2			
		自	I	1・2・3・4	2			
		自	II	1・2・3・4	2			
		地	I	1・2・3・4	2			
		地	II	1・2・3・4	2			
		社	I	1・2・3・4	2			
		社	II	1・2・3・4	2			
		哲	I	1・2・3・4	2			
		哲	II	1・2・3・4	2			
		ミ	I	1・2・3・4	4			
		ミ	II	1・2・3・4	2			
		日	I	1・2・3・4	2			
		日	II	1・2・3・4	4			
		世	I	1・2・3・4	2			
		世	II	1・2・3・4	2			
		マ	I	1・2・3・4	2			
		マ	II	1・2・3・4	2			
		一	I	1・2・3・4	2			
		一	II	1・2・3・4	2			
		財	I	1・2・3・4	2			
		財	II	1・2・3・4	2			
		連	I	1・2・3・4	4			
		連	II	1・2・3・4	2			
		経	I	1・2・3・4	2			
		経	II	1・2・3・4	2			
		社	I	1・2・3・4	2			
		社	II	1・2・3・4	2			
		西	I	1・2・3・4	2			
		西	II	1・2・3・4	2			
		財	I	1・2・3・4	2			
		財	II	1・2・3・4	2			
		金	I	1・2・3・4	4			
		金	II	1・2・3・4	2			
		税	I	1・2・3・4	2			
		税	II	1・2・3・4	4			
		会	I	1・2・3・4	2			
		会	II	1・2・3・4	4			
		社	I	1・2・3・4	2			
		社	II	1・2・3・4	2			
		経	I	1・2・3・4	2			
		経	II	1・2・3・4	2			

〔履修要件〕

- 1 1・2年次は、上位年次の授業科目(関連科目を除く)を履修することはできない。
- 2 同一授業科目は、重複して履修することはできない。
- 3 科目によっては履修資格や人数が制限される場合があるので注意すること。
- 4 共通教養科目の「日本国憲法」は、教職課程登録者のみ履修することができる。
- 5 各セメスターにおいて履修登録できる単位数は、22単位以内とする。
- 6 長期履修学生制度適用者が各セメスターにおいて履修登録できる単位数は、16単位以内とする。
- 7 通年科目を履修する場合は、その科目の単位数を二分割し、前学期・後学期それぞれの学期の単位数として換算する。
- 8 各種課程に関する科目及び教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等（各科目の指導法を含む）」の単位数は、上記5・6の制限の枠外とする。
- 9 「Global Perspective Program」受講者は○印の科目を2年次に履修することを認める。
- 10 「法学部基礎演習Ⅰ」は1年次、「法学部基礎演習Ⅱ」は2年次で履修するものとする。ただし、特別に担当教員及び法学部長の許可を得た者は、この限りではない。

〔コース制〕

- 1 2年次当初に「法律職コース」、「ビジネス法コース」、「現代社会コース」のうち、いずれかのコースを選択しなければならない。
- 2 コースの変更を希望する者は、3年次当初または4年次当初に「コース変更届」を提出すること。年度途中での変更は認めない。

〔学外単位認定制度〕

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、卒業要件単位に算入することができる。なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各セメスターの履修制限単位数に含める。

- 1 本学が主催または推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
- 2 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続きにより認定された単位。
- 3 横浜市内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。

〔法律学科卒業要件〕

共通教養科目								共通教養科目合計	専攻科目				自由選択科目	合計	
共通基盤科目							共通テーマ科目		A群	B群	C群	関連科目			専攻科目合計
初年次ゼミナール	外国語科目（英語）	教養基礎演習	人文の分野	社会の分野	自然の分野	人間形成の分野	現代社会と市民								
2	8		4	4	4	2	2	32	28	28	30	86	6	124	
		6													

- 1 4年以上（長期履修学生制度適用者については6年以上）在学し、学則所定の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。
- 2 共通教養科目については、次の単位を含めて32単位以上修得すること。
 - (1) 初年次ゼミナール2単位（必修）。
 - (2) 「外国語科目」から「英語」を8単位以上。ただし、外国人留学生及び外国高等学校在学経験者（帰国生徒等）は申請により、「英語」に換えて4～6単位を「日本語」とすることができる。なお、8単位に不足する単位は「英語」で補うものとする。
 - (3) 人文・社会・自然の各分野からそれぞれ4単位以上。
 - (4) 人間形成の分野から2単位以上。
 - (5) 「共通テーマ科目」から2単位以上。
 - (6) 教養基礎演習、人文・社会・自然・人間形成の各分野及び共通テーマ科目から規定の単位数を超えて6単位以上。
 - (7) 人間形成の分野のうち「キャリアデザイン」、「国内インターンシップ」及び「海外インターンシップ」の単位は、卒業要件単位としては計2単位までしか算入できない。
- 3 専攻科目から次の内訳で計86単位以上修得すること。
 - (1) A群から28単位以上修得すること。
 - (2) B群から28単位以上修得すること。

(3) C群及び関連科目から 30 単位以上修得すること。

なお、A群の「卒業要件単位数」を超える単位はB群に換算できる。また、換算した単位を含めてB群の「卒業要件単位数」を超える単位はC群に換算できる。

4 自由選択科目の単位として、6 単位以上修得すること。自由選択科目の単位として算入できるものは、次のとおりとする。

(1) 共通教養科目・専攻科目の各「卒業要件単位数」を超える単位。

(2) 自治行政学科・他学部開講の専攻科目の単位。ただし、他学部他学科が受講を認めない科目は履修することができない。

(3) 教職課程登録者が修得した教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等（各科目の指導法を含む）」の単位。ただし、6 単位を上限とする。

③ 現代社会コース

授 業 科 目 の 名 称					授業を 行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数			
						必修	選択	自由				
専攻科目	A群科目	憲法			I	1		2	28単位以上	専攻科目から86単位以上		
		民法			II	1		2				
		行政法			II	1		2				
		労働法			A	1		2				
		民法			B	2		4				
		民法			C	2		4				
		憲法			III	2		2				
		民法			IV	2		2				
		国際法			I	2		2				
		政治学			II	2		2				
		国際法			I	2		2				
		労働法			II	2		2				
		労働法			I	3		2				
		労働法			II	3		2				
		労働法			I	3		2				
	B群科目	民法			II	3		2	28単位以上			
		民法			III	3		2				
		民法			IV	3		2				
		民法			I	3		2				
		民法			II	3		2				
		民法			III	3		2				
		民法			IV	3		2				
		民法			I	3		2				
		民法			II	3		2				
		民法			III	3		2				
		民法			IV	3		2				
		民法			I	3		2				
		民法			II	3		2				
		民法			III	3		2				
		民法			IV	3		2				
		民法			I	3		2				
		民法			II	3		2				
		民法			III	3		2				
		民法			IV	3		2				
		C群科目	民法			I	2				2	C群科目及び関連科目から30単位以上
			民法			II	3				4	
			民法			III	4				4	
民法				A	1		2					
民法				I	1		2					
民法				I	2		2					
民法				II	2		2					
民法				I	2		2					
民法				II	2		2					
民法				II	2		2					

授 業 科 目 の 名 称			授業を 行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数	
				必修	選択	自由		
C群科目		法律学特修 I	2		2			
		法律学特修 II	2		2			
		Global Perspective Program 特修	2		2			
		警察官実務特修 I	2		2			
		自治体実務特修 I	2		2			
		自治体実務特修 II	2		2			
		法律学特修 III	3・4		2			
		法律学特修 IV	3・4		2			
		法律学特修 V	3・4		2			
		法律学特修 VI	3・4		2			
		警察官実務特修 II	3・4		2			
		警察官実務特修 III	3・4		2			
		警察官実務特修 IV	3・4		2			
		自治体実務特修 III	3・4		2			
		自治体実務特修 IV	3・4		2			
		企業法務実務特修 I	3・4		2			
		企業法務実務特修 II	3・4		2			
専攻科目	関連科目	情報処理工学 I	1・2・3・4		2		C群科目及び関連科目から30単位以上	専攻科目から86単位以上
		情報処理工学 II	1・2・3・4		2			
		日本史概論 I	1・2・3・4		2			
		日本史概論 II	1・2・3・4		2			
		外国史概論 I	1・2・3・4		2			
		外国史概論 II	1・2・3・4		2			
		経済地理学 I	1・2・3・4		2			
		経済地理学 II	1・2・3・4		2			
		人文地理学 I	1・2・3・4		2			
		人文地理学 II	1・2・3・4		2			
		自然地理学 I	1・2・3・4		2			
		自然地理学 II	1・2・3・4		2			
		自治学 (含概論)	1・2・3・4		2			
		社会学概論 I	1・2・3・4		2			
		社会学概論 II	1・2・3・4		2			
		社会学概論 I	1・2・3・4		2			
		社会学概論 II	1・2・3・4		2			
		世界経済論 I	1・2・3・4		2			
		世界経済論 II	1・2・3・4		2			
		日本経済史 I	1・2・3・4		2			
		日本経済史 II	1・2・3・4		2			
		マクロ経済学 I	1・2・3・4		4			
		マクロ経済学 II	1・2・3・4		4			
		ミクロ経済学 I	1・2・3・4		4			
		ミクロ経済学 II	1・2・3・4		4			
		経営学総論 I	1・2・3・4		2			
		経営学総論 II	1・2・3・4		2			
		経営学政策 I	1・2・3・4		4			
		経営学政策 II	1・2・3・4		4			
		経営学思想 I	1・2・3・4		2			
		経営学思想 II	1・2・3・4		2			
		経営学思想 III	1・2・3・4		2			
		経営学思想 IV	1・2・3・4		2			
		経営学思想 V	1・2・3・4		2			
		経営学思想 VI	1・2・3・4		2			
		経営学思想 VII	1・2・3・4		2			
		経営学思想 VIII	1・2・3・4		2			
		経営学思想 IX	1・2・3・4		2			
		経営学思想 X	1・2・3・4		2			
		経営学思想 XI	1・2・3・4		2			
		経営学思想 XII	1・2・3・4		2			
		経営学思想 XIII	1・2・3・4		2			
		経営学思想 XIV	1・2・3・4		2			
		経営学思想 XV	1・2・3・4		2			
		経営学思想 XVI	1・2・3・4		2			
		経営学思想 XVII	1・2・3・4		2			
		経営学思想 XVIII	1・2・3・4		2			
		経営学思想 XIX	1・2・3・4		2			
		経営学思想 XX	1・2・3・4		2			

〔履修要件〕

- 1 1・2年次は、上位年次の授業科目(関連科目を除く)を履修することはできない。
- 2 同一授業科目は、重複して履修することはできない。
- 3 科目によっては履修資格や人数が制限される場合があるので注意すること。
- 4 共通教養科目の「日本国憲法」は、教職課程登録者のみ履修することができる。
- 5 各セメスターにおいて履修登録できる単位数は、22単位以内とする。
- 6 長期履修学生制度適用者が各セメスターにおいて履修登録できる単位数は、16単位以内とする。
- 7 通年科目を履修する場合は、その科目の単位数を二分割し、前学期・後学期それぞれの学期の単位数として換算する。
- 8 各種課程に関する科目及び教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等（各科目の指導法を含む）」の単位数は、上記5・6の制限の枠外とする。
- 9 「Global Perspective Program」受講者は○印の科目を2年次に履修することを認める。
- 10 「法学部基礎演習Ⅰ」は1年次、「法学部基礎演習Ⅱ」は2年次で履修するものとする。ただし、特別に担当教員及び法学部長の許可を得た者は、この限りではない。

〔コース制〕

- 1 2年次当初に「法律職コース」、「ビジネス法コース」、「現代社会コース」のうち、いずれかのコースを選択しなければならない。
- 2 コースの変更を希望する者は、3年次当初または4年次当初に「コース変更届」を提出すること。年度途中での変更は認めない。

〔学外単位認定制度〕

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、卒業要件単位に算入することができる。なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各セメスターの履修制限単位数に含める。

- 1 本学が主催または推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
- 2 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続きにより認定された単位。
- 3 横浜市内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。

〔法律学科卒業要件〕

共通教養科目								共通教養科目合計	専攻科目				自由選択科目	合計	
共通基盤科目							共通テーマ科目		A群	B群	C群	関連科目			専攻科目合計
初年次ゼミナール	外国語科目（英語）	教養基礎演習	人文の分野	社会の分野	自然の分野	人間形成の分野	現代社会と市民								
2	8		4	4	4	2	2	32	28	28	30	86	6	124	
6															

- 1 4年以上（長期履修学生制度適用者については6年以上）在学し、学則所定の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。
- 2 共通教養科目については、次の単位を含めて32単位以上修得すること。
 - (1) 初年次ゼミナール2単位（必修）。
 - (2) 「外国語科目」から「英語」を8単位以上。ただし、外国人留学生及び外国高等学校在学経験者（帰国生徒等）は申請により、「英語」に換えて4～6単位を「日本語」とすることができる。なお、8単位に不足する単位は「英語」で補うものとする。
 - (3) 人文・社会・自然の各分野からそれぞれ4単位以上。
 - (4) 人間形成の分野から2単位以上。
 - (5) 「共通テーマ科目」から2単位以上。
 - (6) 教養基礎演習、人文・社会・自然・人間形成の各分野及び共通テーマ科目から規定の単位数を超えて6単位以上。
 - (7) 人間形成の分野のうち「キャリアデザイン」、「国内インターンシップ」及び「海外インターンシップ」の単位は、卒業要件単位としては計2単位までしか算入できない。
- 3 専攻科目から次の内訳で計86単位以上修得すること。
 - (1) A群から28単位以上修得すること。
 - (2) B群から28単位以上修得すること。

(3) C群及び関連科目から 30 単位以上修得すること。

なお、A群の「卒業要件単位数」を超える単位はB群に換算できる。また、換算した単位を含めてB群の「卒業要件単位数」を超える単位はC群に換算できる。

4 自由選択科目の単位として、6 単位以上修得すること。自由選択科目の単位として算入できるものは、次のとおりとする。

(1) 共通教養科目・専攻科目の各「卒業要件単位数」を超える単位。

(2) 自治行政学科・他学部開講の専攻科目の単位。ただし、他学部他学科が受講を認めない科目は履修することができない。

(3) 教職課程登録者が修得した教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等（各科目の指導法を含む）」の単位。ただし、6 単位を上限とする。

授 業 科 目 の 名 称						授業を 行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数			
							必修	選択	自由				
専攻科目	A群科目	憲法		法	I	1		2		28単位以上	専攻科目から86単位以上		
		民		法	II	1		2					
		政	事	法	入	1		2					
		民	治	学	門	1		2					
		民	法	基	門	1		2					
		憲	法	基	A	1		4					
		自	法	基	B	2		4					
		自	法	基	C	2		4					
		環	治	法	基礎	2		2					
		境	法	法	III	2		2					
		本	法	法	IV	2		2					
		行	治	体	I	2		2					
		政	境	法	II	2		2					
		政	法	法	I	2		2					
	社	本	行	II	2		2						
	社	用	政	学	2		2						
	地	政	政	学	2		2						
	地	政	法	I	3		2						
	自	会	法	II	3		2						
	公	方	障	I	3		2						
		治	障	II	3		2						
		共	治	I	3		2						
			經	II	3		2						
			營	論	3		2						
	B群科目	法	学	部	入	門	演	習	1			28単位以上	専攻科目から86単位以上
		刑	事	法	入	入	習	I	1				
		法	学	部	基	礎	演	II	2				
		法	学	部	基	礎	演	I	2				
刑				法	法		II	2					
日		本	本	政	治	学	史	2					
比		本	政	治	学	学	I	2					
比		較	政	治	学	学	II	2					
国		際	政	治	学	学	I	2					
国		際	政	治	学	学	II	2					
国		際	法	法			I	2					
経		濟	学	入	門	門	II	2					
経		濟	学	入	入	門	I	2					
消		費	生	行	政	特	論	2					
環		境	行	政	特		論	2					
刑			法	法			III	3					
刑		事	法	訴	訟		IV	3					
搜			法	査			法	3					
税			法				I	3					
税							II	3					
労		働	法	法			I	3					
労		働	法	法			II	3					
防		災	行	と	ま	づ	く	3					
防		災	法	・	危	機	管	理	3				
公		務	策	員	過	程	論	3					
都		市	政	策	策	論	I	3					
都		市	政	策	策	論	II	3					
国		際	協	力	力	論	I	3					
国		際	協	力	力	論	II	3					
ア		ジ	ア	政	政	治	史	3					
ア		ジ	ア	政	政	治	史	3					
ヨ		一	ロ	ッ	パ	政	治	史	3				
ヨ		一	ロ	ッ	パ	政	治	史	3				
西		洋	政	治	思	想	史	I	3				
西	洋	政	治	思	想	史	II	3					
主	ち	づ	く	り	行	政	特	3					

[illegible]

〔履修要件〕

- 1 1・2年次は、上位年次の授業科目(関連科目を除く)を履修することはできない。
- 2 同一授業科目は、重複して履修することはできない。
- 3 科目によっては履修資格や人数が制限される場合があるので注意すること。
- 4 共通教養科目の「日本国憲法」は、教職課程登録者のみ履修することができる。
- 5 各セメスターにおいて履修登録できる単位数は、22単位以内とする。
- 6 長期履修学生制度適用者が各セメスターにおいて履修登録できる単位数は、16単位以内とする。
- 7 通年科目を履修する場合は、その科目の単位数を二分割し、前学期・後学期それぞれの学期の単位数として換算する。
- 8 各種課程に関する科目及び教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等(各科目の指導法を含む)」の単位数は、上記5・6の制限の枠外とする。
- 9 「Global Perspective Program」受講者は○印の科目を2年次に履修することを認める。
- 10 「法学部基礎演習Ⅰ」は1年次、「法学部基礎演習Ⅱ」は2年次に履修するものとする。ただし、特別に担当教員及び法学部長の許可を得た者は、この限りではない。

〔学外単位認定制度〕

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、卒業要件単位に算入することができる。なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各セメスターの履修制限単位数に含める。

- 1 本学が主催または推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
- 2 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続きにより認定された単位。
- 3 横浜市内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。

〔自治行政学科卒業要件〕

共通教養科目								共通教養科目合計	専攻科目				自由選択科目	合計	
共通基盤科目							共通テーマ科目		A群	B群	C群	関連科目			専攻科目合計
初年次ゼミナール	外国語科目（英語）	教養基礎演習	人文の分野	社会の分野	自然の分野	人間形成の分野	現代社会と市民								
2	8		4	4	4	2	2	32	28	28	30	86	6	124	
		6													

- 1 4年以上(長期履修学生制度適用者については6年以上)在学し、学則所定の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。
- 2 共通教養科目については、次の単位を含めて32単位以上修得すること。
 - (1) 初年次ゼミナール2単位(必修)。
 - (2) 「外国語科目」から「英語」を8単位以上。ただし、外国人留学生及び外国高等学校在学経験者(帰国生徒等)は申請により、「英語」に換えて4～6単位を「日本語」とすることができる。なお、8単位に不足する単位は「英語」で補うものとする。
 - (3) 人文・社会・自然の各分野からそれぞれ4単位以上。
 - (4) 人間形成の分野から2単位以上。
 - (5) 「共通テーマ科目」から2単位以上。
 - (6) 教養基礎演習、人文・社会・自然・人間形成の各分野及び共通テーマ科目から規定の単位数を超えて6単位以上。
 - (7) 人間形成の分野のうち「キャリアデザイン」、「国内インターンシップ」及び「海外インターンシップ」の単位は、卒業要件単位としては計2単位までしか算入できない。
- 3 専攻科目から次の内訳で計86単位以上修得すること。
 - (1) A群から28単位以上修得すること。
 - (2) B群から28単位以上修得すること。
 - (3) C群及び関連科目から30単位以上修得すること。
 なお、A群の「卒業要件単位数」を超える単位はB群に換算できる。また、換算した単位を含めてB群の「卒業要件単位数」を超える単位はC群に換算できる。
- 4 自由選択科目の単位として、6単位以上修得すること。自由選択科目の単位として算入できるものは、次のとおりとする。
 - (1) 共通教養科目・専攻科目の各「卒業要件単位数」を超える単位。
 - (2) 法律学科・他学部開講の専攻科目の単位。ただし、他学部他学科が受講を認めない科目は履修することができない。
 - (3) 教職課程登録者が修得した教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等(各科目の指導法を含む)」の単位。ただし、6単位を上限とする。

(4) 経済学部 経済学科 専攻科目

① 現代経済専攻 福祉・環境・公共政策コース

授 業 科 目 の 名 称						授業を 行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数	
							必修	選択	自由		
専 攻 科 目	A 群	経 済 入 門	1	2		16単位以上	専攻科目か ら86単位				
		経 済 史	1	2							
		ミ ン ク ロ 本 経 済 学	1	2							
		現 マ 代 ク ロ 本 経 済 学	1	4							
		社 会 経 済 学	2	4							
		社 会 経 済 学	2	4							
	B 群	財 政 学	2	2		36単位以上					
		財 政 学	2	2							
		労 働 経 済 論	2	2							
		公 共 経 済 論	2	2							
		金 融 統 計	2	4							
		基 礎 統 計	2	4							
		経 済 政 統 計	2	2							
		経 済 政 統 計	2	4							
		環 境 経 済 論	3・4	2							
		環 境 経 済 論	3・4	2							
		社 会 保 障 論	3・4	2							
		社 会 保 障 論	3・4	2							
		租 税 論	3・4	2							
		租 税 論	3・4	2							
		地 方 財 政 論	3・4	2							
		地 方 財 政 論	3・4	2							
		都 市 経 済 論	3・4	2							
		都 市 経 済 論	3・4	2							
	農 業 経 済 学	3・4	2								
	食 糧 経 済 学	3・4	4								
	食 糧 経 済 学	3・4	2								
	C 群	基 礎 経 済 学	1	2		34単位以上 (含む関連8 単位まで 可)					
		基 礎 経 済 学	1	2							
		経 済 情 報 学	1	2							
		経 済 情 報 学	1	2							
		地 域 学	1	2							
		地 域 学	1	2							
		営 業 学	1	2							
		営 業 学	1	2							
		報 告 学	1	2							
報 告 学		1	2								
基 礎 簿 記		1	2								
基 礎 簿 記		1	2								
外 国 語		1	2								
外 国 語		1	2								
外 国 語		1	2								
外 国 語		1	2								
現 代 の 経 済 問 題		1	2								
現 代 の 経 済 問 題		1	2								
口 民 ジ ー	1	2									
口 民 ジ ー	1	2									
マ 経 済 学	1	2									
マ 経 済 学	1	2									
社 会 学	2	2									
社 会 学	2	2									
社 会 学	2	2									
社 会 学	2	2									

授 業 科 目 の 名 称							授業を 行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数	
								必修	選択	自由		
専 攻 科 目	C 群	社 会 思 想 史 I	3・4		2							
		社 会 思 想 史 II	3・4		2							
		証 券 市 場 論 I	3・4		2							
		証 券 市 場 論 II	3・4		2							
		情 報 経 済 論 I	3・4		2							
		情 報 経 済 論 II	3・4		2							
		ビ ッ グ デ ー タ 分 析 I	3・4		2							
		ビ ッ グ デ ー タ 分 析 II	3・4		2							
		会 社 法 概 説 I	3・4		2							
		会 社 法 概 説 II	3・4		2							
		開 発 経 済 学 I	3・4		2							
		開 発 経 済 学 II	3・4		2							
		国 際 商 務 論 I	3・4		2							
		国 際 商 務 論 II	3・4		2							
		金 融 機 関 論 I	3・4		2							
		金 融 機 関 論 II	3・4		2							
		マ ー ケ テ ィ ン グ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン I	3・4		2							
		マ ー ケ テ ィ ン グ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン II	3・4		2							
		マ ー ケ テ ィ ン グ リ サ ー チ I	3・4		2							
		マ ー ケ テ ィ ン グ リ サ ー チ II	3・4		2							
		経 営 情 報 論 I	3・4		2							
		経 営 情 報 論 II	3・4		2							
		国 際 金 融 論 I	3・4		2							
		国 際 金 融 論 II	3・4		2							
		グ ロー バ ル マ ー ケ テ ィ ン グ I	3・4		2							
		グ ロー バ ル マ ー ケ テ ィ ン グ II	3・4		2							
		グ ロ シ ア 経 済 論 I	3・4		2							
		グ ロ シ ア 経 済 論 II	3・4		2							
		ラ テ ン ア メ リ カ 経 済 論 I	3・4		2							
		ラ テ ン ア メ リ カ 経 済 論 II	3・4		2							
		グ ロー バ ル ロ ジ ス テ ィ ク ス I	3・4		2							
		グ ロー バ ル ロ ジ ス テ ィ ク ス II	3・4		2							
		国 際 ビ ジ ネ ス 論 I	3・4		2							
		国 際 ビ ジ ネ ス 論 II	3・4		2							
		人 的 資 源 管 理 論 I	3・4		2							
		人 的 資 源 管 理 論 II	3・4		2							
		中 東 政 治 経 済 論 I	3・4		2							
		中 東 政 治 経 済 論 II	3・4		2							
		経 済 専 修 英 語 (会 話) III	3・4		2							
		経 済 専 修 英 語 (会 話) IV	3・4		2							
		経 済 専 修 英 語 (講 読) III	3・4		2							
		経 済 専 修 英 語 (講 読) IV	3・4		2							
		経 済 専 修 英 語 (作 文) III	3・4		2							
		経 済 専 修 英 語 (作 文) IV	3・4		2							
		フ ァ イ ナ ン ス (基 礎)	3・4		2							
		フ ァ イ ナ ン ス (応 用)	3・4		2							
		会 計 制 度 論	3・4		2							
		会 計 史	3・4		2							
		国 際 税 務 計 論	3・4		2							
		税 務 境 会 計 論	3・4		2							
		会 経 営 思 戦 略 論	3・4		2							
		意 思 決 定 論	3・4		2							
		ミ ク ロ 経 済 学 演 習	3・4		2							
		マ ク ロ 経 済 学 演 習	3・4		2							
		国 際 ビ ジ ネ ス コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン I	3・4		2							
		国 際 ビ ジ ネ ス コ ミュニケーション II	3・4		2							
		Case Studies in International Business I	3・4		2							
		Case Studies in International Business II	3・4		2							

授 業 科 目 の 名 称			授 業 を 行 う 年 次	単 位 数 又 は 時 間 数			卒 業 要 件 単 位 数	
				必 修	選 択	自 由		
専 攻 科 目	C 群	イン テン シブ プ ロ グ ラ ム (情 報)	中 国 経 済 論 I	3・4		2	34単位以上 (含む関連8 単位まで 可)	専攻科目か ら86単位
			中 国 経 済 論 II	3・4		2		
			現 代 の 経 済 問 題 E	3・4		2		
			現 代 の 経 済 問 題 F	3・4		2		
			経 済 ゼ ミ ナ ー ル I	2		2		
			経 済 ゼ ミ ナ ー ル II a	3		2		
			経 済 ゼ ミ ナ ー ル II b	3		2		
			経 済 ゼ ミ ナ ー ル III a	4		2		
			経 済 ゼ ミ ナ ー ル III b	4		2		
		イン テン シブ プ ロ グ ラ ム (英 語)	コ ン ビ ュ ー タ 演 習 I	2		2		
			コ ン ビ ュ ー タ 演 習 II	2		2		
			コ ン ビ ュ ー タ 演 習 III	2		2		
			コ ン ビ ュ ー タ 演 習 IV	2		2		
			コ ン ビ ュ ー タ 演 習 V	3・4		2		
			コ ン ビ ュ ー タ 演 習 VI	3・4		2		
	コ ン ビ ュ ー タ 演 習 VII		3・4		2			
	コ ン ビ ュ ー タ 演 習 VIII		3・4		2			
	英 英 語 演 習	1 ー I	1		4			
		1 ー II	1		4			
		2 ー I	2		4			
		2 ー II	2		4			
		3 ー I	3・4		4			
		3 ー II	3・4		4			
	関 連 科 目	外 国 史 概 論 I	1・2・3・4		2			
		外 国 史 概 論 II	1・2・3・4		2			
		憲 法 概 説 I	1・2・3・4		2			
		憲 法 概 説 II	1・2・3・4		2			
		自 然 地 理 学 概 論 I	1・2・3・4		2			
		自 然 地 理 学 概 論 II	1・2・3・4		2			
		社 会 学 概 論 I	1・2・3・4		2			
		社 会 学 概 論 II	1・2・3・4		2			
		人 文 地 理 学 概 論 I	1・2・3・4		2			
		人 文 地 理 学 概 論 II	1・2・3・4		2			
		哲 学 概 論 I	1・2・3・4		2			
		哲 学 概 論 II	1・2・3・4		2			
		日 本 史 概 論 I	1・2・3・4		2			
		日 本 史 概 論 II	1・2・3・4		2			
		地 誌 学 概 論	1・2・3・4		2			
		刑 法 概 説	1・2・3・4		2			
		地 理 学 (含 地 誌)	1・2・3・4		2			
		政 治 学 入 門	1・2・3・4		2			
		行 政 法 I	1・2・3・4		2			
		行 政 法 II	1・2・3・4		2			
		国 際 政 治 学 I	1・2・3・4		2			
		国 際 政 治 学 II	1・2・3・4		2			
		国 際 法 I	1・2・3・4		2			
		国 際 法 II	1・2・3・4		2			
職 業 指 導 I (商 業)		1・2・3・4		2				
職 業 指 導 II (商 業)		1・2・3・4		2				
日 本 政 治 史		1・2・3・4		2				
日 本 政 治 史		1・2・3・4		2				
労 働 法 I		1・2・3・4		2				
労 働 法 II		1・2・3・4		2				
ヨ ー ロ ッ パ 政 治 史	1・2・3・4		2					
ヨ ー ロ ッ パ 政 治 史	1・2・3・4		2					
自 由 選 択 科 目	(1) 共通教養科目及び専攻科目の「卒業要件単位数」を超える単位。 (2) 教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等(各教科の指導法を含む)」の単位。ただし、教職課程登録者のみ履修でき、6単位を上限として自由選択科目に算入できる。 (3) 他学部、他学科開講の専攻科目の単位。ただし、他学部他学科が受講を認めない科目については、履修することはできない。						10単位	

〔履修要件〕

- 各年次ではそれぞれ上位年次の授業科目を履修することはできない。
- 同一授業科目は、重複して履修することはできない。
- 各セメスターの履修単位は、それぞれ24単位を上限とする。
ただし、
①長期履修学生制度適用者に対する各セメスターの履修単位は14単位を上限とする。
②成績優良者（直前の学期の GPA が3.0以上の者）については、申請により、半期4単位（年間8単位）まで履修単位数の上限を超えて履修することができる。（長期履修学生制度適用者を除く）
③資格教育課程に関する科目、教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」の単位数はこの上限単位に含めない。
④通年科目を履修した場合は、その科目の単位数を二分割し、前学期・後学期それぞれの学期の単位数として換算する。
- 「経済入門」は1年次のみ履修することができる。
- 「経済ゼミナールⅠ」は2年次後学期、「経済ゼミナールⅡa」は3年次前学期、「経済ゼミナールⅡb」は3年次後学期、「経済ゼミナールⅢa」は4年次前学期、「経済ゼミナールⅢb」は4年次後学期で履修するものとする。

〔コース登録〕

- 2年次当初に「福祉・環境・公共政策コース」「市場・企業・産業コース」「国際経済・社会コース」のうち、いずれかのコースを選択し、登録しなければならない。
- コースの変更を希望する者は、3年次当初に「コース変更届」により申請し、許可を得なければならない。

〔進級要件〕（2年次から3年次）

- 2年次終了までに「卒業要件単位数」のうち、初年次ゼミナールの2単位を含む44単位以上を修得しなければならない。
- 1の中には、資格教育課程に関する科目、教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」の単位数は含めない。
- ただし、長期履修学生制度適用者は、進級要件を適用しない。

〔学外単位認定制度〕

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、進級要件単位及び卒業要件単位に算入することができる。なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各セメスターの履修制限単位数に含める。

- 本学が主催又は推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
- 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続きにより認定された単位。
- 横浜市内大学間又は協定に基づく国内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。
- 派遣交換留学等により派遣先大学で修得した単位の内、帰国後本学における審査を経て本学の単位として認定された単位。

〔卒業要件〕

- 4年(8セメスター)以上在学し、学則所定の次表の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。

共 通 教 養 科 目								共通教養科目合計	専 攻 科 目				専攻科目合計	自由選択科目	合計
共 通 基 盤 科 目							共通テーマ科目								
初年次ゼミナール	外国語科目	教養基礎演習	人文の分野	社会の分野	自然の分野	人間形成の分野	現代社会と市民								
2	8		4	4	4	2	2	32	16	36	34	86	10	128	
		6													

- 共通教養科目から次の内訳で合計32単位以上を修得すること。
(1) 初年次ゼミナール2単位（必修）。

- (2) 外国語科目から英語を8単位。ただし、外国人留学生及び外国高等学校在学経験者（帰国生徒等）は申請により、英語に換えて、4～6単位を日本語とすることができる。なお、8単位に不足する単位は英語で補うものとする。
 - (3) 人文・社会・自然の各分野からそれぞれ4単位以上修得すること。
 - (4) 人間形成の分野から2単位以上修得すること。
 - (5) 共通テーマ科目から2単位以上修得すること。
 - (6) 教養基礎演習、人文・社会・自然・人間形成の各分野及び共通テーマ科目から規定の単位数を超えて6単位以上。
- 3 専攻科目から86単位以上修得すること。ただし、次の単位を修得しなければならない。
- (1) A群から16単位以上修得すること。
 - (2) B群から36単位以上修得すること。
 - (3) C群から34単位以上修得すること。ただし、関連科目は8単位までC群に換算できる。
なお、A群の「卒業要件単位」を超える単位はB群に換算できる。また、換算した単位を含めてB群の「卒業要件単位」を超える単位はC群に換算できる。
- 4 自由選択科目の単位として、10単位以上を修得すること。
自由選択科目の単位として算入できるものは、次のとおりとする。
- (1) 共通教養科目及び専攻科目の「卒業要件単位数」を超える単位。
 - (2) 教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」の単位。ただし、教職課程登録者のみ履修でき、6単位を上限として自由選択科目に算入できる。
 - (3) 他学部、他学科開講の専攻科目の単位。ただし、他学部他学科が受講を認めない科目については、履修することはできない。

② 現代経済専攻 市場・企業・産業コース

授 業 科 目 の 名 称					授 業 を 行 う 年 次	単 位 数 又 は 時 間 数			卒 業 要 件 単 位 数		
						必 修	選 択	自 由			
専 攻 科 目	A 群	経 済 入 門	経 済 入 門	経 済 入 門	I	1	2		16単位以上		
		経 済 入 門	経 済 入 門	経 済 入 門	I	1	2				
		経 済 入 門	経 済 入 門	経 済 入 門	I	1	2				
		ミ ン ン	ク 代 本 経 済 学	ミ ン ン	I	1	4				
		マ ン ン	ク 代 本 経 済 学	マ ン ン	I	1	4				
		社 会 会 会 会	ク 代 本 経 済 学	社 会 会 会 会	I	2	4				
	B 群	基 礎 経 済 数 学 学	基 礎 経 済 数 学 学	基 礎 経 済 数 学 学	I	1	2		36単位以上		
		基 礎 経 済 数 学 学	基 礎 経 済 数 学 学	基 礎 経 済 数 学 学	I	1	2				
		財 政 学 史	財 政 学 史	財 政 学 史	I	2	2				
		財 政 学 史	財 政 学 史	財 政 学 史	I	2	2				
		経 済 学 史	経 済 学 史	経 済 学 史	I	2	2				
		日 本 経 済 史	日 本 経 済 史	日 本 経 済 史	I	2	2				
		日 本 経 済 史	日 本 経 済 史	日 本 経 済 史	I	2	2				
		中 級 ミ ン ン	中 級 ミ ン ン	中 級 ミ ン ン	I	2	2				
		中 級 ミ ン ン	中 級 ミ ン ン	中 級 ミ ン ン	I	2	2				
		基 礎 統 計	基 礎 統 計	基 礎 統 計	I	2	2				
		基 礎 統 計	基 礎 統 計	基 礎 統 計	I	2	2				
		経 済 政 統	経 済 政 統	経 済 政 統	I	2	4				
		経 済 政 統	経 済 政 統	経 済 政 統	I	2	4				
		産 業 組 織 論	産 業 組 織 論	産 業 組 織 論	I	3・4	2				
		産 業 組 織 論	産 業 組 織 論	産 業 組 織 論	I	3・4	2				
		証 金 融 機 関 論	証 金 融 機 関 論	証 金 融 機 関 論	I	3・4	2				
		証 金 融 機 関 論	証 金 融 機 関 論	証 金 融 機 関 論	I	3・4	2				
		情 報 経 済 論	情 報 経 済 論	情 報 経 済 論	I	3・4	2				
		情 報 経 済 論	情 報 経 済 論	情 報 経 済 論	I	3・4	2				
		計 量 経 済 学	計 量 経 済 学	計 量 経 済 学	I	3・4	4				
		C 群	基 礎 簿 会 計	基 礎 簿 会 計	基 礎 簿 会 計	I	1	2			34単位以上 (含む関連8 単位まで 可)
			基 礎 簿 会 計	基 礎 簿 会 計	基 礎 簿 会 計	I	1	2			
			営 営 学 総 論	営 営 学 総 論	営 営 学 総 論	I	1	2			
			営 営 学 総 論	営 営 学 総 論	営 営 学 総 論	I	1	2			
	経 済 情 報 処 理		経 済 情 報 処 理	経 済 情 報 処 理	I	1	2				
	経 済 情 報 処 理		経 済 情 報 処 理	経 済 情 報 処 理	I	1	2				
	経 済 地 理		経 済 地 理	経 済 地 理	I	1	2				
	経 済 地 理		経 済 地 理	経 済 地 理	I	1	2				
	経 済 外 国 語		経 済 外 国 語	経 済 外 国 語	A	1	2				
	経 済 外 国 語		経 済 外 国 語	経 済 外 国 語	B	1	2				
	経 済 外 国 語		経 済 外 国 語	経 済 外 国 語	C	1	2				
	経 済 外 国 語		経 済 外 国 語	経 済 外 国 語	D	1	2				
	情 報 シ ス テ ム 社 会 論		情 報 シ ス テ ム 社 会 論	情 報 シ ス テ ム 社 会 論	I	1	2				
	民 法 概 論		民 法 概 論	民 法 概 論	I	1	2				
	現 代 の 経 済 問 題		現 代 の 経 済 問 題	現 代 の 経 済 問 題	A	1	2				
	現 代 の 経 済 問 題		現 代 の 経 済 問 題	現 代 の 経 済 問 題	B	1	2				
経 済 シ ス テ ム 概 論	経 済 シ ス テ ム 概 論		経 済 シ ス テ ム 概 論	I	1	2					
経 済 シ ス テ ム 概 論	経 済 シ ス テ ム 概 論		経 済 シ ス テ ム 概 論	I	1	2					
マ ン ン	マ ン ン	マ ン ン	I	1	2						
マ ン ン	マ ン ン	マ ン ン	I	1	2						
社 会 政 策	社 会 政 策	社 会 政 策	I	2	2						
社 会 政 策	社 会 政 策	社 会 政 策	I	2	2						
労 働 経 済 論	労 働 経 済 論	労 働 経 済 論	I	2	2						
労 働 経 済 論	労 働 経 済 論	労 働 経 済 論	I	2	2						
西 洋 経 済 史	西 洋 経 済 史	西 洋 経 済 史	I	2	2						
西 洋 経 済 史	西 洋 経 済 史	西 洋 経 済 史	I	2	2						

授 業 科 目 の 名 称		授業を 行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数	
			必修	選択	自由		
専 攻 科 目	C 群	アメリカ経済論 I	2		2	34単位以上 (含む関連8 単位まで 可)	専攻科目か ら86単位
		アメリカ経済論 II	2		2		
		ヨーロッパ経済論 I	2		2		
		ヨーロッパ経済論 II	2		2		
		アジア経済論 I	2		2		
		アジア経済論 II	2		2		
		国際経済学 I	2		2		
		国際経済学 II	2		2		
		貿易論 I	2		2		
		貿易論 II	2		2		
		世界経済論 I	2		2		
		世界経済論 II	2		2		
		管理会計論	2		2		
		コストマネジメント論	2		2		
		経営管理論	2		2		
		経営組織論	2		2		
		経営分析論	2		2		
		経営計画学	2		2		
		経営企業論	2		2		
		企業（会社）論 I	2		2		
		企業（会社）論 II	2		2		
		英語（講読） I	2		2		
		英語（講読） II	2		2		
		英語（作文） I	2		2		
		英語（作文） II	2		2		
		財務計画論	2		2		
		流通論 I	2		2		
		流通論 II	2		2		
		消費行動論 I	2		2		
		消費行動論 II	2		2		
		貿易経済学 I	2		2		
		貿易経済学 II	2		2		
		国際貿易論 I	2		2		
		国際貿易論 II	2		2		
		流通経済学 I	2		2		
		流通経済学 II	2		2		
公共経済学 I	2		4				
公共経済学 II	2		2				
現代の経済学 I	2		2				
現代の経済学 II	2		2				
租税論 I	3・4		2				
租税論 II	3・4		2				
社会思想史 I	3・4		2				
社会思想史 II	3・4		2				
農業経済学 I	3・4		2				
農業経済学 II	3・4		2				
地方財政論 I	3・4		2				
地方財政論 II	3・4		2				
マクロ経済学演習	3・4		2				
			2				

授 業 科 目 の 名 称			授 業 を 行 う 年 次	単 位 数 又 は 時 間 数			卒 業 要 件 単 位 数	
				必 修	選 択	自 由		
専 攻 科 目	C 群	フ フ 国 国 開 開 社 社 ロ ロ 都 都 環 環 国 国 経 経 意 意 国 国 会 会 税 税 環 環 会 会 グ グ ビ ビ 経 経 経 経 経 経 経 経 会 会 マ マ マ マ グ グ 国 国 人 人 中 中 国 国 Case Case ラ ラ 現 現 中 中	ァ ァ 際 際 際 際 社 社 シ シ 市 市 市 市 境 境 際 際 営 営 営 営 際 際 計 計 務 務 境 境 会 会 グ グ ビ ビ 経 経 経 経 経 経 経 経 会 会 マ マ マ マ グ グ 国 国 人 人 中 中 国 国 Case Case ラ ラ 現 現 中 中	イ イ 際 際 際 際 社 社 シ シ 市 市 市 市 境 境 際 際 営 営 営 営 際 際 計 計 務 務 境 境 会 会 グ グ ビ ビ 経 経 経 経 経 経 経 経 会 会 マ マ マ マ グ グ 国 国 人 人 中 中 国 国 Case Case ラ ラ 現 現 中 中	ナ ナ 金 金 金 金 保 保 シ シ 市 市 市 市 境 境 際 際 営 営 営 営 際 際 計 計 務 務 境 境 会 会 グ グ ビ ビ 経 経 経 経 経 経 経 経 会 会 マ マ マ マ グ グ 国 国 人 人 中 中 国 国 Case Case ラ ラ 現 現 中 中	ン ン 融 融 融 融 障 障 経 経 経 経 経 経 商 商 情 情 戦 戦 決 決 会 会 思 思 制 制 会 会 計 計 会 会 グ グ ビ ビ 経 経 経 経 経 経 経 経 会 会 マ マ マ マ グ グ 国 国 人 人 中 中 国 国 Case Case ラ ラ 現 現 中 中	ス ス 融 融 融 融 障 障 経 経 経 経 経 経 商 商 務 務 報 報 略 略 定 定 計 計 想 想 度 度 計 計 論 論 史 史 グ グ ビ ビ 経 経 経 経 経 経 経 経 会 会 マ マ マ マ グ グ 国 国 人 人 中 中 国 国 Case Case ラ ラ 現 現 中 中	((論 論 学 学 学 学 論

授 業 科 目 の 名 称										授業を 行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数	
											必修	選択	自由		
専 攻 科 目	C 群	現代の経済問題 現代の経済問題 経済ゼミナール 経済ゼミナール 経済ゼミナール 経済ゼミナール	現代の経済問題 E	3・4		2	34単位以上 (含む関連8 単位まで 可)	専攻科目か ら86単位							
			現代の経済問題 F	3・4		2									
			経済ゼミナール I	2		2									
			経済ゼミナール II a	3		2									
			経済ゼミナール II b	3		2									
			経済ゼミナール III a	4		2									
			経済ゼミナール III b	4		2									
			インテンシブ プログラム (情報)	コンピュータ演習 I	2				2						
		コンピュータ演習 II		2		2									
		コンピュータ演習 III		2		2									
		コンピュータ演習 IV		2		2									
		コンピュータ演習 V		3・4		2									
		コンピュータ演習 VI		3・4		2									
		コンピュータ演習 VII		3・4		2									
		コンピュータ演習 VIII		3・4		2									
		インテンシブ プログラム (英語)	英語演習 1	1		4									
			英語演習 1	1		4									
			英語演習 2	2		4									
			英語演習 2	2		4									
	英語演習 3		3・4		4										
	英語演習 3		3・4		4										
	関連科目		憲法 概説 I	1・2・3・4		2									
			憲法 概説 II	1・2・3・4		2									
			日本史 概論 I	1・2・3・4		2									
			日本史 概論 II	1・2・3・4		2									
			外国史 概論 I	1・2・3・4		2									
		外国史 概論 II	1・2・3・4		2										
		人文地理学 概論 I	1・2・3・4		2										
		人文地理学 概論 II	1・2・3・4		2										
		自然地理学 概論 I	1・2・3・4		2										
		自然地理学 概論 II	1・2・3・4		2										
	社会学 概論 I	1・2・3・4		2											
	社会学 概論 II	1・2・3・4		2											
	哲学 概論 I	1・2・3・4		2											
	哲学 概論 II	1・2・3・4		2											
	地理学 (含地誌)	1・2・3・4		2											
	政治学 (含地誌)	1・2・3・4		2											
	刑法 概説	1・2・3・4		2											
	行政法 I	1・2・3・4		2											
	行政法 II	1・2・3・4		2											
国際法 I	1・2・3・4		2												
国際法 II	1・2・3・4		2												
職業指導 I (商業)	1・2・3・4		2												
職業指導 II (商業)	1・2・3・4		2												
日本政治 史	1・2・3・4		2												
国際政治学 I	1・2・3・4		2												
国際政治学 II	1・2・3・4		2												
ヨーロッパ政治 史	1・2・3・4		2												
ヨーロッパ政治 史	1・2・3・4		2												
労働法 I	1・2・3・4		2												
労働法 II	1・2・3・4		2												
自由 選 択 科 目	(1) 共通教養科目及び専攻科目の「卒業要件単位数」を超える単位。 (2) 教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等(各教科の指導法を含む)」の単位。ただし、教職課程登録者のみ履修でき、6単位を上限として自由選択科目に算入できる。 (3) 他学部、他学科開講の専攻科目の単位。ただし、他学部他学科が受講を認めない科目については、履修することはできない。										10単位				

〔履修要件〕

- 各年次ではそれぞれ上位年次の授業科目を履修することはできない。
- 同一授業科目は、重複して履修することはできない。
- 各セメスターの履修単位は、それぞれ24単位を上限とする。
ただし、
 - ①長期履修学生制度適用者に対する各セメスターの履修単位は14単位を上限とする。
 - ②成績優良者（直前の学期の GPA が3.0以上の者）については、申請により、半期4単位（年間8単位）まで履修単位数の上限を超えて履修することができる。（長期履修学生制度適用者を除く）
 - ③資格教育課程に関する科目、教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」の単位数はこの上限単位に含めない。
 - ④通年科目を履修した場合は、その科目の単位数を二分割し、前学期・後学期それぞれの学期の単位数として換算する。
- 「経済入門」は1年次のみ履修することができる。
- 「経済ゼミナールⅠ」は2年次後学期、「経済ゼミナールⅡa」は3年次前学期、「経済ゼミナールⅡb」は3年次後学期、「経済ゼミナールⅢa」は4年次前学期、「経済ゼミナールⅢb」は4年次後学期で履修するものとする。

〔コース登録〕

- 2年次当初に「福祉・環境・公共政策コース」「市場・企業・産業コース」「国際経済・社会コース」のうち、いずれかのコースを選択し、登録しなければならない。
- コースの変更を希望する者は、3年次当初に「コース変更届」により申請し、許可を得なければならない。

〔進級要件〕（2年次から3年次）

- 2年次終了までに「卒業要件単位数」のうち、初年次ゼミナールの2単位を含む44単位以上を修得しなければならない。
- 1の中には、資格教育課程に関する科目、教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」の単位数は含めない。
- ただし、長期履修学生制度適用者は、進級要件を適用しない。

〔学外単位認定制度〕

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、進級要件単位及び卒業要件単位に算入することができる。なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各セメスターの履修制限単位数に含める。

- 本学が主催又は推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
- 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続きにより認定された単位。
- 横浜市内大学間又は協定に基づく国内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。
- 派遣交換留学等により派遣先大学で修得した単位の内、帰国後本学における審査を経て本学の単位として認定された単位。

〔卒業要件〕

- 4年(8セメスター)以上在学し、学則所定の次表の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。

共 通 教 養 科 目								共通 教養 科目 合計	専 攻 科 目				専 攻 科目 合計	自由 選 択 科目	合 計
共 通 基 盤 科 目							共通テーマ科目								
初 年 次 ゼ ミ ナ ール	外 国 語 科 目	教 養 基 礎 演 習	人 文 の 分 野	社 会 の 分 野	自 然 の 分 野	人 間 形 成 の 分 野	現 代 社 会 と 市 民		A 群	B 群	C 群	関 連 科 目 (8可)			
2	8		4	4	4	2	2	32	16	36	34	86	10	128	
		6													

- 共通教養科目から次の内訳で合計32単位以上を修得すること。
(1) 初年次ゼミナール2単位（必修）。

- (2) 外国語科目から英語を8単位。ただし、外国人留学生及び外国高等学校在学経験者（帰国生徒等）は申請により、英語に換えて、4～6単位を日本語とすることができる。なお、8単位に不足する単位は英語で補うものとする。
 - (3) 人文・社会・自然の各分野からそれぞれ4単位以上修得すること。
 - (4) 人間形成の分野から2単位以上修得すること。
 - (5) 共通テーマ科目から2単位以上修得すること。
 - (6) 教養基礎演習、人文・社会・自然・人間形成の各分野及び共通テーマ科目から規定の単位数を超えて6単位以上。
- 3 専攻科目から86単位以上修得すること。ただし、次の単位を修得しなければならない。
- (1) A群から16単位以上修得すること。
 - (2) B群から36単位以上修得すること。
 - (3) C群から34単位以上修得すること。ただし、関連科目は8単位までC群に換算できる。
なお、A群の「卒業要件単位」を超える単位はB群に換算できる。また、換算した単位を含めてB群の「卒業要件単位」を超える単位はC群に換算できる。
- 4 自由選択科目の単位として、10単位以上を修得すること。
自由選択科目の単位として算入できるものは、次のとおりとする。
- (1) 共通教養科目及び専攻科目の「卒業要件単位数」を超える単位。
 - (2) 教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」の単位。ただし、教職課程登録者のみ履修でき、6単位を上限として自由選択科目に算入できる。
 - (3) 他学部、他学科開講の専攻科目の単位。ただし、他学部他学科が受講を認めない科目については、履修することはできない。

③ 現代経済専攻 国際経済・社会コース

授 業 科 目 の 名 称							授 業 を 行 う 年 次	単 位 数 又 は 時 間 数			卒 業 要 件 単 位 数			
								必 修	選 択	自 由				
専 攻 科 目	A 群	経ミ	ク	口	経	入	門学	1		2	16単位以上	専攻科目から86単位		
		経	ク	口	経	史	学Ⅰ	1		4				
		経	ク	口	経	史	学Ⅱ	1		2				
		経	ク	口	経	史	論	1		2				
		現	代	日	本	経	学	1		4				
		マ	ク	口	経	経	学	2		4				
	B 群	社	会	経	経	済	論Ⅰ	2		2	36単位以上			
		ア	ジ	ア	経	済	論Ⅱ	2		2				
		ア	メ	リ	カ	経	済	論Ⅰ	2				2	
		ア	メ	リ	カ	経	済	論Ⅱ	2				2	
		ヨ	ー	ロ	ッ	パ	経	済	論Ⅰ	2				2
		ヨ	ー	ロ	ッ	パ	経	済	論Ⅱ	2				2
		国	際	経	経	済	学Ⅰ	2		2				
		国	際	経	経	済	学Ⅱ	2		2				
		西	洋	経	経	済	史Ⅰ	2		2				
		西	洋	経	経	済	史Ⅱ	2		2				
		世	界	経	経	済	論Ⅰ	2		2				
		世	界	経	経	済	論Ⅱ	2		2				
		貿	易	論	論	論Ⅰ	2		2					
		貿	易	論	論	論Ⅱ	2		2					
		国	際	金	融	論Ⅰ	3・4		2					
		国	際	金	融	論Ⅱ	3・4		2					
		中	東	政	治	経	済	論Ⅰ	3・4				2	
		中	東	政	治	経	済	論Ⅱ	3・4				2	
		開	発	経	経	済	学Ⅰ	3・4		2				
		開	発	経	経	済	学Ⅱ	3・4		2				
		ラ	テ	メ	リ	カ	経	済	論Ⅰ	3・4				2
		ラ	テ	メ	リ	カ	経	済	論Ⅱ	3・4				2
		ロ	シ	ア	経	済	論Ⅰ	3・4		2				
		ロ	シ	ア	経	済	論Ⅱ	3・4		2				
		中	国	経	経	済	論Ⅰ	3・4		2				
		中	国	経	経	済	論Ⅱ	3・4		2				
		C 群	基	礎	簿	記	計	1		2			34単位以上 (含む関連8単位まで可)	
			基	学	会	計	1		2					
	経		営	学	論Ⅰ	1		2						
	経		営	学	論Ⅱ	1		2						
	基		礎	経	済	数	学Ⅰ	1		2				
	基		礎	経	済	数	学Ⅱ	1		2				
	経		済	情	報	処	理Ⅰ	1		2				
	経		済	情	報	処	理Ⅱ	1		2				
	経		済	地	理	理Ⅰ	1		2					
	経		済	地	理	理Ⅱ	1		2					
	現		代	の	経	済	問	題Ⅰ	1		2			
	現		代	の	経	済	問	題Ⅱ	1		2			
	経		済	外	国	語Ⅰ	1		2					
	経		済	外	国	語Ⅱ	1		2					
	経		済	外	国	語Ⅲ	1		2					
	経		済	外	国	語Ⅳ	1		2					
	情		報	シ	ス	テ	社	会	論	1				2
口	ジ		カ	ル	シ	キ	学	グ	1		2			
民	マ		一	ケ	テ	イ	ン	グ	1		2			

授 業 科 目 の 名 称		授業を 行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数	
			必修	選択	自由		
専 攻 科 目	C 群	社 会 思 想 史 I	3・4	2		34単位以上 (含む関連8単位 まで可)	専攻科目 から 86単位
		社 会 思 想 史 II	3・4	2			
		ミ ク ロ 税 論 I	3・4	2			
		マ ク ロ 税 論 II	3・4	2			
		租 地 方 財 政 論 I	3・4	2			
		地 産 方 財 政 論 II	3・4	2			
		産 都 業 組 織 論 I	3・4	2			
		都 経 市 経 済 論 II	3・4	2			
		経 済 哲 学 I	3・4	2			
		社 会 保 障 論 I	3・4	2			
		社 会 保 障 論 II	3・4	2			
		環 境 保 障 論 I	3・4	2			
		環 境 保 障 論 II	3・4	2			
		情 報 経 済 論 I	3・4	2			
		情 報 経 済 論 II	3・4	2			
		国 際 商 務 論 I	3・4	2			
		国 際 商 務 論 II	3・4	2			
		グ ロ ー バ ル ロ ジ ャ	3・4	2			
		グ ロ ー バ ル ロ ジ ャ	3・4	2			
		国 会 計 論	3・4	2			
		国 会 計 論	3・4	2			
		会 税 務 論	3・4	2			
		環 境 計 論	3・4	2			
		会 計 史	3・4	2			
		グ ロ ー バ ル マーケティング I	3・4	2			
		グ ロ ー バ ル マーケティング II	3・4	2			
		フ ァ イ ナ ンス (基礎)	3・4	2			
		フ ァ イ ナ ンス (応用)	3・4	2			
		ビ ッ グ デ ータ 分析 I	3・4	2			
		ビ ッ グ デ ータ 分析 II	3・4	2			
		経 済 専 修 英 語 (会 話) III	3・4	2			
		経 済 専 修 英 語 (会 話) IV	3・4	2			
		経 済 専 修 英 語 (講 読) III	3・4	2			
		経 済 専 修 英 語 (講 読) IV	3・4	2			
		経 済 専 修 英 語 (作 文) III	3・4	2			
		経 済 専 修 英 語 (作 文) IV	3・4	2			
		経 営 情 報 論 I	3・4	2			
		経 営 情 報 論 II	3・4	2			
		経 営 戦 略 論	3・4	2			
		意 思 決 定 論	3・4	2			
		会 社 法 概 説 I	3・4	2			
		会 社 法 概 説 II	3・4	2			
		マーケティングコミュニケーション I	3・4	2			
		マーケティングコミュニケーション II	3・4	2			
		マーケティングリサーチ I	3・4	2			
		マーケティングリサーチ II	3・4	2			
		国 際 ビジネスコミュニケーション I	3・4	2			
		国 際 ビジネスコミュニケーション II	3・4	2			
		人 的 資 源 管 理 論 I	3・4	2			
		人 的 資 源 管 理 論 II	3・4	2			
		国 際 ビジネス論 I	3・4	2			
		国 際 ビジネス論 II	3・4	2			
		Case Studies in International Business I	3・4	2			
		Case Studies in International Business II	3・4	2			
		計 量 経 済 学	3・4	4			

授 業 科 目 の 名 称		授業を 行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数
			必修	選択	自由	
専 攻 科 目	C 群 (情報)	現代の経済問題 E	3・4	2		
		現代の経済問題 F	3・4	2		
		経済ゼミナール I	2	2		
		経済ゼミナールⅡ a	3	2		
		経済ゼミナールⅡ b	3	2		
		経済ゼミナールⅢ a	4	2		
		経済ゼミナールⅢ b	4	2		
		コンピュータ演習Ⅰ	2	2		
		コンピュータ演習Ⅱ	2	2		
		コンピュータ演習Ⅲ	2	2		
		コンピュータ演習Ⅳ	2	2		
		コンピュータ演習Ⅴ	3・4	2		
		コンピュータ演習Ⅵ	3・4	2		
		コンピュータ演習Ⅶ	3・4	2		
		コンピュータ演習Ⅷ	3・4	2		
	(英語)	英英演習Ⅰ	1	4		34単位以上 (含む関連8単位 まで可)
		英英演習Ⅱ	1	4		
		英英演習Ⅲ	2	4		
		英英演習Ⅳ	2	4		
		英英演習Ⅴ	3・4	4		
	関 連 科 目	憲法概説Ⅰ	1・2・3・4	2		
		憲法概説Ⅱ	1・2・3・4	2		
		日本史概論Ⅰ	1・2・3・4	2		
		日本史概論Ⅱ	1・2・3・4	2		
		外国史概論Ⅰ	1・2・3・4	2		
		外国史概論Ⅱ	1・2・3・4	2		
		人文地理学概論Ⅰ	1・2・3・4	2		
		人文地理学概論Ⅱ	1・2・3・4	2		
		自然地理学概論Ⅰ	1・2・3・4	2		
		自然地理学概論Ⅱ	1・2・3・4	2		
		社会学概論Ⅰ	1・2・3・4	2		
		社会学概論Ⅱ	1・2・3・4	2		
		哲学概論Ⅰ	1・2・3・4	2		
		哲学概論Ⅱ	1・2・3・4	2		
		地理学(含地誌)Ⅰ	1・2・3・4	2		
		地理学(含地誌)Ⅱ	1・2・3・4	2		
		刑法概論Ⅰ	1・2・3・4	2		
		刑法概論Ⅱ	1・2・3・4	2		
		行政学Ⅰ	1・2・3・4	2		
		行政学Ⅱ	1・2・3・4	2		
		国際法Ⅰ	1・2・3・4	2		
		国際法Ⅱ	1・2・3・4	2		
		職業指導Ⅰ(商業)	1・2・3・4	2		
		職業指導Ⅱ(商業)	1・2・3・4	2		
		日本政治史Ⅰ	1・2・3・4	2		
		日本政治史Ⅱ	1・2・3・4	2		
		国際政治学Ⅰ	1・2・3・4	2		
		国際政治学Ⅱ	1・2・3・4	2		
		ヨーロッパ政治史Ⅰ	1・2・3・4	2		
		ヨーロッパ政治史Ⅱ	1・2・3・4	2		
		労働法Ⅰ	1・2・3・4	2		
		労働法Ⅱ	1・2・3・4	2		
自由 選 択 科 目	(1) 共通教養科目及び専攻科目の「卒業要件単位数」を超える単位。 (2) 教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等(各教科の指導法を含む)」の単位。ただし、教職課程登録者のみ履修でき、6単位を上限として自由選択科目に算入できる。 (3) 他学部、他学科開講の専攻科目の単位。ただし、他学部他学科が受講を認めない科目については、履修することはできない。					10単位

〔履修要件〕

- 各年次ではそれぞれ上位年次の授業科目を履修することはできない。
- 同一授業科目は、重複して履修することはできない。
- 各セメスターの履修単位は、それぞれ24単位を上限とする。
ただし、
 - ①長期履修学生制度適用者に対する各セメスターの履修単位は14単位を上限とする。
 - ②成績優良者（直前の学期の GPA が3.0以上の者）については、申請により、半期4単位（年間8単位）まで履修単位数の上限を超えて履修することができる。（長期履修学生制度適用者を除く）
 - ③資格教育課程に関する科目、教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」の単位数はこの上限単位に含めない。
 - ④通年科目を履修した場合は、その科目の単位数を二分割し、前学期・後学期それぞれの学期の単位数として換算する。
- 「経済入門」は1年次のみ履修することができる。
- 「経済ゼミナールⅠ」は2年次後学期、「経済ゼミナールⅡa」は3年次前学期、「経済ゼミナールⅡb」は3年次後学期、「経済ゼミナールⅢa」は4年次前学期、「経済ゼミナールⅢb」は4年次後学期で履修するものとする。

〔コース登録〕

- 2年次当初に「福祉・環境・公共政策コース」「市場・企業・産業コース」「国際経済・社会コース」のうち、いずれかのコースを選択し、登録しなければならない。
- コースの変更を希望する者は、3年次当初に「コース変更届」により申請し、許可を得なければならない。

〔進級要件〕（2年次から3年次）

- 2年次終了までに「卒業要件単位数」のうち、初年次ゼミナールの2単位を含む44単位以上を修得しなければならない。
- 1の中には、資格教育課程に関する科目、教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」の単位数は含めない。
- ただし、長期履修学生制度適用者は、進級要件を適用しない。

〔学外単位認定制度〕

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、進級要件単位及び卒業要件単位に算入することができる。なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各セメスターの履修制限単位数に含める。

- 本学が主催又は推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
- 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続きにより認定された単位。
- 横浜市内大学間又は協定に基づく国内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。
- 派遣交換留学等により派遣先大学で修得した単位の内、帰国後本学における審査を経て本学の単位として認定された単位。

〔卒業要件〕

- 4年(8セメスター)以上在学し、学則所定の次表の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。

共 通 教 養 科 目								共通 教養 科目 合計	専 攻 科 目				専攻 科目 合計	自由 選択 科目	合 計
共 通 基 盤 科 目							共通テーマ科目								
初 年 次 ゼ ミ ナ ー ル	外 国 語 科 目	教 養 基 礎 演 習	人 文 の 分 野	社 会 の 分 野	自 然 の 分 野	人 間 形 成 の 分 野	現 代 社 会 と 市 民		A 群	B 群	C 群	関 連 科 目 (8可)			
2	8		4	4	4	2	2	32	16	36	34	86	10	128	
		6													

- 共通教養科目から次の内訳で合計32単位以上を修得すること。
(1) 初年次ゼミナール2単位（必修）。

- (2) 外国語科目から英語を8単位。ただし、外国人留学生及び外国高等学校在学経験者（帰国生徒等）は申請により、英語に換えて、4～6単位を日本語とすることができる。なお、8単位に不足する単位は英語で補うものとする。
 - (3) 人文・社会・自然の各分野からそれぞれ4単位以上修得すること。
 - (4) 人間形成の分野から2単位以上修得すること。
 - (5) 共通テーマ科目から2単位以上修得すること。
 - (6) 教養基礎演習、人文・社会・自然・人間形成の各分野及び共通テーマ科目から規定の単位数を超えて6単位以上。
- 3 専攻科目から86単位以上修得すること。ただし、次の単位を修得しなければならない。
- (1) A群から16単位以上修得すること。
 - (2) B群から36単位以上修得すること。
 - (3) C群から34単位以上修得すること。ただし、関連科目は8単位までC群に換算できる。
なお、A群の「卒業要件単位」を超える単位はB群に換算できる。また、換算した単位を含めてB群の「卒業要件単位」を超える単位はC群に換算できる。
- 4 自由選択科目の単位として、10単位以上を修得すること。
自由選択科目の単位として算入できるものは、次のとおりとする。
- (1) 共通教養科目及び専攻科目の「卒業要件単位数」を超える単位。
 - (2) 教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」の単位。ただし、教職課程登録者のみ履修でき、6単位を上限として自由選択科目に算入できる。
 - (3) 他学部、他学科開講の専攻科目の単位。ただし、他学部他学科が受講を認めない科目については、履修することはできない。

④ 経済分析専攻 政策分析コース

授 業 科 目 の 名 称								授 業 を 行 う 年 次	単 位 数 又 は 時 間 数			卒業要件単位数
									必修	選択	自由	
専攻科目	A 群	経済学Ⅰ	1	2	18単位以上							
		経済学Ⅱ	1	2								
		経済ミクロ	1	4								
		経済マクロ	1	2								
		現代経済学	1	4								
		現代経済学	1	4								
		現代経済学	2	4								
		B 群	経済学Ⅰ	1		2	42単位以上					
	経済学Ⅱ		1	2								
	公共経済学		2	4								
	財政学Ⅰ		2	4								
	財政学Ⅱ		2	2								
	労働経済学Ⅰ		2	2								
	労働経済学Ⅱ		2	2								
	労働経済学Ⅲ		2	2								
	国際経済学Ⅰ		2	2								
	国際経済学Ⅱ		2	2								
	基礎経済学Ⅰ		2	2								
	基礎経済学Ⅱ		2	4								
	経済学Ⅲ		2	2								
	経済学Ⅳ		2	4								
	経済学Ⅴ		2	4								
	経済学Ⅵ		2	4								
	経済学Ⅶ		3・4	2								
	経済学Ⅷ		3・4	2								
	経済学Ⅸ		3・4	2								
	経済学Ⅹ		3・4	2								
	経済学Ⅺ		3・4	2								
	経済学Ⅻ		3・4	2								
	経済学Ⅼ		3・4	2								
	経済学Ⅽ		3・4	2								
	経済学Ⅾ		3・4	2								
	経済学Ⅿ		3・4	2								
	経済学ⅰ		3・4	2								
	C 群		基礎経済学Ⅰ	1	2	26単位以上 (含む関連8単位 まで可)						
			基礎経済学Ⅱ	1	2							
			基礎経済学Ⅲ	1	2							
			基礎経済学Ⅳ	1	2							
			基礎経済学Ⅴ	1	2							
		基礎経済学Ⅵ	1	2								
		基礎経済学Ⅶ	1	2								
		基礎経済学Ⅷ	1	2								
		基礎経済学Ⅸ	1	2								
		基礎経済学Ⅹ	1	2								
		基礎経済学Ⅺ	1	2								
		基礎経済学Ⅻ	1	2								
		基礎経済学Ⅼ	1	2								
基礎経済学Ⅽ		1	2									
基礎経済学Ⅾ		1	2									
基礎経済学Ⅿ		1	2									

授 業 科 目 の 名 称		授業を 行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数	
			必修	選択	自由		
専 攻 科 目	C群	マ	1	2		26単位以上 (含む関連8単位 まで可)	専攻 科目 から 86単位
		社	2	2			
		社	2	2			
		経	2	2			
		経	2	2			
		日	2	2			
		日	2	2			
		西	2	2			
		西	2	2			
		ア	2	2			
		ア	2	2			
		ヨ	2	2			
		ヨ	2	2			
		ア	2	2			
		ア	2	2			
		行	2	2			
		行	2	2			
		中	2	2			
		中	2	2			
		管	2	2			
		コ	2	2			
		経	2	2			
		経	2	2			
		経	2	2			
		現	2	2			
		中	2	2			
		ベ	2	2			
		経	2	2			
		経	2	2			
		経	2	2			
		経	2	2			
		経	2	2			
		財	2	2			
		連	2	2			
		流	2	2			
		流	2	2			
		消	2	2			
		消	2	2			
		貿	2	2			
		貿	2	2			
		世	2	2			
		世	2	2			
		ロ	2	2			
		ロ	2	2			
		貿	2	2			
		貿	2	2			
		国	2	2			
		国	2	2			
		流	2	2			
		流	2	2			
		経	2	2			
		マ	2	2			
		社	2	4			
		現	2	2			
		現	2	2			
		農	3・4	2			
		食	3・4	2			

授 業 科 目 の 名 称							授 業 を 行 う 年 次	単 位 数 又 は 時 間 数			卒 業 要 件 単 位 数	
								必 修	選 択	自 由		
専 攻 科 目	C 群	都 市 経 済 論 I	3・4		2		26単位以上 (含む関連8単位 まで可)	専攻 科目 から 86単位				
		都 市 経 済 論 II	3・4		2							
		証 券 市 場 論 I	3・4		2							
		証 券 市 場 論 II	3・4		2							
		金 融 機 関 論 I	3・4		2							
		金 融 機 関 論 II	3・4		2							
		フ ァ イ ナ ン ス (基 礎)	3・4		2							
		フ ァ イ ナ ン ス (応 用)	3・4		2							
		ビ ッ グ デ ー タ 分 析 I	3・4		2							
		ビ ッ グ デ ー タ 分 析 II	3・4		2							
		国 際 金 融 論 I	3・4		2							
		国 際 金 融 論 II	3・4		2							
		現 代 資 本 主 義 論 I	3・4		2							
		現 代 資 本 主 義 論 II	3・4		2							
		経 済 哲 学 I	3・4		2							
		経 済 哲 学 II	3・4		2							
		社 会 思 想 史 I	3・4		2							
		社 会 思 想 史 II	3・4		2							
		開 発 経 済 学 I	3・4		2							
		開 発 経 済 学 II	3・4		2							
		ロ シ ア 経 済 論 I	3・4		2							
		ロ シ ア 経 済 論 II	3・4		2							
		情 報 経 済 論 I	3・4		2							
		情 報 経 済 論 II	3・4		2							
		マ ー ケ テ ィ ン グ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン I	3・4		2							
		マ ー ケ テ ィ ン グ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン II	3・4		2							
		マ ー ケ テ ィ ン グ リ サ ー チ I	3・4		2							
		マ ー ケ テ ィ ン グ リ サ ー チ II	3・4		2							
		国 際 会 計 論	3・4		2							
		国 際 会 計 思 想 度 計 論	3・4		2							
		会 計 制 度 計 論	3・4		2							
		環 境 会 計 論	3・4		2							
		グ ロー バ ル マ ー ケ テ ィ ン グ I	3・4		2							
		グ ロー バ ル マ ー ケ テ ィ ン グ II	3・4		2							
		経 済 専 修 英 語 (会 話) III	3・4		2							
		経 済 専 修 英 語 (会 話) IV	3・4		2							
		経 済 専 修 英 語 (講 読) III	3・4		2							
		経 済 専 修 英 語 (講 読) IV	3・4		2							
		経 済 専 修 英 語 (作 文) III	3・4		2							
		経 済 専 修 英 語 (作 文) IV	3・4		2							
国 際 商 務 論 I	3・4		2									
国 際 商 務 論 II	3・4		2									
経 営 情 報 論 I	3・4		2									
経 営 情 報 論 II	3・4		2									
ラ テ ン ア メ リ カ 経 済 論 I	3・4		2									
ラ テ ン ア メ リ カ 経 済 論 II	3・4		2									
経 営 戦 略 論	3・4		2									
会 社 法 概 説 I	3・4		2									
会 社 法 概 説 II	3・4		2									
グ ロー バ ル ロ ジ ス テ ィ ク ス I	3・4		2									
グ ロー バ ル ロ ジ ス テ ィ ク ス II	3・4		2									
国 際 ビ ジ ネ ス コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン I	3・4		2									
国 際 ビ ジ ネ ス コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン II	3・4		2									
人 的 資 源 管 理 論 I	3・4		2									
人 的 資 源 管 理 論 II	3・4		2									
中 東 政 治 経 済 論 I	3・4		2									
中 東 政 治 経 済 論 II	3・4		2									
国 際 ビ ジ ネ ス 論 I	3・4		2									
国 際 ビ ジ ネ ス 論 II	3・4		2									

授 業 科 目 の 名 称		授業を 行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数
			必修	選択	自由	
専 攻 科 目	C 群	Case Studies in International Business I	3・4	2		26単位以上 (含む関連8単位 まで可)
		Case Studies in International Business II	3・4	2		
		中 国 経 済 論 I	3・4	2		
		中 国 経 済 論 II	3・4	2		
		現 代 の 経 済 問 題 E	3・4	2		
		現 代 の 経 済 問 題 F	3・4	2		
		経 済 ゼ ミ ナ ー ル I	2	2		
		経 済 ゼ ミ ナ ー ル II a	3	2		
		経 済 ゼ ミ ナ ー ル II b	3	2		
		経 済 ゼ ミ ナ ー ル III a	4	2		
		経 済 ゼ ミ ナ ー ル III b	4	2		
	イン フォ メーション （情報）	コ ン ピ ュ ー タ 演 習 I	2	2		
		コ ン ピ ュ ー タ 演 習 II	2	2		
		コ ン ピ ュ ー タ 演 習 III	2	2		
		コ ン ピ ュ ー タ 演 習 IV	2	2		
		コ ン ピ ュ ー タ 演 習 V	3・4	2		
		コ ン ピ ュ ー タ 演 習 VI	3・4	2		
		コ ン ピ ュ ー タ 演 習 VII	3・4	2		
		コ ン ピ ュ ー タ 演 習 VIII	3・4	2		
	イン フォ メーション （英語）	英 語 演 習 1 ー I	1	4		
		英 語 演 習 1 ー II	1	4		
		英 語 演 習 2 ー I	2	4		
		英 語 演 習 2 ー II	2	4		
		英 語 演 習 3 ー I	3・4	4		
		英 語 演 習 3 ー II	3・4	4		
	関 連 科 目	日 本 史 概 論 I	1・2・3・4	2		
		日 本 史 概 論 II	1・2・3・4	2		
		外 国 史 概 論 I	1・2・3・4	2		
		外 国 史 概 論 II	1・2・3・4	2		
		人 文 地 理 学 概 論 I	1・2・3・4	2		
		人 文 地 理 学 概 論 II	1・2・3・4	2		
		自 然 地 理 学 概 論 I	1・2・3・4	2		
		自 然 地 理 学 概 論 II	1・2・3・4	2		
		社 会 学 概 論 I	1・2・3・4	2		
		社 会 学 概 論 II	1・2・3・4	2		
		哲 学 概 論 I	1・2・3・4	2		
		哲 学 概 論 II	1・2・3・4	2		
		地 理 学 (含 地 誌)	1・2・3・4	2		
		政 治 学 入 門	1・2・3・4	2		
		地 誌 学 概 論	1・2・3・4	2		
		国 際 法 I	1・2・3・4	2		
		国 際 法 II	1・2・3・4	2		
		職 業 指 導 I (商 業)	1・2・3・4	2		
		職 業 指 導 II (商 業)	1・2・3・4	2		
		日 本 政 治	1・2・3・4	2		
		日 本 政 治 史	1・2・3・4	2		
		国 際 政 治 学 I	1・2・3・4	2		
		国 際 政 治 学 II	1・2・3・4	2		
		ヨ ー ロ ッ パ 政 治	1・2・3・4	2		
		ヨ ー ロ ッ パ 政 治 史	1・2・3・4	2		
		労 働 法 I	1・2・3・4	2		
		労 働 法 II	1・2・3・4	2		
自 由 選 択 科 目	(1) 共通教養科目及び専攻科目の「卒業要件単位数」を超える単位。 (2) 教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等(各教科の指導法を含む)」の単位。 ただし、教職課程登録者のみ履修でき、6単位を上限として自由選択科目に算入できる。 (3) 他学部、他学科開講の専攻科目の単位。ただし、他学部他学科が受講を認めない科目については、履修することはできない。					10単位

〔履修要件〕

- 各年次ではそれぞれ上位年次の授業科目を履修することはできない。
- 同一授業科目は、重複して履修することはできない。
- 各セメスターの履修単位は、それぞれ24単位を上限とする。
ただし、
 - ①長期履修学生制度適用者に対する各セメスターの履修単位は14単位を上限とする。
 - ②成績優良者（直前の学期の GPA が3.0以上の者）については、申請により、半期4単位（年間8単位）まで履修単位数の上限を超えて履修することができる。（長期履修学生制度適用者を除く）
 - ③資格教育課程に関する科目、教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」の単位数はこの上限単位に含めない。
 - ④通年科目を履修した場合は、その科目の単位数を二分割し、前学期・後学期それぞれの学期の単位数として換算する。
- 「経済入門」は1年次のみ履修することができる。
- 「経済ゼミナールⅠ」は2年次後学期、「経済ゼミナールⅡa」は3年次前学期、「経済ゼミナールⅡb」は3年次後学期、「経済ゼミナールⅢa」は4年次前学期、「経済ゼミナールⅢb」は4年次後学期で履修するものとする。

〔コース登録〕

- 2年次当初に「政策分析コース」「データ分析コース」のいずれかのコースを選択し、登録しなければならない。
- コースの変更を希望する者は、3年次当初に「コース変更届」により申請し、許可を得なければならない。

〔進級要件〕（2年次から3年次）

- 2年次終了までに「卒業要件単位数」のうち、初年次ゼミナールの2単位を含む44単位以上を修得しなければならない。
- 1の中には、資格教育課程に関する科目、教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」の単位数は含めない。
- ただし、長期履修学生制度適用者は、進級要件を適用しない。

〔学外単位認定制度〕

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、進級要件単位及び卒業要件単位に算入することができる。なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各セメスターの履修制限単位数に含める。

- 本学が主催又は推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
- 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続きにより認定された単位。
- 横浜市内大学間又は協定に基づく国内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。
- 派遣交換留学等により派遣先大学で修得した単位の内、帰国後本学における審査を経て本学の単位として認定された単位。

〔卒業要件〕

- 4年(8セメスター)以上在学し、学則所定の次表の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。

共 通 教 養 科 目								共通 教養 科目 合計	専 攻 科 目				専 攻 科 目 合 計	自 由 選 択 科 目	合 計
共 通 基 盤 科 目							共通テーマ科目		A 群	B 群	C 群	関 連 科 目 (8可)			
初 年 次 ゼ ミ ナ ー ル	外 国 語 科 目	教 養 基 礎 演 習	人 文 の 分 野	社 会 の 分 野	自 然 の 分 野	人 間 形 成 の 分 野	現 代 社 会 と 市 民								
2	8		4	4	4	2	2	32	18	42	26	86	10	128	
		6													

- 共通教養科目から次の内訳で合計32単位以上を修得すること。
 - (1) 初年次ゼミナール2単位（必修）。

- (2) 外国語科目から英語を8単位。ただし、外国人留学生及び外国高等学校在学経験者（帰国生徒等）は申請により、英語に換えて、4～6単位を日本語とすることができる。なお、8単位に不足する単位は英語で補うものとする。
 - (3) 人文・社会・自然の各分野からそれぞれ4単位以上修得すること。
 - (4) 人間形成の分野から2単位以上修得すること。
 - (5) 共通テーマ科目から2単位以上修得すること。
 - (6) 教養基礎演習、人文・社会・自然・人間形成の各分野及び共通テーマ科目から規定の単位数を超えて6単位以上。
- 3 専攻科目から86単位以上修得すること。ただし、次の単位を修得しなければならない。
- (1) A群から18単位以上修得すること。
 - (2) B群から42単位以上修得すること。
 - (3) C群から26単位以上修得すること。ただし、関連科目は8単位までC群に換算できる。
なお、A群の「卒業要件単位」を超える単位はB群に換算できる。また、換算した単位を含めてB群の「卒業要件単位」を超える単位はC群に換算できる。
- 4 自由選択科目の単位として、10単位以上を修得すること。
自由選択科目の単位として算入できるものは、次のとおりとする。
- (1) 共通教養科目及び専攻科目の「卒業要件単位数」を超える単位。
 - (2) 教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」の単位。ただし、教職課程登録者のみ履修でき、6単位を上限として自由選択科目に算入できる。
 - (3) 他学部、他学科開講の専攻科目の単位。ただし、他学部他学科が受講を認めない科目については、履修することはできない。

⑤ 経済分析専攻 データ分析コース

授 業 科 目 の 名 称			授業を 行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数		
				必修	選択	自由			
専攻科目	A群	経済数学 I	1		2		18単位以上		
		経済数学 II	1		2				
		入門論	1		2				
		現代日本経済論	1		4				
		ロジカルシンキング	1		2				
		ミクロ経済学	1		4				
		マクロ経済学	1		2				
	B群	経済情報処理解 I	1		2		42単位以上		
		経済情報処理解 II	1		2				
		基礎簿記	1		2				
		情報システム社会論	1		2				
		マーケティング I	1		2				
		経済数学 III	2		2				
		金融融合論	2		4				
		基礎統計学	2		2				
		経済統計論	2		4				
		経営分経析学	2		2				
		コンピュータ演習 I	2		4				
		コンピュータ演習 II	2		2				
		コンピュータ演習 III	2		2				
		コンピュータ演習 IV	2		2				
		マーケティング II	2		2				
		証券市場論 I	3・4		2				
		証券市場論 II	3・4		2				
		国際金融論 I	3・4		2				
		国際金融論 II	3・4		2				
		情報経済論 I	3・4		2				
		情報経済論 II	3・4		2				
		経営情報論 I	3・4		2				
		経営情報論 II	3・4		2				
		ファイナンス (基礎)	3・4		2				
		ファイナンス (応用)	3・4		2				
		ビッグデータ分析 I	3・4		2				
		ビッグデータ分析 II	3・4		2				
		C群	経済史 I	1		2			
			経済史 II	1		2			
			経営学総論 I	1		2			
			経営学総論 II	1		2			
			経済地理 I	1		2			
			経済地理 II	1		2			
			現代の経済問題 A	1		2			
	現代の経済問題 B		1		2				
	基礎経済学 I		1		2				
	基礎経済学 II		1		2				
	経済外国語 A		1		2				
	経済外国語 B		1		2				
	経済外国語 C		1		2				
	経済外国語 D		1		2				
	民法概説		1		2				
	労働経済論 I		2		2				
	労働経済論 II		2		2				
	労働経済論 I		2		2				
	労働経済論 II		2		2				

授 業 科 目 の 名 称		授業を 行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数	
			必修	選択	自由		
専 攻 科 目	C 群	財 政 学 I	2	2		26単位以上 (含む関連8単位 まで可)	専攻 科目 から 86単 位
		財 政 学 II	2	2			
		国 際 経 済 学 I	2	2			
		国 際 経 済 学 II	2	2			
		経 済 学 I	2	2			
		経 済 学 II	2	2			
		日 本 経 済 史 I	2	2			
		日 本 経 済 史 II	2	2			
		西 洋 経 済 史 I	2	2			
		西 洋 経 済 史 II	2	2			
		世 界 経 済 論 I	2	2			
		世 界 経 済 論 II	2	2			
		メ リ カ 経 済 論 I	2	2			
		メ リ カ 経 済 論 II	2	2			
		エ ー ロ ッ パ 経 済 論 I	2	2			
		エ ー ロ ッ パ 経 済 論 II	2	2			
		ア ジ ア 経 済 論 I	2	2			
		ア ジ ア 経 済 論 II	2	2			
		流 通 論 I	2	2			
		流 通 論 II	2	2			
		貿 易 論 I	2	2			
		貿 易 論 II	2	2			
		中 小 企 業 論 I	2	2			
		中 小 企 業 論 II	2	2			
		中 級 マ ク ロ 経 済 学 I	2	2			
		中 級 マ ク ロ 経 済 学 II	2	2			
		管 理 学 I	2	2			
		管 理 学 II	2	2			
		コ ス ト マ ネ ジ ム ン ト 論 I	2	2			
		コ ス ト マ ネ ジ ム ン ト 論 II	2	2			
		経 営 学 I	2	2			
		経 営 学 II	2	2			
		経 済 専 修 英 語 (会 話) I	2	2			
		経 済 専 修 英 語 (会 話) II	2	2			
		経 済 専 修 英 語 (講 読) I	2	2			
		経 済 専 修 英 語 (講 読) II	2	2			
		経 済 専 修 英 語 (作 文) I	2	2			
		経 済 専 修 英 語 (作 文) II	2	2			
		財 務 結 会 計 論 I	2	2			
		財 務 結 会 計 論 II	2	2			
		消 費 者 行 動 論 I	2	2			
		消 費 者 行 動 論 II	2	2			
		ロ ジ ス テ ィ ッ ク シ ョ ン I	2	2			
		ロ ジ ス テ ィ ッ ク シ ョ ン II	2	2			
		貿 易 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン I	2	2			
		貿 易 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン II	2	2			
		国 際 商 取 引 論 I	2	2			
		国 際 商 取 引 論 II	2	2			
		流 通 史 I	2	2			
		流 通 史 II	2	2			
		公 現 社 經 代 の 経 済 問 題 演 習 I	2	4			
		公 現 社 經 代 の 経 済 問 題 演 習 II	2	4			
		公 現 社 經 代 の 経 済 問 題 演 習 III	2	4			
		公 現 社 經 代 の 経 済 問 題 演 習 IV	2	4			
		公 現 社 經 代 の 経 済 問 題 演 習 V	2	4			
		公 現 社 經 代 の 経 済 問 題 演 習 VI	2	4			
		公 現 社 經 代 の 経 済 問 題 演 習 VII	2	4			
		公 現 社 經 代 の 経 済 問 題 演 習 VIII	2	4			

[illegible]

授 業 科 目 の 名 称			授業を 行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数		
				必修	選択	自由			
専 攻 科 目	C 群	Case Studies in International Business I	3・4		2		26単位以上 (含む関連8単位 まで可)	専攻 科目 から 86単 位	
		Case Studies in International Business II	3・4		2				
		ラテンアメリカ経済論 I	3・4		2				
		ラテンアメリカ経済論 II	3・4		2				
		中国経済論 I	3・4		2				
		中国経済論 II	3・4		2				
		現代の経済問題 E	3・4		2				
		現代の経済問題 F	3・4		2				
		経済ゼミナール I	2		2				
		経済ゼミナール II a	3		2				
		経済ゼミナール II b	3		2				
		経済ゼミナール III a	4		2				
		経済ゼミナール III b	4		2				
		イン テン シブ プ ロ グ ラ ム (英語)	英 語 演 習 1 ー I	1		4			
			英 語 演 習 1 ー II	1		4			
	英 語 演 習 2 ー I		2		4				
	英 語 演 習 2 ー II		2		4				
	英 語 演 習 3 ー I		3・4		4				
	英 語 演 習 3 ー II		3・4		4				
	関 連 科 目	憲 法 概 説 I	1・2・3・4		2				
		憲 法 概 説 II	1・2・3・4		2				
		日 本 史 概 論 I	1・2・3・4		2				
		日 本 史 概 論 II	1・2・3・4		2				
		外 国 史 概 論 I	1・2・3・4		2				
		外 国 史 概 論 II	1・2・3・4		2				
		地 理 学 (含 地 誌)	1・2・3・4		2				
		刑 法 概 説	1・2・3・4		2				
		人 文 地 理 学 概 論 I	1・2・3・4		2				
		人 文 地 理 学 概 論 II	1・2・3・4		2				
		自 然 地 理 学 概 論 I	1・2・3・4		2				
		自 然 地 理 学 概 論 II	1・2・3・4		2				
		社 会 学 概 論 I	1・2・3・4		2				
社 会 学 概 論 II		1・2・3・4		2					
哲 学 概 論 I		1・2・3・4		2					
哲 学 概 論 II		1・2・3・4		2					
地 誌 学 概 入 論		1・2・3・4		2					
政 治 学 法 I		1・2・3・4		2					
行 政 法 II		1・2・3・4		2					
行 政 法 I		1・2・3・4		2					
国 際 法 II		1・2・3・4		2					
職 業 指 導 I (商 業)		1・2・3・4		2					
職 業 指 導 II (商 業)		1・2・3・4		2					
日 本 政 治 史		1・2・3・4		2					
日 本 政 治 学 I		1・2・3・4		2					
国 際 政 治 学 II		1・2・3・4		2					
ヨ ー ロ ッ パ 政 治		1・2・3・4		2					
ヨ ー ロ ッ パ 政 治 史		1・2・3・4		2					
労 働 法 I		1・2・3・4		2					
労 働 法 II		1・2・3・4		2					
自 由 選 択 科 目		(1) 共通教養科目及び専攻科目の「卒業要件単位数」を超える単位。 (2) 教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等(各教科の指導法を含む)」の単位。ただし、教職課程登録者のみ履修でき、6単位を上限として自由選択科目に算入できる。 (3) 他学部、他学科開講の専攻科目の単位。ただし、他学部他学科が受講を認めない科目については、履修することはできない。						10単位	

〔履修要件〕

- 各年次ではそれぞれ上位年次の授業科目を履修することはできない。
- 同一授業科目は、重複して履修することはできない。
- 各セメスターの履修単位は、それぞれ24単位を上限とする。
ただし、
①長期履修学生制度適用者に対する各セメスターの履修単位は14単位を上限とする。
②成績優良者（直前の学期の GPA が3.0以上の者）については、申請により、半期4単位（年間8単位）まで履修単位数の上限を超えて履修することができる。（長期履修学生制度適用者を除く）
③資格教育課程に関する科目、教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」の単位数はこの上限単位に含めない。
④通年科目を履修した場合は、その科目の単位数を二分割し、前学期・後学期それぞれの学期の単位数として換算する。
- 「経済入門」は1年次のみ履修することができる。
- 「経済ゼミナールⅠ」は2年次後学期、「経済ゼミナールⅡa」は3年次前学期、「経済ゼミナールⅡb」は3年次後学期、「経済ゼミナールⅢa」は4年次前学期、「経済ゼミナールⅢb」は4年次後学期で履修するものとする。

〔コース登録〕

- 2年次当初に「政策分析コース」「データ分析コース」のいずれかのコースを選択し、登録しなければならない。
- コースの変更を希望する者は、3年次当初に「コース変更届」により申請し、許可を得なければならない。

〔進級要件〕（2年次から3年次）

- 2年次終了までに「卒業要件単位数」のうち、初年次ゼミナールの2単位を含む44単位以上を修得しなければならない。
- 1の中には、資格教育課程に関する科目、教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」の単位数は含めない。
- ただし、長期履修学生制度適用者は、進級要件を適用しない。

〔学外単位認定制度〕

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、進級要件単位及び卒業要件単位に算入することができる。なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各セメスターの履修制限単位数に含める。

- 本学が主催又は推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
- 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続きにより認定された単位。
- 横浜市内大学間又は協定に基づく国内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。
- 派遣交換留学等により派遣先大学で修得した単位の内、帰国後本学における審査を経て本学の単位として認定された単位。

〔卒業要件〕

- 4年(8セメスター)以上在学し、学則所定の次表の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。

共 通 教 養 科 目								共通 教養 科目 合計	専 攻 科 目				専攻 科目 合計	自由選 択科目	合計
共 通 基 盤 科 目							共通テーマ科目		A 群	B 群	C 群	関連 科目 (8可)			
初 年 次 ゼ ミ ナ ール	外 国 語 科 目	教 養 基 礎 演 習	人 文 の 分 野	社 会 の 分 野	自 然 の 分 野	人 間 形 成 の 分 野									
							現代社会と市民								
2	8		4	4	4	2	2	32	18	42	26	86	10	128	
		6													

- 共通教養科目から次の内訳で合計32単位以上を修得すること。
(1) 初年次ゼミナール2単位（必修）。

- (2) 外国語科目から英語を8単位。ただし、外国人留学生及び外国高等学校在学経験者（帰国生徒等）は申請により、英語に換えて、4～6単位を日本語とすることができる。なお、8単位に不足する単位は英語で補うものとする。
 - (3) 人文・社会・自然の各分野からそれぞれ4単位以上修得すること。
 - (4) 人間形成の分野から2単位以上修得すること。
 - (5) 共通テーマ科目から2単位以上修得すること。
 - (6) 教養基礎演習、人文・社会・自然・人間形成の各分野及び共通テーマ科目から規定の単位数を超えて6単位以上。
- 3 専攻科目から86単位以上修得すること。ただし、次の単位を修得しなければならない。
- (1) A群から18単位以上修得すること。
 - (2) B群から42単位以上修得すること。
 - (3) C群から26単位以上修得すること。ただし、関連科目は8単位までC群に換算できる。
なお、A群の「卒業要件単位」を超える単位はB群に換算できる。また、換算した単位を含めてB群の「卒業要件単位」を超える単位はC群に換算できる。
- 4 自由選択科目の単位として、10単位以上を修得すること。
自由選択科目の単位として算入できるものは、次のとおりとする。
- (1) 共通教養科目及び専攻科目の「卒業要件単位数」を超える単位。
 - (2) 教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」の単位。ただし、教職課程登録者のみ履修でき、6単位を上限として自由選択科目に算入できる。
 - (3) 他学部、他学科開講の専攻科目の単位。ただし、他学部他学科が受講を認めない科目については、履修することはできない。

(5) 経済学部 現代ビジネス学科 専攻科目

① 貿易・国際ビジネスコース

授 業 科 目 の 名 称		授 業 を 行 う 年 次	単 位 数 又 は 時 間 数			卒 業 要 件 単 位 数
			必 修	選 択	自 由	
専攻科目	A 群	基礎簿記	1	2		16単位以上
		基礎簿記	1	2		
		経営学総論Ⅰ	1	2		
		経営学総論Ⅱ	1	2		
		現代ビジネス入門Ⅰ	1	2		
		現代ビジネス入門Ⅱ	2	2		
		流通論Ⅰ	2	2		
		流通論Ⅱ	2	2		
		消費者行動論Ⅰ	2	2		
		消費者行動論Ⅱ	2	2		
	B 群	日本経済論Ⅰ	1	2		36単位以上
		日本経済論Ⅱ	1	2		
		アジア経済論Ⅰ	2	2		
		アジア経済論Ⅱ	2	2		
		アメリカ経済論Ⅰ	2	2		
		アメリカ経済論Ⅱ	2	2		
		貿易コミュニケーションⅠ	2	2		
		貿易コミュニケーションⅡ	2	2		
		国際商取引論Ⅰ	2	2		
		国際商取引論Ⅱ	2	2		
		国際ビジネス論Ⅰ	2	2		
		国際ビジネス論Ⅱ	2	2		
		貿易論Ⅰ	2	2		
		貿易論Ⅱ	2	2		
		経済専修英語（講読）Ⅰ	2	2		
		経済専修英語（講読）Ⅱ	2	2		
		グローバルロジスティクスⅠ	3・4	2		
		グローバルロジスティクスⅡ	3・4	2		
		国際ビジネスコミュニケーションⅠ	3・4	2		
		国際ビジネスコミュニケーションⅡ	3・4	2		
		国際商務論Ⅰ	3・4	2		
		国際商務論Ⅱ	3・4	2		
		経済専修英語（講読）Ⅲ	3・4	2		
		経済専修英語（講読）Ⅳ	3・4	2		
		Case Studies in International BusinessⅠ	3・4	2		
		Case Studies in International BusinessⅡ	3・4	2		
		グローバルマーケティングⅠ	3・4	2		
		グローバルマーケティングⅡ	3・4	2		
		中国経済論Ⅰ	3・4	2		
		中国経済論Ⅱ	3・4	2		
	C 群	経済史Ⅰ	1	2		34単位以上 (含む関連8単位まで可)
		経済史Ⅱ	1	2		
		経済情報処理Ⅰ	1	2		
		経済情報処理Ⅱ	1	2		
		経済地理Ⅰ	1	2		
		経済地理Ⅱ	1	2		
		情報システム社会論	1	2		
		ミクロ経済学	1	4		
		経済外国語A	1	2		
		経済外国語B	1	2		
		経済外国語C	1	2		
		経済外国語D	1	2		
		基礎経済数学Ⅰ	1	2		
		基礎経済数学Ⅱ	1	2		
		現代の経済問題A	1	2		
		現代の経済問題B	1	2		

専攻科目から
86単位

授 業 科 目 の 名 称			授 業 を 行 う 年 次	単 位 数 又 は 時 間 数			卒 業 要 件 単 位 数	
				必 修	選 択	自 由		
専 攻 科 目	C 群	民 法 概 説	1		2		34単位以上 (含む関連8単位 まで可)	専攻科目から 86単位
		マ ン 経 済 学	2		4			
		社 会 経 済 学	2		4			
		管 理 学	2		2			
		コ ス ト マ ネ ジ メ ン ト 論	2		2			
		経 営 管 組 理 織 論	2		2			
		経 営 史	2		2			
		経 営 史	2		2			
		経 営 分 会 析 計	2		2			
		経 営 代 政 学	2		2			
		現 財 政 学	2		2			
		財 務 会 計	2		2			
		財 融 業 計	2		2			
		金 中 小 結 ス テ イ ク ス	2		4			
		連 口 ジ ス テ イ ク ス	2		2			
		口 ジ ス テ イ ク ス	2		2			
		流 通 史	2		2			
		流 通 史	2		2			
		国 際 経 済 学	2		2			
		国 際 経 済 史	2		2			
		経 済 学 史	2		2			
		経 済 修 英 (会 話)	2		2			
		経 済 修 英 (会 話)	2		2			
		経 済 修 英 (作 文)	2		2			
		経 済 修 英 (作 文)	2		2			
		社 会 政 策	2		2			
		社 会 政 策	2		2			
		西 洋 経 済 史	2		2			
		西 洋 経 済 史	2		2			
		世 界 経 済 論	2		2			
		中 級 ミ ク ロ 経 済 学	2		2			
		中 級 ミ ク ロ 経 済 学	2		2			
		日 本 経 済 史	2		2			
		日 本 経 済 史	2		2			
		労 働 経 済 論	2		2			
		ヨ ー ロ ッ パ 経 済 論	2		2			
ヨ ー ロ ッ パ 経 済 論	2		2					
ベ ー チ ン 経 済 政 策	2		4					
経 済 統 計	2		4					
基 礎 経 済 問 題	2		2					
現 代 経 済 問 題	2		2					
国 際 計 算 計	3・4		2					
会 計 制 度 計	3・4		2					
会 計 制 度 計	3・4		2					
環 境 計 算 計	3・4		2					
会 計 制 度 計	3・4		2					
マ ー ケ テ ィ ン グ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	3・4		2					
マ ー ケ テ ィ ン グ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	3・4		2					
経 営 戦 略	3・4		2					
意 思 決 定 論	3・4		2					
マ ー ケ テ ィ ン グ リ サ ー チ	3・4		2					
マ ー ケ テ ィ ン グ リ サ ー チ	3・4		2					

授 業 科 目 の 名 称		授 業 を 行 う 年 次	単 位 数 又 は 時 間 数			卒 業 要 件 単 位 数	
			必 修	選 択	自 由		
専 攻 科 目	C 群	証 証 市 場 論 I	3・4		2	34単位以上 (含む関連8単位 まで可)	専攻 科目 から 86単 位
		証 券 市 場 論 II	3・4		2		
		人 的 資 源 管 理 論 I	3・4		2		
		人 的 資 源 管 理 論 II	3・4		2		
		租 税 論 I	3・4		2		
		租 税 論 II	3・4		2		
		中 東 政 治 経 済 論 I	3・4		2		
		中 東 政 治 経 済 論 II	3・4		2		
		経 営 情 報 論 I	3・4		2		
		経 営 情 報 論 II	3・4		2		
		金 融 機 関 論 I	3・4		2		
		金 融 機 関 論 II	3・4		2		
		環 境 経 済 論 I	3・4		2		
		環 境 経 済 論 II	3・4		2		
		開 発 経 済 学 I	3・4		2		
		開 発 経 済 学 II	3・4		2		
		国 際 金 融 論 I	3・4		2		
		国 際 金 融 論 II	3・4		2		
		経 済 専 修 英 語 (会 話) III	3・4		2		
		経 済 専 修 英 語 (会 話) IV	3・4		2		
		経 済 専 修 英 語 (作 文) III	3・4		2		
		経 済 専 修 英 語 (作 文) IV	3・4		2		
		経 済 哲 学 I	3・4		2		
		経 済 哲 学 II	3・4		2		
		ミ ク ロ 経 済 学 演 習	3・4		2		
		マ ク ロ 経 済 学 演 習	3・4		2		
		現 代 資 本 主 義 論 I	3・4		2		
		現 代 資 本 主 義 論 II	3・4		2		
		産 業 組 織 論 I	3・4		2		
		産 業 組 織 論 II	3・4		2		
		社 会 思 想 史 I	3・4		2		
		社 会 思 想 史 II	3・4		2		
		地 方 財 政 論 I	3・4		2		
		地 方 財 政 論 II	3・4		2		
		都 市 経 済 論 I	3・4		2		
		都 市 経 済 論 II	3・4		2		
		社 会 保 障 論 I	3・4		2		
		社 会 保 障 論 II	3・4		2		
		農 業 経 済 論	3・4		2		
		食 糧 経 済 論	3・4		2		
		ラ テ ア メ リ カ 経 済 論 I	3・4		2		
		ラ テ ア メ リ カ 経 済 論 II	3・4		2		
		ロ シ ア 経 済 論 I	3・4		2		
		ロ シ ア 経 済 論 II	3・4		2		
		情 報 経 済 論 I	3・4		2		
		情 報 経 済 論 II	3・4		2		
		会 社 法 概 説 I	3・4		2		
		会 社 法 概 説 II	3・4		2		
		計 量 経 済 学	3・4		4		
		公 共 経 済 学	3・4		4		
		現 代 の 経 済 問 題 E	3・4		2		
		現 代 の 経 済 問 題 F	3・4		2		
		経 済 ゼ ミ ナ ー ル I	2		2		
		経 済 ゼ ミ ナ ー ル II a	3		2		
		経 済 ゼ ミ ナ ー ル II b	3		2		
		経 済 ゼ ミ ナ ー ル III a	4		2		
		経 済 ゼ ミ ナ ー ル III b	4		2		

授 業 科 目 の 名 称										授 業 を 行 う 年 次	単 位 数 又 は 時 間 数			卒 業 要 件 単 位 数					
											必 修	選 択	自 由						
専 攻 科 目	C 群	イン テン シ ブ プ ロ グ ラ ム (英 語)	英	英	英	英	英	英	英	1	—	I	1		4		34単位以上 (含む関連8単位 まで可)	専攻 科目 から 86単 位	
			語	語	語	語	語	語	語	語	語	1	—	II	1				4
			演	演	演	演	演	演	演	演	演	2	—	I	2				4
			習	習	習	習	習	習	習	習	習	2	—	II	2				4
			演	演	演	演	演	演	演	演	演	3	—	I	3・4				4
			習	習	習	習	習	習	習	習	習	3	—	II	3・4				4
		イン テン シ ブ プ ロ グ ラ ム (情 報)	コ	ン	ピ	ユ	ー	タ	演	習	I	2		2					
			コ	ン	ピ	ユ	ー	タ	演	習	II	2		2					
			コ	ン	ピ	ユ	ー	タ	演	習	III	2		2					
			コ	ン	ピ	ユ	ー	タ	演	習	IV	2		2					
			コ	ン	ピ	ユ	ー	タ	演	習	V	3・4		2					
			コ	ン	ピ	ユ	ー	タ	演	習	VI	3・4		2					
			コ	ン	ピ	ユ	ー	タ	演	習	VII	3・4		2					
			コ	ン	ピ	ユ	ー	タ	演	習	VIII	3・4		2					
	関 連 科 目	憲	法	法	概	説	説	I	1・2・3・4		2								
		憲	法	法	概	説	説	II	1・2・3・4		2								
		日	本	史	史	概	論	I	1・2・3・4		2								
		日	本	史	史	概	論	II	1・2・3・4		2								
		外	本	史	史	概	論	I	1・2・3・4		2								
		外	本	史	史	概	論	II	1・2・3・4		2								
		人	文	地	理	学	概	論	I	1・2・3・4		2							
		人	文	地	理	学	概	論	II	1・2・3・4		2							
		自	然	地	理	学	概	論	I	1・2・3・4		2							
		自	然	地	理	学	概	論	II	1・2・3・4		2							
		社	会	学	学	概	論	I	1・2・3・4		2								
		社	会	学	学	概	論	II	1・2・3・4		2								
		哲	学	学	概	論	論	I	1・2・3・4		2								
		哲	学	学	概	論	論	II	1・2・3・4		2								
		地	理	学	(	含	地	誌	)	1・2・3・4		2							
		刑	法	学	概	説	説		1・2・3・4		2								
		地	誌	学	概	論	論		1・2・3・4		2								
		政	治	学	入	門	門		1・2・3・4		2								
		行	政	法	法	I		1・2・3・4		2									
		行	政	法	法	II		1・2・3・4		2									
		国	際	法	法	I		1・2・3・4		2									
		国	際	法	法	II		1・2・3・4		2									
		職	業	指	導	I	(	商	業	)	1・2・3・4		2						
		職	業	指	導	II	(	商	業	)	1・2・3・4		2						
		日	本	政	治	史		1・2・3・4		2									
		日	本	政	治	史		1・2・3・4		2									
		国	際	政	治	学	I	1・2・3・4		2									
		国	際	政	治	学	II	1・2・3・4		2									
		ヨ	ー	ロ	ッ	パ	政	治	史	1・2・3・4		2							
		ヨ	ー	ロ	ッ	パ	政	治	史	1・2・3・4		2							
		労	働	法	法	I		1・2・3・4		2									
		労	働	法	法	II		1・2・3・4		2									
自由 選択 科目	(1) 共通教養科目及び専攻科目の「卒業要件単位数」を超える単位。 (2) 教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等(各教科の指導法を含む)」の単位。 ただし、教職課程登録者のみ履修でき、6単位を上限として自由選択科目に算入できる。 (3) 他学部、他学科開講の専攻科目の単位。ただし、他学部他学科が受講を認めない科目については、履修することはできない。															10単位			

〔履修要件〕

- 1 各年次ではそれぞれ上位年次の授業科目を履修することはできない。
- 2 同一授業科目は、重複して履修することはできない。
- 3 各セメスターの履修単位は、それぞれ24単位を上限とする。
ただし、
①長期履修学生制度適用者に対する各セメスターの履修単位は14単位を上限とする。
②成績優良者（直前の学期の GPA が3.0以上の者）については、申請により、半期4単位（年間8単位）まで履修単位数の上限を超えて履修することができる。（長期履修学生制度適用者を除く）
③資格教育課程に関する科目、教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」の単位数はこの上限単位に含めない。
④通年科目を履修した場合は、その科目の単位数を二分割し、前学期・後学期それぞれの学期の単位数として換算する。
- 4 「現代ビジネス入門」は1年次のみ履修することができる。
- 5 「経済ゼミナールⅠ」は2年次後学期、「経済ゼミナールⅡa」は3年次前学期、「経済ゼミナールⅡb」は3年次後学期、「経済ゼミナールⅢa」は4年次前学期、「経済ゼミナールⅢb」は4年次後学期で履修するものとする。

〔コース登録〕

- 1 2年次当初に「貿易・国際ビジネスコース」「経営・マーケティングコース」「企業・会計コース」のうち、いずれかのコースを選択し、登録しなければならない。
- 2 コースの変更を希望する者は、3年次当初に「コース変更届」により申請し、許可を得なければならない。

〔進級要件〕（2年次から3年次）

- 1 2年次終了までに「卒業要件単位数」のうち、初年次ゼミナールの2単位を含む44単位以上を修得しなければならない。
- 2 1の中には、資格教育課程に関する科目、教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」の単位数は含めない。
- 3 ただし、長期履修学生制度適用者は、進級要件を適用しない。

〔学外単位認定制度〕

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、進級要件単位及び卒業要件単位に算入することができる。なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各セメスターの履修制限単位数に含める。

- 1 本学が主催又は推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
- 2 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続きにより認定された単位。
- 3 横浜市内大学間又は協定に基づく国内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。
- 4 派遣交換留学等により派遣先大学で修得した単位の内、帰国後本学における審査を経て本学の単位として認定された単位。

〔卒業要件〕

- 1 4年(8セメスター)以上在学し、学則所定の次表の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。

共 通 教 養 科 目								共通教養科目合計	専 攻 科 目				専攻科目合計	自由選択科目	合計
共 通 基 盤 科 目							共通テーマ科目								
初 年 次 ゼ ミ ナ ー ル	外 国 語 科 目	教 養 基 礎 演 習	人 文 の 分 野	社 会 の 分 野	自 然 の 分 野	人 間 形 成 の 分 野	現 代 社 会 と 市 民		A 群	B 群	C 群	関 連 科 目 (8可)			
2	8		4	4	4	2	2	32	16	36	34	86	10	128	
		6													

- 2 共通教養科目から次の内訳で合計32単位以上を修得すること。
(1) 初年次ゼミナール2単位（必修）。

- (2) 外国語科目から英語を8単位。ただし、外国人留学生及び外国高等学校在学経験者（帰国生徒等）は申請により、英語に換えて、4～6単位を日本語とすることができる。なお、8単位に不足する単位は英語で補うものとする。
 - (3) 人文・社会・自然の各分野からそれぞれ4単位以上修得すること。
 - (4) 人間形成の分野から2単位以上修得すること。
 - (5) 共通テーマ科目から2単位以上修得すること。
 - (6) 教養基礎演習、人文・社会・自然・人間形成の各分野及び共通テーマ科目から規定の単位数を超えて6単位以上。
- 3 専攻科目から86単位以上修得すること。ただし、次の単位を修得しなければならない。
- (1) A群から16単位以上修得すること。
 - (2) B群から36単位以上修得すること。
 - (3) C群から34単位以上修得すること。ただし、関連科目は8単位までC群に換算できる。
なお、A群の「卒業要件単位」を超える単位はB群に換算できる。また、換算した単位を含めてB群の「卒業要件単位」を超える単位はC群に換算できる。
- 4 自由選択科目の単位として、10単位以上を修得すること。
自由選択科目の単位として算入できるものは、次のとおりとする。
- (1) 共通教養科目及び専攻科目の「卒業要件単位数」を超える単位。
 - (2) 教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」の単位。ただし、教職課程登録者のみ履修でき、6単位を上限として自由選択科目に算入できる。
 - (3) 他学部、他学科開講の専攻科目の単位。ただし、他学部他学科が受講を認めない科目については、履修することはできない。

② 経営・マーケティングコース

授 業 科 目 の 名 称							授業を 行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数	
								必修	選択	自由		
専 攻 科 目	A 群	経 営 学 総 論 I	1		2		16単位以上	専攻 科目 から 86単 位				
		経 営 学 総 論 II	1		2							
		基 礎 簿 記 I	1		2							
		基 礎 簿 記 II	1		2							
		現 代 ビ ジ ネ ス 入 門 I	1		2							
		マ マ ケ テ イ ン グ II	2		2							
		流 通 論 I	2		2							
		流 通 論 II	2		2							
		消 費 者 行 動 論 I	2		2							
		消 費 者 行 動 論 II	2		2							
	B 群	日 本 経 済 論 I	1		2		36単位以上					
		日 本 経 済 論 II	1		2							
		経 営 管 理 論	2		2							
		経 営 管 組 織 論	2		2							
		ロ ジ ス テ イ ク ス I	2		2							
		ロ ジ ス テ イ ク ス II	2		2							
		流 通 史 I	2		2							
		流 通 史 II	2		2							
		経 営 史 I	2		2							
		経 営 史 II	2		2							
		国 際 ビ ジ ネ ス 論 I	2		2							
		国 際 ビ ジ ネ ス 論 II	2		2							
		グ ロー バ ル マーケティング I	3・4		2							
		グ ロー バ ル マーケティング II	3・4		2							
		経 営 戦 略 論	3・4		2							
		意 思 決 定 論	3・4		2							
		人 的 資 源 管 理 論 I	3・4		2							
		人 的 資 源 管 理 論 II	3・4		2							
		経 営 情 報 論 I	3・4		2							
		経 営 情 報 論 II	3・4		2							
		グ ロー バ ル ロジスティクス I	3・4		2							
		グ ロー バ ル ロジスティクス II	3・4		2							
		マーケティングリサーチ I	3・4		2							
		マーケティングリサーチ II	3・4		2							
		マーケティングコミュニケーション I	3・4		2							
		マーケティングコミュニケーション II	3・4		2							
	C 群	経 済 史 I	1		2		34単位以上 (含む関連8単位 まで可)					
		経 済 史 II	1		2							
		経 済 情 報 処 理 I	1		2							
		経 済 情 報 処 理 II	1		2							
		経 済 地 理 I	1		2							
		経 済 地 理 II	1		2							
		情 報 シ ス テ ム 社 会 論	1		2							
		ミ ク ロ 経 済 学	1		4							
		経 済 外 国 語 A	1		2							
		経 済 外 国 語 B	1		2							
		経 済 外 国 語 C	1		2							
		経 済 外 国 語 D	1		2							
		基 礎 経 済 数 学 I	1		2							
		基 礎 経 済 数 学 II	1		2							
		現 代 の 経 済 問 題 A	1		2							
		現 代 の 経 済 問 題 B	1		2							
		民 法 概 説	1		2							
		マ ク ロ 経 済 学	2		4							
		社 会 経 済 学	2		4							

授 業 科 目 の 名 称		授 業 を 行 う 年 次	単 位 数 又 は 時 間 数			卒 業 要 件 単 位 数
			必 修	選 択	自 由	
専 攻 科 目	C 群	ア ア ア 管 コ 経 現 財 財 財 連 ヨ ヨ 貿 貿 国 国 貿 貿 経 経 経 経 経 経 経 経 国 国 社 社 西 西 世 世 中 中 日 日 労 労 中 金 ベ 経 経 基 現 現 国 会 会 税 租 租 環 会 国	ジ ジ メ メ ス ト マ ネ ジ メ ン ト 論			

授 業 科 目 の 名 称		授 業 を 行 う 年 次	単 位 数 又 は 時 間 数			卒 業 要 件 単 位 数	
			必 修	選 択	自 由		
専攻科目	C群	国際ビジネスコミュニケーション I	3・4	2		34単位以上 (含む関連8単位 まで可)	専攻科目から 86単位
		国際ビジネスコミュニケーション II	3・4	2			
		証券市場論 I	3・4	2			
		証券市場論 II	3・4	2			
		国際商務論 I	3・4	2			
		国際商務論 II	3・4	2			
		金融機関論 I	3・4	2			
		金融機関論 II	3・4	2			
		会社法概説 I	3・4	2			
		会社法概説 II	3・4	2			
		Case Studies in International Business I	3・4	2			
		Case Studies in International Business II	3・4	2			
		環境経済論 I	3・4	2			
		環境経済論 II	3・4	2			
		開発経済学 I	3・4	2			
		開発経済学 II	3・4	2			
		経済専修英語(会話) III	3・4	2			
		経済専修英語(会話) IV	3・4	2			
		経済専修英語(講読) III	3・4	2			
		経済専修英語(講読) IV	3・4	2			
		経済専修英語(作文) III	3・4	2			
		経済専修英語(作文) IV	3・4	2			
		経済哲学 I	3・4	2			
		経済哲学 II	3・4	2			
		ミクロ経済学演習	3・4	2			
		マクロ経済学演習	3・4	2			
		現代資本主義論 I	3・4	2			
		現代資本主義論 II	3・4	2			
		社会保障論 I	3・4	2			
		社会保障論 II	3・4	2			
		産業組織論 I	3・4	2			
		産業組織論 II	3・4	2			
		社会思想史 I	3・4	2			
		社会思想史 II	3・4	2			
		地方財政論 I	3・4	2			
		地方財政論 II	3・4	2			
		中東政治経済論 I	3・4	2			
		中東政治経済論 II	3・4	2			
		都市経済論 I	3・4	2			
		都市経済論 II	3・4	2			
		農業経済論	3・4	2			
		食糧経済論	3・4	2			
		ラテンアメリカ経済論 I	3・4	2			
		ラテンアメリカ経済論 II	3・4	2			
		ロシア経済論 I	3・4	2			
		ロシア経済論 II	3・4	2			
		情報経済論 I	3・4	2			
		情報経済論 II	3・4	2			
		中国経済論 I	3・4	2			
		中国経済論 II	3・4	2			
		計量経済学	3・4	4			
		公共の経済学	3・4	4			
		現代の経済問題 E	3・4	2			
		現代の経済問題 F	3・4	2			
		経済ゼミナール I	2	2			
		経済ゼミナール II a	3	2			
		経済ゼミナール II b	3	2			
		経済ゼミナール III a	4	2			
		経済ゼミナール III b	4	2			

授 業 科 目 の 名 称										授業を 行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数		
											必修	選択	自由			
専 攻 科 目	C 群	イン テン シブ プ ロ グ ラ ム (英 語)	英	語	演	習	1	—	I	1		4	34単位以上 (含む関連8単位 まで可)	専攻 科目 から 86単 位		
			英	語	演	習	1	—	Ⅱ	1		4				
			英	語	演	習	2	—	I	2		4				
			英	語	演	習	2	—	Ⅱ	2		4				
			英	語	演	習	3	—	I	3・4		4				
			英	語	演	習	3	—	Ⅱ	3・4		4				
		イン テン シブ プ ロ グ ラ ム (情 報)	コ	ン	ピ	ユ	一	タ	演	習	I	2				2
			コ	ン	ピ	ユ	一	タ	演	習	Ⅱ	2				2
			コ	ン	ピ	ユ	一	タ	演	習	Ⅲ	2				2
			コ	ン	ピ	ユ	一	タ	演	習	Ⅳ	2				2
			コ	ン	ピ	ユ	一	タ	演	習	Ⅴ	3・4				2
			コ	ン	ピ	ユ	一	タ	演	習	Ⅵ	3・4				2
			コ	ン	ピ	ユ	一	タ	演	習	Ⅶ	3・4				2
			コ	ン	ピ	ユ	一	タ	演	習	Ⅷ	3・4				2
	関 連 科 目	憲	法	概	説	I	1・2・3・4		2							
		憲	法	概	説	Ⅱ	1・2・3・4		2							
		日	本	史	概	論	I	1・2・3・4				2				
		日	本	史	概	論	Ⅱ	1・2・3・4				2				
		外	国	史	概	論	I	1・2・3・4				2				
		外	国	史	概	論	Ⅱ	1・2・3・4				2				
		人	文	地	理	学	概	論	I			1・2・3・4		2		
		人	文	地	理	学	概	論	Ⅱ			1・2・3・4		2		
		自	然	地	理	学	概	論	I			1・2・3・4		2		
		自	然	地	理	学	概	論	Ⅱ			1・2・3・4		2		
		社	会	学	概	論	I	1・2・3・4				2				
		社	会	学	概	論	Ⅱ	1・2・3・4				2				
		哲	学	概	論	I	1・2・3・4		2							
		哲	学	概	論	Ⅱ	1・2・3・4		2							
		地	理	学	(含	地	誌)	1・2・3・4				2				
		政	治	学	入	門	論	1・2・3・4				2				
		地	政	治	学	概	説	1・2・3・4				2				
		刑	法	政	法	I	1・2・3・4		2							
		行	政	政	法	Ⅱ	1・2・3・4		2							
		行	政	政	法	I	1・2・3・4		2							
		国	際	法	法	Ⅱ	1・2・3・4		2							
		職	業	指	導	I (商	業)	1・2・3・4				2				
		職	業	指	導	Ⅱ (商	業)	1・2・3・4				2				
		日	本	政	治	史	1・2・3・4		2							
		日	本	政	治	史	1・2・3・4		2							
		国	際	政	治	学	I	1・2・3・4				2				
		国	際	政	治	学	Ⅱ	1・2・3・4				2				
		ヨ	一	ロ	ッ	パ	政	治	史			1・2・3・4		2		
		ヨ	一	ロ	ッ	パ	政	治	史			1・2・3・4		2		
		労	働	法	法	I	1・2・3・4		2							
労	働	法	法	Ⅱ	1・2・3・4		2									
自由 選 択 科 目	(1) 共通教養科目及び専攻科目の「卒業要件単位数」を超える単位。 (2) 教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等(各教科の指導法を含む)」の単位。 ただし、教職課程登録者のみ履修でき、6単位を上限として自由選択科目に算入できる。 (3) 他学部、他学科開講の専攻科目の単位。ただし、他学部他学科が受講を認めない科目については、履修することはできない。												10単位			

〔履修要件〕

- 1 各年次ではそれぞれ上位年次の授業科目を履修することはできない。
- 2 同一授業科目は、重複して履修することはできない。
- 3 各セメスターの履修単位は、それぞれ24単位を上限とする。
ただし、
①長期履修学生制度適用者に対する各セメスターの履修単位は14単位を上限とする。
②成績優良者（直前の学期のGPAが3.0以上の者）については、申請により、半期4単位（年間8単位）まで履修単位数の上限を超えて履修することができる。（長期履修学生制度適用者を除く）
③資格教育課程に関する科目、教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」の単位数はこの上限単位に含めない。
④通年科目を履修した場合は、その科目の単位数を二分割し、前学期・後学期それぞれの学期の単位数として換算する。
- 4 「現代ビジネス入門」は1年次のみ履修することができる。
- 5 「経済ゼミナールⅠ」は2年次後学期、「経済ゼミナールⅡa」は3年次前学期、「経済ゼミナールⅡb」は3年次後学期、「経済ゼミナールⅢa」は4年次前学期、「経済ゼミナールⅢb」は4年次後学期で履修するものとする。

〔コース登録〕

- 1 2年次当初に「貿易・国際ビジネスコース」「経営・マーケティングコース」「企業・会計コース」のうち、いずれかのコースを選択し、登録しなければならない。
- 2 コースの変更を希望する者は、3年次当初に「コース変更届」により申請し、許可を得なければならない。

〔進級要件〕（2年次から3年次）

- 1 2年次終了までに「卒業要件単位数」のうち、初年次ゼミナールの2単位を含む44単位以上を修得しなければならない。
- 2 1の中には、資格教育課程に関する科目、教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」の単位数は含めない。
- 3 ただし、長期履修学生制度適用者は、進級要件を適用しない。

〔学外単位認定制度〕

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、進級要件単位及び卒業要件単位に算入することができる。なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各セメスターの履修制限単位数に含める。

- 1 本学が主催又は推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
- 2 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続きにより認定された単位。
- 3 横浜市内大学間又は協定に基づく国内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。
- 4 派遣交換留学等により派遣先大学で修得した単位の内、帰国後本学における審査を経て本学の単位として認定された単位。

〔卒業要件〕

- 1 4年(8セメスター)以上在学し、学則所定の次表の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。

共 通 教 養 科 目								共通 教養 科目 合計	専 攻 科 目				専 攻 科目 合計	自由 選 択 科目	合 計
共 通 基 盤 科 目							共通テーマ科目		A 群	B 群	C 群	関 連 科 目 (8可)			
初 年 次 ゼ ミ ナ ール	外 国 語 科 目	教 養 基 礎 演 習	人 文 の 分 野	社 会 の 分 野	自 然 の 分 野	人 間 形 成 の 分 野	現 代 社 会 と 市 民								
2	8		4	4	4	2	2	32	16	36	34	86	10	128	
		6													

- 2 共通教養科目から次の内訳で合計32単位以上を修得すること。
(1) 初年次ゼミナール2単位（必修）。

- (2) 外国語科目から英語を8単位。ただし、外国人留学生及び外国高等学校在学経験者（帰国生徒等）は申請により、英語に換えて、4～6単位を日本語とすることができる。なお、8単位に不足する単位は英語で補うものとする。
 - (3) 人文・社会・自然の各分野からそれぞれ4単位以上修得すること。
 - (4) 人間形成の分野から2単位以上修得すること。
 - (5) 共通テーマ科目から2単位以上修得すること。
 - (6) 教養基礎演習、人文・社会・自然・人間形成の各分野及び共通テーマ科目から規定の単位数を超えて6単位以上。
- 3 専攻科目から86単位以上修得すること。ただし、次の単位を修得しなければならない。
- (1) A群から16単位以上修得すること。
 - (2) B群から36単位以上修得すること。
 - (3) C群から34単位以上修得すること。ただし、関連科目は8単位までC群に換算できる。
なお、A群の「卒業要件単位」を超える単位はB群に換算できる。また、換算した単位を含めてB群の「卒業要件単位」を超える単位はC群に換算できる。
- 4 自由選択科目の単位として、10単位以上を修得すること。
自由選択科目の単位として算入できるものは、次のとおりとする。
- (1) 共通教養科目及び専攻科目の「卒業要件単位数」を超える単位。
 - (2) 教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」の単位。ただし、教職課程登録者のみ履修でき、6単位を上限として自由選択科目に算入できる。
 - (3) 他学部、他学科開講の専攻科目の単位。ただし、他学部他学科が受講を認めない科目については、履修することはできない。

③ 企業・会計コース

授 業 科 目 の 名 称								授業を行 う年次		単位又は時間数			卒業要件単位数	
										必修	選択	自由		
専攻科目	A群	基礎	基礎	簿会	記計	1		2		16単位以上				
		経営	学学	総論	I	1		2						
		経営	学学	総論	II	1		2						
		現マ	ビケ	ネィ	入グ	1		2						
		マ	ケ	ン	I	1		2						
		流	通	論	II	2		2						
		流	通	論	I	2		2						
		消	者	動	II	2		2						
		消	者	論	I	2		2						
		消	者	論	II	2		2						
	B群	日管	本理	経会	済計	I	1		2	36単位以上				
		日管	本理	経会	済計	II	1		2					
		コ	スト	マ	ジメ	論	2		2					
		経	営	管	理	論	2		2					
		経	営	組	織	論	2		2					
		経	営		史	I	2		2					
		経	営		史	II	2		2					
		経	営		析	論	2		2					
		現財	代政	分会	計	学	2		2					
		財財	務政		学	I	2		2					
		財財	務政		学	II	2		2					
		連国	務結	会会	計計	論	2		2					
		国会	際計	会会	計計	論	3・4		2					
		会税	計務	会会	想度	論	3・4		2					
		環会	計務	会会	計	論	3・4		2					
		証証	券券	市市	場場	論	3・4		2					
		経租	営営	税	報報	I	3・4		2					
		租租	営営	税	報報	II	3・4		2					
		会会	社社	法	論	I	3・4		2					
		会会	社社	法	論	II	3・4		2					
C群	経	済	史	I	1		2	34単位以上 (含む関連8単位まで可)						
	経	済	史	II	1		2							
	経	済	処	I	1		2							
	経	済	処	II	1		2							
	経	済	理	I	1		2							
	経	済	理	II	1		2							
	情	報	地	論	1		2							
	ミ	ク	テ	学	1	4	2							
	経	済	国	A	1	2	2							
	経	済	国	B	1	2	2							
経	済	国	C	1	2	2								
基	礎	済	D	1	2	2								
基	礎	済	I	1	2	2								
現	代	の	II	1	2	2								
現	代	の	A	1	2	2								
民		法	B	1	2	2								
			説	1	2	2								

授 業 科 目 の 名 称		授業を 行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数	
			必修	選択	自由		
専 攻 科 目	C 群	マ ク ロ 経 済 学	2		4	34単位以上 (含む関連8単 位まで可)	専攻 科目 から 86単 位
		社 会 経 済 学	2		4		
		ア ジ ア 経 済 論 I	2		2		
		ア ジ ア 経 済 論 II	2		2		
		ア メ リ カ 経 済 論 I	2		2		
		ア メ リ カ 経 済 論 II	2		2		
		中 小 企 業 論	2		2		
		ベ ン チ ャ ー 企 業 論 I	2		2		
		ロ ジ ス テ ィ ク ス II	2		2		
		ヨ ー ロ ッ パ 経 済 論 I	2		2		
		ヨ ー ロ ッ パ 経 済 論 II	2		2		
		貿 易 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン I	2		2		
		貿 易 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン II	2		2		
		国 際 ビ ジ ネ ス 論 I	2		2		
		国 際 ビ ジ ネ ス 論 II	2		2		
		国 際 商 取 引 論 I	2		2		
		国 際 商 取 引 論 II	2		2		
		国 際 商 易 論 I	2		2		
		国 際 商 易 論 II	2		2		
		流 通 史	2		2		
		経 済 学 史 I	2		2		
		経 済 学 史 II	2		2		
		経 済 専 修 英 語 (会 話) I	2		2		
		経 済 専 修 英 語 (会 話) II	2		2		
		経 済 専 修 英 語 (講 読) I	2		2		
		経 済 専 修 英 語 (講 読) II	2		2		
		経 済 専 修 英 語 (作 文) I	2		2		
		経 済 専 修 英 語 (作 文) II	2		2		
		国 際 経 済 学 I	2		2		
		国 際 経 済 学 II	2		2		
		社 会 政 策 I	2		2		
		社 会 政 策 II	2		2		
		西 洋 経 済 史 I	2		2		
		西 洋 経 済 史 II	2		2		
世 界 経 済 論 I	2		2				
世 界 経 済 論 II	2		2				
中 級 ミ ク ロ 経 済 学	2		2				
中 級 マ ク ロ 経 済 学	2		2				
日 本 経 済 史 I	2		2				
日 本 経 済 史 II	2		2				
労 働 経 済 論 I	2		2				
労 働 経 済 論 II	2		2				
経 済 政 統 策	2		4				
経 済 統 計	2		4				
基 礎 融 合 計 学	2		2				
金 融 問 題 論	2		4				
現 代 経 済 問 題 C	2		2				
現 代 経 済 問 題 D	2		2				
グ ロー バ ル マ ー ケ テ ィ ン グ I	3・4		2				
グ ロー バ ル マ ー ケ テ ィ ン グ II	3・4		2				
経 営 戦 略 論	3・4		2				
意 思 決 定 論	3・4		2				
グ ロー バ ル ロ ジ ス テ ィ ク ス I	3・4		2				
グ ロー バ ル ロ ジ ス テ ィ ク ス II	3・4		2				
国 際 金 融 論 I	3・4		2				
国 際 金 融 論 II	3・4		2				
国 際 ビ ジ ネ ス コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン I	3・4		2				
国 際 ビ ジ ネ ス コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン II	3・4		2				

授 業 科 目 の 名 称		授業を 行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数	
			必修	選択	自由		
専 攻 科 目	C 群	人 人 的 資 源 管 理 論 I	3・4	2		34単位以上 (含む関連8単 位まで可)	専攻 科目 から 86単 位
		人 人 的 資 源 管 理 論 II	3・4	2			
		地 方 財 政 論 I	3・4	2			
		地 方 財 政 論 II	3・4	2			
		国 際 商 務 論 I	3・4	2			
		国 際 商 務 論 II	3・4	2			
		金 融 機 関 論 I	3・4	2			
		金 融 機 関 論 II	3・4	2			
		Case Studies in International Business I	3・4	2			
		Case Studies in International Business II	3・4	2			
		環 境 経 済 論 I	3・4	2			
		環 境 経 済 論 II	3・4	2			
		開 発 経 済 学 I	3・4	2			
		開 発 経 済 学 II	3・4	2			
		経 済 専 修 英 語 (会 話) III	3・4	2			
		経 済 専 修 英 語 (会 話) IV	3・4	2			
		経 済 専 修 英 語 (講 読) III	3・4	2			
		経 済 専 修 英 語 (講 読) IV	3・4	2			
		経 済 専 修 英 語 (作 文) III	3・4	2			
		経 済 専 修 英 語 (作 文) IV	3・4	2			
		経 済 哲 学 I	3・4	2			
		経 済 哲 学 II	3・4	2			
		ミ ク ロ 経 済 学 演 習	3・4	2			
		マ ク ロ 経 済 学 演 習	3・4	2			
		現 代 資 本 主 義 論 I	3・4	2			
		社 会 保 障 論 II	3・4	2			
		社 会 保 障 論 III	3・4	2			
		産 業 組 織 論 I	3・4	2			
		産 業 組 織 論 II	3・4	2			
		社 会 思 想 史 I	3・4	2			
		社 会 思 想 史 II	3・4	2			
		中 東 政 治 経 済 論 I	3・4	2			
		中 東 政 治 経 済 論 II	3・4	2			
		都 市 経 済 論 I	3・4	2			
		都 市 経 済 論 II	3・4	2			
		農 業 経 済 論	3・4	2			
		食 糧 経 済 論	3・4	2			
		ラ テ ン ア メ リ カ 経 済 論 I	3・4	2			
		ラ テ ン ア メ リ カ 経 済 論 II	3・4	2			
		ロ シ ア 経 済 論 I	3・4	2			
		ロ シ ア 経 済 論 II	3・4	2			
		情 報 経 済 論 I	3・4	2			
		情 報 経 済 論 II	3・4	2			
		マ ー ケ テ ィ ン グ リ サ ー チ I	3・4	2			
		マ ー ケ テ ィ ン グ リ サ ー チ II	3・4	2			
		マ ー ケ テ ィ ン グ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン I	3・4	2			
		マ ー ケ テ ィ ン グ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン II	3・4	2			
		中 国 経 済 論 I	3・4	2			
		中 国 経 済 論 II	3・4	2			
		計 量 経 済 学	3・4	4			
		公 共 経 済 学	3・4	4			
		現 代 の 経 済 問 題 E	3・4	2			
		現 代 の 経 済 問 題 F	3・4	2			
		経 済 ゼ ミ ナ ー ル I	2	2			
		経 済 ゼ ミ ナ ー ル II a	3	2			
		経 済 ゼ ミ ナ ー ル II b	3	2			
		経 済 ゼ ミ ナ ー ル III a	4	2			
		経 済 ゼ ミ ナ ー ル III b	4	2			

授 業 科 目 の 名 称										授 業 を 行 う 年 次	単 位 数 又 は 時 間 数			卒業要件単位数			
											必修	選択	自由				
専攻科目	C群	インテンシブ プログラム (英語)	英英	語語	演演	習習	11	—	I	1		4		34単位以上 (含む関連8単位まで可)	専攻科目から86単位		
			英英	語語	演演	習習	11	—	II	1		4					
			英英	語語	演演	習習	22	—	I	2		4					
			英英	語語	演演	習習	22	—	II	2		4					
			英英	語語	演演	習習	33	—	I	3・4		4					
		英英	語語	演演	習習	33	—	II	3・4		4						
		インテンシブ プログラム (情報)	コ	ン	ピ	ユ	一	タ	演	習	I	2				2	
			コ	ン	ピ	ユ	一	タ	演	習	II	2				2	
			コ	ン	ピ	ユ	一	タ	演	習	III	2				2	
			コ	ン	ピ	ユ	一	タ	演	習	IV	2				2	
	コ		ン	ピ	ユ	一	タ	演	習	V	3・4		2				
	関連科目	コ	ン	ピ	ユ	一	タ	演	習	VI	3・4		2				
		コ	ン	ピ	ユ	一	タ	演	習	VII	3・4		2				
		コ	ン	ピ	ユ	一	タ	演	習	VIII	3・4		2				
		憲	法	概	説	I	1・2・3・4		2								
		憲	法	概	説	II	1・2・3・4		2								
		日	本	史	概	論	I	1・2・3・4		2							
		日	本	史	概	論	II	1・2・3・4		2							
		外	国	史	概	論	I	1・2・3・4		2							
		外	国	史	概	論	II	1・2・3・4		2							
		人	文	地	理	学	概	論	I	1・2・3・4		2					
		人	文	地	理	学	概	論	II	1・2・3・4		2					
		自	然	地	理	学	概	論	I	1・2・3・4		2					
		自	然	地	理	学	概	論	II	1・2・3・4		2					
		社	会	学	概	論	I	1・2・3・4		2							
		社	会	学	概	論	II	1・2・3・4		2							
哲		学	概	論	I	1・2・3・4		2									
哲	学	概	論	II	1・2・3・4		2										
地	理	(含)	地	誌		1・2・3・4		2									
地	治	学	入	門		1・2・3・4		2									
地	治	学	概	論		1・2・3・4		2									
刑	法	概	説		1・2・3・4		2										
行	政	法	I		1・2・3・4		2										
行	政	法	II		1・2・3・4		2										
国	際	法	I		1・2・3・4		2										
国	際	法	II		1・2・3・4		2										
職	業	指	導	I (商	業)	1・2・3・4		2									
職	業	指	導	II (商	業)	1・2・3・4		2									
日	本	政	治	史	1・2・3・4		2										
日	本	政	治	史	1・2・3・4		2										
国	際	政	治	学	I	1・2・3・4		2									
国	際	政	治	学	II	1・2・3・4		2									
ヨ	一	ロ	ッ	パ	政	治	1・2・3・4		2								
ヨ	一	ロ	ッ	パ	政	治	史	1・2・3・4		2							
労	働	法	I		1・2・3・4		2										
労	働	法	II		1・2・3・4		2										
自由選択科目	(1) 共通教養科目及び専攻科目の「卒業要件単位数」を超える単位。 (2) 教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」の単位。ただし、教職課程登録者のみ履修でき、6単位を上限として自由選択科目に算入できる。 (3) 他学部、他学科開講の専攻科目の単位。ただし、他学部他学科が受講を認めない科目については、履修することはできない。										10単位						

〔履修要件〕

- 1 各年次ではそれぞれ上位年次の授業科目を履修することはできない。
- 2 同一授業科目は、重複して履修することはできない。
- 3 各セメスターの履修単位は、それぞれ24単位を上限とする。
ただし、
①長期履修学生制度適用者に対する各セメスターの履修単位は14単位を上限とする。
②成績優良者（直前の学期のGPAが3.0以上の者）については、申請により、半期4単位（年間8単位）まで履修単位数の上限を超えて履修することができる。（長期履修学生制度適用者を除く）
③資格教育課程に関する科目、教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」の単位数はこの上限単位に含めない。
④通年科目を履修した場合は、その科目の単位数を二分割し、前学期・後学期それぞれの学期の単位数として換算する。
- 4 「現代ビジネス入門」は1年次のみ履修することができる。
- 5 「経済ゼミナールⅠ」は2年次後学期、「経済ゼミナールⅡa」は3年次前学期、「経済ゼミナールⅡb」は3年次後学期、「経済ゼミナールⅢa」は4年次前学期、「経済ゼミナールⅢb」は4年次後学期で履修するものとする。

〔コース登録〕

- 1 2年次当初に「貿易・国際ビジネスコース」「経営・マーケティングコース」「企業・会計コース」のうち、いずれかのコースを選択し、登録しなければならない。
- 2 コースの変更を希望する者は、3年次当初に「コース変更届」により申請し、許可を得なければならない。

〔進級要件〕（2年次から3年次）

- 1 2年次終了までに「卒業要件単位数」のうち、初年次ゼミナールの2単位を含む44単位以上を修得しなければならない。
- 2 1の中には、資格教育課程に関する科目、教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」の単位数は含めない。
- 3 ただし、長期履修学生制度適用者は、進級要件を適用しない。

〔学外単位認定制度〕

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、進級要件単位及び卒業要件単位に算入することができる。なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各セメスターの履修制限単位数に含める。

- 1 本学が主催又は推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
- 2 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続きにより認定された単位。
- 3 横浜市内大学間又は協定に基づく国内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。
- 4 派遣交換留学等により派遣先大学で修得した単位の内、帰国後本学における審査を経て本学の単位として認定された単位。

〔卒業要件〕

- 1 4年(8セメスター)以上在学し、学則所定の次表の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。

共 通 教 養 科 目								共通 教養 科目 合計	専 攻 科 目				専 攻 科目 合計	自由 選 択 科目	合 計
共 通 基 盤 科 目							共通テーマ科目		A 群	B 群	C 群	関 連 科 目 (8可)			
初 年 次 ゼ ミ ナ ール	外 国 語 科 目	教 養 基 礎 演 習	人 文 の 分 野	社 会 の 分 野	自 然 の 分 野	人 間 形 成 の 分 野	現 代 社 会 と 市 民								
2	8		4	4	4	2	2	32	16	36	34	86	10	128	
		6													

- 2 共通教養科目から次の内訳で合計32単位以上を修得すること。
(1) 初年次ゼミナール2単位（必修）。

- (2) 外国語科目から英語を8単位。ただし、外国人留学生及び外国高等学校在学経験者（帰国生徒等）は申請により、英語に換えて、4～6単位を日本語とすることができる。なお、8単位に不足する単位は英語で補うものとする。
 - (3) 人文・社会・自然の各分野からそれぞれ4単位以上修得すること。
 - (4) 人間形成の分野から2単位以上修得すること。
 - (5) 共通テーマ科目から2単位以上修得すること。
 - (6) 教養基礎演習、人文・社会・自然・人間形成の各分野及び共通テーマ科目から規定の単位数を超えて6単位以上。
- 3 専攻科目から86単位以上修得すること。ただし、次の単位を修得しなければならない。
- (1) A群から16単位以上修得すること。
 - (2) B群から36単位以上修得すること。
 - (3) C群から34単位以上修得すること。ただし、関連科目は8単位までC群に換算できる。
なお、A群の「卒業要件単位」を超える単位はB群に換算できる。また、換算した単位を含めてB群の「卒業要件単位」を超える単位はC群に換算できる。
- 4 自由選択科目の単位として、10単位以上を修得すること。
自由選択科目の単位として算入できるものは、次のとおりとする。
- (1) 共通教養科目及び専攻科目の「卒業要件単位数」を超える単位。
 - (2) 教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」の単位。ただし、教職課程登録者のみ履修でき、6単位を上限として自由選択科目に算入できる。
 - (3) 他学部、他学科開講の専攻科目の単位。ただし、他学部他学科が受講を認めない科目については、履修することはできない。

授 業 科 目 の 名 称				授 業 を 行 う 年 次	単位数又は時間数			卒業要件単位数	
					必修	選択	自由		
専門演習科目 （必修）	2 年 次 演 習	演 習 I	2	2			10単位		
	演 習 II	3	2						
	演 習 III	3	2						
	演 習 IV （含む卒業論文）	4	2						
国際経営基礎 科目（必修）	経 営 の 基 礎	1	2			10単位			
	会 計 の 基 礎	1	2						
	経 営 の 学 総 論	1	2						
	マ ケ テ ィ ン グ 論	2	2						
国際経営基礎科目（選択必修）	デ ザ イ ン 経 営 論	1		2		10単位			
	異 文 化 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	1		2					
	簿 記 原 理	1		2					
	会 計 学 原 理	2		2					
	経 営 管 理 論	2		2					
	経 営 戦 略 論	2		2					
	マ ケ テ ィ ン グ 戦 略 論	2		2					
	人 的 資 源 管 理 論	3		2					
シヨップ科目	マネジメント	事 例 研 究	I		2		4つのシヨップから2つ選択し、 シヨップ科目を各シヨップから 22単位 合計40単位	専攻科目から 92単位	
		キ ャ リ ア 形 成 論	1		2				
		マ ク ロ 經 済 学	1		2				
		ミ ク ロ 經 済 学	1		2				
		経 営 史	2		2				
		政 府 と 財 政	2		2				
		民 生 法	2		2				
		産 業 管 理 論	2		2				
		日 本 經 営 史	2		2				
		事 例 研 究	III		2				
		コ ー ポ レ ー ト ・ ガ バ ナ ンス 論	2		2				
		自 治 体 經 営	2		2				
		民 営 法 計 画 論	II		2				
		経 営 法 論	2		2				
		グ ロ ー パ ル 企 業 論	2		2				
		中 小 企 業 論	3		2				
		企 業 の 社 会 的 責 任 論	3		2				
		地 方 的 財 政 論	3		2				
		NPO マ ネ ジ メ ン ト 契 約	3		2				
	国 際 ビ ジ ネ ス と 契 約 務 論	3		2					
	国 際 比 較 經 営 論	3		2					
	ベ ン チ ャ ー 論	3		2					
	会計	事 例 研 究	II		2				
		會 計 監 査 總 論	2		2				
		原 価 計 算 入 門 記 録	2		2				
		中 級 簿 記 論	2		2				
		管 理 會 計 總 論	2		2				
金 融 行 論		2		2					
銀 行 論		2		2					
會 計 監 査 基 準 論		2		2					
シヨップ科目	会計	會 計 學 原 理 II	2		2				
		原 価 計 算 の 基 礎 記 録	2		2				
		上 代 級 管 理 會 計 論	2		2				
		現 非 營 利 企 業 會 計 論	2		2				
		コーポレート・ファイナンス	2		2				
		經 営 分 析 の 基 礎 論	3		2				
		国 際 會 計 總 論	3		2				
		リ ス ク マ ネ ジ メ ン ト 論	3		2				
		社 会 法	3		2				
		税 法	3		2				
		國 際 金 融 場 論	3		2				
		証 券 市 場 論	3		2				
		經 営 分 析 の 基 礎 用 論	3		2				
		國 際 分 會 社 法	3		2				
		會 社 法	II		2				

授 業 科 目 の 名 称			授業を行 う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数		
				必修	選択	自由			
シ ョ ッ プ 科 目	マ ー ケ テ ィ ン グ ・ デ ザ ィ ン 経 営	知 的 財 産 権 と 情 報 倫 理	1		2		4 つ の シ ョ ッ プ か ら 2 つ 選 択 し、 シ ョ ッ プ 科 目 を 各 シ ョ ッ プ か ら 2 0 単 位 合 計 4 0 単 位	専 門 演 習 科 目 （ 必 修 ） 、 国 際 経 営 基 礎 科 目 （ 必 修 ） を 除 く 科 目 群 か ら 2 2 単 位	専 攻 科 目 か ら 9 2 単 位
		コ ン ピ ュ ー タ 演 習	1		2				
		ビ ジ ネ ス モ デ ル 入 門	1		2				
		ビ ジ ネ ス 統 計	1		2				
		デ ジ タ ル フ ァ ブ リ ケ ー シ ョ ン	1		2				
		情 報 デ ザ イ ン	1		2				
		マ ー ケ テ ィ ン グ リ サ ー チ	2		2				
		デ ジ タ ル グ ラ フ ィ ッ ク ス	2		2				
		ヒ ュ ー マ ン セ ン タ ー ド デ ザ イ ン	2		2				
		Web プ ロ グ ラ ミ ン グ	2		2				
		流 費 通 行 動 論	2		2				
		消 費 者 行 動 論	2		2				
		マ ー ケ テ ィ ン グ ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	2		2				
		デ ー タ 分 析 論	2		2				
		映 像 メ デ ィ ア デ ザ イ ン	2		2				
		ソ ー シ ャ ル ・ マ ー ケ テ ィ ン グ	3		2				
		サ ー ビ ス ・ マ ー ケ テ ィ ン グ	3		2				
		経 営 工 学 概 論	3		2				
		経 営 情 報 論	3		2				
		映 像 メ デ ィ ア と コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	3		2				
		プ ロ グ ラ ミ ン グ 演 習	3		2				
	国 際 理 解	ビ ジ ネ ス と テ ク ノ ロ ジ ー	3		2				
		国 際 マ ー ケ テ ィ ン グ 論	3		2				
		産 業 社 会 論	3		2				
		サ プ ラ イ チ ェ ー ン ・ マ ネ ジ メ ン ト	3		2				
		映 像 メ デ ィ ア と コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	3		2				
		情 報 メ デ ィ ア 論	3		2				
		ス タ デ ィ ー ・ ア プ ロ ー ド I	1		2				
		ス タ デ ィ ー ・ ア プ ロ ー ド II	1		2				
		国 際 社 会 論	1		2				
		政 治 学 概 説	1		2				
		地 理 学 （ 含 地 誌 ）	1		2				
		社 会 学 概 論	2		2				
		国 際 政 治 学 I	2		2				
		国 際 地 域 論 （ オ セ ア ニ ア ）	2		2				
		国 際 地 域 論 （ 北 ア メ リ カ ）	2		2				
		国 際 地 域 論 （ 東 ア ジ ア ）	2		2				
		外 国 史 概 論 A	2		2				
		日 本 文 化 論	2		2				
		ジ ェ ン ダ ー と 社 会	2		2				
		国 際 関 係 論	2		2				
		国 際 政 治 学 II	2		2				
		国 際 地 域 論 （ 東 南 ア ジ ア ）	2		2				
		国 際 地 域 論 （ ヨ ー ロ ッ パ ）	2		2				
		国 際 地 域 論 （ ラ テ ン ア メ リ カ ）	2		2				
		外 国 史 概 論 B	2		2				
		国 際 地 域 論 （ ロ シ ア ・ 中 央 ア ジ ア ）	3		2				
		国 際 地 域 論 （ 南 ア ジ ア ）	3		2				
		国 際 地 域 論 （ 中 東 ・ ア フ リ カ ）	3		2				
		多 文 化 社 会 論	3		2				
プ ロ グ ラ ム 科 目	ラ ブ 体 験 マ ネ ジ ム	マ ネ ジ メ ン ト プ ロ グ ラ ム 入 門	1		2				
		マ ネ ジ メ ン ト プ ロ グ ラ ム I	2		2				
		マ ネ ジ メ ン ト プ ロ グ ラ ム II	2		2				
	B u s i n e s s e s	デ ザ イ ン 演 習 I	1		2				
		デ ザ イ ン 演 習 II	1		2				
		デ ザ イ ン 演 習 III	2		2				
		デ ザ イ ン 演 習 IV	2		2				
		デ ザ イ ン 演 習 V	2		2				
	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン の イ ン テ ー ナ シ ョ ナ ル ビ ジ ネ ス	IBC Bridge	1・2		2				
		IBC演習	1・2		2				
		Pre-IBC演習	2		2				
		Business Communication	3		2				
		International Work Environments	3		2				

授 業 科 目 の 名 称			授業を行 う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数	
				必修	選択	自由		
関連科目	経営学関連科目	日本史概論Ⅰ	1		2		専門演習科目（必修）、 国際経営基礎科目（必修）を除く	専攻科目から 92単位
		日本史概論Ⅱ	1		2			
		スポーツ経営論	1		2			
		健康経営論	2		2			
		哲学概論Ⅰ	2		2			
		宗教学概論Ⅰ	2		2			
		キャリアモデル研究	2		2			
		コーチング演習	2		2			
		哲学概論Ⅱ	2		2			
		宗教学概論Ⅱ	2		2			
		ライフコース論	2		2			
		専門入門演習	2		2			
	留学基礎科目	留学基礎Ⅰ、留学基礎Ⅱ、留学基礎Ⅲ、留学基礎Ⅳ、留学基礎Ⅴ、留学基礎Ⅵ、留学基礎Ⅶ、留学基礎Ⅷ、留学基礎Ⅸ、留学基礎Ⅹ						
	選択外国語科目	特習外国語Ⅰ、特習外国語Ⅱ、特習外国語Ⅲ、特習外国語Ⅳ、特習外国語Ⅴ、特習外国語Ⅵ 共通教養科目として必要とされる1言語8単位以外に修得した外国語科目、英語(SA)、韓国語(SA)、中国語(SA)、スペイン語(SA)、ドイツ語(SA)、フランス語(SA)						
	他学部科目							
	学外認定科目	学外単位認定制度により認定された科目						

〔履修要件〕

- 1 原則として上位年次の授業科目は履修できない。
- 2 同一授業科目を重複して履修することはできない。
- 3 年間の履修単位数は、共通教養科目及び専攻科目をあわせて 44 単位を上限とし、半期の履修単位数は 24 単位を上限とする。ただし、資格教育課程（教職課程等）の科目は履修制限の枠外とする。
 なお、成績優良者（直前の学期の G P A が 3.2 以上の者）は、半期 6 単位、年間 12 単位まで履修単位数の上限を超えて履修することができる。この場合は、学期開始当初に学部長に申請しなければならない。
- 4 プログラム科目（「マネジメント体験プログラム」「X-Business プログラム」「国際ビジネスコミュニケーションプログラム」）のいずれか一つのプログラムを履修した場合は、他のプログラム科目を履修することはできない。
- 5 プログラム科目に配当されている「マネジメントプログラムⅠ」「デザイン演習Ⅰ」「IBC 演習」「Pre-IBC 演習」、専門演習科目「2 年次演習」のいずれも同時履修及び重複単位修得は認められない。

〔学外単位認定制度〕

学則第 13 条及び第 13 条の 2 に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、卒業要件単位に算入することができる。なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各セメスターの履修制限単位数に含める。

- 1 本学が主催または推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
- 2 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続きにより認定された単位。
- 3 横浜市内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。

〔進級要件〕（2 年次から 3 年次）

2 年次終了時まで、次の単位を含めて学則所定の「卒業要件単位数」のうち 50 単位以上を修得しなければならない。

- 1 共通教養科目の「初年次ゼミナール（F Y S）」
- 2 共通教養科目の「外国語科目」、専攻科目の「国際経営基礎科目（必修）」「国際経営基礎科目（選択必修）」のうちから 14 単位以上。

〔卒業要件〕

4 年以上在学し、次の学則所定の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。

共通教養科目								共通教養科目 合計
共通基盤科目							共通テーマ科目	
初年次ゼミナール	外国語科目	教養基礎演習	人文の分野	社会の分野	自然の分野	人間形成の分野	現代社会と市民	
2	8		4	4	4	2	2	32
						6		

専攻科目														
専門演習科目 （必修）	国際経営基礎科目 （必修）	国際経営基礎科目 （選択必修）	ショップ科目				プログラム科目			関連科目				専攻科目 合計
			マネジメント	会計	マーケティング・ デザイン経営	国際理解	マネジメント体験プログラム	X-Businessプログラム	国際ビジネスコミュニケーション プログラム	経営学関連科目	留学基礎科目	選択外国語科目	他学部科目	
10	10	10	40※1											92
22※2														

共通教養科目	専攻科目	合計
32	92	124

〔共通教養科目卒業要件単位数〕

共通教養科目の「卒業要件単位数」は、次の単位を含めて 32 単位以上修得しなければならない。

- 1 初年次ゼミナール（F Y S）2 単位（必修）
- 2 一外国語を 8 単位以上。ただし、「日本語」は外国人留学生及び外国高等学校在学経験者（帰国生徒等）が申請により選択することができる。
- 3 人文・社会・自然の各分野からそれぞれ 4 単位以上
- 4 人間形成の分野から 2 単位以上
- 5 共通テーマ科目から 2 単位以上
- 6 教養基礎演習、人文・社会・自然・人間形成の各分野及び共通テーマ科目から規定の単位数を超えて 6 単位以上
- 7 社会の分野の「経営学」を卒業要件単位数に算入することはできない。

〔専攻科目卒業要件単位数〕

専攻科目の「卒業要件単位数」は、次の単位を含めて 92 単位以上修得しなければならない。

- 1 「専門演習科目（必修）」を 10 単位
なお、プログラム科目に配当されている入門的な演習のうち、下記に挙げた科目の修得単位は「専門演習科目（必修）」の「2 年次演習」に代えて卒業要件単位数として算入する。その場合プログラム科目としての修得単位数に含めない。
 - ・マネジメント体験プログラム「マネジメントプログラムⅠ」
 - ・X-Business プログラム「デザイン演習Ⅰ」
 - ・国際ビジネスコミュニケーションプログラム「IBC 演習」「Pre-IBC 演習」
- 2 「国際経営基礎科目（必修）」を 10 単位
- 3 「国際経営基礎科目（選択必修）」から 10 単位
- 4 ショップ科目から 40 単位
ショップ科目は 1 つのショップの中から 20 単位修得したショップをコア・ショップ（左記図※1）とし、マネジメントショップ、会計ショップ、マーケティング・デザイン経営ショップ、国際理解ショップからコア・ショップを 2 つ形成しなければならない。
- 5 以下の（1）～（5）から 22 単位以上（左記図※2）
 - （1）選択必修科目「国際経営基礎科目（選択必修）」の卒業要件単位数を超えて修得した単位
 - （2）コア・ショップの卒業要件単位数を超えて修得した単位
 - （3）コア・ショップ以外のショップから修得した単位
 - （4）プログラム科目から修得した単位
 - （5）関連科目から修得した単位

◎関連科目として卒業要件単位数に算入できるものは次のとおりとする。

○経営学関連科目から修得した単位

○中長期留学プログラム、派遣交換留学の留学により修得（認定）した留学基礎科目及び語学科目の単位

・中長期留学プログラム、派遣交換留学の留学期間が 6 か月以内の留学により修得した語学以外の単位は、「留学基礎Ⅰ」「留学基礎Ⅱ」「留学基礎Ⅲ」「留学基礎Ⅳ」「留学基礎Ⅴ」「留学基礎Ⅵ」「留学基礎Ⅶ」「留学基礎Ⅷ」「留学基礎Ⅸ」「留学基礎Ⅹ」（各 2 単位、上限 20 単位）として認定する。

・中長期留学プログラム、派遣交換留学における語学科目の修得単位については、「特習外国語Ⅰ」「特習外国語Ⅱ」「特習外国語Ⅲ」「特習外国語Ⅳ」「特習外国語Ⅴ」「特習外国語Ⅵ」（各 2 単位、上限 12 単位）として認定する。

○共通基盤科目の外国語科目の卒業要件単位数（1 つの言語で 8 単位）を超えて修得した選択外国語科目の単位

○スタディー・アブロード（SA）プログラムの留学により修得（認定）した選択外国語科目の単位

・スタディー・アブロード（SA）プログラムにおいて学習した外国語については、プログラム実施地域の言語に応じて、「英語（SA）」「韓国語（SA）」「中国語（SA）」「スペイン語（SA）」「ドイツ語（SA）」「フランス語（SA）」（各 2 単位、上限 12 単位）として認定する。

○他学部他学科開講の専攻科目の単位（上限 20 単位）。ただし、経営学部開講の授業科目と同一の科目の履修は認められない。

○本学が主催または推薦する「海外語学研修制度」及び横浜市内大学間の単位互換による修得単位（上限 12 単位）

(7) 外国語学部 英語英文学科 専攻科目

		授 業 科 目 の 名 称		授業を 行う年次	単位数又は時間数 必修選択自由			卒業要件単位数	
	科専門 通目(基礎)	First-Year English (Speaking&Listening) I		1		2		プログラム共通	20
		First-Year English (Speaking&Listening) II		1		2			
		First-Year English (Reading&Writing) I		1		2			
		First-Year English (Reading&Writing) II		1		2			
	専門基礎科目 (IES)	Research and Presentation I		2		2			
		Research and Presentation II		2		2			
		Second-Year English (Speaking&Listening) I		2		2			
		Second-Year English (Speaking&Listening) II		2		2			
		Second-Year English (Reading&Writing) I		2		2			
		Second-Year English (Reading&Writing) II		2		2			
		学習英文法 I		2		1			
		学習英文法 II		2		1			
		English Phonetics I		2		1			
		English Phonetics II		2		1			
	専門基礎科目 (GEC)	English Communication for Global Studies I		1		2			
		English Communication for Global Studies II		1		2			
		Extensive Reading for World Knowledge I		1		2			
		GEC Study Abroad (Intensive English)		2	10				
		Extensive Reading for World Knowledge II		2		2			
		Academic Writing for Global Studies		2		2			
	専攻科目 選択必修科目	英語学概論		1		2		12 (各自登録コース8以上・他コース4以上)	IGESC プログラム : : 4 3 0 4
		英語教育学概論		1		2			
		統語論		2		2			
		意味論		2		2			
		音声学 I		2		2			
		音声学 II		2		2			
		英語学専門演習 A-I		3・4		2			
		英語学専門演習 A-II		3・4		2			
		英語学専門演習 B-I		3・4		2			
		英語学専門演習 B-II		3・4		2			
		英語学専門演習 C-I		3・4		2			
		英語学専門演習 C-II		3・4		2			
		英語学専門演習 D-I		3・4		2			
		英語学専門演習 D-II		3・4		2			
		英語学専門演習 E-I		3・4		2			
		英語学専門演習 E-II		3・4		2			
		英語学専門演習 F-I		3・4		2			
		英語学専門演習 F-II		3・4		2			
		英語学専門演習 G-I		3・4		2			
		英語学専門演習 G-II		3・4		2			
		英語学専門演習 H-I		3・4		2			
		英語学専門演習 H-II		3・4		2			
		英語学専門演習 I-I		3・4		2			
		英語学専門演習 I-II		3・4		2			
		英語学専門演習 J-I		3・4		2			
		英語学専門演習 J-II		3・4		2			
		特講イタリア語 I		3・4		2			
		特講イタリア語 II		3・4		2			
		特講韓国語 I		3・4		2			
		特講韓国語 II		3・4		2			
		特講スペイン語 I		3・4		2			
		特講スペイン語 II		3・4		2			
		特講中国語 I		3・4		2			
		特講中国語 II		3・4		2			
		特講ドイツ語 I		3・4		2			
		特講ドイツ語 II		3・4		2			
		特講フランス語 I		3・4		2			
		特講フランス語 II		3・4		2			
		特講ロシア語 I		3・4		2			
		特講ロシア語 II		3・4		2			
		英語史 I		3・4		2			
		英語史 II		3・4		2			
		英語学特講A		3・4		2			
		英語学特講B		3・4		2			
		英語学特講C		3・4		2			
		英語学特講D		3・4		2			
		Comparative Language Studies I		3・4		2			
		Comparative Language Studies II		3・4		2			
		小・中連携英語教育 I		3・4		2			
		小・中連携英語教育 II		3・4		2			
		第二言語習得論 I		3・4		2			
		第二言語習得論 II		3・4		2			
		英語教育学専門演習 I		3・4		2			
		英語教育学専門演習 II		3・4		2			

授 業 科 目 の 名 称				授業を 行う年次	単位数又は時間数 必修選択自由			卒業要件単位数	
専攻科目	選択必修科目	英語圏文学・文化 (I E S)	英語圏文学概論A	1		2		12 (各自登録コース8以上・他コース4以上)	I G E E S C プログラム : 4304
			英語圏文学概論B	1		2			
			英語圏文化概論A	1		2			
			英語圏文化概論B	1		2			
			イギリス文学史Ⅰ	2		2			
			イギリス文学史Ⅱ	2		2			
			アメリカ文学史Ⅰ	2		2			
			アメリカ文学史Ⅱ	2		2			
			イギリス文化史Ⅰ	2		2			
			イギリス文化史Ⅱ	2		2			
			アメリカ文化史Ⅰ	2		2			
			アメリカ文化史Ⅱ	2		2			
			英語圏文学特講A	3・4		2			
			英語圏文学特講B	3・4		2			
			英語圏文学特講C	3・4		2			
			英語圏文学特講D	3・4		2			
			英語圏文化特講A	3・4		2			
			英語圏文化特講B	3・4		2			
			英語圏文化特講C	3・4		2			
			英語圏文化特講D	3・4		2			
			Comparative LiteratureⅠ	3・4		2			
			Comparative LiteratureⅡ	3・4		2			
			Translation StudiesⅠ	3・4		2			
			Translation StudiesⅡ	3・4		2			
			Comparative CultureⅠ	3・4		2			
			Comparative CultureⅡ	3・4		2			
			Global Citizenship StudiesⅠ	3・4		2			
			Global Citizenship StudiesⅡ	3・4		2			
			英語圏文学・文化専門演習A-Ⅰ	3・4		2			
			英語圏文学・文化専門演習A-Ⅱ	3・4		2			
			英語圏文学・文化専門演習B-Ⅰ	3・4		2			
			英語圏文学・文化専門演習B-Ⅱ	3・4		2			
			英語圏文学・文化専門演習C-Ⅰ	3・4		2			
			英語圏文学・文化専門演習C-Ⅱ	3・4		2			
			英語圏文学・文化専門演習D-Ⅰ	3・4		2			
			英語圏文学・文化専門演習D-Ⅱ	3・4		2			
			英語圏文学・文化専門演習E-Ⅰ	3・4		2			
			英語圏文学・文化専門演習E-Ⅱ	3・4		2			
			英語圏文学・文化専門演習F-Ⅰ	3・4		2			
			英語圏文学・文化専門演習F-Ⅱ	3・4		2			
			英語圏文学・文化専門演習G-Ⅰ	3・4		2			
			英語圏文学・文化専門演習G-Ⅱ	3・4		2			
			英語圏文学・文化専門演習H-Ⅰ	3・4		2			
			英語圏文学・文化専門演習H-Ⅱ	3・4		2			
			英語圏文学・文化専門演習I-Ⅰ	3・4		2			
			英語圏文学・文化専門演習I-Ⅱ	3・4		2			
			英語圏文学・文化専門演習J-Ⅰ	3・4		2			
			英語圏文学・文化専門演習J-Ⅱ	3・4		2			
			英語圏文学・文化専門演習K-Ⅰ	3・4		2			
			英語圏文学・文化専門演習K-Ⅱ	3・4		2			
			英語圏文学・文化専門演習L-Ⅰ	3・4		2			
			英語圏文学・文化専門演習L-Ⅱ	3・4		2			
			英語圏文学・文化専門演習M-Ⅰ	3・4		2			
			英語圏文学・文化専門演習M-Ⅱ	3・4		2			
			英語圏文学・文化専門演習N-Ⅰ	3・4		2			
			英語圏文学・文化専門演習N-Ⅱ	3・4		2			
			英語圏文学・文化専門演習O-Ⅰ	3・4		2			
			英語圏文学・文化専門演習O-Ⅱ	3・4		2			
			英語圏文学・文化専門演習P-Ⅰ	3・4		2			
			英語圏文学・文化専門演習P-Ⅱ	3・4		2			
			英語圏文学・文化専門演習Q-Ⅰ	3・4		2			
			英語圏文学・文化専門演習Q-Ⅱ	3・4		2			
			英語圏文学・文化専門演習R-Ⅰ	3・4		2			
			英語圏文学・文化専門演習R-Ⅱ	3・4		2			
			英語圏文学・文化専門演習S-Ⅰ	3・4		2			
			英語圏文学・文化専門演習S-Ⅱ	3・4		2			
			英語圏文学・文化専門演習T-Ⅰ	3・4		2			
			英語圏文学・文化専門演習T-Ⅱ	3・4		2			

授 業 科 目 の 名 称			授業を 行う年次	単位数又は時間数 必修選択自由			卒業要件単位数	
専攻科目	選択必修科目	共通科目 (I E S)	Presentation and Discussion I	3・4		2	4	I G E E S C プログラム ： 4 3 0 4
			Presentation and Discussion II	3・4		2		
			Essay Writing I	3・4		2		
			Essay Writing II	3・4		2		
			通訳演習 I	3・4		2		
			通訳演習 II	3・4		2		
			翻訳演習 I	3・4		2		
		翻訳演習 II	3・4		2			
		(I E S)	教職基礎研究 I	2		2		
			教職基礎研究 II	2		2		
			専門研究 I	3		2		
			専門研究 II	3		2		
			卒業論文	4		6		
		Study Abroad (GEC)	GEC Study Abroad Studies on Literature,Cultures & Communication	2	10		10	
		グローバル英語コミュニケーション (G E C)	Introduction to World Literature I	1		2	1 2 (G r a d u a t i o n p r o j e c t を 含 む)	
			Introduction to World Literature II	1		2		
			Introduction to Global Culture I	1		2		
			Introduction to Global Culture II	1		2		
			Introduction to Global Communication I	1		2		
			Introduction to Global Communication II	1		2		
			Introductory Seminar in World Literature	2		2		
			Introductory Seminar in Global Culture	2		2		
			Introductory Seminar in Global Communication	2		2		
			Advanced Seminar I in World Literature	3		2		
			Advanced Seminar II in World Literature	3		2		
			Translation Studies I	3		2		
			Translation Studies II	3		2		
			Advanced Seminar I in Global Culture	3		2		
			Advanced Seminar II in Global Culture	3		2		
			Global Citizenship Studies I	3		2		
			Global Citizenship Studies II	3		2		
			Advanced Seminar I in Global Communication	3		2		
			Advanced Seminar II in Global Communication	3		2		
			Studies on Language and Society I	3		2		
			Studies on Language and Society II	3		2		
			Graduation Project in World Literautre	4		6		
			Comparative Literature I	4		2		
			Comparative Literature II	4		2		
			Graduation Project in Global Culture	4		6		
			Comparative Culture I	4		2		
			Comparative Culture II	4		2		
		Graduation Project in Global Communication	4		6			
		Comparative Language Studies I	4		2			
		Comparative Language Studies II	4		2			
		J a p a n e s e A d v a n c e d (G E C) S t u d i e s a n d S t u d i e s	Advanced Academic Writing	3		2		
			Practical Writing	3		2		
			English in the Media I	3		2		
			English in the Media II	3		2		
			Storytelling and Presentation I	3		2		
			Storytelling and Presentation II	3		2		
			国際日本文化論 (古典文学)	1		2		
			国際日本文化論 (近現代文学)	1		2		
			国際日本文化論 (言語)	1		2		
			国際日本文化論 (舞台芸術)	1		2		
			国際日本文化論 (映像メディア)	1		2		
			国際日本文化論 (社会)	1		2		
国際日本文化論 (歴史)	1			2				
国際日本文化論 (美術)	1			2				
国際日本文化論 (現代文化)	1			2				
国際日本文化論 (文化受容)	1			2				
国際日本文化論 (宗教)	1			2				

授 業 科 目 の 名 称				授業を 行う年次	単位数又は時間数 必修選択自由			卒業要件単位数
専攻科目	選択科目	英語留学プログラム（共通）	海外英語研修A	1		2		I G E E S C プ ロ グ ラ ム ： ： 4 3 0 4
			海外英語研修B	1		2		
			Study English Abroad(SEA) 1	1		5		
			Study English Abroad(SEA) 2	2		3		
			派遣交換留学Ⅰ	2・3・4		2		
			派遣交換留学Ⅱ	2・3・4		2		
			派遣交換留学Ⅲ	2・3・4		2		
			派遣交換留学Ⅳ	2・3・4		2		
			派遣交換留学Ⅴ	2・3・4		2		
			派遣交換留学Ⅵ	2・3・4		2		
			派遣交換留学Ⅶ	2・3・4		2		
			派遣交換留学Ⅷ	2・3・4		2		
			派遣交換留学Ⅸ	2・3・4		2		
			派遣交換留学Ⅹ	2・3・4		2		
			派遣交換留学Ⅺ	2・3・4		2		
			派遣交換留学Ⅻ	2・3・4		2		
			派遣交換留学ⅬⅢ	2・3・4		2		
			派遣交換留学ⅬⅣ	2・3・4		2		
			派遣交換留学ⅬⅤ	2・3・4		2		
			派遣交換留学ⅬⅥ	2・3・4		2		
	選択科目	外国語学部共通科目（共通）	英語学概論	1		2		
			英語圏文学概論A	1		2		
			英語圏文学概論B	1		2		
			英語圏文化概論A	1		2		
			英語圏文化概論B	1		2		
			総合講座・中国と世界	2		2		
			日中関係講義	2		2		
			中国地域文化講義	2		2		
			日中比較文化講義	2		2		
			スペイン史Ⅰ	2		2		
			スペイン史Ⅱ	2		2		
			ラテンアメリカ史Ⅰ	2		2		
			ラテンアメリカ史Ⅱ	2		2		
			スペイン現代研究Ⅰ	2		2		
			スペイン現代研究Ⅱ	2		2		
			ラテンアメリカ現代研究Ⅰ	2		2		
			ラテンアメリカ現代研究Ⅱ	2		2		
選択科目	通ゼインヘ共 外国語学部	外国語・異文化の学びとキャリア形成Ⅰ	1		2			
		海外ボランティアA	1		2			
		海外ボランティアB	2		2			
関連科目		情報処理Ⅰ	1		2		20	
		情報処理Ⅱ	1		2			
		「卒業要件単位数」を超える専攻科目・共通教養科目、自己が所属するプログラム以外の専攻科目、「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」、他学部他学科開講の専攻科目の単位。						

〔履修要件〕

- 1 同一授業科目は、重複して履修することはできない。
- 2 一年間の履修単位数は各年次48単位（半期24単位）を上限とする（通年科目を履修した場合は、その科目の単位数を二分割し、前学期・後学期それぞれの学期の単位数として換算する）。
なお、卒業要件単位数に算入されない資格教育課程に関する科目の単位数はこの枠外とする。
- 3 2年次終了時まで専門基礎科目の修得単位数が12単位未満の者は、3・4年次配当の選択必修科目を履修できない。
- 4 「Study English Abroad (SEA)1」及び「Study English Abroad (SEA)2」は、外国語学部を主とするが、他学部の学生は、履修することができない。
- 5 専攻科目の中には履修資格や人数を制限する科目がある。専門基礎科目と選択必修科目については、それぞれが所属するプログラム(Integrated English Studies (IES)又はGlobal English Communication (GEC))に指定された授業科目を履修しなくてはならない。それぞれの授業科目、プログラムで定められた条件を満たす場合、所属プログラム以外の授業科目を履修することができる。その単位は関連科目に算入される。
- 6 派遣交換留学によって派遣先の大学で修得した単位は、授業内容が英語英文学科カリキュラムポリシーに沿ったものであると認定された場合、「派遣交換留学」として単位認定を申請することができる。

〔プログラム制・コース制〕

- 1 英語英文学科に所属する学生は、1年次前学期よりIntegrated English Studies (IES) 又はGlobal English Communication (GEC)のいずれかのプログラムに所属し、履修要件・卒業要件は各プログラムの指示に従い行うものとする。
- 2 IESプログラムのコース制について
 - (1) 2年次後期（第4セメスター）に、学科所定の手続きにより、「言語コミュニケーション・英語教育コース」又は「英語圏文学・文化コース」のいずれかのコースを選択し登録しなければならない。
 - (2) コースの変更は、原則として認めない。
- 3 IESプログラムの専門研究・卒業論文について
 - (1) 「専門研究Ⅰ・Ⅱ」及び「卒業論文」を2年間継続して履修することを原則とする。ただし、英語科教員養成に関わる指定された「専門研究Ⅰ・Ⅱ」及び「卒業論文」については、「教職基礎研究Ⅰ・Ⅱ」を2年次に履修し、3年間の継続履修となる。
 - (2) 「専門研究Ⅰ」の履修を希望する者は、学科所定の『専門研究・コース決定要項』に基づき、2年次後期（第4セメスター）に履修希望届を提出して、3年次前期（第5セメスター）に履修登録をする。『専門研究・コース決定要項』については別途指示する。
 - (3) 他学部・他学科の学生は「教職基礎研究Ⅰ・Ⅱ」「専門研究Ⅰ・Ⅱ」及び「卒業論文」を履修することができない。
- 4 GECプログラムの留学単位の取扱いについて
GECプログラムでは2年次前期（第3セメスター）に必修として定められた留学に参加し、留学先のプログラムで専攻基礎科目「GEC Study Abroad (Intensive English)」10単位、選択必修「GEC Study Abroad Studies on Literature, Cultures & Communication」10単位、合計20単位に相当する学修を行い、帰国後に単位認定を行う。
- 5 GEC プログラム Advanced Seminar及びGraduation Projectについて
自己が選択したテーマのAdvanced SeminarⅠ・Ⅱ、Graduation Projectを継続して履修する。

〔学外単位認定制度〕

- 学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、卒業要件単位に算入することができる。なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各セメスターの履修制限単位数に含める。
- 1 本学が主催又は推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
 - 2 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続きにより認定された単位。
 - 3 横浜市内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。

〔卒業要件〕

1 4年以上在学し、学則所定の次表の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。

Integrated English Studiesプログラム【言語コミュニケーション・英語教育コース】

共通教養科目								専攻科目										合計
共通基盤科目							共通テーマ科目	専門基礎科目	選択必修科目				選択科目			専攻科目合計		
初年次ゼミナール	外国語科目	教養基礎演習	人文の分野	社会の分野	自然の分野	人間形成の分野			現代社会と市民	言語コミュニケーション・英語教育	英語圏文学・文化	共通科目	専門研究	英語留学プログラム	外国語学部共通科目		外国語学部キャリアデザイン科目	
2	8		4	4	4	2	2	32	20	8	4	4	40			20	96	128
6										40						20		

Integrated English Studiesプログラム【英語圏文学・文化コース】

共通教養科目								専攻科目										合計
共通基盤科目							共通テーマ科目	専門基礎科目	選択必修科目				選択科目			専攻科目合計		
初年次ゼミナール	外国語科目	教養基礎演習	人文の分野	社会の分野	自然の分野	人間形成の分野			現代社会と市民	言語コミュニケーション・英語教育	英語圏文学・文化	共通科目	専門研究	英語留学プログラム	外国語学部共通科目		外国語学部キャリアデザイン科目	
2	8		4	4	4	2	2	32	20	4	8	4	40			20	96	128
6										40						20		

Global English Communication プログラム

共通教養科目							専攻科目										合計
共通教養科目合計							専門基礎科目	選択必修科目				選択科目			関連科目	専攻科目合計	
								Study Abroad	Graduation Project	グローバル英語コミュニケーション	Advanced Japanese Communication and Studies	英語留学プログラム	外国語学部共通科目	外国語学部キャリアデザイン科目			
初年次ゼミナール	外国語科目	教養基礎演習	人文の分野	社会の分野	自然の分野	人間形成の分野	現代社会と市民	32	20	10	6	34			20	96	128
2	8	6							34						20	96	128

- 2 共通教養科目については、次の単位を含めて32単位以上修得すること。
 - (1) 初年次ゼミナール2単位（必修）。
 - (2) 一外国語を8単位以上。ただし、「日本語」は外国人留学生及び外国高等学校在学経験者（帰国生徒等）が申請により選択することができる。なお、GECプログラムに所属する者に限り、8単位を二つの外国語によって満たすことができる。その場合、一外国語につき4単位以上修得すること。
 - (3) 人文・社会・自然の各分野からそれぞれ4単位以上。
 - (4) 人間形成の分野から2単位以上。
 - (5) 共通テーマ科目から2単位以上。
 - (6) 教養基礎演習、人文・社会・自然・人間形成の各分野及び共通テーマ科目から規定の単位数を超えて6単位以上。
- 3 専攻科目から次の単位を含めて修得すること。
 - (1) 専門基礎科目から20単位以上。
 - (2) IESプログラムの場合、「選択必修科目（言語コミュニケーション・英語教育）」「選択必修科目（英語圏文学・文化）」の2分野のうち登録したコースの科目から8単位以上、ほかのコースの科目から4単位以上、「共通科目」から4単位以上を含め、選択必修科目及び選択科目から56単位以上。
 - (3) GECプログラムの場合、「選択必修（Study Abroad）」から10単位以上、「選択必修（グローバル英語コミュニケーション）」から12単位以上を含め、選択必修科目及び選択科目から56単位以上。
なお「Graduation Project in World Literature」「Graduation Project in Global Culture」「Graduation Project in Global Communication」のいずれか6単位を修得しなければならない。
- 4 外国語学部共通科目（選択科目）は、8単位まで卒業要件単位数に算入することができる。
- 5 関連科目から20単位以上を修得すること。
関連科目の単位として算入できるものは次のとおりとする。
 - (1) 共通教養科目、自己が所属するプログラムの専門基礎科目、選択必修科目、選択科目の「卒業要件単位数」を超える単位。
 - (2) 教職課程登録者が修得した「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」の単位。（上限6単位）
 - (3) 自己が所属するプログラム（IES又はGEC）以外の専攻科目の単位。
 - (4) 他学部他学科開講の専攻科目の単位。ただし、他学部・他学科が受講を認めない科目については、履修することができない。

(8) 外国語学部 スペイン語学科 専攻科目

①言語文化コース

授 業 科 目 の 名 称		授 業 を 行 う 年 次	単位数又は時間数 必修 選択 自由			卒業要件単位数	
専攻科目	スペイン語演習科目	スペイン語演習Ⅰ-1(会話)	1	2		30単位	
		スペイン語演習Ⅰ-2(会話)	1	2			
		スペイン語演習Ⅰ-1(総合)	1	4			
		スペイン語演習Ⅰ-2(総合)	1	4			
		スペイン語演習Ⅰ-2(総合)(インテンシブ)	1	4			
		スペイン語演習Ⅱ-1(会話)	2	2			
		スペイン語演習Ⅱ-2(会話)	2	2			
		スペイン語演習Ⅱ-1(文法)	2	2			
		スペイン語演習Ⅱ-1(文法)(インテンシブ)	2	2			
		スペイン語演習Ⅱ-2(文法)	2	2			
		スペイン語演習Ⅱ-1(読解)	2	2			
		スペイン語演習Ⅱ-1(読解)(インテンシブ)	2	2			
		スペイン語演習Ⅱ-2(読解)	2	2			
		スペイン語圏留学プログラム A	2	6			
		スペイン語圏派遣交換留学 A-1	2	6			
		スペイン語演習Ⅲ-1(会話)	3	1			
		スペイン語演習Ⅲ-1(会話)(インテンシブ)	3	1			
		スペイン語演習Ⅲ-2(会話)	3	1			
		スペイン語演習Ⅲ-2(会話)(インテンシブ)	3	1			
		スペイン語演習Ⅲ-1(作文)	3	1			
		スペイン語演習Ⅲ-1(作文)(インテンシブ)	3	1			
		スペイン語演習Ⅲ-2(作文)	3	1			
		スペイン語演習Ⅲ-2(作文)(インテンシブ)	3	1			
		スペイン語演習Ⅲ-1(読解)	3	1			
		スペイン語演習Ⅲ-2(読解)	3	1			
		スペイン語圏派遣交換留学 B-1	3	3			
		スペイン語圏派遣交換留学 C-1	3	3			
	選択必修科目 (共通)	スペイン語圏言語文化概論	1	2		10単位	6単位
		スペイン語圏地域文化概論	1	2			
		上級スペイン語会話Ⅰ-1	2	1			
		上級スペイン語会話Ⅰ-2	2	1			
		スペイン語会話Ⅰ-1	2	1			
		スペイン語会話Ⅰ-2	2	1			
		スペイン史Ⅰ	2	2			
		スペイン史Ⅱ	2	2			
		ラテンアメリカ史Ⅰ	2	2			
		ラテンアメリカ史Ⅱ	2	2			
		スペイン現代研究Ⅰ	2	2			
		スペイン現代研究Ⅱ	2	2			
		ラテンアメリカ現代研究Ⅰ	2	2			
		ラテンアメリカ現代研究Ⅱ	2	2			
		スペイン語学研究セミナー	2	2			
		スペイン語圏芸術研究セミナー	2	2			
		ポルトガル・ブラジル語Ⅰ-1	2	1			
		ポルトガル・ブラジル語Ⅰ-2	2	1			
		スペイン語圏留学プログラム B	2	6			
		スペイン語圏派遣交換留学 A-2	2	2			
		スペイン語圏派遣交換留学 A-3	2	2			
		スペイン語圏派遣交換留学 A-4	2	2			
		スペイン語圏派遣交換留学 A-5	2	2			
		スペイン語圏派遣交換留学 A-6	2	2			

授 業 科 目 の 名 称			授 業 を 行 う 年 次	単 位 数 又 は 時 間 数			卒 業 要 件 単 位 数	
				必 修	選 択	自 由		
専 攻 科 目	選 択 必 修 科 目 A	上級スペイン語会話Ⅱ-1	3・4		1		22単位	6単位
		上級スペイン語会話Ⅱ-2	3・4		1			
		スペイン語会話Ⅱ-1	3・4		1			
		スペイン語会話Ⅱ-2	3・4		1			
		スペイン語文学講読Ⅰ-1	3・4		2			
		スペイン語文学講読Ⅰ-2	3・4		2			
		スペイン語時事文講読Ⅰ-1	3・4		2			
		スペイン語時事文講読Ⅰ-2	3・4		2			
		スペイン語通訳・翻訳講座Ⅰ	3・4		2			
		スペイン語通訳・翻訳講座Ⅱ	3・4		2			
		ビジネス・スペイン語Ⅰ	3・4		1			
		ビジネス・スペイン語Ⅱ	3・4		1			
		ラテン語Ⅰ	3・4		1			
		ラテン語Ⅱ	3・4		1			
		スペイン語史Ⅰ	3・4		2			
		スペイン語史Ⅱ	3・4		2			
		スペイン語学Ⅰ	3・4		2			
		スペイン語学Ⅱ	3・4		2			
		一般音声学Ⅰ	3・4		2			
		一般音声学Ⅱ	3・4		2			
		ポルトガル・ブラジル語Ⅱ-1	3・4		1			
		ポルトガル・ブラジル語Ⅱ-2	3・4		1			
		スペイン語圏地域言語入門Ⅰ	3・4		2			
		スペイン語圏地域言語入門Ⅱ	3・4		2			
		スペイン語圏派遣交換留学 B-2	3		2			
		スペイン語圏派遣交換留学 B-3	3		2			
		スペイン語圏派遣交換留学 B-4	3		2			
		スペイン語圏派遣交換留学 B-5	3		2			
		スペイン語圏派遣交換留学 B-6	3		2			
		スペイン語圏派遣交換留学 B-7	3		2			
	スペイン語圏派遣交換留学 C-2	3		2				
	スペイン語圏派遣交換留学 C-3	3		2				
	スペイン語圏派遣交換留学 C-4	3		2				
	スペイン語圏派遣交換留学 C-5	3		2				
	スペイン語圏派遣交換留学 C-6	3		2				
	スペイン語圏派遣交換留学 C-7	3		2				
スペイン語圏言語文化研究ゼミナールⅠ	3		4					
	選 択 必 修 科 目 B	上級スペイン語会話Ⅲ-1	4		1		6単位	
上級スペイン語会話Ⅲ-2		4		1				
スペイン語会話Ⅲ-1		4		1				
スペイン語会話Ⅲ-2		4		1				
スペイン語アカデミックライティングⅠ		4		1				
スペイン語アカデミックライティングⅡ		4		1				
スペイン語文学講読Ⅱ-1		4		2				
スペイン語文学講読Ⅱ-2		4		2				
スペイン語時事文講読Ⅱ-1		4		2				
スペイン語時事文講読Ⅱ-2		4		2				
スペイン語圏派遣交換留学 D-1		4		2				
スペイン語圏派遣交換留学 D-2		4		2				
スペイン語圏派遣交換留学 E		4		2				
スペイン語圏言語文化研究ゼミナールⅡ		4		4				

授 業 科 目 の 名 称			授 業 を 行 う 年 次	単位数又は時間数			卒業要件単位数
				必修	選 択	自 由	
専 攻 科 目	自由 選 択 科 目	スペイン文学 I	3・4		2		6単位
		スペイン文学 II	3・4		2		
		ラテンアメリカ文学 I	3・4		2		
		ラテンアメリカ文学 II	3・4		2		
		スペイン政治経済 I	3・4		2		
		スペイン政治経済 II	3・4		2		
		ラテンアメリカ政治経済 I	3・4		2		
		ラテンアメリカ政治経済 II	3・4		2		
		ブラジル事情 I	3・4		2		
		ブラジル事情 II	3・4		2		
		国際関係論 I	3・4		2		
		国際関係論 II	3・4		2		
		スペイン芸術論	3・4		2		
		ラテンアメリカ芸術論	3・4		2		
		国際協力研修講座	3・4		2		
		スペイン研究 I（総合）	4		2		
		スペイン研究 II（総合）	4		2		
		ラテンアメリカ研究 I（総合）	4		2		
		ラテンアメリカ研究 II（総合）	4		2		
	スペイン語圏地域文化研究ゼミナール I	3		4			
	スペイン語圏地域文化研究ゼミナール II	4		4			
関 連 科 目	外国語学部キャリアデザイン科目	外国語・異文化の学びとキャリア形成 I	1		2		20単位
	外国 語 学 部 共 通 科 目	英語学概論	2		2		
		英語圏文学概論A	2		2		
		英語圏文学概論B	2		2		
		英語圏文化概論A	2		2		
		英語圏文化概論B	2		2		
		総合講座・中国と世界	2		2		
		中国地域文化講義	2		2		
		日中関係講義	2		2		
		日中比較文化講義	2		2		
		情報処理 I	1		2		
		情報処理 II	1		2		
		スペイン語圏短期留学プログラム	1		3		
		スペイン語圏留学プログラム C	2		8		
	「英語コミュニケーション特修副専攻」で修得した単位 日本語教員養成課程登録者が修得した「国際日本学部国際文化交流学科開講の日本語教育研究科目群」の単位 上記以外の共通教養科目、他学部他学科開講の専攻科目および「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」						

②地域文化コース

授 業 科 目 の 名 称			授 業 を 行 う 年 次	単位数又は時間数			卒業要件単位数	
				必修	選 択	自 由		
専 攻 科 目	ス ペ イ ン 語 演 習 科 目	スペイン語演習Ⅰ-1（会話）	1		2		30単位	
		スペイン語演習Ⅰ-2（会話）	1		2			
		スペイン語演習Ⅰ-1（総合）	1		4			
		スペイン語演習Ⅰ-2（総合）	1		4			
		スペイン語演習Ⅰ-2（総合）（インテンシブ）	1		4			
		スペイン語演習Ⅱ-1（会話）	2		2			
		スペイン語演習Ⅱ-2（会話）	2		2			
		スペイン語演習Ⅱ-1（文法）	2		2			
		スペイン語演習Ⅱ-1（文法）（インテンシブ）	2		2			
		スペイン語演習Ⅱ-2（文法）	2		2			
		スペイン語演習Ⅱ-1（読解）	2		2			
		スペイン語演習Ⅱ-1（読解）（インテンシブ）	2		2			
		スペイン語演習Ⅱ-2（読解）	2		2			
		スペイン語圏留学プログラム A	2		6			
		スペイン語圏派遣交換留学 A-1	2		6			
		スペイン語演習Ⅲ-1（会話）	3		1			
		スペイン語演習Ⅲ-1（会話）（インテンシブ）	3		1			
		スペイン語演習Ⅲ-2（会話）	3		1			
		スペイン語演習Ⅲ-2（会話）（インテンシブ）	3		1			
		スペイン語演習Ⅲ-1（作文）	3		1			
		スペイン語演習Ⅲ-1（作文）（インテンシブ）	3		1			
		スペイン語演習Ⅲ-2（作文）	3		1			
		スペイン語演習Ⅲ-2（作文）（インテンシブ）	3		1			
		スペイン語演習Ⅲ-1（読解）	3		1			
		スペイン語演習Ⅲ-2（読解）	3		1			
		スペイン語圏派遣交換留学 B-1	3		3			
		スペイン語圏派遣交換留学 C-1	3		3			
	選 択 必 修 科 目 （ 共 通 ）	スペイン語圏言語文化概論	1		2		10単位	6単位
		スペイン語圏地域文化概論	1		2			
		上級スペイン語会話Ⅰ-1	2		1			
		上級スペイン語会話Ⅰ-2	2		1			
		スペイン語会話Ⅰ-1	2		1			
		スペイン語会話Ⅰ-2	2		1			
		スペイン史Ⅰ	2		2			
		スペイン史Ⅱ	2		2			
		ラテンアメリカ史Ⅰ	2		2			
		ラテンアメリカ史Ⅱ	2		2			
		スペイン現代研究Ⅰ	2		2			
		スペイン現代研究Ⅱ	2		2			
		ラテンアメリカ現代研究Ⅰ	2		2			
		ラテンアメリカ現代研究Ⅱ	2		2			
		スペイン語学研究セミナー	2		2			
		スペイン語圏芸術研究セミナー	2		2			
		ポルトガル・ブラジル語Ⅰ-1	2		1			
		ポルトガル・ブラジル語Ⅰ-2	2		1			
		スペイン語圏留学プログラム B	2		6			
		スペイン語圏派遣交換留学 A-2	2		2			
		スペイン語圏派遣交換留学 A-3	2		2			
		スペイン語圏派遣交換留学 A-4	2		2			
		スペイン語圏派遣交換留学 A-5	2		2			
		スペイン語圏派遣交換留学 A-6	2		2			

授 業 科 目 の 名 称			授 業 を 行 う 年 次	単 位 数 又 は 時 間 数			卒 業 要 件 単 位 数	
				必 修	選 択	自 由		
専 攻 科 目	選 択 必 修 科 目 A	スペイン文学 I	3・4		2		22単位	6単位
		スペイン文学 II	3・4		2			
		ラテンアメリカ文学 I	3・4		2			
		ラテンアメリカ文学 II	3・4		2			
		スペイン政治経済 I	3・4		2			
		スペイン政治経済 II	3・4		2			
		ラテンアメリカ政治経済 I	3・4		2			
		ラテンアメリカ政治経済 II	3・4		2			
		ブラジル事情 I	3・4		2			
		ブラジル事情 II	3・4		2			
		国際関係論 I	3・4		2			
		国際関係論 II	3・4		2			
		スペイン芸術論	3・4		2			
		ラテンアメリカ芸術論	3・4		2			
		ポルトガル・ブラジル語 II-1	3・4		1			
		ポルトガル・ブラジル語 II-2	3・4		1			
		スペイン語圏地域言語入門 I	3・4		2			
		スペイン語圏地域言語入門 II	3・4		2			
		国際協力研修講座	3・4		2			
		スペイン語圏派遣交換留学 B-2	3		2			
		スペイン語圏派遣交換留学 B-3	3		2			
		スペイン語圏派遣交換留学 B-4	3		2			
		スペイン語圏派遣交換留学 B-5	3		2			
		スペイン語圏派遣交換留学 B-6	3		2			
		スペイン語圏派遣交換留学 B-7	3		2			
		スペイン語圏派遣交換留学 C-2	3		2			
		スペイン語圏派遣交換留学 C-3	3		2			
		スペイン語圏派遣交換留学 C-4	3		2			
	スペイン語圏派遣交換留学 C-5	3		2				
	スペイン語圏派遣交換留学 C-6	3		2				
	スペイン語圏派遣交換留学 C-7	3		2				
	スペイン語圏地域文化研究ゼミナール I	3		4				
	選 択 必 修 科 目 B	上級スペイン語会話Ⅲ-1	4		1		6単位	
		上級スペイン語会話Ⅲ-2	4		1			
スペイン語会話 Ⅲ-1		4		1				
スペイン語会話 Ⅲ-2		4		1				
スペイン語アカデミックライティング I		4		1				
スペイン語アカデミックライティング II		4		1				
スペイン研究 I（総合）		4		2				
スペイン研究 II（総合）		4		2				
ラテンアメリカ研究 I（総合）		4		2				
ラテンアメリカ研究 II（総合）		4		2				
スペイン語圏派遣交換留学 D-1		4		2				
スペイン語圏派遣交換留学 D-2		4		2				
スペイン語圏派遣交換留学 E		4		2				
スペイン語圏地域文化研究ゼミナール II		4		4				

授 業 科 目 の 名 称			授 業 を 行 う 年 次	単位数又は時間数			卒業要件単位数
				必修	選 択	自 由	
専 攻 科 目	自由 選 択 科 目	上級スペイン語会話Ⅱ-1	3・4		1		6単位
		上級スペイン語会話Ⅱ-2	3・4		1		
		スペイン語会話Ⅱ-1	3・4		1		
		スペイン語会話Ⅱ-2	3・4		1		
		スペイン語文学講読Ⅰ-1	3・4		2		
		スペイン語文学講読Ⅰ-2	3・4		2		
		スペイン語時事文講読Ⅰ-1	3・4		2		
		スペイン語時事文講読Ⅰ-2	3・4		2		
		スペイン語通訳・翻訳講座Ⅰ	3・4		2		
		スペイン語通訳・翻訳講座Ⅱ	3・4		2		
		ラテン語Ⅰ	3・4		1		
		ラテン語Ⅱ	3・4		1		
		スペイン語史Ⅰ	3・4		2		
		スペイン語史Ⅱ	3・4		2		
		スペイン語学Ⅰ	3・4		2		
		スペイン語学Ⅱ	3・4		2		
		一般音声学Ⅰ	3・4		2		
		一般音声学Ⅱ	3・4		2		
		ビジネス・スペイン語Ⅰ	3・4		1		
		ビジネス・スペイン語Ⅱ	3・4		1		
		スペイン語文学講読Ⅱ-1	4		2		
		スペイン語文学講読Ⅱ-2	4		2		
		スペイン語時事文講読Ⅱ-1	4		2		
		スペイン語時事文講読Ⅱ-2	4		2		
	スペイン語圏言語文化研究ゼミナールⅠ	3		4			
	スペイン語圏言語文化研究ゼミナールⅡ	4		4			
	目	外国語学部キャリアデザイン科目	外国語・異文化の学びとキャリア形成Ⅰ	1		2	
外国語学部共通科目		英語学概論	2		2		
		英語圏文学概論A	2		2		
		英語圏文学概論B	2		2		
		英語圏文化概論A	2		2		
		英語圏文化概論B	2		2		
		総合講座・中国と世界	2		2		
		中国地域文化講義	2		2		
		日中関係講義	2		2		
		日中比較文化講義	2		2		
関連科目		情報処理Ⅰ	1		2		
		情報処理Ⅱ	1		2		
		スペイン語圏短期留学プログラム	1		3		
	スペイン語圏留学プログラムC	2		8			
「英語コミュニケーション特修副専攻」で修得した単位 日本語教員養成課程登録者が修得した「国際日本学部国際文化交流学科開講の日本語教育研究科目群」の単位 上記以外の共通教養科目、他学部他学科開講の専攻科目および「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」							

〔履修要件〕

- 1 同一授業科目は、重複して履修することはできない。
- 2 一年間の履修単位数は各年次48単位（半期24単位）を上限とする（通年科目を履修した場合は、その科目の単位数を二分割し、前学期・後学期それぞれの学期の単位数として換算する）。
なお、卒業要件単位数に算入されない資格教育課程に関する科目の単位数はこの枠外とする。
- 3 専攻科目の中には履修資格や人数を制限する科目がある。
- 4 派遣交換留学によって派遣先の大学で修得した単位は、授業内容がスペイン語学科のカリキュラムポリシーに沿ったものであると認定された場合、「スペイン語圏派遣交換留学」として単位認定を申請することができる。

〔コース制〕

- 1 3年次より、学科所定の手続きにより、「言語文化コース」又は「地域文化コース」のいずれかを選択しなければならない。
- 2 原則として中途でのコース変更は認められない。

〔進級要件〕

（2年次から3年次）

- 1 2年次終了までに、次の単位を修得しなければならない。
（1）スペイン語演習科目より18単位以上。
（2）選択必修科目（共通）より10単位以上。
- 2 本学の派遣交換留学制度又はスペイン語学科の留学プログラムによる海外留学のため進級要件を満たせない場合は、学科所定の手続きにより進級を認められることがある。

〔学外単位認定制度〕

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、卒業要件単位に算入することができる。なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各セメスターの履修制限単位数に含める。

- 1 本学が主催又は推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
- 2 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続きにより認定された単位。
- 3 横浜市内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。

〔卒業要件〕

- 1 4年以上在学し、学則所定の次表の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。

共通教養科目							専 攻 科 目							合 計		
共通基盤科目						共通テーマ科目	共通教養科目合計	スペイン語演習科目	選択必修科目（共通）	選択必修科目 A	選択必修科目 B	自由選択科目	関連科目		専攻科目合計	
初年次ゼミナール	外国語科目	教養基礎演習	人文の分野	社会の分野	自然の分野	人間形成の分野										現代社会と市民
2	8		4	4	4	2	2	32	30	10	22	6		20	94	126
		6								6						

- 2 共通教養科目については、次の単位を含めて32単位以上修得すること。
（1）初年次ゼミナール2単位（必修）。
（2）外国語科目は英語8単位を修得すること。ただし、外国人留学生及び外国高等学校在学経験者（帰国生徒等）は申請により、英語に換えて、4～6単位を日本語とすることができる。なお、8単位に不足する単位は英語で補うものとする。
（3）人文・社会・自然の各分野からそれぞれ4単位以上。
（4）人間形成の分野から2単位以上。
（5）共通テーマ科目から2単位以上。
（6）教養基礎演習、人文・社会・自然・人間形成の各分野及び共通テーマ科目から規定の単位数を超えて6単位以上。
- 3 専攻科目（関連科目を除く）から、次の単位を含めて74単位以上を修得すること。
（1）スペイン語演習科目30単位。
（2）選択必修科目から以下の（3）（4）（5）の単位を含めて44単位以上。
（3）選択必修科目（共通）から10単位以上。
（4）選択必修科目Aから22単位以上。
（5）選択必修科目Bから6単位以上。
- 4 関連科目から20単位以上を修得すること。
関連科目の単位として算入できるものは次のとおりとする。
（1）共通教養科目及び専攻科目の「卒業要件単位数」を超える単位。
（2）教職課程登録者が修得した「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」の単位。（上限6単位）
（3）外国語学部キャリアデザイン科目、外国語学部共通科目の単位。
（4）「英語コミュニケーション特修副専攻」登録者が修得した指定科目の単位。
（5）日本語教員養成課程登録者が修得した国際文化交流学科開講の「言語・メディア科目群」と「日本語教育研究科目群」の日本語教員養成課程の科目の単位。
（6）他学部他学科開講の専攻科目の単位。ただし、他学部・他学科が受講を認めない科目については、履修することができない。

(9) 外国語学部 中国語学科 専攻科目

授 業 科 目 の 名 称			授 業 を 行 う 年 次	単位数又は時間数			卒業要件単位数
				必修	選 択	自 由	
専 攻 科 目	演習科目 中国学	中国学演習A	3	2			12単位
		中国学演習B	3	2			
		中国学卒論演習A	4	4			
		中国学卒論演習B	4	4			
	初習中国語専修科目	中国語演習Ⅰa(基礎)A	1	1			中国語初習者 20単位
		中国語演習Ⅰa(基礎)B	1	1			
		中国語演習Ⅰb(基礎)A	1	1			
		中国語演習Ⅰb(基礎)B	1	1			
		中国語演習Ⅰc(リスニング)A	1	1			
		中国語演習Ⅰc(リスニング)B	1	1			
		中国語演習Ⅰd(会話)A	1	1			
		中国語演習Ⅰd(会話)B	1	1			
		中国語演習Ⅱa(総合)A	2	1			
		中国語演習Ⅱa(総合)B	2	1			
		中国語演習Ⅱb(作文)A	2	1			
		中国語演習Ⅱb(作文)B	2	1			
		中国語演習Ⅱc(リスニング)A	2	1			
		中国語演習Ⅱc(リスニング)B	2	1			
		中国語演習Ⅱd(コミュニケーション)A	2	1			
		中国語演習Ⅱd(コミュニケーション)B	2	1			
		中国語演習Ⅲa(総合)A	3	1			
		中国語演習Ⅲa(総合)B	3	1			
		中国語演習Ⅲb(コミュニケーション)A	3	1			
		中国語演習Ⅲb(コミュニケーション)B	3	1			
	基幹科目	高級中国語演習Ⅰ(基礎)A	1	1			中国語既習者 20単位
		高級中国語演習Ⅰ(基礎)B	1	1			
		中日翻訳演習Ⅰ(基礎)	1	1			
		日中翻訳演習Ⅰ(基礎)	1	1			
		高級中国語演習Ⅱ(応用)A	2	1			
		高級中国語演習Ⅱ(応用)B	2	1			
		中日翻訳演習Ⅱ(応用)	2	1			
		日中翻訳演習Ⅱ(応用)	2	1			
		高級中国語演習Ⅲ(ビジネス)A	3	1			
		高級中国語演習Ⅲ(ビジネス)B	3	1			
	既習中国語専修科目	日本文化論(言語)	1・2・3・4		2		
		日本文化論(歴史)	1・2・3・4		2		
		日本文化論(宗教)	1・2・3・4		2		
		日本文化論(現代文化)	1・2・3・4		2		
		日本文化論(社会)	1・2・3・4		2		
		日本文化論(古典文学)	1・2・3・4		2		
		日本文化論(近現代文学)	1・2・3・4		2		
		日本文化論(舞台芸術)	1・2・3・4		2		
		日本文化論(美術)	1・2・3・4		2		
		日本文化論(古典芸能)	1・2・3・4		2		

授 業 科 目 の 名 称				授 業 を 行 う 年 次	単位数又は時間数			卒業要件単位数
					必修	選 択	自 由	
専 攻 科 目	コ ー ス 特 別 必 修 科 目 群	言 語 コ ー ス	中国語演習Ⅱ e (コミュニケーション) A	2	1			10単位
			中国語演習Ⅱ e (コミュニケーション) B	2	1			
			中国語演習Ⅱ f (翻訳) A	2	1			
			中国語演習Ⅱ f (翻訳) B	2	1			
			中国語演習Ⅲ c (リスニング) A	3	1			
			中国語演習Ⅲ c (リスニング) B	3	1			
			中国語演習Ⅲ d (翻訳) A	3	1			
			中国語演習Ⅲ d (翻訳) B	3	1			
			中国語演習Ⅳ (総合) A	4	1			
			中国語演習Ⅳ (総合) B	4	1			
		社 会 文 化 コ ー ス	総合講座・中国と世界	2	2			
			中国地域文化講義	2	2			
			日中関係講義	2	2			
			日中比較文化講義	2	2			
			中国学フィールド演習	3	2			
	選 択 科 目	概 説	中国政治経済概説A	1		2		12単位
			中国政治経済概説B	1		2		
			中国社会概説A	1		2		
			中国社会概説B	1		2		
			中国歴史概説A	1		2		
			中国歴史概説B	1		2		
			中国学概説	1		2		
			中国言語概説A	2		2		
			中国言語概説B	2		2		
			中国文学概説A	2		2		
			中国文学概説B	2		2		
		特 講	中国言語特講ⅠA	3・4		2		特講・表 現法演習 から16単 位
			中国言語特講ⅠB	3・4		2		
			中国言語特講ⅠC	3・4		2		
			中国言語特講ⅠD	3・4		2		
			中国言語特講ⅡA	3・4		2		
			中国言語特講ⅡB	3・4		2		
中国言語特講ⅡC			3・4		2			
中国言語特講ⅡD			3・4		2			
中国文化特講A			3・4		2			
中国文化特講B			3・4		2			
中国文化特講C			3・4		2			
中国文化特講D			3・4		2			
中国歴史特講A			3・4		2			
中国歴史特講B			3・4		2			
中国歴史特講C			3・4		2			
中国歴史特講D			3・4		2			
中国社会特講A			3・4		2			
中国社会特講B			3・4		2			
中国社会特講C			3・4		2			
中国社会特講D			3・4		2			
中国政治経済特講A	3・4		2					
中国政治経済特講B	3・4		2					
中国政治経済特講C	3・4		2					
中国政治経済特講D	3・4		2					
中国学特講	3・4		2					

授 業 科 目 の 名 称				授 業 を 行 う 年 次	単位数又は時間数			卒業要件単位数	
					必修	選 択	自 由		
専 攻 科 目	選 択 科 目	表 現 法 演 習	中国語表現法演習Ⅱ（HSK基礎）A	2		2		特講・表 現法演習 から16単 位	
			中国語表現法演習Ⅱ（HSK基礎）B	2		2			
			中国語表現法演習Ⅲ a（読解応用）A	3		2			
			中国語表現法演習Ⅲ a（読解応用）B	3		2			
			中国語表現法演習Ⅲ a（HSK応用）C	3		2			
			中国語表現法演習Ⅲ a（HSK応用）D	3		2			
			中国語表現法演習Ⅲ b（商用会話）A	3		2			
			中国語表現法演習Ⅲ b（商用会話）B	3		2			
			中国語表現法演習Ⅲ b（翻訳）C	3		2			
			中国語表現法演習Ⅲ b（翻訳）D	3		2			
			中国留学プログラム	2		3			
			攻 科 関 連 目	外 国 語 学 部 共 通 科 目	外国語学部共通科目	英語学概論	2		
英語圏文学概論A	2					2			
英語圏文学概論B	2					2			
英語圏文化概論A	2					2			
英語圏文化概論B	2					2			
スペイン史Ⅰ	2					2			
スペイン史Ⅱ	2					2			
ラテンアメリカ史Ⅰ	2					2			
ラテンアメリカ史Ⅱ	2					2			
スペイン現代研究Ⅰ	2					2			
スペイン現代研究Ⅱ	2					2			
ラテンアメリカ現代研究Ⅰ	2					2			
ラテンアメリカ現代研究Ⅱ	2					2			
外国語学部キャリア デザイン科目	外国語・異文化の学びとキャリア形成Ⅰ	1					2		
		情報処理Ⅰ				1		2	
		情報処理Ⅱ		1		2			
		専攻科目（選択科目）の卒業要件単位数を超える単位、共通教養科目、「教育の基礎的理解に関する科目等（各学科の指導法を含む）」、他学部他学科開講の専攻科目							

〔履修要件〕

- 1 同一授業科目は、重複して履修することはできない。
- 2 一年間の履修単位数は各年次48単位（半期24単位）を上限とする（通年科目を履修した場合は、その科目の単位数を二分割し、前学期・後学期それぞれの学期の単位数として換算する）。
なお、卒業要件単位数に算入されない資格教育課程に関する科目の単位数はこの枠外とする。
- 3 専攻科目の中には履修資格や人数を制限する科目がある。
- 4 「中国学卒論演習B」は、原則として「中国学卒論演習A」を未修得のものは履修できない。
- 5 専攻科目のうち演習科目については、原則として他学部他学科の学生は履修することができない。ただし、学科及び担当教員の認めた場合はこの限りではない。
- 6 学科所定の手続きにより中国語初習者と認められたものは、「初習中国語専修科目」を履修できる。
- 7 学科所定の手続きにより中国語既習者と認められたものは、「既習中国語専修科目」を履修できる。
- 8 「既習中国語専修科目」の選択科目は、関連科目として換算する場合も含み、原則として前期・後期各学期に2単位を上限として履修することができる。

〔コース制〕

- 1 2年次で学科所定の手続きにより、「言語コース」又は「社会文化コース」のいずれかのコースを選択しなければならない。

〔進級要件〕

（2年次から3年次）

- 1 2年次終了までに、次の単位を含めて学則所定の「卒業要件単位数」のうち、60単位以上修得しなければならない。
 - (1) 外国語科目（英語）4単位以上。
 - (2) 中国語初習者の言語コース履修者は、1・2年次の初習中国語専修科目及びコース特別必修科目群（言語コース）から15単位以上。
 - (3) 中国語初習者の社会文化コース履修者は、1・2年次の初習中国語専修科目から12単位以上。
 - (4) 中国語既習者の言語コース履修者は、1・2年次の既習中国語専修科目（必修科目）及びコース特別必修科目群（言語コース）から9単位以上。
 - (5) 中国語既習者の社会文化コース履修者は、1・2年次の既習中国語専修科目（必修科目）から6単位以上。
 - (6) 本学の派遣交換留学制度による海外留学のため進級要件を満たせない場合は、学科所定の手続きにより進級を認められることがある。

〔学外単位認定制度〕

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、卒業要件単位に算入することができる。
なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各セメスターの履修制限単位数に含める。

- 1 本学が主催又は推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
- 2 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続きにより認定された単位。
- 3 横浜市内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。

〔卒業要件〕

- 1 4年以上在学し、学則所定の次表の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。

【中国語初習者】

共通教養科目							専攻科目										合 計
初 年 次 ゼ ミ ナ ー ル	外国語科目	共通基盤科目				共通テーマ科目	共通教養科目合計	中国学演習科目	基幹科目	（言語コース・社会文化コース） コース特別必修科目群	選択科目			関連科目	専攻科目合計		
		教養基礎演習	人文の分野	社会の分野	自然の分野	人間形成の分野			現代社会と市民		初習中国語専修科目	概説	特講			表現法演習	
2	8		4	4	4	2	2	32	12	20	10	12	16	24	94	126	
		6															

【中国語既習者】

共通教養科目										専攻科目										合 計
初年次ゼミナール	外国語科目	共通基盤科目					共通テーマ科目	共通教養科目合計	中国学演習科目	基幹科目		（言語コース・社会文化コース） コース特別必修科目群	選択科目			関連科目	専攻科目合計			
		教養基礎演習	人文の分野	社会の分野	自然の分野	人間形成の分野	現代社会と市民			専修科目 既習中国語	必修科目		選択科目	概説	特講			表現法演習		
2	8		4	4	4	2	2	32	12	10	10	10	12	16	24	94	126			
		6																		

- 2 共通教養科目については、次の単位を含めて32単位以上修得すること。
 - (1) 初年次ゼミナール2単位（必修）。
 - (2) 外国語科目は英語8単位を修得すること。ただし、外国人留学生及び外国高等学校在学経験者（帰国生徒等）は申請により、英語に換えて、4～6単位を日本語とすることができる。なお、8単位に不足する単位は英語で補うものとする。
 - (3) 人文・社会・自然の各分野からそれぞれ4単位以上。
 - (4) 人間形成の分野から2単位以上。
 - (5) 共通テーマ科目から2単位以上。
 - (6) 教養基礎演習、人文・社会・自然・人間形成の各分野及び共通テーマ科目から規定の単位数を超えて6単位以上。
 - (7) 人間形成の分野のうち「キャリアデザイン」「海外インターンシップ」は2単位まで卒業要件単位数に算入することができる。なお、「国内インターンシップ」は、卒業要件単位数に算入できない。

- 3 中国学演習科目12単位を修得すること。
- 4 中国語初習者は、基幹科目として初習中国語専修科目20単位を修得すること。
- 5 中国語既習者は、基幹科目として既習中国語専修科目の必修科目10単位を修得し、かつ既習中国語専修科目の選択科目から10単位以上を修得すること。
- 6 コース特別必修科目群10単位を修得すること。
- 7 選択科目の概説から12単位以上修得すること。
- 8 選択科目の特講・表現法演習から16単位以上修得すること。
- 9 「言語コース」履修者は、3年次（5セメスター、6セメスター）以上に配当されている選択科目・表現法演習から2単位以上修得すること。
- 10 関連科目から24単位以上修得すること。
関連科目の単位として算入できるものは次のとおりとする。
 - （1）共通教養科目、専攻科目（選択科目）の「卒業要件単位数」を超える単位。
 - （2）教職課程登録者が修得した「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」の単位。（上限6単位）
 - （3）他学部他学科開講の専攻科目の単位。ただし、他学部・他学科が受講を認めない科目については、履修することができない。
 - （4）外国語学部共通科目、外国語学部キャリアデザイン科目の修得した単位。

(10) 国際日本学部 国際文化交流学科 専攻科目

授 業 科 目 の 名 称				授業を 行う年次	単位数又は時間			卒業要件単位数	
					必修	選択	自由		
専攻科目	基幹科目	学部教養科目	国際倫理学	1・2・3・4		2		10 単位 以上	専攻科目から合計96単位
			国際宗教論	1・2・3・4		2			
			現代国際関係論	1・2・3・4		2			
			世界地域論	1・2・3・4		2			
			戦争と歴史認識	1・2・3・4		2			
			国際平和論	1・2・3・4		2			
			メディア・リテラシー	1・2・3・4		2			
			国際文化交流論	1・2・3・4		2			
			観光文化論	1・2・3・4		2			
			ことばと文化	1・2・3・4		2			
			多文化共生論	1・2・3・4		2			
			横浜と観光	1・2・3・4		2			
			ことばとメディア	1・2・3・4		2			
			異文化コミュニケーション論	1・2・3・4		2			
			横浜の歴史と民俗A	1・2・3・4		2			
			ことばと人間	1・2・3・4		2			
			ジェンダー文化論	1・2・3・4		2			
			オリエンタリズム論	1・2・3・4		2			
			比較思想論	1・2・3・4		2			
		日本文化論	1・2・3・4		2				
		文化とアイデンティティ	1・2・3・4		2				
	演習・ゼミナール	基礎ゼミナール	1		2		8 単位 以上		
		コース演習Ⅰ	2	2					
		コース演習Ⅱ	2	2					
		ゼミナールⅠ	3	2					
		ゼミナールⅡ	3	2					
		卒業研究Ⅰ	4		2				
		卒業研究Ⅱ	4		2				
	学科入門科目	卒業論文	4		4				
		文化交流入門	1	2			8 単位		
		ことば学入門	1	2					
		国際日本学入門	1	2					
	観光文化入門	1	2						
展開科目	英語・応用	Critical ThinkingⅠ	2・3・4		1		6 単位 以上		
		Critical ThinkingⅡ	2・3・4		1				
		Academic WritingⅠ	2・3・4		1				
		Academic WritingⅡ	2・3・4		1				
		Public Speaking AⅠ	2・3・4		1				
		Public Speaking AⅡ	2・3・4		1				
	英語・基礎	Reading in Content AreasⅠ	2・3・4		1				
		Reading in Content AreasⅡ	2・3・4		1				
		Intermediate Composition	2・3・4		1				
		Intro to Academic Writing	2・3・4		1				
		Public Speaking BⅠ	2・3・4		1				
		Public Speaking BⅡ	2・3・4		1				
	英語・選択	English Learning StrategiesⅠ	1		1		留及英 単学 位語 から 英語 以上 ・選 ・択		
		English Learning StrategiesⅡ	1・2・3・4		1				
		Vocabulary SkillsⅠ	1		1				
Vocabulary SkillsⅡ		1・2・3・4		1					

授 業 科 目 の 名 称				授業を 行う年次	単位数又は時間			卒業要件単位数		
					必修	選択	自由			
専 攻 科 目	展 開 科 目	英語・ 選択	English for Professional Purposes	1・2・3・4		1		英語・ 選択及び英語・ 留学から8単位以上	専 攻 科 目 か ら 合 計 9 6 単位	
			Intensive English Practicum	1・2・3・4		4				
			Practicum in Intercultural Communication I	2・3・4		1				
			Practicum in Intercultural Communication II	1・2・3・4		1				
			Practicum in Proficiency Tests I	2・3・4		1				
			Practicum in Proficiency Tests II	2・3・4		1				
			Business Communication I	2・3・4		1				
			Business Communication II	2・3・4		1				
			Preparation for Study Abroad I	2・3・4		1				
			Preparation for Study Abroad II	1・2・3・4		1				
			Advanced Listening I	2・3・4		1				
			Advanced Listening II	1・2・3・4		1				
			Advanced Reading I	2・3・4		1				
			Advanced Reading II	2・3・4		1				
			Advanced Speaking I	2・3・4		1				
			Advanced Speaking II	1・2・3・4		1				
			Discussion & Debate I	2・3・4		1				
			Discussion & Debate II	2・3・4		1				
		英語・ 留学	派遣交換留学(語学)A	1・2・3・4		1				
			派遣交換留学(語学)B	1・2・3・4		2				
			派遣交換留学(語学)C	1・2・3・4		4				
			派遣交換留学(語学)D	1・2・3・4		8				
			推薦語学研修I	1・2・3・4		2				
			推薦語学研修II	1・2・3・4		2				
			推薦語学研修III	1・2・3・4		2				
			推薦語学研修IV	1・2・3・4		2				
		英語 以外 の 外国語	入門イタリア語AⅠ	1		1				(「国際日本学コース」 は4単位以上) 同一言語 8単位以上
			入門イタリア語AⅡ	1		1				
			入門イタリア語BⅠ	1		1				
			入門イタリア語BⅡ	1		1				
			入門韓国語AⅠ	1		1				
			入門韓国語AⅡ	1		1				
			入門韓国語BⅠ	1		1				
			入門韓国語BⅡ	1		1				
			入門スペイン語AⅠ	1		1				
			入門スペイン語AⅡ	1		1				
			入門スペイン語BⅠ	1		1				
			入門スペイン語BⅡ	1		1				
			入門中国語AⅠ	1		1				
			入門中国語AⅡ	1		1				
入門中国語BⅠ	1			1						
入門中国語BⅡ	1			1						
入門ドイツ語AⅠ	1			1						
入門ドイツ語AⅡ	1			1						
入門ドイツ語BⅠ	1			1						
入門ドイツ語BⅡ	1			1						
入門フランス語AⅠ	1			1						
入門フランス語AⅡ	1			1						
入門フランス語BⅠ	1		1							
入門フランス語BⅡ	1		1							
入門ロシア語AⅠ	1		1							
入門ロシア語AⅡ	1		1							
入門ロシア語BⅠ	1		1							
入門ロシア語BⅡ	1		1							

授 業 科 目 の 名 称				授業を 行う年次	単位数又は時間			卒業要件単位数	
					必修	選択	自由		
専 攻 科 目	展 開 科 目	英 語 以 外 の 外 国 語	日本語(総合1)Ⅰ	1		1		(「国際日本学コース」は4単位以上)	専攻科目から合計96単位
			日本語(総合1)Ⅱ	1		1			
			日本語(総合2)Ⅰ	1		1			
			日本語(総合2)Ⅱ	1		1			
			日本語(作文1)Ⅰ	1		1			
			日本語(作文1)Ⅱ	1		1			
			日本語(作文2)Ⅰ	1		1			
			日本語(作文2)Ⅱ	1		1			
			日本語(応用1)Ⅰ	1		1			
			日本語(応用1)Ⅱ	1		1			
			日本語(応用2)Ⅰ	1		1			
			日本語(応用2)Ⅱ	1		1			
			日本語演習(応用)BⅠ	1		1			
			日本語演習(応用)BⅡ	1		1			
			日本語演習(知識)BⅠ	1		1			
			日本語演習(知識)BⅡ	1		1			
			日本語演習(理解)BⅠ	1		1			
			日本語演習(理解)BⅡ	1		1			
			日本語演習(知識)CⅠ	1		1			
			日本語演習(知識)CⅡ	1		1			
			日本語演習(理解)CⅠ	1		1			
			日本語演習(理解)CⅡ	1		1			
			日本語演習(音声)Ⅰ	1		1			
			日本語演習(音声)Ⅱ	1		1			
			日本語演習(表現)Ⅰ	1		1			
			日本語演習(表現)Ⅱ	1		1			
			応用イタリア語AⅠ	2		1			
			応用イタリア語AⅡ	2		1			
			応用イタリア語BⅠ	2		1			
			応用イタリア語BⅡ	2		1			
			応用韓国語AⅠ	2		1			
			応用韓国語AⅡ	2		1			
			応用韓国語BⅠ	2		1			
			応用韓国語BⅡ	2		1			
			応用スペイン語AⅠ	2		1			
			応用スペイン語AⅡ	2		1			
			応用スペイン語BⅠ	2		1			
			応用スペイン語BⅡ	2		1			
			応用中国語AⅠ	2		1			
			応用中国語AⅡ	2		1			
			応用中国語BⅠ	2		1			
			応用中国語BⅡ	2		1			
			応用ドイツ語AⅠ	2		1			
			応用ドイツ語AⅡ	2		1			
			応用ドイツ語BⅠ	2		1			
			応用ドイツ語BⅡ	2		1			
			応用フランス語AⅠ	2		1			
			応用フランス語AⅡ	2		1			
			応用フランス語BⅠ	2		1			
			応用フランス語BⅡ	2		1			
			応用ロシア語AⅠ	2		1			
			応用ロシア語AⅡ	2		1			
			応用ロシア語BⅠ	2		1			
			応用ロシア語BⅡ	2		1			

授 業 科 目 の 名 称		授業を 行う年次	単位数又は時間			卒業要件単位数	
			必修	選択	自由		
専 攻 科 目	展 開 科 目	英 語 以 外 の 外 国 語	特講イタリア語Ⅰ	3・4	2	「国際日本学コース」は4単位以上	同一言語8単位以上
			特講イタリア語Ⅱ	3・4	2		
			特講韓国語Ⅰ	3・4	2		
			特講韓国語Ⅱ	3・4	2		
			特講スペイン語Ⅰ	3・4	2		
			特講スペイン語Ⅱ	3・4	2		
			特講中国語Ⅰ	3・4	2		
			特講中国語Ⅱ	3・4	2		
			特講ドイツ語Ⅰ	3・4	2		
			特講ドイツ語Ⅱ	3・4	2		
			特講フランス語Ⅰ	3・4	2		
			特講フランス語Ⅱ	3・4	2		
			特講ロシア語Ⅰ	3・4	2		
			特講ロシア語Ⅱ	3・4	2		
			特講日本語Ⅰ	3・4	2		
			特講日本語Ⅱ	3・4	2		
		英 語 以 外 ・ 留 学	派遣交換留学(語学)E	1・2・3・4	1		
			派遣交換留学(語学)F	1・2・3・4	2		
			派遣交換留学(語学)G	1・2・3・4	4		
			派遣交換留学(語学)H	1・2・3・4	8		
			推薦語学研修V	1・2・3・4	2		
			推薦語学研修VI	1・2・3・4	2		
			推薦語学研修VII	1・2・3・4	2		
			推薦語学研修VIII	1・2・3・4	2		
		文 化 交 流 コ ー ス 科 目	文化交流論(社会)	1・2・3・4	2	（「国際日本学コース」は14単位以上）	他コース科目 14単位
			文化交流論(芸術)	1・2・3・4	2		
			文化交流論(宗教)	1・2・3・4	2		
			文化交流論(生活)	1・2・3・4	2		
			文化交流論(表象)	1・2・3・4	2		
			文化交流論(文学)	1・2・3・4	2		
			文化交流論(現代文化)	1・2・3・4	2		
			文化交流論(歴史)	1・2・3・4	2		
			比較文化論	1・2・3・4	2		
			地域文化論(中国)	1・2・3・4	2		
			地域文化論(韓国)	1・2・3・4	2		
			地域文化論(東南アジア)	1・2・3・4	2		
			地域文化論(イスラーム圏)	1・2・3・4	2		
			地域文化論(アフリカ)	1・2・3・4	2		
			地域文化論(ヨーロッパA)	1・2・3・4	2		
			地域文化論(ヨーロッパB)	1・2・3・4	2		
			地域文化論(北アメリカ)	1・2・3・4	2		
			地域文化論(ラテンアメリカ)	1・2・3・4	2		
		観 光 文 化 コ ー ス 科 目	国際観光論	1・2・3・4	2		
			観光文化史	1・2・3・4	2		
			人文観光資源論	1・2・3・4	2		
			観光行動論	1・2・3・4	2		
			観光交流論	1・2・3・4	2		
			コミュニティと地域観光文化	1・2・3・4	2		
			観光と現代社会	1・2・3・4	2		
			観光地理学	1・2・3・4	2		
			観光と持続可能性	1・2・3・4	2		
			観光メディア論	1・2・3・4	2		
			English for the Tourism Industry A	1・2・3・4	2		
			English for the Tourism Industry B	1・2・3・4	2		
			観光文化事業論	1・2・3・4	2		

専攻科目から合計96単位

授 業 科 目 の 名 称				授業を 行う年次	単位数又は時間			卒業要件単位数			
					必修	選択	自由				
専 攻 科 目	展 開 科 目	観 光 文 化 コ ー ス 科 目	観光通訳演習	2・3・4		2		（「国際日本学コース」は14単位以上18単位以上）	他 コ ー ス 科 目 14単位以上	専 攻 科 目 か ら 合 計 96単位	
			Communication Skills in Business	1・2・3・4		2					
			観光インターンシップ(海外)	1・2・3・4		2					
			観光インターンシップ(国内)	1・2・3・4		2					
			観光翻訳論	2・3・4		2					
			文化創生概論	1・2・3・4		2					
			文化資源論	1・2・3・4		2					
			観光の民俗	1・2・3・4		2					
		言 語 ・ メ デ ィ ア コ ー ス 科 目	ことばの仕組みA	1・2・3・4		2					
			ことばの仕組みB	1・2・3・4		2					
			外国語の習得論A	1・2・3・4		2					
			外国語の習得論B	1・2・3・4		2					
			ことばと心	1・2・3・4		2					
			ことばとヒト・コミュニケーション	1・2・3・4		2					
			ことば学の基礎	2・3・4		2					
			ことばの発達論	2・3・4		2					
			ことばの意味	2・3・4		2					
			ことばの音	2・3・4		2					
			ことばと社会	2・3・4		2					
			ことばの比較	2・3・4		2					
			多文化社会と言語政策	2・3・4		2					
			言語メディア論	1・2・3・4		2					
			ことばと放送メディア(コンテンツ)	1・2・3・4		2					
			ことばと出版メディア(編集・実務)	1・2・3・4		2					
			ことばとソーシャルメディア	1・2・3・4		2					
			ことばと放送メディア(実務)	1・2・3・4		2					
			ことばと広告メディア	1・2・3・4		2					
			ことばとジャーナリズムA	1・2・3・4		2					
			ことばとジャーナリズムB	1・2・3・4		2					
			ことばとマスメディアA	1・2・3・4		2					
			ことばとマスメディアB	1・2・3・4		2					
			メディア・ディスコース論	1・2・3・4		2					
			博物館情報・メディア論	2・3・4		2					
			国 際 日 本 学 コ ー ス 科 目	国際日本文化論(宗教)	1・2・3・4		2				
				国際日本文化論(歴史)	1・2・3・4		2				
		国際日本文化論(言語)		1・2・3・4		2					
		国際日本文化論(古典文学)		1・2・3・4		2					
		国際日本文化論(近現代文学)		1・2・3・4		2					
		国際日本文化論(現代文化)		1・2・3・4		2					
		国際日本文化論(文化受容)		1・2・3・4		2					
		国際日本文化論(美術)		1・2・3・4		2					
		国際日本文化論(舞台芸術)		1・2・3・4		2					
		国際日本文化論(映像メディア)		1・2・3・4		2					
		国際日本文化論(社会)		1・2・3・4		2					
		日本文化論(宗教)		1・2・3・4		2					
日本文化論(歴史)	1・2・3・4			2							
日本文化論(言語)	1・2・3・4			2							
日本文化論(古典文学)	2・3・4			2							
日本文化論(近現代文学)	2・3・4			2							
日本文化論(現代文化)	1・2・3・4			2							
日本文化論(文化受容)	1・2・3・4			2							
日本文化論(古典芸能)	1・2・3・4			2							
日本文化論(美術)	1・2・3・4			2							
日本文化論(舞台芸術)	1・2・3・4			2							
日本文化論(映像メディア)	1・2・3・4			2							
日本文化論(社会)	1・2・3・4			2							

授 業 科 目 の 名 称				授業を行 う年次	単位数又は時間			卒業要件単位数		
					必修	選択	自由			
専 攻 科 目	展 開 科 目	専 門 ・ 留 学	海外文化研修Ⅰ	1・2・3・4		2		1 8 単 位 以 上	自 コ ー ス 科 目 1 4 単 位 以 上	専 攻 科 目 か ら 合 計 9 6 単 位
			海外文化研修Ⅱ	1・2・3・4		2				
			海外文化研修Ⅲ	1・2・3・4		2				
			海外文化研修Ⅳ	1・2・3・4		2				
			派遣交換留学(専門)A	1・2・3・4	1					
			派遣交換留学(専門)B	1・2・3・4	2					
			派遣交換留学(専門)C	1・2・3・4	4					
			派遣交換留学(専門)D	1・2・3・4	8					
		留 学・ 実 地	派遣交換留学(実地研修)A	1・2・3・4		2		2 0 単 位		
			派遣交換留学(実地研修)B	1・2・3・4		4				
	関 連 科 目	日 本 語 教 育 研 究	日本語教育事情	2		2				
			日本語教育文法	2		2				
			語用論	2		2				
			会話分析	2		2				
			日本語教育とバイリンガリズム	2		2				
			日本語意味論	2		2				
			日本語教育概論	3・4		2				
			日本語教授法	3・4		2				
			コースデザイン論	3・4		2				
			日本語教育研究	3・4		2				
			情報処理Ⅰ	1		2				
			情報処理Ⅱ	1		2				
			東南アジア言語Ⅰ	1		1				
			東南アジア言語Ⅱ	1		1				
			アラビア語Ⅰ	1		1				
			アラビア語Ⅱ	1		1				
			ポルトガル語Ⅰ	1		1				
			ポルトガル語Ⅱ	1		1				
			ポップカルチャー論A	1・2・3・4		2				
			ポップカルチャー論B	1・2・3・4		2				
			ビジネス日本語	1・2・3・4		1				
			留学生対象日中翻訳	1・2・3・4		1				
			留学生対象中日翻訳	1・2・3・4		1				
			プレゼミナールⅠ	2		2				
			プレゼミナールⅡ	2		2				
			東アジアの交流史A	2・3・4		2				
			東アジアの交流史B	2・3・4		2				
			日本のジェンダー史	2・3・4		2				
	ジェンダーの民俗	2・3・4		2						
	伝統文化論A	1・2・3・4		2						
伝統文化論B	1・2・3・4		2							
日本の食文化	1・2・3・4		2							
儀礼の民俗	2・3・4		2							
芸能の民俗	2・3・4		2							
異文化の学びとキャリア形成Ⅰ	1・2・3・4		2							
異文化の学びとキャリア形成Ⅱ	1・2・3・4		2							
※上記の科目のほか、卒業要件に関連科目の単位として 算入できると規定された科目										

〔履修要件〕

- 1 同一授業科目を重複して履修することはできない。
- 2 1年間の履修単位数は各年次48単位（半期24単位）を上限とする（通年科目を履修した場合は、その科目の単位数を二分割し、前学期・後学期それぞれの学期の単位数として換算する）。ただし、人間形成の分野の「キャリアデザイン」及び「国内インターンシップ」は、この上限に算入しない。また、卒業要件単位数に算入されない資格教育課程に関する科目の単位数もこの枠外とする。
- 3 英語以外の外国語（第二外国語）の「日本語」は外国人留学生ならびに外国高等学校在学経験者（帰国生徒等）を対象とした授業科目であり、履修には資格認定を必要とする。
- 4 学科科目のうち演習・ゼミナール科目の「コース演習Ⅰ・Ⅱ」については、原則として他学部・他学科の学生は履修することができない。
- 5 国際文化交流学科・日本文化学科以外の学生で日本語教員養成課程未登録者は、原則として日本語教育研究科目を履修することができない。

〔コース登録〕

- 1 2年次当初に「文化交流コース」、「観光文化コース」、「言語・メディアコース」、「国際日本学コース」のうち、いずれかのコースを選択し、登録しなければならない。
- 2 1のコースの変更を希望する者は、3年次当初もしくは4年次当初に「変更届」により申請し、許可を得なければならない。

〔進級要件〕

- 1 2年次終了までに、以下の単位を修得しなければならない。
 - (1) 初年次ゼミナール2単位。
 - (2) 「学科入門科目」4単位。
 - (3) 共通教養科目「外国語科目」と専攻科目「英語」のうち10単位。

〔学外単位認定制度〕

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、卒業要件単位に算入することができる。なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各セメスターの履修制限単位数に含める。

- 1 本学が主催する「派遣交換留学」所定のプログラムで得た成果に応じて本学科で認定された単位。
- 2 本学が主催又は推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
- 3 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続きにより認定された単位。
- 4 横浜市内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。

〔卒業要件〕

- 1 4年以上在学し、学則所定の次表の卒業要件単位数を修得しなければならない。〔 〕は国際日本学コース。

共通教養科目								共通教養科目合計	専攻科目							専攻科目合計	合 計		
共通基盤科目							テーマ		基幹科目			展開科目			関連科目				
初年次ゼミナール	外国語科目	教養基礎演習	人文の分野	社会の分野	自然の分野	人間形成の分野			現代社会と市民	学部教養科目	演習・ゼミナール	学科入門科目	英語（第一外国語）	英語以外の外国語 （第二外国語）				コース科目	他コース科目
														8 [4]				14 [18]	14
2	8		4	4	4	2	2	32	10	8	8	14			14	96	###		
6									20										

〔共通教養科目〕

- 2 共通教養科目については、次の単位を含めて32単位以上修得すること。
 - (1) 初年次ゼミナール2単位（必修）。
 - (2) 外国語科目は英語を8単位以上修得すること。
 - (3) 人文・社会・自然の各分野からそれぞれ4単位以上。
 - (4) 人間形成の分野から2単位以上。ただし、「キャリアデザイン」及び「国内インターンシップ」の単位は、卒業要件単位数に算入できない。
 - (5) 「共通テーマ科目」から2単位以上。
 - (6) 教養基礎演習、人文・社会・自然・人間形成の各分野及び共通テーマ科目から規定の単位数を超えて6単位以上。
 - (7) 人間形成の分野のうち「キャリアデザイン」及び「国内インターンシップ」の単位は、卒業要件単位数に算入できない。

〔専攻科目〕

- 3 学部教養科目から10単位以上修得すること。
- 4 演習・ゼミナールから必修科目を含めて8単位以上修得すること。
- 5 学科入門科目を8単位修得すること。
- 6 展開科目英語から14単位以上修得すること。
- 7 派遣交換留学において非英語プログラム（英語以外の言語で教授されるプログラム）で学修した場合、申請を経て「英語以外の外国語」を第一外国語、「英語」を第二外国語として、卒業要件単位数に算入することができる。
- 8 文化交流コース、観光文化コース、言語・メディアコースでは、「英語以外の外国語」を同一言語で8単位以上修得すること。
- 9 国際日本学コースでは、「英語以外の外国語」を同一言語で4単位以上修得すること。
- 10 文化交流コース、観光文化コース、言語・メディアコースでは、自コース科目から14単位以上修得すること。
- 11 国際日本学コースでは、自コース科目から18単位以上修得すること。
- 12 他コース科目から14単位以上修得すること。
- 13 関連科目から20単位以上修得すること。関連科目の単位として算入できるものは次のとおりとする。
 - (1) 外国語科目を除く共通教養科目の卒業要件単位数を超える単位。（上限6単位）
 - (2) 専攻科目の各科目群の卒業要件単位数を超える単位。
 - (3) 共通教養科目の外国語科目のうち次のいずれかの単位。（上限6単位）
 - ① 選択英語の「中級」「上級」の単位。
 - ② 展開科目の英語以外の外国語として選択しているものと同一言語の「中級」「上級」「特修」の単位。
 - ③ 上記①及び②以外の言語の「初級」「中級」「上級」「特修」の単位。
 - (4) 教職課程登録者が修得した「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」の単位。（上限6単位）
 - (5) 学芸員課程登録者が修得した「学芸員に関する科目」の単位。（上限6単位）
 - (6) 他学部・他学科開講の専攻科目の単位。ただし、他学部・他学科が受講を認めない科目については、履修することができない。

(11) 国際日本学部 日本文化学科 専攻科目

			授業科目の名称	授業を行う 年次	単位数又は時間			卒業要件単位数		
					必修	選択	自由			
専攻科目	基幹科目	学部教養科目	国際倫理学	1・2・3・4		2		10単位以上		専攻科目から合計92単位
			国際宗教論	1・2・3・4		2				
			現代国際関係論	1・2・3・4		2				
			世界地域論	1・2・3・4		2				
			戦争と歴史認識	1・2・3・4		2				
			国際平和論	1・2・3・4		2				
			メディア・リテラシー	1・2・3・4		2				
			国際文化交流論	1・2・3・4		2				
			観光文化論	1・2・3・4		2				
			ことばと文化	1・2・3・4		2				
			多文化共生論	1・2・3・4		2				
			横浜と観光	1・2・3・4		2				
			ことばとメディア	1・2・3・4		2				
			異文化コミュニケーション論	1・2・3・4		2				
			横浜の歴史と民俗A	1・2・3・4		2				
			ことばと人間	1・2・3・4		2				
			ジェンダー文化論	1・2・3・4		2				
			オリエンタリズム論	1・2・3・4		2				
			比較思想論	1・2・3・4		2				
		日本文化論	1・2・3・4		2					
		文化とアイデンティティ	1・2・3・4		2					
	演習・ゼミナール	文章表現演習	1	2		10単位以上				
		文献講読演習Ⅰ	2	2						
		文献講読演習Ⅱ	2	2						
		ゼミナールⅠ	3		2					
		ゼミナールⅡ	3		2					
		日本語学演習AⅠ	3		2					
		日本語学演習AⅡ	3		2					
		日本語学演習BⅠ	3		2					
		日本語学演習BⅡ	3		2					
日本文学演習AⅠ		3		2						
展開科目	日本語学科目	日本文学演習AⅡ	3		2	6単位以上	展開科目から12単位以上			
		日本文学演習BⅠ	3		2					
		日本文学演習BⅡ	3		2					
		卒業研究Ⅰ	4		2					
		卒業研究Ⅱ	4		2					
		卒業論文	4		4					
		日本語学概論	1	2						
日本語表現法	2		2							
日本語文法論A	2		2							
日本語文法論B	2		2							
日本語史	2		2							
日本語音声学	2		2							
日本語語彙論	2		2							
日本語学特講	2		2							

			授業科目の名称	授業を行う 年次	単位数又は時間			卒業要件単位数			
					必修	選択	自由				
専 攻 科 目	展 開 科 目	日 本 文 学 科 目	日本文学概論A	1		2		6 単 位 以 上	基 幹 科 目 及 び 展 開 科 目 か ら 1 2 単 位 以 上	展 開 科 目 か ら 1 2 単 位 以 上	専 攻 科 目 か ら 合 計 9 2 単 位
			日本文学概論B	1	2						
			日本文学史A	2	2						
			日本文学史B	2	2						
			漢文学A	2	2						
			漢文学B	2	2						
			日本古典文学特講	2	2						
			日本近代文学特講	2	2						
		文 化 ・ 表 象 科 目	日本の美術	1・2・3・4		2		8 単 位 以 上			
			現代文化論A	1・2・3・4		2					
			現代文化論B	1・2・3・4		2					
			ポップカルチャー論A	1・2・3・4		2					
			ポップカルチャー論B	1・2・3・4		2					
			伝統文化論A	1・2・3・4		2					
			伝統文化論B	1・2・3・4		2					
			伝説・昔話の民俗	1・2・3・4		2					
			書道Ⅰ	2		2					
			書道Ⅱ	2		2					
			芸能の民俗	2・3・4		2					
			舞台芸術論	1・2・3・4		2					
			日本伝統文化演習A(茶道・華道・服飾)	1・2・3・4		2					
			日本伝統文化演習B(音楽・絵画・工芸)	1・2・3・4		2					
			日本芸能論	1・2・3・4		2					
			日本の食文化	1・2・3・4		2					
			日本の宗教	1・2・3・4		2					
			文化受容論	1・2・3・4		2					
		日 本 文 化 発 展 科 目	日本史概論	1・2・3・4		2		8 単 位 以 上			
			言語メディア論	1・2・3・4		2					
			ことばと放送メディア(コンテンツ)	1・2・3・4		2					
			ことばとジャーナリズムA	1・2・3・4		2					
			ことばとジャーナリズムB	1・2・3・4		2					
			ことばと出版メディア(編集・実務)	1・2・3・4		2					
			ことばとマスメディアA	1・2・3・4		2					
			ことばとマスメディアB	1・2・3・4		2					
			信仰の民俗	1・2・3・4		2					
			ことばと放送メディア(実務)	1・2・3・4		2					
ことばと広告メディア	1・2・3・4			2							
儀礼の民俗	2・3・4			2							
東アジアの交流史A	2・3・4			2							
東アジアの交流史B	2・3・4			2							
観光メディア論	1・2・3・4			2							
観光文化史	1・2・3・4			2							
観光地理学	1・2・3・4			2							
Intensive English Practicum	2・3・4			4							
地域文化論(中国)	1・2・3・4			2							
地域文化論(韓国)	1・2・3・4			2							
地域文化論(東南アジア)	1・2・3・4			2							
文化交流論(宗教)	1・2・3・4			2							
文化交流論(表象)	1・2・3・4			2							
文化交流論(芸術)	1・2・3・4			2							
文化交流論(文学)	1・2・3・4			2							

			授業科目の名称	授業を行う 年次	単位数又は時間			卒業要件単位数	
					必修	選択	自由		
専 攻 科 目	日 本 語 教 育 研 究	日本語教育事情	2・3・4		2		2 0 単 位	専 攻 科 目 か ら 合 計 9 2 単 位	
		日本語教育文法	2・3・4		2				
		語用論	2・3・4		2				
		会話分析	2・3・4		2				
		日本語教育とバイリンガリズム	2・3・4		2				
		日本語意味論	2・3・4		2				
		日本語教育概論	2・3・4		2				
		日本語教授法	2・3・4		2				
		コースデザイン論	2・3・4		2				
	関 連 科 目	派遣交換留学A	1・2・3・4		1				
		派遣交換留学B	1・2・3・4		2				
		派遣交換留学C	1・2・3・4		4				
		派遣交換留学D	1・2・3・4		8				
		海外文化研修Ⅰ	1・2・3・4		2				
		海外文化研修Ⅱ	1・2・3・4		2				
		海外文化研修Ⅲ	1・2・3・4		2				
		海外文化研修Ⅳ	1・2・3・4		2				
		情報処理Ⅰ	1		2				
		情報処理Ⅱ	1		2				
		プレゼミナールⅠ	2		2				
プレゼミナールⅡ	2		2						
異文化の学びとキャリア形成Ⅰ	1・2・3・4		2						
異文化の学びとキャリア形成Ⅱ	1・2・3・4		2						
※上記の科目のほか、卒業要件に関連科目の単位として 算入できると規定された科目									

〔履修要件〕

- 1 同一授業科目を重複して履修することはできない。
- 2 1年間の履修単位数は各年次48単位（半期24単位）を上限とする（通年科目を履修した場合は、その科目の単位数を二分割し、前学期・後学期それぞれの学期の単位数として換算する）。ただし、教養基礎演習の「文章表現基礎演習」及び人間形成の分野の「国内インターンシップ」は、この枠外とする。また、資格教育課程に関する科目のうち、卒業要件単位数に算入できる科目（「教科教育法Ⅰ～Ⅳ（国語）」）以外の科目もこの枠外とする。
- 3 学科科目のうち演習・ゼミナール科目の「文章表現演習」「文献講読演習Ⅰ・Ⅱ」については、原則として他学部・他学科の学生は履修することができない。
- 4 国際文化交流学科・日本文化学科以外の学生で日本語教員養成課程未登録者は、原則として日本語教育研究科目を履修することができない。
- 5 国語の教職課程登録者については、原則として演習・ゼミナールに配置されている「日本語学演習」及び「日本文学演習」を履修すること。また、展開科目では各科目群で定められている最低単位数に加えて展開科目全体から12単位以上を修得しなければならないが、その単位修得には、原則として日本語学科目及び日本文学科目に配置されている科目を当てること。

〔学外単位認定制度〕

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、卒業要件単位数に算入することができる。なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各セメスターの履修制限単位数に含める。

- 1 本学が主催する「派遣交換留学」所定のプログラムで得た成果に応じて本学科で認定された単位。
- 2 本学が主催又は推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
- 3 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続きにより認定された単位。
- 4 横浜市内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。

〔卒業要件〕

- 1 4年以上在学し、学則所定の次表の卒業要件単位数を修得しなければならない。

共通教養科目									共通教養科目合計	専攻科目							専攻科目合計	合 計	
共通基盤科目								共通サーマ科目		基幹科目		展開科目				関連科目			
初 年 次 ゼ ミ ナ ー ル	第 一 外 国 語 科 目	第 二 外 国 語 科 目	教 養 基 礎 演 習	人 文 の 分 野	社 会 の 分 野	自 然 の 分 野	人 間 形 成 の 分 野			現 代 社 会 と 市 民	学 部 教 養 科 目	演 習 ・ ゼ ミ ナ ー ル	日 本 語 学 科 目	日 本 文 学 科 目	文 化 ・ 表 象 科 目				日 本 文 化 発 展 科 目
2	8	4		4	4	4	2	2	36	10	10	6	6	8	8	20	92	128	
6								12											

- 2 共通教養科目から次の内訳で合計36単位以上を修得すること。ただし、「文章表現基礎演習」「国内インターンシップ」は卒業要件単位数に算入できない。
 - (1) 初年次ゼミナール2単位（必修）。
 - (2) 第一外国語を8単位以上修得すること。ただし、外国人留学生は母語以外の言語を選択すること。
 - (3) 第二外国語として、第一外国語以外の外国語（同一言語に限る）科目より4単位以上修得すること。ただし、外国人留学生は母語以外の言語を選択すること。
 - (4) 人文・社会・自然の各分野からそれぞれ4単位以上修得すること。
 - (5) 人間形成の分野から2単位以上修得すること。
 - (6) 共通テーマ科目から2単位以上修得すること。
 - (7) 教養基礎演習・人文・社会・自然・人間形成の各分野及び共通テーマ科目から、上記（4）～（6）で定められた単位数に加えて、6単位以上修得すること。
- 3 学部教養科目から10単位以上修得すること。
- 4 演習・ゼミナールから必修科目を含めて10単位以上修得すること。
- 5 日本語学科目及び日本文学科目からそれぞれ6単位以上修得すること。
- 6 文化・表象科目及び日本文化発展科目からそれぞれ8単位以上修得すること。
- 7 上記の5、6の計28単位の他に、展開科目から12単位以上修得すること。
- 8 上記の3～7の計60単位の他に、基幹科目及び展開科目から12単位以上修得すること。
- 9 関連科目から20単位以上修得すること。
関連科目の単位として算入できるものは次のとおりとする。
 - (1) 外国語科目を除く共通教養科目の卒業要件単位数を超える単位。（上限6単位）
 - (2) 専攻科目の各科目群の卒業要件単位数を超える単位。
 - (3) 第一外国語科目、第二外国語科目の卒業要件単位数を超える単位。（上限6単位）
 - (4) 教職課程登録者が修得した「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」のうち、「教科教育法Ⅰ（国語）」「教科教育法Ⅱ（国語）」「教科教育法Ⅲ（国語）」「教科教育法Ⅳ（国語）」の8単位。
 - (5) 学芸員課程登録者が修得した「学芸員に関する科目」の単位。（上限6単位）
 - (6) 他学部・他学科開講の専攻科目の単位。ただし、他学部・他学科が受講を認めない科目については、履修することができない。

(12) 国際日本学部 歴史民俗学科 専攻科目

			授業科目の名称	授業を行う 年次	単位数又は時間			卒業要件単位数	
					必修	選択	自由		
専 攻 科 目	基 幹 科 目	学部教養科目	国際倫理学	1・2・3・4		2		8 単 位 以 上	専 攻 科 目 か ら 合 計 9 6 単 位
			国際宗教論	1・2・3・4		2			
			現代国際関係論	1・2・3・4		2			
			世界地域論	1・2・3・4		2			
			戦争と歴史認識	1・2・3・4		2			
			国際平和論	1・2・3・4		2			
			メディア・リテラシー	1・2・3・4		2			
			国際文化交流論	1・2・3・4		2			
			観光文化論	1・2・3・4		2			
			ことばと文化	1・2・3・4		2			
			多文化共生論	1・2・3・4		2			
			横浜と観光	1・2・3・4		2			
			ことばとメディア	1・2・3・4		2			
			異文化コミュニケーション論	1・2・3・4		2			
			横浜の歴史と民俗A	1・2・3・4		2			
			ことばと人間	1・2・3・4		2			
			ジェンダー文化論	1・2・3・4		2			
			オリエンタリズム論	1・2・3・4		2			
			比較思想論	1・2・3・4		2			
			日本文化論	1・2・3・4		2			
		文化とアイデンティティ	1・2・3・4		2				
		演習・ゼミナール	基礎演習	1	2		1 8 単 位 以 上		
			専門演習Ⅰ	2	2				
			専門演習Ⅱ	2	2				
			プレゼミナールⅠ	2		2			
			プレゼミナールⅡ	2		2			
			ゼミナールⅠ	3	2				
			ゼミナールⅡ	3	2				
			SゼミナールⅠ	3		2			
			SゼミナールⅡ	3		2			
卒業研究Ⅰ	4		2						
卒業研究Ⅱ	4		2						
卒業論文	4		4						
実習科目	歴史民俗資料入門Ⅰ	1	2		8 単 位 以 上				
	歴史民俗資料入門Ⅱ	1	2						
	歴史史料実習(古代)	2・3・4		2					
	歴史史料実習(近現代)A	2・3・4		2					
	歴史史料実習(近現代)B	2・3・4		2					
	歴史史料実習(中世)	2・3・4		2					
	歴史史料実習(近世)	2・3・4		2					
	民俗調査実習Ⅰ	2		2					
	民俗調査実習Ⅱ	2		2					

			授業科目の名称	授業を行う 年次	単位数又は時間			卒業要件単位数	
					必修	選択	自由		
専攻科目	展開科目	歴史分野	日本史概論	1	2			16単位以上	専攻科目から合計96単位
			人文地理学概論	1		2			
			日本の美術	1		2			
			日本の宗教	1・2・3・4		2			
			日本の古代	1		2			
			日本の中世	1		2			
			日本の近世	1		2			
			日本の近代	1		2			
			日本の現代	1		2			
			日本文化論(言語)	1・2・3・4		2			
			文化受容論	1・2・3・4		2			
			東アジアの交流史A	2・3・4		2			
			東アジアの交流史B	2・3・4		2			
			日本の社会史A	2・3・4		2			
			日本の社会史B	2・3・4		2			
			日本のジェンダー史	2・3・4		2			
			歴史考古	2・3・4		2			
			歴史地理	2・3・4		2			
			日本文学史A	2		2			
			日本文学史B	2		2			
		民俗分野	民俗学概論	1	2			16単位以上	
			社会学概論	1		2			
			宗教学概論	1		2			
			文化人類学概論	1		2			
			地域文化論(中国)	1・2・3・4		2			
			舞台芸術論	1・2・3・4		2			
			現代文化論A	1・2・3・4		2			
			現代文化論B	1・2・3・4		2			
			信仰の民俗	1		2			
			伝説・昔話の民俗	1		2			
			東アジアの民俗	1		2			
			社会の民俗	1		2			
			生業の民俗	1		2			
			観光の民俗	1		2			
			文化交流論(生活)	1・2・3・4		2			
			日本芸能論	1・2・3・4		2			
自然の民俗	2・3・4		2						
ジェンダーの民俗	2・3・4		2						
沖縄の民俗	2・3・4		2						
儀礼の民俗	2・3・4		2						
芸能の民俗	2・3・4		2						
メディアの民俗	2・3・4		2						
民具論	2・3・4		2						

			授業科目の名称	授業を行う 年次	単位数又は時間			卒業要件単位数	
					必修	選択	自由		
専 攻 科 目	展 開 科 目	文 化 創 生 分 野	文化創生概論	1	2			1 2 単 位 以 上	専 攻 科 目 か ら 合 計 9 6 単 位
			政治学概論	1		2			
			観光文化史	1・2・3・4		2			
			観光と現代社会	1・2・3・4		2			
			ことばと放送メディア(コンテンツ)	1・2・3・4		2			
			ことばと出版メディア(編集・実務)	1・2・3・4		2			
			文化資源論	1		2			
			文化遺産論	1		2			
			コミュニティと地域観光文化	1・2・3・4		2			
			ことばと放送メディア(実務)	1・2・3・4		2			
			ことばと広告メディア	1・2・3・4		2			
			文化創生実践論	2・3・4		2			
			文化政策論	2・3・4		2			
			アーカイブズ論	2・3・4		2			
			博物館概論	2・3・4		2			
			博物館情報・メディア論	2・3・4		2			
			観光メディア論	1・2・3・4		2			
			ことばとジャーナリズムA	1・2・3・4		2			
			横浜の歴史と民俗B	2・3・4		2			
			博物館展示論	2・3・4		2			
	博物館資料論	2・3・4		2					
	ことばとマスメディアA	1・2・3・4		2					
	関 連 科 目	派遣交換留学A	1・2・3・4		1		1 8 単 位		
		派遣交換留学B	1・2・3・4		2				
		派遣交換留学C	1・2・3・4		4				
		派遣交換留学D	1・2・3・4		8				
		情報処理Ⅰ	1		2				
		情報処理Ⅱ	1		2				
外国史概論A		1・2・3・4		2					
外国史概論B		1・2・3・4		2					
地誌学概論		1・2・3・4		2					
自然地理学概論		1・2・3・4		2					
Intensive English Practicum		1・2・3・4		4					
異文化の学びとキャリア形成Ⅰ		1・2・3・4		2					
異文化の学びとキャリア形成Ⅱ		1・2・3・4		2					
※上記の科目のほか、卒業要件に関連科目の単位として 算入できると規定された科目									

【履修要件】

- 1 同一授業科目を重複して履修することはできない。
- 2 1年間の履修単位数は各年次48単位（半期24単位）を上限とする（通年科目を履修した場合は、その科目の単位数を二分割し、前学期・後学期それぞれの学期の単位数として換算する）。ただし、人間形成の分野の「国内インターンシップ」は、この上限に算入しない。また、卒業要件単位数に算入されない資格教育課程に関する科目の単位数もこの枠外とする。
- 3 学科科目のうち演習科目、実習科目、「SゼミナールⅠ・Ⅱ」については、原則として他学部・他学科の学生は履修することができない。
- 4 社会又は地理歴史の教職課程登録者については、原則として実習科目に配置されている「歴史史料実習」を履修すること。また、展開科目のうち、歴史分野の16単位、民俗分野の16単位及び文化創生分野の12単位を修得するにあたっては、原則としてその半数を「教科に関する専門的事項」に配置されている科目から履修すること。

【学外単位認定制度】

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、卒業要件単位数に算入することができる。なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各セメスターの履修制限単位数に含める。

- 1 本学が主催する「派遣交換留学」所定のプログラムで得た成果に応じて本学科で認定された単位。
- 2 本学が主催又は推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
- 3 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続きにより認定された単位。
- 4 横浜市内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。

【卒業要件】

- 1 4年以上在学し、学則所定の次表の卒業要件単位数を修得しなければならない。

共通教養科目								共通教養科目合計	専攻科目							専攻科目合計	合 計	
共通基盤科目							共通テーマ科目		基幹科目			展開科目			関連科目			
初 年 次 ゼ ミ ナ ー ル	外 国 語 科 目	教 養 基 礎 演 習	人 文 の 分 野	社 会 の 分 野	自 然 の 分 野	人 間 形 成 の 分 野			現 代 社 会 と 市 民	学 部 教 養 科 目	ル 演 習 ・ ゼ ミ ナ ー	実 習 科 目	歴 史 分 野	民 俗 分 野				文 化 創 生 分 野
2	8		4	4	4	2	2	32	8	18	8	16	16	12	18	96	128	
		6																

- 2 共通教養科目から次の内訳で合計32単位以上を修得すること。
 - (1) 初年次ゼミナール2単位（必修）。
 - (2) 外国語科目から英語を8単位。ただし、外国人留学生及び外国高等学校在学経験者（帰国生徒等）は申請により、英語に換えて、4～6単位を日本語とすることができる。なお、8単位に不足する単位は英語で補うものとする。
 - (3) 人文・社会・自然の各分野からそれぞれ4単位以上修得すること。
 - (4) 人間形成の分野から2単位以上修得すること。ただし、「国内インターンシップ」は卒業要件単位数に算入できない。
 - (5) 共通テーマ科目から2単位以上修得すること。
 - (6) 教養基礎演習、人文・社会・自然・人間形成の各分野及び共通テーマ科目から規定の単位数を超えて6単位以上。
- 3 専攻科目から次の内訳で96単位以上を修得すること。
 - (1) 基幹科目から34単位以上修得すること。
 - ① 学部教養科目から8単位以上修得すること。
 - ② 演習・ゼミナールから必修科目の単位を含め18単位以上修得すること。
 - ③ 実習科目から必修科目を含め8単位以上修得すること。
 - (2) 展開科目から各分野の必修科目を含め歴史分野・民俗分野から各16単位以上、文化創生分野から12単位以上修得すること。
 - (3) 関連科目から18単位以上修得すること。

なお、次の科目についても関連科目の単位として算入できる。

 - ① 共通教養科目、基幹科目（学部教養科目、演習・ゼミナール、実習科目）、展開科目（歴史分野、民俗分野、文化創生分野）の卒業要件単位数を超える単位。
 - ② 教職課程登録者が修得した「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」の単位。（上限6単位）
 - ③ 他学部・他学科開講の専攻科目の単位。ただし、他学部・他学科が受講を認めない科目については履修することができない。

[illegible]

授業科目の名称			授業を 行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数		
				必修	選択	自由			
専攻科目	展 開 科 目	心理発達	公認心理師の職責	1	2				
			人体の構造と機能及び疾病	1	2				
			精神疾患とその治療	1	2				
			関係と行政論	1	2				
			発達心理学	1	2				
			教育・学校心理学	2	2				
			臨床発達心理学	2	2				
			心理学的支援	2	2				
			環境心理学	2	2				
			ランティア学習論	2	2				
			健康・医療心理学	2	2				
			ジェンダー心理学	2	2				
			社会・集団・家族心理学	2	2				
			障害者・障害児心理学	2	2				
			心理演習Ⅰ	2	1				
			心理演習Ⅱ	2	1				
			色彩心理学	3	2				
			青年心理学	3	2				
			神経・生理心理学	3	2				
			福祉心理学	3	2				
			心理療法学	3	2				
			コミュニティ心理学	3	2				
			組織心理学	3	2				
			被害者心理学	3	2				
			教育哲学	3	2				
			産業・組織心理学	3	2				
			心理実習Ⅰ	3	1				
			心理実習Ⅱ	3	1				
	目	スポーツ健康	スポーツ実技種目（球技①）	1	2		展開科目から30単位以上	展開科目及び関連科目から46単位以上（内展開科目から30単位以上）	専攻科目から94単位以上
			スポーツ実技種目（球技②）	1	2				
			ライフアカデミックスキル	1	2				
			スポーツ哲学	1	2				
			スポーツ実技種目（球技③）	2	2				
			スポーツ実技種目（器械運動）	2	2				
			スポーツ実技種目（陸上競技）	2	2				
			スポーツ実技種目（水泳）	2	2				
			スポーツ実技種目（ダンス）	2	2				
			スポーツ実技種目（武道）	2	2				
			スポーツ医学	2	2				
			救急法	2	2				
			スポーツ健康	2	2				
			運動処方論	2	2				
			野外実習（サマー）	2	2				
			野外実習（ウィンター）	2	2				
			学校保健	2	2				
			生涯スポーツ健康論	2	2				
			スポーツ産業論	2	2				
			バイオメカニクス	2	2				
			スポーツ文化	3	2				
			スポーツ実践Ⅲ	3	2				
			スポーツ実践Ⅳ	3	2				
			トレーニング実技	3	2				
			スポーツと経済	3	2				
			トレーニング実習	3	2				
			コーチング論	3	2				
			身体科学実験実習	3	2				
			身体運動の計算科学とシミュレーション	3	2				
			スポーツの行政と公共政策	3	2				

[illegible]

授業科目の名称						授業を 行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数	
							必修	選択	自由		
専攻科目	関連科目	経経	済済	史史	I	1・2・3・4		2	展開科目及び関連科目から46単位以上（内展開科目から30単位以上）	専攻科目から94単位以上	
		日日	本本	済済	II	1・2・3・4		2			
		西西	本本	済済	I	1・2・3・4		2			
		国国	洋洋	済済	II	1・2・3・4		2			
		行行	際際	史史	I	1・2・3・4		2			
		日日	際際	史史	II	1・2・3・4		2			
		政政	政政	法法	I	1・2・3・4		2			
		世世	本本	法法	II	1・2・3・4		2			
		財財	治治	法法	I	1・2・3・4		2			
		経経	学学	入論	II	1・2・3・4		2			
		金金	界界	済済	I	1・2・3・4		2			
		労労	政政	学学	II	1・2・3・4		2			
		地地	政政	学学	I	1・2・3・4		2			
		地地	融融	学学	II	1・2・3・4		2			
		比比	働働	法法	I	1・2・3・4		2			
		国国	方方	論論	II	1・2・3・4		2			
			方方	論論	I	1・2・3・4		2			
			較較	学学	II	1・2・3・4		2			
			較較	学学	I	1・2・3・4		2			
			際際	学学	II	1・2・3・4		2			
			際際	学学	I	1・2・3・4		2			
					II	1・2・3・4		2			
	総合演習	人間科学専門ゼミナール	人間科学専門ゼミナール	I	2	4		12単位			
		人間科学専門ゼミナール	人間科学専門ゼミナール	II	3	4					
		卒業研究	卒業研究		4	4					

〔履修要件〕

- 1 同一授業科目は、重複して履修することはできない。
- 2 科目によっては履修資格や人数が制限される場合があるので注意すること。
- 3 1年間の履修単位数は44単位以内とし、半期に履修登録できる単位数は22単位以内とする（通年科目を履修した場合は、その科目の単位数を二分割し、前学期・後学期のそれぞれの学期の単位数として換算する）。なお、卒業要件単位数に算入されない資格教育課程に関する科目の単位数はこの枠外とする。
- 4 長期履修学生制度適用者が各セメスターにおいて履修登録できる単位数は、学期の違いにより14単位もしくは16単位以内とする。

〔コース制〕

- 1 2年次のコース登録期間内に「心理発達」、「スポーツ健康」、「人間社会」のいずれかを選択し、登録する。なお、未登録者については、自動的に心理発達コースの登録とする。
- 2 コースの変更を希望する者は、3年次当初または4年次当初に「コース変更」を申請し、人間科学部長の許可を得なければならない。なお、年度途中での変更は認めない。

〔学外単位認定制度〕

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、卒業要件単位に算入することができる。なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各セメスターの履修制限単位数に含める。

- 1 本学が主催または推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
- 2 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続きにより認定された単位。
- 3 横浜市内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。

〔卒業要件〕

- 1 4年以上在学し、学則所定の次表の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。

共通教養科目								専攻科目						合 計	
共通基盤科目						共通テーマ科目	共通教養科目合計	基礎科目	基幹科目	展開・関連科目合計		総合演習	合 計		
初年次ゼミナール	外国語科目	教養基礎演習	人文の分野	社会の分野	自然の分野	人間形成の分野				現代社会と市民	展開科目				関連科目
2	8		4	4	4	2	2	32	14	22	30	46	12	94	126
6											16				

- 2 共通教養科目については、次の単位を含めて32単位以上修得すること。

- (1) 初年次ゼミナール2単位（必修）。
- (2) 外国語科目から英語を8単位以上。ただし、外国人留学生及び外国高等学校在学経験者（帰国生徒等）は申請により、英語に換えて、4～6単位を日本語とすることができる。なお、8単位に不足する単位は英語で補うものとする。
- (3) 人文・社会・自然の各分野からそれぞれ4単位以上。
- (4) 人間形成の分野から「健康科学とスポーツⅠ・Ⅱ」の単位を含めて2単位以上。
- (5) 共通テーマ科目から2単位以上。
- (6) 教養基礎演習、人文・社会・自然・人間形成の各分野及び共通テーマ科目から規定の単位数を超えて6単位以上。

- 3 専攻科目から次の内訳で94単位以上修得すること。

- (1) 基礎科目から次の単位を含めて、14単位以上。

- ① 必修科目8単位。
- ② 選択必修科目は、「人間形成論」、「人間関係論」のうち2単位以上、および「健康学概論」、「心理学概論」、「教育学概論」、「社会学概論」、「社会福祉学概論」のうち4単位以上、合計6単位以上。

- (2) 基幹科目から各コースにおける必修科目の単位を含め22単位以上修得すること。

「心理発達」コースの必修科目は、「心理学実験Ⅰ・Ⅱ」、「心理学研究法」、「心理学研究法特別講義」とする。

「人間社会」コースの必修科目は、「社会調査論Ⅰ・Ⅱ」とする。

「スポーツ健康」コースの必修科目は、「ヒューマンマインド学」とする。

- (3) 展開科目及び関連科目から46単位以上。ただし、展開科目から30単位以上修得すること。

なお、次の単位は、関連科目の単位として算入できる。

- ① 卒業要件単位数を超える共通教養科目、基礎科目、基幹科目、展開科目の単位。

- ② 第二外国語および他学部・他学科開講の専攻科目。ただし、他学部・他学科が受講を認めていない科目については、履修することはできない。

- ③ 教職課程本登録者が修得した教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」。
- ただし、10単位を上限とする。
（教職課程仮登録者は算入できない）

- (4) 総合演習から「人間科学専門ゼミナールⅠ・Ⅱ」、「卒業研究」の単位を含め12単位修得すること。

(14) 理学部 理学科 専攻科目

授 業 科 目 の 名 称				授業を 行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数
					必修	選択	自由	
専攻科目	A 群	必修科目	理学ゼミナール	3	2			12単位
			卒業研究Ⅰ	4	4			
			輪講Ⅰ	4	1			
			卒業研究Ⅱ	4	4			
			輪講Ⅱ	4	1			
	B 群	科学一般	自然の歴史	1		2		B群及びC群から 84単位
			PCリテラシー	1		2		
			総合理学演習	1		2		
			科学概論	1		2		
			サイエンスコミュニケーション	2		2		
			生物学の歴史	2		2		
			物理学の歴史	2		2		
			化学の歴史	2		2		
		実験科目	化学基礎実験Ⅰ	1		1		
			化学基礎実験Ⅱ	1		1		
			生物学実験Ⅰ	1		2		
			生物学基礎実験	1		1		
			物理学実験Ⅰ	2		3		
			化学実験Ⅰ	2		3		
			地球科学基礎実験	2		1		
			物理学基礎実験	2		1		
			化学実験Ⅱ	2		3		
			物理学実験Ⅱ	3		3		
			化学実験Ⅲ	3		3		
			生物学実験Ⅱ	3		4		
			地球科学実験	3		2		
			先端化学実験	3		2		
		情報系科目	情報科学概論	1		2		
			情報処理入門Ⅰ	1		2		
			情報科学リテラシー	1		4		
			情報処理入門Ⅱ	1		2		
			プログラミングA	1		2		
			プログラミングA演習	1		4		
			離散数学Ⅰ	1		2		
			離散数学Ⅱ	1		2		
			データベースシステム	2		2		
			計算機システム基礎	2		2		
			情報検索	2		2		
		数学系科目	解析Ⅰ	1		2		
			線形代数Ⅰ(行列)	1		2		
			数学概論Ⅰ	1		2		
			解析Ⅰ演習	1		2		
			線形代数Ⅰ演習	1		2		
			数学演習Ⅰ	1		2		
			解析Ⅱ	1		2		
			線形代数Ⅱ(線形空間)	1		2		
			数学概論Ⅱ	1		2		
			解析Ⅱ演習	1		2		
			線形代数Ⅱ演習	1		2		

授 業 科 目 の 名 称			授業を 行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数
				必修	選択	自由	
専 攻 科 目	B 群	数 学 系 科 目	数学演習Ⅱ	1	2		
			集合と論理	1	2		
			解析Ⅲ	2	2		
			線形代数Ⅲ(標準形)	2	2		
			解析Ⅲ演習	2	2		
			代数学Ⅰ	2	2		
			確率論Ⅰ	2	2		
			幾何学Ⅰ	2	2		
			線形代数Ⅲ演習	2	2		
			微分方程式論Ⅰ	2	2		
			複素関数論Ⅰ	2	2		
			代数学Ⅱ	2	2		
			確率論Ⅱ	2	2		
			幾何学Ⅱ	2	2		
			数値解析	2	2		
			微分方程式論Ⅱ	3	2		
			複素関数論Ⅱ	3	2		
			数理統計学	3	2		
			代数学Ⅲ	3	2		
			数理科学演習	3	2		
			関数解析学	3	2		
			確率過程論	3	2		
			数理統計学統論	3	2		
			代数学統論	3	2		
			応用数理	4	2		
	B 群	物 理 系 科 目	物理学概論Ⅰ	1	2		B群及びC群から 84単位
			物理学概論Ⅱ	1	2		
			物理数学Ⅰ	1	2		
			力学Ⅰ	1	2		
			電磁気学Ⅰ	1	2		
			天文学概論	1	2		
			物理学演習Ⅰ	1	2		
			基礎物理学実験法	1	2		
			天文実習Ⅰ	1	1		
			力学Ⅱ	2	2		
			電磁気学Ⅱ	2	2		
			物理学演習Ⅱ	2	2		
			力学Ⅲ	2	2		
			電磁気学Ⅲ	2	2		
			量子力学Ⅰ	2	2		
			熱・統計力学Ⅰ	2	2		
			物理学演習Ⅲ	2	2		
			物理数学Ⅱ	2	2		
			天文実習Ⅱ	2	1		
			量子力学Ⅱ	3	2		
			熱・統計力学Ⅱ	3	2		
			物理学演習Ⅳ	3	2		
			計算物理学Ⅰ	3	2		
			数理物理学	3	2		
			流体力学	3	2		
			量子力学Ⅲ	3	2		
			熱・統計力学Ⅲ	3	2		

授 業 科 目 の 名 称			授業を 行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数
				必修	選択	自由	
専攻科目	B群	物理系科目	計算物理学Ⅱ	3	2		B群及びC群から 84単位
			相対性理論・宇宙論	4	2		
			物性物理学	4	2		
			原子核・素粒子物理学	4	2		
			ナノサイエンス	4	2		
		化学系科目	化学概論Ⅰ	1	2		
			化学概論Ⅱ	1	2		
			化学基礎セミナー	1	2		
			物理化学Ⅰ	1	2		
			無機化学Ⅰ	1	2		
			分析化学Ⅰ	1	2		
			有機化学Ⅰ	1	2		
			安全工学	1	2		
			物理化学Ⅱ	2	2		
			無機化学Ⅱ	2	2		
			有機化学Ⅱ	2	2		
			環境化学	2	2		
			量子化学	2	2		
			分析化学Ⅱ	2	2		
			無機化学Ⅲ	2	2		
			有機化学Ⅲ	2	2		
			分子構造決定法	2	2		
			計算化学	2	2		
			分子分光学	2	2		
			文化財基礎化学	2	2		
			化学熱力学	3	2		
			無機化学Ⅳ	3	2		
			高分子合成法	3	2		
			高分子物性論	3	2		
			有機化学Ⅳ	3	2		
			環境分析化学	3	2		
			環境物質化学	3	2		
			物性化学	3	2		
			化学国際交流Ⅰ	3	2		
			化学国際交流Ⅱ	3	2		
			反応速度論	3	2		
			化学工業概論	3	2		
			生物有機化学	3	2		
			応用環境化学	3	2		
			有機化学演習	3	2		
			物理化学演習	3	2		
			無機分析化学演習	3	2		
			専門化学演習Ⅰ	4	3		
			知的所有権法	4	2		
			専門化学演習Ⅱ	4	3		
		生物系科目	生物学概論Ⅰ	1	2		
			生物学概論Ⅱ	1	2		
			基礎遺伝学	1	2		
			基礎細胞生物学	1	2		
			学外体験実習(生物)A	1	1		
			学外体験実習(生物)B	1	1		
			基礎生物化学	1	2		
			基礎植物学	1	2		
			基礎動物学	1	2		
			基礎生態学	1	2		
			生物物理化学	2	2		
			基礎進化生物学	2	2		
			分子生物学A	2	2		

授 業 科 目 の 名 称			授業を 行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数
				必修	選択	自由	
専攻科目	B群	生物系科目	動物生理学A	2	2		B群及びC群から 84単位
			バイオテクノロジー	2	2		
			生物科学特論Ⅰ	2	1		
			生物科学特論Ⅱ	2	1		
			生物科学特論Ⅲ	2	1		
			生物科学特論Ⅳ	2	1		
			系統分類学	2	2		
			細胞生物学A	2	2		
			生物情報学	2	2		
			生物科学演習A	2	2		
			生物科学演習B	2	2		
			生物科学演習C	2	2		
			森林実習	2	2		
			特別実習A(生態学実習)	2	1		
			特別実習A(昆虫実習)	2	1		
			特別実習B(顕微鏡実習)	2	1		
			特別実習B(臨海実習)	2	1		
			特別実習C(解剖実習)	2	1		
			生物化学	3	2		
			分子生物学B	3	2		
			植物発生学	3	2		
			環境生物学	3	2		
			植物生理学	3	2		
			動物生態学	3	2		
			植物生態学	3	2		
			動物発生学	3	2		
			動物生理学B	3	2		
			生物科学方法論	3	2		
			生物科学研究法	3	2		
			生物統計学	3	2		
			細胞生物学B	3	2		
			進化生物学	3	2		
	地球科学系科目	地球科学概論Ⅰ	1	2			
		地球科学概論Ⅱ	1	2			
		地球惑星科学	2	2			
		気象学	2	2			
		古生物学	2	2			
		固体地球科学	2	2			
		地球環境学	3	2			
		地史学	3	2			
	C群	関連科目	学外体験学習Ⅰ	1	1		
			学外体験学習Ⅱ	1	1		
			学外体験学習Ⅲ	1	1		
			学外体験学習Ⅳ	1	1		
			科学技術英語Ⅰ	2	2		
			科学技術英語Ⅱ	2	2		

〔履修要件〕

- 1 同一授業科目を重複して履修することはできない。
- 2 原則として、上位年次の授業科目を履修することはできない。
- 3 他学部、他学科開講の授業科目を履修する場合には、受講者数に制限があるので担任者の許可が必要である。他学部、他学科が受講を認めない科目を履修することはできない。
- 4 履修科目の登録の上限は、1学期で24単位とする（通年科目については、その科目の単位数を2で除して得た数を、各学期の単位数として算する。）。

〔進級要件〕

（2年次から3年次）

2年以上在学し、かつ、卒業要件単位数のうち、初年次ゼミナール2単位及び外国語科目の英語（選択必修）4単位以上を含む60単位以上を修得しなければならない。

〔学外単位認定制度〕

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、卒業要件単位に算入することができる。

なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各学期の履修制限単位数に含める。

- 1 本学が主催又は推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位
- 2 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続により認定された単位
- 3 横浜市内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位

〔卒業要件〕

- 1 4年以上在学し、次表の卒業要件単位数を修得しなければならない。

科目 区分	共通教養科目								専攻科目				合 計	
	共通基盤科目							共通テーマ科目	共通教養科目合計	A群	B群	C群		専攻科目合計
	初年次ゼミナール	外国語科目	教養基礎演習	人文の分野	社会の分野	自然の分野	人間形成の分野	現代社会と市民						
単位数	2	8		4	4	4	2	2	32	12	84	96	128	
		6												

（共通教養科目）

- 2 共通教養科目から、共通基盤科目（1）から（4）までと共通テーマ科目（5）を含む32単位以上を修得しなければならない。
 - （1）初年次ゼミナール2単位
 - （2）外国語科目から英語（選択必修）8単位
 - （3）人文・社会・自然の分野からそれぞれ4単位以上
 - （4）人間形成の分野から2単位以上
 - （5）現代社会と市民から2単位以上

（専攻科目）

- 3 専攻科目から、次の（1）及び（2）の条件を満たす96単位以上を修得しなければならない。
 - （1）A群から12単位
 - （2）B群及びC群から、次の①又は②のいずれかの条件を満たす84単位以上
 - ① B群の数学系科目から24単位以上
 - ② B群の実験科目、物理系科目、化学系科目、生物系科目及び地球科学系科目から、実験科目2単位を含む24単位以上

(15) 工学部 機械工学科 専攻科目

授 業 科 目 の 名 称		授 業 を 行 う 年 次	単位数又は時間数			卒業要件単位数	
			必修	選択	自由		
専 攻 科 目	専門基礎必修科目	解析演習 I	1	2		13	
		情報処理演習 I	1	1			
		物理学 A	1	2			
		数学演習 I	1	1			
		線形代数 I (行列)	1	2			
		解析演習 II	1	2			
	専門基礎選択科目	数学演習 II	1	1		8	
		物理学実験 A	2	2			
		線形代数 II (線形空間)	1		2		
		微分方程式 I	2		2		
		物理学 B	2		2		
		解析 III	2		2		
	専門必修科目	微分方程式 II	2		2	38	
		微分学基礎 I	3		2		
		相対論 I	3		2		
		化学基礎 II	3		2		
		機械工学実習	1	1			
		工業力学 I	1	2			
		機械要素 I	1	2			
		機械要素 II	1	1			
		工業力学倫理 I	2	2			
		材料力学 I	2	2			
		機械力学 I	2	2			
		自動車制御 I	2	2			
		機械製図 I	2	2			
		C A D / C A M I	2	2			
	必修専門選択科目	流体力学 I	2	2		2	
		工業熱力学 I	2	2			
	選択科目	機械工学輪講	3	2		26	6
		機械工学実験	3	2			
		卒業研究	4	8			
		卒業研究講義	4	2			
		グローバル社会実習	3		2		
		機械設計 I	3		2		
		メカトロニクス I	1		2		
		コンピュータ解析 I	1		2		
		機械材料 I	1		2		
		メカニクス I	2		2		
		加工工学 I	2		2		
		ロボット工学 I	2		2		
		自動制御 II	2		2		
		ロボット工学 II	2		2		
		機械力学 II	2		2		
		材料力学 II	2		2		
		エンジニアリング I	2		2		
		知能機械プログラミング II	2		2		
		機械体製図 II	3		2		
		流体熱力学 II	3		2		
		工業熱力学 II	3		2		
		基礎電機工学 II	3		2		
		加工電気工学 II	3		2		
		ロボット工学 II	3		2		
		機械設計 II	3		2		
		ロボットエンジニアリング II	3		2		
		C A D / C A M II	3		2		

授 業 科 目 の 名 称		授 業 を 行 う 年 次	単 位 数 又 は 時 間 数			卒 業 要 件 単 位 数	
			必 修	選 択	自 由		
専 攻 科 目	選 択 科 目	メカトロニクス	3	2		26	6
		デバイス工学	3	2			
		【分野横断プログラム】 宇宙工学	2	2			
		宇宙科学計測学	2	2			
		材料物性計測学	2	2			
		放射線環境工学	3	2			
		宇宙システム工学	3	2			
		放射線シミュレーション	3	2			
		【分野横断プログラム】 知能ロボティクス	2	2			
		確率統計基礎	2	2			
		プログラミング言語Ⅰ	2	2			
		電気回路Ⅰ	2	2			
		プログラミング言語Ⅱ	3	2			
		電気回路Ⅱ	3	2			
	関 連 科 目	アルゴリズムとデータ構造Ⅰ	3	2			
		電子回路情報学	3	2			
		確率・統計Ⅰ	2	2			
		職業指導Ⅰ（工業）	2	2			
		職業指導Ⅱ（工業）	2	2			
		職業信頼性工学Ⅰ	3	2			
		代数量論Ⅰ	3	2			
		関品質工学Ⅰ	3	2			
		代数量論Ⅱ	3	2			
		関知的財産権Ⅱ	3	2			
		確率・統計Ⅱ	3	2			
		システム工学	4	2			

〔履修要件〕

- 1 同一授業科目は、重複して履修することはできない。
- 2 上位年次の授業科目を履修することはできない。ただし、関連科目においては、2年次からこの制限を設けない。
- 3 他学部他学科で開講されている授業科目を履修する場合は、受講者数に制限があるので担任者の許可が必要である。
- 4 受講するクラスが指定されている授業科目は、授業時間割表の指示に従って受講すること。
- 5 専攻科目の中には履修資格や人数を制限する科目がある。なお、選択科目の「分野横断教育プログラム（知能ロボティクス）■」及び「分野横断教育プログラム（宇宙理工学）◆」については、各プログラムに登録した場合に限り、これを履修することができる。
- 6 1年間に履修登録できる単位数は、48単位を上限とし、かつ各セメスターに履修できる上限は24単位とする。（通年科目については、その科目の単位数を二分割し、各セメスターの単位数として換算する。）ただし、第二外国語科目、選択英語、卒業要件単位に算入されない資格教育課程に関する科目については、この制限を適用しない。

〔進級要件〕

（1年次から2年次）

- 1 1年次終了までに、26単位以上を修得しなければならない。なお、卒業要件単位に算入されない単位数は含めない。
- 2 初年次ゼミナールを修得し、かつ「機械工学実習」、「機械解剖」のうち1科目以上修得しなければならない。

（2年次から3年次）

- 1 2年次終了までに、64単位以上を修得しなければならない。なお、卒業要件単位に算入されない単位数は含めない。
- 2 「機械工学実習」、「機械解剖」、「物理学実験A」、「機械製図I」のうち3科目以上修得しなければならない。

（3年次から4年次）

- 1 3年次終了までに、104単位以上を修得しなければならない。なお、卒業要件単位に算入されない単位数は含めない。
- 2 「機械工学実習」、「機械解剖」、「物理学実験A」、「機械製図I」、「CAD/CAM I」、「機械工学実験」のうち5科目以上修得しなければならない。

〔知能ロボティクスプログラム及び宇宙理工学プログラム〕

- 1 プログラム申請：2年次の第3セメスターの開始時に学科で実施するプログラム申請に基づき決定する。

〔学外単位認定制度〕

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、卒業要件単位に算入することができる。
なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各セメスターの履修制限単位数に含める。

- 1 本学が主催または推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
- 2 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続きにより認定された単位。
- 3 横浜市内大学間又は協定に基づく国内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。
- 4 派遣交換留学等により派遣先大学で修得した単位の内、帰国後本学における審査を経て本学の単位として認定された単位。

〔卒業要件〕

- 1 4年以上在学し、学則所定の次表の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。

共 通 教 養 科 目								共通教養科目合計	専 攻 科 目						専攻科目合計	合 計	
共 通 基 盤 科 目							共通テーマ科目 現代社会と市民		専門基礎必修科目	専門基礎選択科目	専門必修科目	専門選択必修科目	選択科目				関連科目
初年次ゼミナール	外国語科目	教養基礎演習	人文の分野	社会の分野	自然の分野	人間形成の分野							【分野横断教育プログラム】 知能ロボティクス	【分野横断教育プログラム】 宇宙理工学			
2	8		4	4	4	2	2	32	13	8	38	2	26			93	125
6													6				

- 2 共通教養科目については、次の単位を含めて32単位以上修得すること。
 - (1) 初年次ゼミナール2単位（必修）。
 - (2) 外国語科目については、必修科目としての英語を8単位修得しなければならない。ただし、外国人留学生及び外国高等学校在学経験者（帰国生徒等）は申請により、1年次の必修科目としての英語4単位に換えて日本語科目4単位とすることができる。
 - (3) 人文・社会・自然の各分野からそれぞれ4単位以上。
 - (4) 人間形成の分野から2単位以上。
 - (5) 共通テーマ科目から2単位以上。
 - (6) 教養基礎演習、人文・社会・自然・人間形成の各分野及び共通テーマ科目から規定の単位数を超えて6単位以上。
- 3 つぎの単位は、6単位を上限として関連科目の単位に換算できる。
 - (1) 他学部、工学部他学科で開講されている専攻科目の修得単位。
 - (2) 必修科目としての英語8単位以外に修得した外国語科目の単位。ただし、英語については換算できる単位は2単位までとする。
 - (3) 専門基礎選択科目8単位を超える修得単位。
- 4 専門選択必修科目の2単位を超える修得単位は選択科目の単位に換算できる。
- 5 資格教育課程に関する科目及び教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」の単位数は、卒業要件単位に含めない。

(16) 工学部 電気電子情報工学科 専攻科目

授 業 科 目 の 名 称			授 業 を 行 う 年 次	単位数又は時間数			卒業要件単位数
				必修	選択	自由	
専攻科目	基礎科目	解 析 I	1	2			17
		線 形 代 数 I (行 列)	1	2			
		情 報 処 理 演 習 I	1	1			
		力 学 I	1		2		
		解 析 II	1	2			
		線 形 代 数 II (線 形 空 間)	1	2			
		物 理 学 実 験 A	1		2		
		力 学 II	1		2		
		解 析 III	2	2			
		関 数 論 I	2		2		
		相 対 論	2		2		
		微 分 方 程 式 I	2		2		
		代 数 学 I	2		2		
		関 数 論 II	2		2		
		熱 力 学	2		2		
		微 分 方 程 式 II	2		2		
		代 数 学 II	2		2		
	必修科目	電 気 電 子 情 報 入 門	1	2			42
		基 礎 電 気 数 学 I	1	2			
		情 報 シ ス テ ム 基 礎	1	2			
		基 礎 電 気 数 学 II	1	2			
		プ ロ グ ラ ミ ン グ 言 語 I	1	2			
		電 気 回 路 I	1	2			
		電 気 磁 気 学 I	1	2			
		電 気 電 子 情 報 実 験 I	2	3			
		プ ロ グ ラ ミ ン グ 言 語 II	2	2			
		電 気 回 路 II	2	2			
		電 気 磁 気 学 II	2	2			
		電 気 電 子 情 報 実 験 II	2	3			
		電 気 電 子 情 報 実 験 III	3	4			
		電 気 電 子 情 報 特 別 講 義	3	2			
		輪 講 II	4	2			
		卒 業 研 究	4	8			
	科倫目理	情 報 と 倫 理	1		2		2
		技 術 者 倫 理	3		2		
	選択科目	計 測 工 学	2		2		11
		基 礎 電 子 物 性 工 学	2		2		
		情 報 数 学	2		2		
		電 気 回 路 III	2		2		
		電 気 磁 気 学 III	2		2		
		電 子 回 路 I	2		2		
		プ ロ グ ラ ミ ン グ 言 語 III	2		2		
		確 率 統 計 基 礎	2		2		
		デ ィ ジ タ ル シ ス テ ム 基 礎	2		2		
		電 気 電 子 情 報 実 験 IV	3		2		
		電 気 電 子 情 報 実 験 V	3		2		
		輪 講 I	3		1		
		グ ロ ー バ ル 社 会 実 習	3		2		
							24

授 業 科 目 の 名 称				授 業 を 行 う 年 次	単 位 数 又 は 時 間 数			卒 業 要 件 単 位 数
					必 修	選 択	自 由	
専攻科目	選択科目	専門科目	エ ネ ル ギ ー 工 学	3		2	24	
			基 礎 制 御 工 学	3		2		
			電 気 機 器	3		2		
			電 力 工 学	3		2		
			物 性 科 学	3		2		
			電 子 回 路	3		2		
			電 子 デ バ イ ス	3		2		
			通 信 工 学 基 礎	3		2		
			電 磁 波 工 学	3		2		
			通 信 伝 送 回 路	3		2		
			組 み 込 み シ ス テ ム	3		2		
			確 率 統 計 最 適 化	3		2		
			ア ル ゴ リ ズ ム と デ ー タ 構 造	3		2		
			パ ワ ー エ レ ク ト ロ ニ ク ス	3		2		
			電 力 シ ス テ ム 工 学	3		2		
			音 響 ・ 超 音 波 工 学	3		2		
			半 導 体 物 性 工 学	3		2		
			デ ィ ジ タ ル 信 号 処 理	3		2		
			通 信 ネ ッ ト ワ ー ク 工 学	3		2		
			無 線 通 信 工 学	3		2		
			情 報 ネ ッ ト ワ ー ク 学	3		2		
			知 能 情 報 学	3		2		
			ソ フ ト ウ ェ ア 応 用	3		2		
			電 気 法 規	3		2		
			電 気 機 器 設 計 製 図	3		2		
			電 波 法 規	3		2		
			【分野横断教育プログラム】 知能ロボティクス	機 械 要 素	2			2
				機 械 製 図	2			2
				ロ ボ ッ ト 工 学	2			2
				工 作 機 械	3			2
				CAD/CAM	3			2
				自 動 制 御	3			2
			【分野横断教育プログラム】 生活・環境デザイン工学	メ カ ト ロ ニ ク ス	3			2
				デ ィ ジ タ ル 工 学	3			2
	人 間 工 学 基 礎	2			2			
	シ ス テ ム 分 析 ・ 設 計	2			2			
	数 理 最 適 化	2			2			
	プ ロ ジ ェ ク ト マ ネ ジ メ ン ト	3			2			
	関連科目	製 品 サ ー ビ ス シ ス テ ム	3		2			
		技 術 マ ネ ジ メ ン ト	3		2			
		環 境 マ ネ ジ メ ン ト	3		2			
		UX/UI デ ザ イ ン	3		2			
		化 学 基 礎	I	1	2			
		化 学 基 礎	II	1	2			
		情 報 と 職 業	I	1	2			
		確 率 ・ 統 計	I	2	2			
量 子 物 理 学		3		2				
統 計 物 理 学		I	3	2				
確 率 ・ 統 計	II	3	2					
知 的 財 産 権		3	2					
数 値 シ ミ ュ レ ー シ ョ ン		3	2					
量 子 技 術		3	2					

[履修要件]

- 1 同一授業科目は、重複して履修することはできない。
- 2 上位年次の授業科目を履修することはできない。ただし、倫理科目については1年次から、関連科目においては2年次から、この制限を設けない。
- 3 他学部他学科開講の授業科目を履修する場合は、受講者数に制限があるので、担任者の許可が必要である。
- 4 受講するクラスが指定されている授業科目は、授業時間割表の指示に従って受講すること。
- 5 専攻科目の中には履修資格や人数を制限する科目がある。なお、選択科目の「分野横断教育プログラム（知能ロボティクス）■印」及び「分野横断教育プログラム（生活・環境デザイン工学）▲印」については、各プログラムに登録した場合に限り、これを履修することができる。
- 6 1年間に履修登録できる単位数は、48単位を上限とし、かつ各セメスターに履修できる上限は24単位とする（通年科目については、その科目の単位数を二分割し、各セメスターの単位数として換算する）。ただし、第二外国語、選択英語、および資格教育課程に関する科目については、この制限を適用しない。

[進級要件]

- (1年次から2年次)
 - 1年次終了までに、初年次ゼミナールの単位を含めて学則所定の「卒業要件単位数」のうち25単位以上を修得した者。
- (2年次から3年次)
 - 2年次終了までに、次の単位を含めて学則所定の「卒業要件単位数」のうち56単位以上を修得した者。
 - (1)電気電子情報実験Ⅰ・Ⅱを含む必修科目11単位以上（基礎科目を除く）。
- (3年次から4年次) [卒業研究履修資格]
 - 3年次終了までに、次の単位を含めて学則所定の「卒業要件単位数」のうち100単位以上を修得した者。
 - (1)電気電子情報実験Ⅲを含む必修科目26単位以上（基礎科目を除く）。

[知能ロボティクスプログラム及び生活・環境デザイン工学プログラム]

- 1 プログラム申請：2年次の第3セメスターの開始時に学科で実施するプログラム申請に基づき決定する。

[学外単位認定制度]

- 学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、卒業要件単位に算入することができる。なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各セメスターの履修制限単位数に含める。
- 1 本学が主催または推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
 - 2 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続きにより認定された単位。
 - 3 横浜市内大学間又は協定に基づく国内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。
 - 4 派遣交換留学等により派遣先大学で修得した単位の内、帰国後本学における審査を経て本学の単位として認定された単位。

[卒業要件]

- 1 4年以上在学し、学則所定の次表の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。

共 通 教 養 科 目										専 攻 科 目							
共通基盤科目							共通テーマ科目	共通教養科目合計	基礎科目	必修科目	倫理科目	選択科目			関連科目	専攻科目合計	合 計
初年次ゼミナール	外国語科目	教養基礎演習	人文の分野	社会の分野	自然の分野	人間形成の分野	現代社会と市民					専門基礎科目	専 門 科 目				
													【分野横断教育プログラム】 知能ロボティクス	【分野横断教育プログラム】 生活・環境デザイン工学			
2	8		4	4	4	2	2	32	17	42	2	11			96	128	
6													24				

- 2 基礎科目については、「力学Ⅰ」「力学Ⅱ」「物理学実験A」「相対論」「熱力学」のうち、6単位以上を修得しなければならない。
- 3 共通教養科目については、次の単位を含めて32単位以上修得すること。
 - (1)初年次ゼミナール2単位（必修）。
 - (2)外国語科目については、必修科目としての英語を8単位修得しなければならない。ただし、外国人留学生及び外国高等学校在学経験者（帰国生徒等）は申請により、英語8単位のうち4～6単位を日本語とすることができる。
 - (3)人文・社会・自然の各分野からそれぞれ4単位以上。
 - (4)人間形成の分野から2単位以上。
 - (5)共通テーマ科目から2単位以上。
 - (6)教養基礎演習、人文・社会・自然・人間形成の各分野及び共通テーマ科目から規定の単位数を超えて6単位以上。また、自然の分野で卒業要件にできるのは、6単位以下である。
- 4 倫理科目の「情報と倫理」、「技術者倫理」から、2単位以上を修得しなければならない。
- 5 専門基礎科目11単位以上を含め、選択科目合計で35単位以上を修得しなければならない。なお、選択科目の「分野横断教育プログラム（知能ロボティクス）■印」または「分野横断教育プログラム（生活・環境デザイン工学）▲印」については、10単位まで卒業要件単位に換算できる。ただし、下記の科目は選択科目の専門科目単位に総計8単位まで換算できる。
 - (1)倫理科目のうち2単位を超える科目
 - (2)卒業要件単位を超える基礎科目
 - (3)関連科目および、他学部・他学科開講の専攻科目
 - (4)必修科目としての英語8単位以外に修得した外国語科目の単位。ただし、同一言語につき換算できる単位は2単位までとする。
 - (5)資格教育課程の「教育の基礎的理解に関する科目等（各教科の指導法を含む）」（教職課程登録者を対象とする）

(17) 工学部 経営工学科 専攻科目

授 業 科 目 の 名 称					授業を 行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数		
						必 修	選 択	自 由			
専攻科目	基礎科目	必修科目	解析 I (行列)	I	1	2			8		
			線形代数 I (行列)	I	1	2					
			線形代数 II (線形空間)	II	1	2					
					1	2					
		選択科目	物理学	A	1		2		2		
			情報処理演習	I	1		1				
			解析	III	2		2				
			物理学	B	2		2				
		必修科目	経営工学総論		1	2			38		
			確率統計学 I	I	1	2					
			プログラミング演習 I	I	1	1					
			アカウンティング II	I	1	2					
			確率統計学 II	II	1	2					
			プログラミング演習 II	II	1	1					
			生産管理		2	2					
			オペレーションズ・リサーチ		2	2					
			シミュレーション		2	2					
			人間の工学基礎		2	2					
			技術者倫理		2	2					
			サプライチェーンマネジメント		2	2					
			企業情報分析		2	2					
			経営工学実験実習 I	I	3	2					
			経営工学実験実習 II	II	3	2					
			卒業研究 I	I	4	4					
			卒業研究 II	II	4	4					
			選択必修科目	経営工学輪講 A	A	3		2			6
		経営工学輪講 A		A	3		2				
		経営工学輪講 B		B	3		2				
		経営工学輪講 B		B	3		2				
		経営工学輪講 I		I	4		1				
		経営工学輪講 II		II	4		1				
			A 群 (グローバル系)	国際コミュニケーション I	I	1		2		8	
				国際経営学	I	1		2			
				国際コミュニケーション II	II	1		2			
				英語ディスカッション		2		2			
				システムデザイン		2		1			
				工業中国語初級		2		2			
				事例研究		2		2			
				ビジネスデータサイエンス		2		1			
				知的財産権		3		2			
				キャリアデザイン		3		1			
				B 群 (経営デザイン系)	管理会計		2		2		
コストマネジメント						2		2			
最適化					2		2				
インダストリアルエンジニアリング			2			2					
品質管理			2			2					
一ケテン			3			2					
生産システム最適化			3			2					
組織科			3			2					
金融工学			3			2					
経営情報システム			3			2					
レベニューマネジメント			3			2					
技術マネジメント			3			2					
環境マネジメント			3		2						
イノベーションマネジメント			3		2						

授 業 科 目 の 名 称				授業を 行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数		
					必 修	選 択	自 由			
専攻科目	選択科目	C群 (社会デザイン系)	多変量解析	2		2		8	18	
			システム分析・設計	2		2				
			マクロアーゴノミクス	2		2				
			意思決定論	2		2				
			情報工学	2		2				
			メカニカルドローイング・CAD	3		2				
			プロジェクトマネジメント	3		2				
			知識工学	3		2				
			製品サービスシステム	3		2				
			ヒューマンインタフェース	3		2				
			メカニカルプロセス	3		2				
			サバーブスマネジメント	3		2				
			信頼性解析	3		2				
			UX/UIデザイン	3		2				
	関連科目		【分野横断教育プログラム】 D群(生活・環境デザイン工学)	情報システム基礎	2		2			
				デジタルシステム基礎	2		2			
				通信工学基礎	3		2			
				組み込みシステム	3		2			
				アルゴリズムとデータ構造	3		2			
				通信ネットワーク工学	3		2			
				情報ネットワーク工学	3		2			
				知能情報工学	3		2			
				化学基礎Ⅰ	1		2			
				化学基礎Ⅱ	1		2			
				情報倫理Ⅰ	1		2			
				情報倫理Ⅱ	1		2			
				微分方程式Ⅰ	2		2			
				職業指導Ⅰ(工業)	2		2			
				職業指導Ⅱ(工業)	2		2			
				職業指導Ⅲ(工業)	2		2			
				代数学Ⅰ	3		2			
				代数学Ⅱ	3		2			
				社会学Ⅰ	4		2			
				社会学Ⅱ	4		2			
				社会学Ⅲ	4		2			

【履修要件】

- 1 同一授業科目は、重複して履修することはできない。
- 2 上位年次の授業科目は履修できない。ただし、関連科目について2年次からこの制限を設けない。
- 3 他学部他学科開講科目の授業科目を履修する場合は、受講者数に制限があるので、担任者の許可が必要である。
- 4 受講するクラスが指定されている授業科目は、授業時間割表の指示に従って受講すること。
- 5 専攻科目の中には履修資格や人数を制限する科目がある。なお、選択科目D群「分野横断教育プログラム（生活・環境デザイン工学）▲」については、生活・環境デザイン工学プログラムに登録した場合に限り、これを履修することができる。
- 6 1年間に履修できる単位数は、48単位を上限とし、かつ各セメスターに履修できる上限は24単位とする。ただし、卒業要件単位数に算入されない資格教育課程に関する科目については、この制限を適用しない。
- 7 「卒業研究Ⅰ・Ⅱ」「輪講Ⅰ・Ⅱ」については、それぞれの先行科目（ローマ数字の値が小さい科目）の単位を修得している場合に限って、後続科目の履修を許可する。

【進級要件】

卒業要件単位数に算入されない資格教育課程に関する科目の単位数は総単位数に含めない。

（1年次から2年次）

- 1 1年次終了までに、初年次ゼミナールの単位及び必修科目5単位以上（基礎科目を除く）を含め、総単位数で26単位以上を修得していなければならない。

（2年次から3年次）

- 2 2年次終了までに、必修科目16単位以上（基礎科目を除く）を含め、総単位数で64単位以上を修得していなければならない。

（3年次から4年次）

- 3 3年次終了までに、「経営工学輪講A・B」「グローバル社会実習A・B」から4単位以上の単位を修得し、かつ総単位数で100単位以上を修得していなければならない。

【生活・環境デザイン工学プログラム】

- 1 プログラム申請：2年次の第3セメスターの開始時に学科で実施するプログラム申請に基づき決定する。

【学外単位認定制度】

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、卒業要件単位に算入することができる。なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各セメスターの履修制限単位数に含める。

- 1 本学が主催、または推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
- 2 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続きにより認定された単位。
- 3 横浜市内大学間の単位互換又は協定に基づく国内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。
- 4 派遣交換留学等により派遣先大学で修得した単位の内、帰国後本学における審査を経て本学の単位として認定された単位。

【卒業要件】

- 1 4年以上在学し、学則所定の次表の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。

共通教養科目							専攻科目								専攻科目合計	合計			
共通基盤科目						共通テーマ科目	基礎科目		必修科目	選択必修科目	選択科目						関連科目		
初年次ゼミナール	外国語科目	教養基礎演習	人文の分野	社会の分野	自然の分野	人間形成の分野	現代社会と市民	必修科目			選択科目	A群 （グローバルエンジニア系）	B群 （経営デザイン系）	C群 （社会デザイン系）				D群 （生活・環境デザイン工学）	【分野横断教育プログラム】
2	8		4	4	4	2	2	32	8	2	38	6	8	8	8		96	128	
6												18							

- 2 共通教養科目については、次の単位を含めて32単位以上修得すること。
 - (1) 初年次ゼミナール2単位（必修）。
 - (2) 外国語科目については、必修科目として「実用英語Ⅰ～Ⅳ」を含め、英語を8単位修得しなければならない。
 - (3) 人文・社会・自然の各分野からそれぞれ4単位以上。
 - (4) 人間形成の分野から2単位以上。
 - (5) 共通テーマ科目から2単位以上。
 - (6) 教養基礎演習、人文・社会・自然・人間形成の各分野及び共通テーマ科目から規定の単位数を超えて6単位以上。
- 3 選択科目から次の単位を含めて42単位以上修得しなければならない。
 - (1) A群（グローバルエンジニア系）から8単位以上。
 - (2) B群（経営デザイン系）から8単位以上。
 - (3) C群（社会デザイン系）から8単位以上。
 - (4) 上記(1)～(3)の他に選択科目から18単位以上。
- 4 専攻基礎科目で、「卒業要件単位数」を超える単位は、関連科目の単位に換算できる。
- 5 他学部、他学科開講の専攻科目及び必修としての英語8単位以外に修得した外国語の単位は「関連科目」に算入できる。ただし、外国語科目については、同一言語につき換算できる単位は2単位までとする。
- 6 関連科目は上記4、5の単位を含めて、8単位までを、上記3(4)の選択科目に換算できる。
- 7 資格教育課程に関する科目の単位は、卒業要件単位数に含めない。

(18) 工学部 応用物理学科 専攻科目

授 業 科 目 の 名 称		授業を 行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数	
			必修	選択	自由		
専攻科目	専門基礎必修科目	解析Ⅰ	1	2		24単位	
		線形代数Ⅰ(行列)	1	2			
		力学Ⅰ	1	2			
		解析Ⅱ	1	2			
		線形代数Ⅱ(線形空間)	1	2			
		力学Ⅱ	1	2			
		物理学実験A	1	2			
		解析Ⅲ	2	2			
		電磁気学Ⅰ	2	2			
		電磁気学Ⅱ	2	2			
		工学英語Ⅰ	3	2			
		工学英語Ⅱ	3	2			
	専門基礎選択科目	力学演習Ⅰ	1		1	8単位	
		化学基礎A	1		2		
		力学演習Ⅱ	1		1		
		物理数学	1		2		
		生物学概論A	1		2		
		確率・統計Ⅰ	2		2		
		微分方程式Ⅰ	2		2		
		電磁気学演習Ⅰ	2		1		
		確率・統計Ⅱ	2		2		
		微分方程式Ⅱ	2		2		
		電磁気学演習Ⅱ	2		1		
		熱力学	2		2		
		地学実験	2		1		
		相対論	3		2		
	専門必修科目	応用物理学入門	1	2		30単位	
		情報処理	1	2			
		プログラミングⅠ	1	2			
		デジタル・アナログ回路	2	2			
		プログラミングⅡ	2	2			
		物理計測学	2	2			
		データサイエンス・ラボラトリー	2	2			
		応用物理学実験A	3	2			
		応用物理学演習A	3	1			
		応用物理学実験B	3	2			
		応用物理学演習B	3	1			
		卒業研究	4	8			
		応用物理学演習C	4	2			
	専門選択科目	振動・波動	2		2	24単位	専門選択科目及び 関連科目8単位
		電気回路	2		2		
		材料力学Ⅰ	2		2		
		メカニカルデザイン	2		2		
		光学計測	2		2		
		宇宙科学	2		2		
		材料物性学	2		2		
		グローバル社会実習	2		2		
		流体力学Ⅰ	2		2		
		ロケット工学	2		2		
		宇宙物理学	3		2		
		放射線計測	3		2		
		宇宙環境工学	3		2		

授 業 科 目 の 名 称			授業を 行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数	
				必修	選択	自由		
専攻科目	専門選択科目	半導体デバイス	3		2		24単位	専門選択 科目及び 関連科目8 単位
		量子物理学	3		2			
		統計物理学Ⅰ	3		2			
		ナノ物質科学	3		2			
		数値計算アルゴリズム	3		2			
		知能工学Ⅰ	3		2			
		流体力学Ⅱ	3		2			
		機械材料	3		2			
		工業熱力学Ⅱ	3		2			
		観測天文学	3		2			
		衛星システム工学	3		2			
		放射線シミュレーション	3		2			
		固体物理学	3		2			
		量子技術	3		2			
		統計物理学Ⅱ	3		2			
		分子シミュレーション	3		2			
		数値シミュレーション	3		2			
		知能工学Ⅱ	3		2			
		ロケットエンジン	3		2			
	関連科目	関数論Ⅰ	2		2			
		総合化学実験	2		1			
		総合生物学実験	2		1			
		関数論Ⅱ	2		2			
		電子回路Ⅰ	2		2			
		技術者倫理	3		2			
		代数学Ⅰ	3		2			
		電子回路Ⅱ	3		2			
		エネルギー工学	3		2			
電子デバイス	3		2					
知的財産権	3		2					
代数学Ⅱ	3		2					

〔履修要件〕

- 1 同一授業科目を重複して履修することはできない。
- 2 原則として、上位年次の授業科目を履修することはできない。
- 3 他学部、他学科開講の授業科目を履修する場合には、受講者数に制限があるので担任者の許可が必要である。他学部、他学科が受講を認めない科目を履修することはできない。
- 4 履修科目の登録の上限は、1学期で24単位とする（通年科目については、その科目の単位数を2で除して得た数を、各学期の単位数として換算する。）。

〔進級要件〕

- 1 1年次から2年次
1年次終了までに、卒業要件単位数のうち、初年次ゼミナール2単位を含めて22単位以上を修得しなければならない。
- 2 2年次から3年次
2年次終了までに、卒業要件単位数のうち、60単位以上を修得しなければならない。
- 3 3年次から4年次
3年次終了までに、卒業要件単位数のうち106単位以上を修得しなければならない。

〔学外単位認定制度〕

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、卒業要件単位に算入することができる。
なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各学期の履修制限単位数に含める。

- 1 本学が主催又は推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位
- 2 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続により認定された単位
- 3 横浜市内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位

〔卒業要件〕

- 1 4年以上在学し、次表の卒業要件単位数を修得しなければならない。

科目 区分	共通教養科目								共通教養科目合計	専攻科目						専攻科目合計	合 計
	共通基盤科目							共通テーマ科目		専門基礎必修科目	専門基礎選択科目	専門必修科目	専門選択科目	関連科目			
	初年次ゼミナール	外国語科目	教養基礎演習	人文の分野	社会の分野	自然の分野	人間形成の分野								現代社会と市民		
単位数	2	8		4	4	4	2	2	32	24	8	30	24	8	94	126	

（共通教養科目）

- 2 共通教養科目から、共通基盤科目（1）から（4）までと共通テーマ科目（5）を含む32単位以上を修得しなければならない。
（1）初年次ゼミナール2単位
（2）外国語科目から英語（必修）8単位
（3）人文・社会・自然の分野からそれぞれ4単位以上
（4）人間形成の分野から2単位以上
（5）現代社会と市民から2単位以上

（専攻科目）

- 3 専攻科目から、次の（1）から（5）の条件を満たす94単位以上を修得しなければならない。
（1）専門基礎必修科目24単位（必修）
（2）専門基礎選択科目8単位以上
（3）専門必修科目30単位（必修）
（4）専門選択科目24単位以上
（5）関連科目及び（4）の規定単位数を超えて8単位以上

(19) 建築学部 建築学科 専攻科目

授 業 科 目 の 名 称		授業を 行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数
			必修	選択	自由	
専攻科目	専門科目	建築グラフィックス	1	3		3
		建築の構工法	1	2		2
		住生活創造概論	1	2		2
		力と形	1	1		1
		建築環境概論	1	2		2
		日本建築史	1	2		2
		造形デザイン	1		2	
		設計製図Ⅰ	1	3		3
		西洋建築史	1	2		2
		建築の力学及び演習	1		3	
		建築の設備	1		2	
		横浜建築	1		2	
		建築CAD演習Ⅰ	1		2	
		工房ものづくり演習	1		2	
		建築構造デザイン	2		2	
		地域防災概論	2		2	
		建築環境工学Ⅰ及び演習	2		3	
		設計製図Ⅱ	2	3		3
		建築の計画とデザイン	2	2		2
		まち再生概論	2	2		2
		建築の材料	2		2	
		断面と部材の力学及び演習	2		3	
		給排水衛生設備	2		2	
		木質構造	2		2	
		建築CAD演習Ⅱ	2		2	
		建築デザイン特別講義	2		2	
		建築環境工学Ⅱ及び演習	2		3	
		空調設備Ⅰ	2		2	
		骨組の力学及び演習	2		3	
		近現代建築史A	2		2	
		まちづくり論	2		2	
		まち再生演習Ⅰ	2		3	
		デザイン系不動産学基礎	2		2	
		地球環境建築	2		2	
		建築情報処理	2		1	
		鉄筋コンクリート構造	2		2	
		基礎構造の設計演習	2		2	
		建築デザインⅠ	2		3	
		生活空間デザイン演習Ⅰ	2		3	
		居住空間史	2		2	
		インテリア・家具デザイン	2		2	
		建築法規	3	2		2
		建築技術英語Ⅰ	3	1		1
		給排水衛生設備設計演習	3		2	
		建築環境輪講Ⅰ	3		1	
		建築学実験	3		2	
		空調設備Ⅱ	3		2	
		建築デザインⅡ	3		3	
		建築設計論	3		2	
		まち再生輪講Ⅰ	3		1	
		まち再生演習Ⅱ	3		3	
		まちなみ保存再生論	3		2	
		鉄筋コンクリート構造の設計演習	3		2	
		建築構造輪講Ⅰ	3		1	
		建築都市防災	3		2	
		建築デザイン輪講Ⅰ	3		1	

授 業 科 目 の 名 称		授業を 行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数
			必修	選択	自由	
専攻科目	専門科目	鋼構造	3	2		専攻科目群 から必修科 目36単位を 含み93単位 以上
		建築の耐震解析及び演習	3	3		
		住生活創造輪講Ⅰ	3	1		
		住宅設計論	3	2		
		生活空間デザイン演習Ⅱ	3	3		
		近現代建築史B	3	2		
		生活緑地デザイン	3	2		
		都市計画	3	2		
		建築の生産	3	2		
		建築技術英語Ⅱ	3	1		
		空気調和設備設計演習	3	2		
		建築保存活用計画論	3	2		
		まち再生輪講Ⅱ	3	1		
		まち再生演習Ⅲ	3	3		
		パブリックスペース論	3	2		
		建築環境輪講Ⅱ	3	1		
		建築環境工学実験	3	1		
		電気設備	3	2		
		建築デザインⅢ	3	3		
		都市デザイン論	3	2		
		建築構造輪講Ⅱ	3	1		
		建築デザイン輪講Ⅱ	3	1		
		建築構造・材料実験	3	1		
		鋼構造の設計演習	3	2		
		生活環境論	3	2		
		住生活創造輪講Ⅱ	3	1		
		生活空間デザイン演習Ⅲ	3	3		
		建築・生活メディア論	3	2		
		都市空間マネジメント論	3・4	2		
		ローカル不動産マネジメント論	3・4	2		
		建築設備のマネジメント	3・4	2		
		建築史フィールドワーク	3・4	2		
		生活文化フィールドワーク	3・4	2		
		まち再生演習Ⅳ	4	3		
		卒研輪講	4	2		2 6
		卒業研究	4	6		
	基礎科目	微分積分学A	1	4		
		幾何学A	1	2		
		微分積分学入門	1	4		
		情報処理演習Ⅰ	1	1		
		物理学概説	1	4		
		建築物理数学	1	2		
		近代デザイン史	1	2		
		微分積分学B	1・2	4		
		物理学A	1	2		
		幾何学B	1	2		
		家族・コミュニティ論	1	2		
		都市フィールド学	1	2		
		物理学実験A	2	2		
		確率・統計Ⅰ	2	2		
		物理学B	2	2		
		化学実験A	2	2		
		化学基礎Ⅰ	2	2		
		現代アート論	2	2		
		環境心理学	2	2		
		代数学概論	2	2		
		物理学Ⅲ	2	2		
		化学基礎Ⅱ	2	2		
		物理学Ⅳ	3	2		

授 業 科 目 の 名 称			授業を行 う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数
				必修	選択	自由	
専攻科目	関連科目	職業指導Ⅰ(工業)	2・3・4		2		
		応用数学Ⅰ	2・3・4		2		
		職業指導Ⅱ(工業)	2・3・4		2		
		代数学Ⅰ	2・3・4		2		
		微分方程式Ⅰ	2・3・4		2		
		代数学Ⅱ	2・3・4		2		
		微分方程式Ⅱ	2・3・4		2		
		技術者倫理	2・3・4		2		
		知的財産権	2・3・4		2		
		確率・統計Ⅱ	2・3・4		2		
		応用数学Ⅱ	2・3・4		2		
		関数論Ⅰ	2・3・4		2		
		量子物理学Ⅰ	2・3・4		2		
		統計物理学Ⅰ	2・3・4		2		
		関数論Ⅱ	2・3・4		2		
		物理工学A	2・3・4		2		
		物理工学B	2・3・4		2		

〔履修要件〕

- 1 同一授業科目を重複して履修することはできない。
- 2 上位年次の授業科目を履修することはできない。ただし、関連科目においては2年次から、専門選択科目においては3年次から、この制限を設けない。
- 3 他学部、他学科開講の授業科目を履修する場合には、受講者数に制限があるので担任者の許可が必要である。他学部、他学科が受講を認めない科目については履修できない。
- 4 1年間に履修できる単位数は、48単位を上限とし、かつ各セメスターに履修できる上限は24単位とする（通年科目については、その科目の単位数を二分割し、各セメスターの単位数として換算する。）。

〔進級要件〕

- （1年次から2年次）
- 1年次終了までに、卒業要件単位数のうち、初年次ゼミナール2単位及び1年次履修の専門必修科目10単位を含む26単位以上を修得しなければならない。
- （3年次から4年次）
- 必要単位数：卒業要件単位数のうち、別途定める必要修得科目を含めて100単位以上。ただし、編入学者に対しては別途認定する。

〔学外単位認定制度〕

- 学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、卒業要件単位に算入することができる。
- なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各セメスターの履修制限単位数に含める。
- 1 本学が主催又は推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
 - 2 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続により認定された単位。
 - 3 横浜市内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。

〔卒業要件〕

- 1 4年以上在学し、次表の卒業要件単位数を修得しなければならない。

授業科目	共通教養科目								共通教養科目合計	専攻科目				専攻科目合計	合 計
	共通基盤科目							共通テーマ科目		専門科目		基礎科目	関連科目		
	初年次ゼミナール	外国語科目	教養基礎演習	人文の分野	社会の分野	自然の分野	人間形成の分野	現代社会と市民		必修科目	選択科目	選択科目	選択科目		
単位数	2	8		4	4	4	2	2	32	36	57			93	125
6															

- （共通教養科目）
- 2 共通教養科目については、次の単位を含めて32単位以上修得すること。
 - （1）初年次ゼミナール2単位（必修）。
 - （2）外国語科目は英語を8単位以上修得すること。
 - （3）人文・社会・自然の各分野からそれぞれ4単位以上。
 - （4）人間形成の分野から2単位以上。ただし、「キャリアデザイン」及び「国内インターンシップ」の単位は、卒業要件単位数に算入できない。
 - （5）共通テーマ科目から2単位以上。
 - （6）教養基礎演習、人文・社会・自然・人間形成の各分野及び共通テーマ科目から規定の単位数を超えて6単位以上。

（専攻科目）

- 3 専攻科目については、次の単位を含めて93単位以上修得すること。
- 4 専門科目から必修科目36単位以上修得すること。
- 5 本学科が履修上の区分に応じて別に定める要件に従い、専門科目、基礎科目及び関連科目から57単位以上を修得すること。

(20) 化学生命学部 応用化学科 専攻科目

授 業 科 目 の 名 称			授業を 行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数	
				必修	選択	自由		
専攻科目	学部 共通 科目	物理学概論	1		2		10単位 (※印の 選択科目 から4単位 を含む)	左欄の卒 業要件単 位数を含 む96単位
		解析入門	1		2			
		線形代数Ⅰ（行列）	1		2			
		化学生命学概論Ⅰ	1	2				
		解析Ⅰ	1		2			
		線形代数Ⅱ（線形空間）	1		2			
		化学生命学概論Ⅱ	1	2				
		科学情報処理	1	2				
		地学Ⅰ	2		2			
		解析Ⅱ	2		2			
		化学生命SDGs論	2		2	※		
		地学Ⅱ	2		2			
		化学生命キャリアデザイン	2		2	※		
		総合物理学実験	3		1			
		知的財産権	3		2	※		
		科学と産業	3		2	※		
	学科 必修 科目	物理化学Ⅰ	1	2			44単位	
		分析化学	1	2				
		化学概論	1	2				
		物理化学Ⅱ	1	2				
		有機化学Ⅰ	1	2				
		基礎化学実験	1	2				
		有機化学Ⅱ	2	2				
		無機化学Ⅰ	2	2				
		応用化学実験	2	4				
		物理化学演習	2	2				
		無機化学Ⅱ	2	2				
		応用化学専修実験	3	4				
		無機化学演習	3	2				
		応用化学輪講Ⅰ	3	2				
		応用化学研究Ⅰ	4	4				
		応用化学輪講Ⅱ	4	2				
		応用化学研究Ⅱ	4	4				
応用化学輪講Ⅲ	4	2						
学科 選 択 科 目	生活化学Ⅰ	1		2		学科選択 科目から 20単位		
	基礎生物学概論	1		2				
	基礎生物学実験	1		2				
	生活化学Ⅱ	2		2				
	香粧化学	2		2				
	分析化学演習	2		2				
	有機反応論	2		2				
	量子化学	2		2				
	触媒化学	2		2				
	配位化学	2		2				
	生命機能学実験	2		4				
	機器分析A	3		2				
	高分子科学Ⅰ	3		2				
	基礎電気化学	3		2				
	無機材料工学	3		2				
	有機化学演習	3		2				

授 業 科 目 の 名 称			授業を 行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数	
				必修	選択	自由		
専攻科目	学科選択科目	機器分析B	3		2		学科選択 科目から 20単位	左欄の卒業要件単位数を含む96単位
		高分子科学Ⅱ	3		2			
		分子機能材料	3		2			
		立体有機化学	3		2			
		エネルギー化学	3		2			
	関連科目	遺伝学	1		2			
		動物生理学	1		2			
		生化学Ⅰ	1		2			
		食品化学	2		2			
		公衆衛生学	2		2			
		細胞生物学	2		2			
		生化学Ⅱ	2		2			
		食品栄養学	2		2			
		分子生物学	2		2			
		生化学演習	3		2			
		タンパク質工学	3		2			
		微生物学	3		2			
		植物生理学	3		2			
		有機医薬工業	3		2			
		生物有機化学	3		2			
		食品衛生学	3		2			
		環境化学	3		2			

〔履修要件〕

- 1 同一授業科目を重複して履修することはできない。
- 2 原則として、上位年次の授業科目を履修することはできない。
- 3 他学部、他学科開講の授業科目を履修する場合には、受講者数に制限があるので担任者の許可が必要である。他学部、他学科が受講を認めない科目を履修することはできない。
- 4 履修科目の登録の上限は、1学期で24単位とする（通年科目については、その科目の単位数を2で除して得た数を、各学期の単位数として換算する。）。

〔進級要件〕

- 1 1年次から2年次
1年次終了までに、卒業要件単位数のうち、初年次ゼミナール2単位並びに学部共通科目及び学科必修科目から8単位以上を含む20単位以上を修得しなければならない。
- 2 2年次から3年次
2年次終了までに、卒業要件単位数のうち、1年次及び2年次の外国語科目の英語（必修）から各2単位以上並びに学部共通科目及び学科必修科目から20単位以上（1年次及び2年次の必修実験科目6単位を含む）を含む62単位以上を修得しなければならない。
- 3 3年次から4年次
3年次終了までに、卒業要件単位数のうち、外国語科目の英語（必修）8単位、3年次の必修実験科目4単位及び「輪講Ⅰ」2単位を含む104単位以上を修得しなければならない。

〔学外単位認定制度〕

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、卒業要件単位に算入することができる。
なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各学期の履修制限単位数に含める。

- 1 本学が主催又は推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位
- 2 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続により認定された単位
- 3 横浜市内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位

〔卒業要件〕

- 1 4年以上在学し、次表の卒業要件単位数を修得しなければならない。

科目 区分	共通教養科目								共通 教養科目合計	専攻科目						合 計
	共通基盤科目							共通テーマ 科目		学部 共通科目（必修）	学科 必修科目	学部 共通科目（選択）	学科 選択科目	関連 科目	専攻 科目合計	
	初年次ゼミナール	外国語科目	教養基礎演習	人文の分野	社会の分野	自然の分野	人間形成の分野									
単位数	2	8		4	4	4		2	32	6	44	4	20		96	128
		8										22				

（共通教養科目）

- 2 共通教養科目から、共通基盤科目（1）から（3）までと共通テーマ科目（4）を含む32単位以上を修得しなければならない。
（1）初年次ゼミナール2単位
（2）外国語科目から英語（必修）8単位
（3）人文・社会・自然の分野からそれぞれ4単位以上
（4）現代社会と市民から2単位以上

（専攻科目）

- 3 専攻科目から、次の（1）から（3）までを含む96単位以上を修得しなければならない。
（1）学部共通科目から必修科目6単位及び選択必修科目4単位を含む10単位以上
（2）学科必修科目から44単位
（3）学科選択科目から20単位以上

(21) 化学生命学部 生命機能学科 専攻科目

授 業 科 目 の 名 称			授業を 行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数	
				必修	選択	自由		
専攻科目	学部 共通 科目	物理学概論	1		2		10単位 (※印の 選択科目 から4単位 を含む)	左欄の卒 業要件単 位数を含 む96単位
		解析入門	1		2			
		線形代数Ⅰ(行列)	1		2			
		化学生命学概論Ⅰ	1	2				
		科学情報処理	1	2				
		解析Ⅰ	1		2			
		線形代数Ⅱ(線形空間)	1		2			
		化学生命学概論Ⅱ	1	2				
		地学Ⅰ	2		2			
		解析Ⅱ	2		2			
		化学生命SDGs論	2		2	※		
		地学Ⅱ	2		2			
		化学生命キャリアデザイン	2		2	※		
		総合物理学実験	3		1			
		知的財産権	3		2	※		
		科学と産業	3		2	※		
	学科 必修 科目	遺伝学	1	2			44単位	
		生物学概論	1	2				
		生化学Ⅰ	1	2				
		有機化学Ⅰ	1	2				
		基礎生物学実験	1	2				
		有機化学Ⅱ	2	2				
		細胞生物学	2	2				
		生化学Ⅱ	2	2				
		分子生物学	2	2				
		生命機能学実験	2	4				
		生化学演習	3	2				
		生命機能学専修実験	3	4				
		有機化学演習	3	2				
		生命機能学輪講Ⅰ	3	2				
		生命機能学研究Ⅰ	4	4				
		生命機能学輪講Ⅱ	4	2				
		生命機能学研究Ⅱ	4	4				
		生命機能学輪講Ⅲ	4	2				
	学科 選択 科目	動物生理学	1		2		選択科目 から20単位	
		生活化学Ⅰ	1		2			
		分析化学	1		2			
		基礎化学概論	1		2			
		基礎化学実験	1		2			
		生活化学Ⅱ	2		2			
		応用化学実験	2		4			
		食品化学	2		2			
		公衆衛生学	2		2			
		香粧化学	2		2			
		分析化学演習	2		2			
		食品栄養学	2		2			
		有機反応論	2		2			
タンパク質工学		3		2				
微生物学		3		2				
植物生理学		3		2				
生物有機化学		3		2				

授 業 科 目 の 名 称			授業を 行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数	
				必修	選択	自由		
専攻科目	学科選択科目	有機医薬工業	3		2		選択科目 から20単位	左欄の卒業要件単 位数を含む96単位
		機器分析B	3		2			
		食品衛生学	3		2			
		環境化学	3		2			
	関連科目	物理化学Ⅰ	1		2			
		物理化学Ⅱ	1		2			
		無機化学Ⅰ	2		2			
		無機化学Ⅱ	2		2			
		量子化学	2		2			
		触媒化学	2		2			
		配位化学	2		2			
		物理化学演習	2		2			
		無機化学演習	3		2			
		高分子科学Ⅰ	3		2			
		基礎電気化学	3		2			
		無機材料工学	3		2			
		機器分析A	3		2			
		高分子科学Ⅱ	3		2			
		分子機能材料	3		2			
		立体有機化学	3		2			
		エネルギー化学	3		2			

〔履修要件〕

- 1 同一授業科目を重複して履修することはできない。
- 2 原則として、上位年次の授業科目を履修することはできない。
- 3 他学部、他学科開講の授業科目を履修する場合には、受講者数に制限があるので担任者の許可が必要である。他学部、他学科が受講を認めない科目を履修することはできない。
- 4 履修科目の登録の上限は、1学期で24単位とする（通年科目については、その科目の単位数を2で除して得た数を、各学期の単位数として換算する。）。

〔進級要件〕

- 1 1年次から2年次
1年次終了までに、卒業要件単位数のうち、初年次ゼミナール2単位並びに学部共通科目及び学科必修科目から8単位以上を含む20単位以上を修得しなければならない。
- 2 2年次から3年次
2年次終了までに、卒業要件単位数のうち、1年次及び2年次の外国語科目の英語（必修）から各2単位以上並びに学部共通科目及び学科必修科目から20単位以上（1年次及び2年次の必修実験科目6単位を含む）を含む62単位以上を修得しなければならない。
- 3 3年次から4年次
3年次終了までに、卒業要件単位数のうち、外国語科目の英語（必修）8単位、3年次の必修実験科目4単位及び「輪講Ⅰ」2単位を含む104単位以上を修得しなければならない。

〔学外単位認定制度〕

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、卒業要件単位に算入することができる。
なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各学期の履修制限単位数に含める。

- 1 本学が主催又は推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位
- 2 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続により認定された単位
- 3 横浜市内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位

〔卒業要件〕

- 1 4年以上在学し、次表の卒業要件単位数を修得しなければならない。

科目 区分	共通教養科目								共通 テーマ 科目	共通教養科目合計	専攻科目					専攻科目合計	合 計
	共通基盤科目							学部共通科目（必修）			学科必修科目	学部共通科目（選択）	学科選択科目	関連科目			
	初年次ゼミナール	外国語科目	教養基礎演習	人文の分野	社会の分野	自然の分野	人間形成の分野								現代社会と市民		
単位数	2	8		4	4	4		2	32	6	44	4	20		96	128	
		8										22					

（共通教養科目）

- 2 共通教養科目から、共通基盤科目（1）から（3）までと共通テーマ科目（4）を含む32単位以上を修得しなければならない。
（1）初年次ゼミナール2単位
（2）外国語科目から英語（必修）8単位
（3）人文・社会・自然の分野からそれぞれ4単位以上
（4）現代社会と市民から2単位以上

（専攻科目）

- 3 専攻科目から、次の（1）から（3）までを含む96単位以上を修得しなければならない。
（1）学部共通科目から必修科目6単位及び選択必修科目4単位を含む10単位以上
（2）学科必修科目から44単位
（3）学科選択科目から20単位以上

(22) 情報学部 計算機科学科 専攻科目

授 業 科 目 の 名 称			授業を 行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数
				必修	選択	自由	
専攻科目	必修科目	概論	計算機科学概論	1	2		46単位
			情報基盤と情報倫理	1	2		
			計算機システム基礎	2	2		
		基礎	離散数学Ⅰ	1	2		
			離散数学Ⅰ 演習	1	2		
			離散数学Ⅱ	1	2		
			離散数学Ⅱ 演習	1	2		
			確率統計学	2	2		
			アルゴリズム論	2	2		
		プログラミング	情報科学リテラシー	1	4		
			プログラミングA	1	2		
			プログラミングA演習	1	4		
			プログラミングB	2	4		
		プロジェクト	計算機科学実験	2	2		
			情報ゼミナール	3	2		
			輪講Ⅰ	4	1		
			卒業研究Ⅰ	4	4		
			輪講Ⅱ	4	1		
			卒業研究Ⅱ	4	4		
	選択必修科目	応用	データベースシステム	2		2	14単位
			計算機アーキテクチャ	2		2	
			オペレーティングシステム	2		2	
			ソフトウェア工学	2		2	
			情報システム論	3		2	
			情報セキュリティ	3		2	
			人工知能Ⅰ	3		2	
			コンピュータネットワーク	3		2	
	選択科目	概論	情報職業論	2		2	選択科目から 32単位
			情報英語	3		2	
		基礎	オートマトン理論	2		2	
			算譜言語論	3		2	
			情報理論	3		2	
			コンパイラ	3		2	
			解析Ⅰ	1		2	
			線形代数Ⅰ(行列)	1		2	
			数学演習Ⅰ	1		2	
			解析Ⅱ	1		2	
			線形代数Ⅱ(線形空間)	1		2	
			数学演習Ⅱ	1		2	
			解析Ⅲ	2		2	
			線形代数Ⅲ(標準形)	2		2	
			代数学Ⅰ	2		2	
			幾何学Ⅰ	2		2	
			確率論Ⅰ	2		2	
			微分方程式論Ⅰ	2		2	
			複素関数論Ⅰ	2		2	
			代数学Ⅱ	2		2	
			幾何学Ⅱ	2		2	
			確率論Ⅱ	2		2	
			微分方程式論Ⅱ	3		2	

授 業 科 目 の 名 称				授業を 行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数
					必修	選択	自由	
専攻科目	選択科目	プログラミング	関数型プログラミング	2		2		選択科目から 32単位
			オブジェクト指向プログラミング	3		2		
		応用	情報検索	2		2		
			自然言語解析	3		2		
			画像情報処理	3		2		
			コンピュータグラフィックス	3		2		
			情報科学特論Ⅰ	3		1		
			情報科学特論Ⅱ	3		1		
			人工知能Ⅱ	3		2		
			情報科学特論Ⅲ	3		1		
			情報科学特論Ⅳ	3		1		
			クシブトエロ	計算機科学発展演習	3		2	

〔履修要件〕

- 1 同一授業科目を重複して履修することはできない。
- 2 原則として、上位年次の授業科目を履修することはできない。
- 3 他学部、他学科開講の授業科目を履修する場合には、受講者数に制限があるので担任者の許可が必要である。他学部、他学科が受講を認めない科目を履修することはできない。
- 4 履修科目の登録の上限は、1学期で24単位とする（通年科目については、その科目の単位数を2で除して得た数を、各学期の単位数として換算する。）。

〔進級要件〕

- 1 2年次から3年次
2年以上在学し、卒業要件単位数のうち、初年次ゼミナール2単位及び外国語科目の英語（必修）4単位を含む60単位以上を修得しなければならない。

〔学外単位認定制度〕

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、卒業要件単位に算入することができる。
なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各学期の履修制限単位数に含める。

- 1 本学が主催又は推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位
- 2 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続により認定された単位
- 3 横浜市内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位

〔卒業要件〕

- 1 4年以上在学し、次表の卒業要件単位数を修得しなければならない。

科目 区分	共通教養科目								共通教養科目合計	専攻科目				合 計
	共通基盤科目							共通テ マ科目		必修科目	選択必修科目	選択科目	専攻科目合計	
	初年次ゼミナール	外国語科目	教養基礎演習	人文の分野	社会の分野	自然の分野	人間形成の分野							
単位数	2	8		4	4	4	2	2	32	46	14	32	92	124
		6												

（共通教養科目）

- 2 共通教養科目から、共通基盤科目（1）から（4）までと共通テーマ科目（5）を含む32単位以上を修得しなければならない。
 - （1）初年次ゼミナール2単位
 - （2）外国語科目から英語（必修）8単位
 - （3）人文・社会・自然の分野からそれぞれ4単位以上
 - （4）人間形成の分野から2単位以上
 - （5）現代社会と市民から2単位以上

（専攻科目）

- 3 専攻科目から、次の（1）から（3）までを含む92単位以上を修得しなければならない。
 - （1）必修科目46単位
 - （2）選択必修科目から14単位以上
 - （3）選択科目から32単位以上

(23) 情報学部 システム数理学科 専攻科目

授 業 科 目 の 名 称			授業を 行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数
				必修	選択	自由	
専攻科目	基礎科目	必修科目	解析Ⅰ	1	2		11単位
			線形代数Ⅰ(行列)	1	2		
			解析Ⅱ	1	2		
			線形代数Ⅱ(線形空間)	1	2		
			情報処理演習Ⅰ	1	1		
			解析Ⅲ	2	2		
	必修科目		計算機概論Ⅰ	1	2		52単位
			論理学演習	1	2		
			システム数理概論	1	2		
			情報リテラシ演習	1	4		
			計算機概論Ⅱ	1	2		
			離散数学	1	2		
			離散数学演習	1	2		
			プログラミング技法Ⅰ	1	2		
			プログラミング技法Ⅰ演習	1	4		
			グラフ理論	2	2		
			確率統計学Ⅰ	2	2		
			プログラミング技法Ⅱ	2	2		
			プログラミング技法Ⅱ演習	2	2		
			確率統計学Ⅱ	2	2		
			アルゴリズムとデータ構造	2	2		
			技術者倫理	2	2		
			特別演習Ⅰ	3	2		
			知的財産権	3	2		
			特別演習Ⅱ	3	2		
			卒業研究Ⅰ	4	4		
			卒論ゼミⅠ	4	1		
			卒業研究Ⅱ	4	4		
			卒論ゼミⅡ	4	1		
	選択科目	(共通) A群	計算機概論Ⅲ	2		2	6単位
			マルチメディア	2		2	
			複素解析学	2		2	
			情報理論	3		2	
			データベースシステム	3		2	
			ゲーム理論	3		2	
		(高信頼システム) B群	情報論理学	2		2	6単位
			情報代数学	3		2	
			計算と論理	3		2	
			位相幾何学	3		2	
			位相と論理	3		2	
			システム検証	3		2	
		(セキュリティシステム) C群	オートマトンとコンパイラ	2		2	6単位
			情報セキュリティ	3		2	
			計算可能性	3		2	
			暗号理論	3		2	
			計算の複雑さ	3		2	
			プライバシー保護	3		2	

授 業 科 目 の 名 称				授業を 行う年次	単位数又は時間数			卒業要件単位数
					必修	選択	自由	
専攻科目	選択科目	(複雑知能システム) D群	システム工学	2		2		6単位
			人工知能	3		2		
			非線形数理	3		2		
			ベイズ理論	3		2		
			機械学習	3		2		
			複雑系と生命数理	3		2		
		(データ分析システム) E群	数値解析	2		2		6単位
			意思決定論	2		2		
			多変量解析	3		2		
			最適化数理	3		2		
	科目連		データマイニング	3		2		
			シミュレーション技法	3		2		
	科目連		情報と倫理	1			2	
			情報と職業	1			2	

〔履修要件〕

- 1 同一授業科目を重複して履修することはできない。
- 2 原則として、上位年次の授業科目を履修することはできない。
- 3 他学部、他学科開講の授業科目を履修する場合には、受講者数に制限があるので担任者の許可が必要である。他学部、他学科が受講を認めない科目を履修することはできない。
- 4 履修科目の登録の上限は、1学期で24単位とする（通年科目については、その科目の単位数を2で除して得た数を、各学期の単位数として換算する。）。

〔進級要件〕

- 1 1年次から2年次
1年次終了までに、卒業要件単位数のうち、初年次ゼミナール2単位を含む24単位以上を修得しなければならない。
- 2 2年次から3年次
2年次終了までに、卒業要件単位数のうち、「システム数理概論」2単位及び1年次履修の外国語科目の英語（必修）4単位を含む64単位以上を修得しなければならない。
- 3 3年次から4年次
3年次終了までに、卒業要件単位数のうち、「情報リテラシ演習」4単位及び「特別演習Ⅰ・Ⅱ」4単位を含む100単位以上を修得しなければならない。

〔学外単位認定制度〕

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、卒業要件単位に算入することができる。
なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各学期の履修制限単位数に含める。

- 1 本学が主催又は推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位
- 2 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続により認定された単位
- 3 横浜市内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位

〔卒業要件〕

- 1 4年以上在学し、次表の卒業要件単位数を修得しなければならない。

科目 区分	共通教養科目								専攻科目										合計
	共通基盤科目							共通テーマ科目	基礎科目	必修科目	選択科目					関連科目	専攻科目合計		
	初年次ゼミナール	外国語科目	教養基礎演習	人文の分野	社会の分野	自然の分野	人間形成の分野	現代社会と市民			A群	B群	C群	D群	E群				
単位数	2	8		4	4	4	2	2	32	11	52	6	6	6	6	6		93	125
		6																	

（共通教養科目）

- 2 共通教養科目から、共通基盤科目（1）から（4）までと共通テーマ科目（5）を含む32単位以上を修得しなければならない。
（1）初年次ゼミナール2単位
（2）外国語科目から英語（必修）8単位
（3）人文・社会・自然の分野からそれぞれ4単位以上
（4）人間形成の分野から2単位以上
（5）現代社会と市民から2単位以上

（専攻科目）

- 3 専攻科目から、次の（1）及び（2）を含む93単位以上を修得しなければならない。
（1）必修科目63単位
（2）選択科目のA群、B群、C群、D群、E群から各6単位以上

別表第2(第8条第3項関係)

教科及び教職に関する科目並びに履修方法

法学部、経済学部、経営学部、外国語学部、国際日本学部、人間科学部、理学部、工学部、建築学部、化学生命学部、情報学部

第一欄	教科及び教職に関する科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目の名称	授業を行う年次	単位数又は時間数			最低修得単位数
					必修	選択	自由	
第二欄	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	※授業科目は別に定める					
		各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	教科教育法Ⅰ(社会)	2	×2			中学校教諭一種免許状を受けようとする者は必修を含め38単位以上 (教科に関する専門的事項の修得単位数を除く)
			教科教育法Ⅱ(社会)	2	×2			
			教科教育法Ⅲ(社会)	3	×2			
			教科教育法Ⅳ(社会)	3	×2			
			教科教育法Ⅰ(地理歴史)	3	×2			
			教科教育法Ⅱ(地理歴史)	3	×2			
			教科教育法Ⅰ(公民)	3	×2			
			教科教育法Ⅱ(公民)	3	×2			
			教科教育法Ⅰ(商業)	3	×2			
			教科教育法Ⅱ(商業)	3	×2			
			教科教育法Ⅰ(情報)	3	×2			
			教科教育法Ⅱ(情報)	3	×2			
			教科教育法Ⅰ(英語)	2	×2			
			教科教育法Ⅱ(英語)	2	×2			
			教科教育法Ⅲ(英語)	3	×2			
			教科教育法Ⅳ(英語)	3	×2			
			教科教育法Ⅰ(中国語)	2・3	×2			高等学校教諭一種免許状を受けようとする者は必修を含め30単位以上。 ただし、高等学校教諭一種免許状(英語、国語、数学及び理科)については34単位以上 (教科に関する専門的事項の修得単位数を除く)
			教科教育法Ⅱ(中国語)	2・3	×2			
			教科教育法Ⅲ(中国語)	3	□2			
			教科教育法Ⅳ(中国語)	3	□2			
			教科教育法Ⅰ(国語)	2	×2			
			教科教育法Ⅱ(国語)	2	×2			
			教科教育法Ⅲ(国語)	3	×2			
			教科教育法Ⅳ(国語)	3	×2			
			教科教育法Ⅰ(保健体育)	2・3	×2			
			教科教育法Ⅱ(保健体育)	2・3	×2			
			教科教育法Ⅲ(保健体育)	3	□2			
			教科教育法Ⅳ(保健体育)	3	□2			
			教科教育法Ⅰ(数学)	2・3	×2			
			教科教育法Ⅱ(数学)	2・3	×2			
			教科教育法Ⅲ(数学)	3	×2			
			教科教育法Ⅳ(数学)	3	×2			
			教科教育法Ⅰ(理科)	2	×2			
			教科教育法Ⅱ(理科)	2	×2			
			教科教育法Ⅲ(理科)	3	×2			
			教科教育法Ⅳ(理科)	3	×2			
			教科教育法Ⅰ(工業)	3	×2			
			教科教育法Ⅱ(工業)	3	×2			

第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	1	2			
		教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職論	2	2			
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育と社会	1	2			
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	1	2			
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	3	1			
		教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論	2	2			
第四欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育論	2	□2			
		総合的な学習の時間の指導法（中学校）	総合的な学習の時間の指導論	3	1			
		総合的な探究の時間の指導法（高等学校）						
		特別活動の指導法	特別活動論	2	2			
		・教育の方法及び技術 ・情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	教育方法とICT活用	2	2			
		・生徒指導の理論及び方法 ・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	生徒・進路指導論	2	2			
		教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談	3	2			
第五欄	教育実践に関する科目	教育実習	教育実習Ⅰ	4	2			
			教育実習Ⅱ	4	□2			
			教育実習指導Ⅰ	3	1			
			教育実習指導Ⅱ	4	1			
		教職実践演習	教職実践演習(中学・高校)	4	2			
第六欄	大学が独自に設定する科目		介護等体験指導	3		1		
			学校ボランティア演習Ⅰ	2		1		
			学校ボランティア演習Ⅱ	2		1		
			教育学演習Ⅰ	3		1		
			教育学演習Ⅱ	3		1		
			道徳教育論	2		2		
			書道Ⅰ	2		2		
			書道Ⅱ	2		2		

〔備考〕

- ×印は受けようとする免許教科ごとの必修科目、□印は中学校教諭免許状を受ける場合の必修科目。
- 教科教育法は、それぞれの学部（学科）における履修者を対象とする。
 国語＝国際日本学部（日本文化学科）
 社会＝法学部（法律学科、自治行政学科）、経済学部（経済学科、現代ビジネス学科）、経営学部（国際経営学科）、国際日本学部（歴史民俗学科）、人間科学部（人間科学科）
 地理歴史＝経済学部（経済学科、現代ビジネス学科）、国際日本学部（歴史民俗学科）、人間科学部（人間科学科）
 公民＝法学部（法律学科、自治行政学科）、経済学部（経済学科、現代ビジネス学科）、経営学部（国際経営学科）、人間科学部（人間科学科）
 商業＝経済学部（経済学科、現代ビジネス学科）
 保健体育＝人間科学部（人間科学科）
 数学＝理学部（理学科）、工学部（機械工学科、電気電子情報工学科、経営工学科）、情報学部（計算機科学科、システム数理学科）
 理科＝理学部（理学科）、工学部（応用物理学科）、化学生命学部（応用化学科、生命機能学科）
 工業＝工学部（機械工学科、経営工学科）、建築学部（建築学科）
 英語＝外国語学部（英語英文学科）
 中国語＝外国語学部（中国語学科）
 情報＝工学部（電気電子情報工学科）、情報学部（計算機科学科、システム数理学科）
- 第六欄の「介護等体験指導」は、それぞれの学部（学科）の中学校教諭免許状を受ける場合の履修者を対象とする。
- 第六欄の「道徳教育論」は、それぞれの学部（学科）の高等学校教諭免許状を受ける場合の履修者を対象とする。
- 「書道Ⅰ」「書道Ⅱ」は、それぞれの学部（学科）の高等学校教諭免許状（国語）を受ける場合の履修者を対象とする。

別表第3（第8条第3項関係）

教育職員免許状の種類

本学で取得できる普通免許状の種類は次のとおりである。

取得できる学部・学科		免許状の種類・教科	
学 部	学 科	中 学 校（一 種）	高 等 学 校（一 種）
法 学 部	法 律 学 科	社 会	公 民
	自 治 行 政 学 科		
経 済 学 部	経 済 学 科	社 会	地 理 歴 史
	現 代 ビ ジ ネ ス 学 科		公 民 ・ 商 業
経 営 学 部	国 際 経 営 学 科	社 会	公 民
外 国 語 学 部	英 語 英 文 学 科	英 語	英 語
	中 国 語 学 科	中 国 語	中 国 語
国 際 日 本 学 部	日 本 文 化 学 科	国 語	国 語
	歴 史 民 俗 学 科	社 会	地 理 歴 史
人 間 科 学 部	人 間 科 学 科	社 会 ・ 保 健 体 育	地 理 歴 史 ・ 公 民 保 健 体 育
理 学 部	理 学 科	数 学 ・ 理 科	数 学 ・ 理 科
工 学 部	機 械 工 学 科	数 学	数 学 ・ 工 業
	電 気 電 子 情 報 工 学 科	数 学	数 学 ・ 情 報
	経 営 工 学 科	数 学	数 学 ・ 工 業
	応 用 物 理 学 科	理 科	理 科
建 築 学 部	建 築 学 科	—	工 業
化 学 生 命 学 部	応 用 化 学 科	理 科	理 科
	生 命 機 能 学 科		
情 報 学 部	計 算 機 科 学 科	数 学	数 学 ・ 情 報
	シ ス テ ム 数 理 学 科		

別表第4（第8条第4項関係）

社会教育に関する科目及び履修方法

省令科目	授 業 科 目 の 名 称	授業を 行う年次	単位数又は時間数			修了要件 単位数	
			必修	選択	自由		
生涯学習概論	生 涯 学 習 論	1・2・3・4	2			4単位	
	社 会 教 育 論	1	2				
生涯学習支援論	生 涯 学 習 支 援 論 Ⅰ	2	2			4単位	
	生 涯 学 習 支 援 論 Ⅱ	2	2				
社会教育経営論	社 会 教 育 経 営 論 Ⅰ	2	2			4単位	
	社 会 教 育 経 営 論 Ⅱ	3	2				
社会教育特講	地 域 デ ザ イン 演 習 Ⅰ	1		2		4単位	
	地 域 デ ザ イン 演 習 Ⅱ	2		2			
	地 域 デ ザ イン 演 習 Ⅲ	2		2			
	地 域 デ ザ イン 演 習 Ⅳ	3		2			
	教 育 原 論	1		2		4単位以上	
	教 育 と 社 会	1		2			
	博 物 館 概 論	2		2			
	博 物 館 教 育 論	2		2			
	ボ ラ ン テ ィ ア 論	1・2・3・4		2			
社会教育実習	社 会 教 育 実 習 Ⅰ	3	2			2単位	
社会教育演習、社会教育 実習又は社会教育課題 研究のうち1以上の科目	社 会 教 育 実 習 Ⅱ	3	2			4単位	
	社 会 教 育 演 習	3	2				

〔備考〕

- 1 登録は原則として2年次で行う。
- 2 修了要件単位数:次の単位を含めて合計26単位以上修得すること。
 - (1) 必修科目18単位
 - (2) 「社会教育特講」から8単位以上。ただし、「地域デザイン演習Ⅰ～Ⅳ」から4単位以上を含む。

別表第5 (第8条第5項関係)

学芸員に関する科目及び履修方法

		科目名	単位	授 業 科 目 の 名 称	授業を 行う年次	単位数又は時間数			資格要件単位数
						必修	選択	自由	
学 芸 員 に 関 す る 科 目	必修科目・ 選択必修科目 (省令科目)	生涯学習概論	2	生涯学習論	1・2・3・4	2			20 単位
		博物館概論	2	博物館概論	2	2			
		博物館経営論	2	博物館経営論	2・3	2			
		博物館資料論	2	博物館資料論	2・3	2			
		博物館資料保存論	2	博物館資料保存論	2・3	2			
		博物館展示論	2	博物館展示論	2・3	2			
		博物館教育論	2	博物館教育論	2	2			
		博物館情報・メディア論	2	博物館情報・メディア論	2・3	2			
		博物館実習	3	博物館実習Ⅰ (古文書・民俗資料実習)	3		2		1科目 選択 必修
				博物館実習Ⅰ (自然史・文化史資料実習)	3		2		
				博物館実習Ⅱ	4	2			
	選択 科目 (分野)	文化史		日本史	1・2・3・4		2		2分野以上に わたって 8単位以上
				日本文化論	1・2・3・4		2		
				舞台芸術論	1・2・3・4		2		
				日本芸能論	1・2・3・4		2		
				日本建築史	1		2		
				世界史	1・2・3・4		2		
				日本史概論	1		2		
				近代デザイン史	1		2		
				建築・生活メディア論	3		2		
		美術史		西洋建築史	1		2		
				日本の美術	1		2		
		考古学		現代アート論	2		2		
				考古学	1・2・3・4		2		
		民俗学		文化人類学	1・2・3・4	1	2		
				民俗学	1・2・3・4	2	2		
				宗教学	1・2・3・4	3	2		
				文化人類学概論	1	4	2		
				民俗学概論	1	5	2		
		自然科学史		宗教学概論	1	6	2		
				自然の歴史	1		2		
		物 理		物理学概論Ⅰ	1		2		
				物理学概論Ⅱ	1		2		
		化 学		化学概論Ⅰ	1		2		
				化学概論Ⅱ	1		2		
				基礎物理化学Ⅰ	1		2		
		生 物		生物学概論Ⅰ	1		2		
				生物学概論Ⅱ	1		2		
		地 学		地学概論Ⅰ	2		2		
				地学概論Ⅱ	2		2		
				地学Ⅰ	3		2		
				地学Ⅱ	3		2		

〔備考〕

- 1 登録は原則として2年次に行う。
- 2 「博物館実習Ⅱ」は、3年次までの必修科目及び選択必修科目を修得済みの者でなければ履修できない。
- 3 学芸員資格取得の要件＝必修科目18単位、選択必修科目2単位、選択科目から2分野以上にわたって8単位以上、合計28単位以上を修得すること。

別表第6 （第8条第6項関係）

日本語教員養成に関する科目及び履修方法

授業科目の名称			授業を 行う年次	単位数又は時間数			修了要件単位数	
				必修	選択	自由		
日本語教員養成に関する科目	言語	こ と ば の 音	2	2			10単位	
		日 本 語 教 育 文 法	2	2				
		こ と ば 学 の 基 礎	2	2				
		こ と ば の 意 味	2		2			
		会 話 分 析 論	2		2			
		語 用 論	2	2				
		こ と ば の 比 較	2		2			
		日 本 語 意 味 論	2		2			
		統 語 論	2		2			
		意 味 論	2		2			
		音 声 学 I	2		2			
		音 声 学 II	2		2			
		中 国 言 語 概 説 A	2		2			
		中 国 言 語 概 説 B	2		2			
		中 国 言 語 特 講 I A	3		2			
		中 国 言 語 特 講 I B	3		2			
		中 国 言 語 特 講 I C	3		2			
		中 国 言 語 特 講 I D	3		2			
	言語と教育	日 本 語 教 育 概 論	3	2			10単位	
		日 本 語 教 授 法	3	2				
		コ ー ス デ ザ イ ン 論	3	2				
		授 業 設 計 論	3	2				
		日 本 語 教 育 評 価 論	3	2				
		日 本 語 教 育 研 究	3		2			
		教 育 工 学	4		2			
			日 本 語 教 育 実 習 指 導 I	4	2			6単位
	日 本 語 教 育 実 習 指 導 II		4	2				
	日 本 語 教 育 実 習		4	2				
	社会・文化・地域	日 本 語 教 育 事 情	2		2		2単位	2単位
		日 本 語 教 育 史	2		2			
		社 会 学	1・2・3・4		2			
		日 本 文 化 論	1・2・3・4		2			
		文 化 と ア イ デ ン テ ィ テ ィ	1・2・3・4		2			
		戦 争 と 歴 史 認 識	1・2・3・4		2			
		横 浜 の 歴 史 と 民 俗 A	1・2・3・4		2			
		国 際 法 I	2		2			
		国 際 法 II	2		2			
		ア ジ ア 政 治	3		2			
		ア ジ ア 政 治 史	3		2			
		開 発 経 済 学 I	3		2			
		開 発 経 済 学 II	3		2			
		国 際 関 係 論	2		2			
		ラ テ ン ア メ リ カ 現 代 研 究 I	2		2			
		ラ テ ン ア メ リ カ 現 代 研 究 II	2		2			
		ラ テ ン ア メ リ カ 政 治 経 済 I	3		2			
		ラ テ ン ア メ リ カ 政 治 経 済 II	3		2			
言語と社会	多 文 化 社 会 と 言 語 政 策	2		2		2単位	2単位	
	こ と ば と 社 会	2		2				
	ボ ラ ン テ ィ ア 論	1・2・3・4		2				
	異 文 化 間 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	1		2				
	Global Citizenship Studies I	4		2				
	Global Citizenship Studies II	4		2				
	横 浜 学 I	2		2				
横 浜 学 II	2		2					
言語と心理	こ と ば の 発 達 論	2		2		2単位	2単位	
	日 本 語 教 育 と バ イ リ ン ガ リ ズ ム	2		2				
	心 理 学	1・2・3・4		2				
	学 習 ・ 言 語 心 理 学	2		2				
	生 涯 発 達 心 理 学 I	2		2				
	生 涯 発 達 心 理 学 II	2		2				
コ ミ ュ ニ テ ィ ー 心 理 学	3		2					

〔備考〕

- 1 課程登録は原則として2年次に行う。未登録者は単位が認定されないので、注意が必要である。
- 2 「日本語教育実習」に出るための条件は、実習の前年度までに原則として必修科目18単位、選択必修科目4単位を修得済みであり実習の年度内に卒業見込みである者のみ履修することができる。
- 3 修了要件単位数＝「言語」の区分から10単位以上、「言語と教育」の区分から16単位以上、「社会・文化・地域」、「言語と社会」、「言語と心理」の区分からそれぞれ4単位以上、合計38単位以上を修得すること。

別表第7(第49条関係)

授業料、履修費その他の納入金

(単位: 円)

区分	学部	2020年度入学生適用	2021年度入学生適用		2022年度入学生適用			2023年度入学生適用								
検定料	全学部							35,000 ※大学入試共通テスト利用者 15,000								
入学金	法学部				200,000			200,000								
	経済学部															
	経営学部															
	外国語学部															
	国際日本学部															
	人間科学部															
	理学部															
	工学部															
	建築学部	—	—													
	化学生命学部	—	—		—											
	情報学部	—	—		—											
		4年次	3年次	4年次	2年次	3年次	4年次	1年次	2年次	3年次	4年次					
授業料	法学部	735,000	715,000	735,000	710,000	715,000	735,000	690,000	710,000	715,000	735,000					
	経済学部															
	経営学部	850,000	830,000	850,000	810,000	830,000	850,000	790,000	810,000	830,000	850,000					
	外国語学部															
	国際日本学部	735,000	715,000	735,000	710,000	715,000	735,000	690,000	710,000	715,000	735,000					
	人間科学部	1,025,000	1,005,000	1,025,000	1,000,000	1,005,000	1,025,000	1,080,000		1,120,000						
	理学部															
	工学部	—	—		1,100,000	1,120,000	1,140,000									
	建築学部	—	—		—											
	化学生命学部	—	—		—											
情報学部	—	—		—												
施設設備資金	法学部	260,000	260,000		260,000			260,000								
	経済学部															
	経営学部															
	外国語学部															
	国際日本学部															
	人間科学部	320,000	320,000		320,000			320,000								
	理学部															
	工学部	—	—													
	建築学部	—	—													
	化学生命学部	—	—		—											
情報学部	—	—		—												
入学初年度合計	法学部							1,150,000								
	経済学部															
	経営学部															
	外国語学部															
	国際日本学部															
	人間科学部							1,250,000								
	理学部															
	工学部															
	建築学部							—	—				1,600,000			
	化学生命学部							—	—	—						
情報学部	—	—	—													

科目等履修生履修費

	非実験科目 (1単位につき)	実験科目 (1単位につき)
科目等履修生	15,000	20,000
コース履修生	15,000	20,000
	(8,000)	(8,000)

()は本学卒業生対象

研究生研修料

学部	年間学費	半期学費
法・経済・経営・外国語・ 国際日本・人間科学	400,000	200,000
理・工・建築・化学生命・情報	500,000	250,000